平成２４年度沖縄振興特別推進交付金

市町村実施分

事　後　評　価　結　果

平成２５年８月
沖　　縄　　県

沖縄振興特別推進交付金の事後評価について

事後評価の基本的な考え方

沖縄振興特別推進交付金は、沖縄の実情に即してより的確にかつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を沖縄県が自主的な選択に基づいて実施できる制度として、沖縄振興特別措置法により創設されました。

本交付金を活用した事業の推進にあたっては、時代潮流や地域特性を踏まえた沖縄の優位性・潜在能力を見極めつつ、事業が効果的・効率的なものであるか等を勘案して、事業の選択と集中を図るとともに、必要に応じて見直し・改善を行うことが必要です。

このため、沖縄振興特別推進交付金交付要綱において、各交付対象事業の成果目標を設定するとともに、成果目標の達成状況について、これを公表するとともに、大臣に報告することとされています。

事後評価の方法

事後評価については、平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業計画に掲げた1,248事業（廃止（中止）18事業※1を除く）毎に設定された1,264の評価対象事業※2の成果目標の達成状況について、共通のものさしとして、目標に対する実績値を達成率（%）に換算した上で、評価を行いました。

さらに、各事業単位で「検証シート」を作成し、PDCAサイクルによる取り組みの見直し改善や、さらなる効率化に向けた検証を行っています。

※1「廃止（中止）」・・・事業計画策定後、事情変更により実施されなかった事業。

※2 評価を的確に実施する観点から、1つの事業について細分化して評価対象とした事業があるため、事業計画の事業数より評価対象事業数は多くなっている。

【成果目標の評価の流れ】

１．事業毎に設定した成果目標に対する実績値について、下記により達成率を算出する。

$$\text{達成率} = \frac{\text{当該年度の実績値}}{\text{当該年度の目標値}} \times 100\,(\%)$$

※定性的な目標については、目標達成の場合は１００％とし、それ以外は０％とする。
※１事業で複数の目標を設定している場合は、平均値を当該事業の達成率とする。

２・算出された達成率に応じて、各事業毎に下記の評価基準により区分する。

「達成」　：達成率が１００％以上
「概ね達成」：達成率が７０％以上１００％未満
「一部達成」：達成率が７０％未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」　：達成率が７０％未満かつ、すべての目標値を達成していない場合

評価結果について（市町村分）

平成24年度の沖縄振興特別推進交付金交付対象事業の成果目標の達成状況としては、評価対象全1264事業のうち、「達成」及び「概ね達成」が860事業（68%）、「一部達成」が2事業（0.2%）、「未達成」が38事業（3%）、「繰越」が364事業（29%）となっています。

評価対象事業数	評　価			繰越※
	達成・概ね達成	一部達成	未達成	
1,264	860 うち達成796 概ね達成64	2	38	364
	68% うち達成63% 概ね達成5%	0.2%	3%	29%

※「繰越」・・・会計年度内（平成24年度）に使用し終わらなかった歳出予算の経費の金額を特別な事由があることにより特例的に翌会計年度（平成25年度）の歳出経費として使用することが認められたもの。

約7割の事業について、成果目標を「達成」又は「概ね達成」しており、沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる各施策の推進に寄与することができました。

他方、制度創設初年度ということもあり、事業実施期間が十分確保できなかったこと等もあり、目標達成に至らなかった事業や、事業の繰越も多くありました。

沖縄県としては、本評価の結果を踏まえ、必要に応じ、事業規模や事業スキームの見直し等について市町村に助言を行うことにより、効果的・効率的な事業の実施に繋げ、沖縄振興の取組を推進してまいります。

評価（総合）結果一覧表（沖縄２１世紀ビジョン基本計画基本施策別）

沖縄21世紀ビジョン基本計画	評価対象事業数	総合評価				
		達成	概ね達成	一部達成	未達成	繰越
第3章　基本施策						
将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して						
（1）自然環境の保全・再生・適正利用	20	12	2		1	5
（2）持続可能な循環型社会の構築	15	8	2		2	3
（3）低炭素島しょ社会の実現	29	8	2		1	18
（4）伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造	79	54	4			21
（5）文化産業の戦略的な創出・育成	28	19	2			7
（6）価値創造のまちづくり	45	29	2	1		13
（7）人間優先のまちづくり	3	1				2
計	219	131	14	1	4	69
将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して						
（1）健康・長寿おきなわの推進	34	11	4		2	17
（2）子育てセーフティネットの充実	45	28	4	1	2	10
（3）健康福祉セーフティネットの充実	9	7				2
（4）社会リスクセーフティネットの確立	98	53	2		1	42
（5）米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	34	23	2		1	8
（6）地域特性に応じた生活基盤の充実・強化	1	1				
（7）共助・共創型地域づくりの推進	8	3				5
計	229	126	12	1	6	84
将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して						
（1）自立型経済の構築に向けた基盤の整備	2					2
（2）世界基準の観光リゾート地の形成	278	169	7		11	91
（3）情報通信関連産業の高度化・多様化	8	3	2			3
（4）アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成	14	5				9
（5）科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成	3	2				1
（6）沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出	14	2			1	11
（7）亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興	82	50	4		5	23
（8）地域を支える中小企業等の振興	13	9			1	3
（9）ものづくり産業の振興と地域ブランド形成	22	13	4		1	4
（10）雇用対策と多様な人材の確保	12	4	2		3	3
（11）離島における定住条件の整備	32	24	2			6
（12）離島の特色を生かした産業振興と新たな展開	78	56	3		2	17
（13）駐留軍用地跡地の有効利用の推進	21	20				1
計	579	357	24	0	24	174
将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して						
（1）世界との交流ネットワークの形成	12	11				1
（2）国際協力・貢献活動の推進	9	6	1		1	1
計	21	17	1	0	1	2
将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して						
（1）沖縄らしい個性を持った人づくりの推進	17	14	2			1
（2）公平な教育機会の享受に向けた環境整備	15	11	1		1	2
（3）自ら学ぶ意欲を育む教育の充実	81	68	2		1	10
（4）国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築	51	40	5		1	5
（5）産業振興を担う人材の育成	3	3				
計	167	136	10	0	3	18
第5章　圏域別展開						
圏域別展開の基本方向						
（1）圏域の特色を生かした産業の振興(観光リゾート産業の振興)	36	22	1			13
（2）圏域の特色を生かした産業の振興(地域リーディング産業の振興)	2	1	1			
（3）圏域の特色を生かした産業の振興(農林水産業の振興)	7	4	1			2
（4）圏域の特色を生かした産業の振興 （臨空・臨港型産業の振興と産業イノベーションの推進）	1					1
（5）個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成（中部都市圏の機能高度化）	1					1
（6）生活圏の充実（生活環境基盤等の整備）	2	2				
計	49	29	3	0	0	17
総　計	1264	796	64	2	38	364
割合（%）		63%	5%	0.2%	3%	29%

主な成果目標（指標）の達成状況及び今後の取組み方針等

将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して

赤土等流出防止対策事業（石垣市）

農地からの赤土流出防止を図るため以下の取組みを実施した。
①グリーンベルト（ベチベル・月桃）の設置
②緑肥（クロタラリア・ピジョンピー・ひまわりの種）の提供
③株だし管理機材の導入
④石垣市内にある沈砂地の土砂浚渫

成果目標	成果実績
グリーンベルト及び緑設置面積 60ha 株だし管理機材の導入 1機 沈砂地の浚渫 14箇所	グリーンベルト及び緑設置面積 69ha 株だし管理機材の導入 1機 沈砂地の浚渫 14箇所

目標を達成

クロタラリア2,014kg(40.3ha相当)とひまわり862kg(28.7ha相当)もの緑肥種子を投入することで、広範囲にわたって緑肥種子播種による赤土流出防止対策を講じることができた。石垣市内にある沈砂池14箇所の土砂浚渫を行うことによって、当該沈砂池周辺からの赤土流出防止対策を講じることができた。

全島獅子舞フェスティバル事業（うるま市）

無形民俗文化財（民俗芸能）としての獅子舞の保存・継承・発展に寄与するとともに、沖縄らしい新たな文化観光を構築するため、全島獅子舞フェスティバルを開催した。

成果目標	成果実績
全島獅子舞フェスティバルの入場者数 4,000人	全島獅子舞フェスティバルの入場者数 3,000人

目標を概ね達成

成果実績を踏まえ

取組内容の検証

【推進上の留意点（推進上の問題点、外部環境の変化）】
・会場変更にかかる周知方法に課題があった。
・会場内のトイレ、照明等の設備不備がみられた。
・以前は、市庁舎駐車場からのシャトルバスを運行していたが、駐車場不足解消のため今回は、市民芸術劇場の駐車場からのシャトルバス運行に切り替えたが、参加者への周知不足があった。

【改善余地の検証（効率の更なる向上）】
・会場内（闘牛場）のトイレ、照明等の設備の改修について関係課と連携・調整を行う。
・市民芸術劇場よりシャトルバスを運行していることを広報紙、ホームページを活用し、周知を図る。

今後の取組方針

・会場を安慶名闘牛場へ戻したことにより、来場した方々から好評であった。今後も闘牛場での開催を継続する。
・　開催会場について従来行ってきた周知方法に公共ホール等へのポスター掲示依頼、イベント情報誌等への掲載を活用し周知を十分に行う。
・トイレ等の設備改修については関係部局へ要請を行い修繕を行うことで調整。
・来場者への駐車場について、市広報誌、ホームページを活用し、周知を十分に行う。
・会場周辺施設へ駐車場として借用等に関する協力要請を行う。

将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して

ほっと・ハート子育て応援事業（与那原町）

安心安全な保育を確保するため、0歳児を9人以上受け入れるために看護師を配置する認可保育園へ看護師の雇用に係る経費を補助した。

※児童福祉施設最低基準により、乳児9人以上を入所させる保育所にあっては保健師又は看護師を1人置くよう努めることとされている。

事業実施前	成果目標	成果実績
与那原町における0歳児待機児童数（各年10月現在）24人	与那原町における0歳児待機児童数（各年10月現在）14人	与那原町における0歳児待機児童数（各年10月現在）14人
		目標を達成

保育園（3園）へ看護師を配置したことで、0歳児の待機児童の受け入れが拡充され、24人の0歳児待機児童数（平成23年10月）が10人減少した。

預かり保育事業（豊見城市）

ひとり親世帯や共働き世帯等で、午後の保育に欠ける幼児を受け入れるため、各幼稚園に合計21名の預かり保育担当教諭を配置した。

事業実施前	成果目標	成果実績
預かり保育を実施した園児数323名	預かり保育を実施した園児数400名	預かり保育を実施した園児数405名
		目標を達成

ひとり親世帯や共働き世帯等で、午後の保育に欠ける世帯からの申請を405件受け入れ、預かり保育要望世帯に対しての保育実施率を100%達成した。

仮戸籍申請書の電算化事業（金武町）

戦争で多くが消滅した戸籍のうち、復元の過程の戸籍で仮戸籍として再製されているが、紙媒体のため保存状態も悪く、また不備も多く手続きに支障が出ている。そのため電算化することにより行政サービスの向上を図った。

事業実施前	成果目標	成果実績
仮戸籍申告書の電算化率0%	仮戸籍申告書の電算化率100%（所有する仮戸籍申告書を全て電子データ化する）	仮戸籍申告書の電算化率100%
		目標を達成

仮戸籍申告書1,497戸（14,115枚）を電算化することができた。

気になる子巡回相談事業（うるま市）

保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、専門指導員による相談・支援を行った。

成果目標

巡回相談実施施設数
（延数）
60施設

成果実績

巡回相談実施施設数
（延数）
21施設

目標を未達成

成果実績を踏まえ

取組内容の検証

【推進上の留意点（推進上の問題点、外部環境の変化）】
・保育施設職員の相談業務が事業の主な内容だが、保育施設から保護者への相談業務や障害認定の依頼があったり、事業内容の周知が十分ではなかった。
・臨床心理士・認定心理士の確保ができない。（専門指導員を2人配置予定だったが、臨床心理士・認定心理士の採用ができず専門指導員1人のみの配置となった）
・63ヶ所の保育施設を専門指導員1名で巡回となると、依頼を受けて対応できるまでに時間がかかる。

【改善余地の検証（効率の更なる向上）】
・集団での事業説明会だけでは解釈の仕方が異なったため、継続して保育施設を訪問したり個別の説明を行うことで相談業務内容の周知・理解を図る。
・臨床心理士・認定心理士の募集を関連機関に協力を依頼し、場合によっては条件の見直しを行う。
・保育施設（職員）へのスムーズな対応のためにも、専門指導員の増員（臨床心理士・認定心理士）が必要。

今後の取組方針

・気になる子巡回相談事業の内容を、保育施設に個別に説明し周知を行う。（継続）
・うるま市内保育施設63ヶ所への気になる子の巡回相談の実施。（継続）
・気になる子巡回相談充実のため、臨床心理士・認定心理士（専門相談員）の確保。
・うるま市内保育施設職員を対象とした研修会の実施。

将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

渡嘉敷村災害に強い観光地づくり事業（渡嘉敷村）

安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するため、災害情報や避難伝達情報等の伝達体制を強化するための屋外子局の増設や、正確な情報を提供するための、村内全戸へ戸別受信機を設置する。

成果目標

既存アナログ防災行政無線をデジタルへ移行
屋外子局を3局増設し計8局とする。
戸別受信機を100%整備

成果実績

既存アナログ防災行政無線をデジタルへ移行
屋外子局を3局増設し計8局とした。
戸別受信機を100%整備

目標を達成

屋外子局の増設や村内全戸への戸別受信機の設置により、難聴地域の解消や正確な情報伝達を行うことができる基盤が整った。

ファンを育てる観光地ポータルサイト作成事業（座間味村）

座間味村の唯一の産業である観光の振興を図るため、村の観光ポータルサイトとなる公式WEBサイトを制作し、最新の観光情報を提供できる更新システムを構築することで、増加する外国人への多言語対応を図った。
さらに、現在有料メンバーを対象にサービス提供している村営船舶WEB予約を一般客にも広げ、クレジットカード決済による利便性の向上などを図った。

事業実施前

村の観光ポータルサイト
月間PV 144,418
（24年4月）

成果目標

・観光関連情報等の配信充実
・多言語翻訳システム構築
・船舶予約カード決済システムの構築

成果実績

村の観光ポータルサイト
月間PV 274,769
（25年5月）

目標を達成

アクセス数向上面では、昨年同月を2倍近く上回り、訪問した閲覧者の滞在時間も5分以上をキープしていることから、多くの見込み客に豊富なコンテンツをじっくり楽しんでもらっていることがわかる。本村の自治体規模からしても月間274,769は圧倒的なページビューといえる。一部事業所においては、村WEBサイトを通じて数多くの問い合わせがあるなど、村内外から大きな反響を得ている。

那覇市コンビニＡＥＤステーション設置事業（那覇市）

観光客の受入体制の整備として、地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組んだ。

事業実施前

那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置率
0%

成果目標

那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置率
100%

成果実績

那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置率
100%

目標を達成

那覇市内24時間営業の全１１８店舗にAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組んだ結果、消防本部が実施している応急手当講習の受講者も急増し、AEDの重要性が広く広報できた。
平成25年度に、路線バスの運転手がコンビニのAEDを活用して１名の命を救った。

ハブクラゲネット設置事業（宮古島市）

夏場のビーチ内で毒性の強いハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があることから、海水浴客の安全を確保するため、ハブクラゲ侵入防止ネットを設置した。

事業実施前	成果目標	成果実績
ハブクラゲ刺症 被害者数：8名 （23年度）	ハブクラゲ刺症 被害者数：0名	ハブクラゲ刺症 被害者数：3名
		目標を未達成

成果実績を踏まえ

取組内容の検証

【推進上の留意点（推進上の問題点、外部環境の変化】
ハブクラゲ侵入防止ネットの設置期間を観光客のトップシーズンである6月～10月までとしていた。24年度は月別の刺症被害者数のデータが無く3名の刺症被害発生時期は不明であるが、海水浴シーズンはじめの4月～5月の間の刺症被害が懸念される。
※25年度については月別に刺症被害者数を把握している。

【改善余地の検証（効率の更なる向上】
4月～5月には海開き及びゴールデンウィークがあり、海開きと同時期に設置することが望ましい。それに加え、海水浴客の増加により、ハブクラゲ侵入防止ネットの外で被害に遭うことも懸念されるため、海水浴客が安心安全に楽しむことができるよう、遊泳範囲を拡大する必要がある。

今後の取組方針

刺症被害を防止するため、海開きと同時期からハブクラゲ侵入防止ネットの設置を行う。さらに、海水浴客が増加する場合には、ハブクラゲ侵入防止ネットの延長を200mから300m程度に延長することも検討する。

アグリビジネス推進事業（沖縄市）

農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響の受けにくい食用菊の栽培施設（強化型パイプハウス）の整備に対し、沖縄県農業協同組合へ支援を行った。

事業実施前	成果目標	成果実績
食用菊強化型パイプハウス設置農家戸数　0戸 食用菊強化型パイプハウス設置面積　0㎡	食用菊強化型パイプハウス設置農家戸数　5戸 食用菊強化型パイプハウス設置面積　5,124㎡	食用菊強化型パイプハウス設置農家戸数　5戸 食用菊強化型パイプハウス設置面積　5,124㎡
		目標を達成

台風等の自然災害に影響を受けくい強化型パイプハウス設置により、安定供給出来る生産体制が整い、県内外へ新鮮で安心・安全な食用菊の出荷が可能となる。
（参考）強化型パイプハウス設置後の食用菊の生産量の目標：6.9t（23年度）⇒15.0t（27年度）

コンカレントエンジニア人材養成事業（うるま市）

企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であり、地域の若年者、未就職卒業者を新たに雇用した上で、当該労働者に対し、地域の企業等で就業するために必要な知識・技術をOFF-JT（講義等）、OJT（職場実習等）により習得するための研修及び短期間で習得可能な研修を開催した。

事業実施前	成果目標	成果実績
金型技術者人材育成数 10人	金型技術者人材育成数 25人	金型技術者人材育成数 59人

目標を達成

研修生の内、54人は企業に所属する技術者。その他の研修生は、求職者を中心にハローワーク等で応募をかけ、5人を選抜（10名面接し5名を研修生として受け入れた）し、研修後、求職者（5名のうち4名はうるま市民）全員の就職に繋がった。（就職先は、県内及び県外企業となっている）
目標を上回った要因として、短期研修のカリキュラムが、これまでに沖縄で開催されたことがない内容であったことから、県内の企業から好評で、受講生の増加につながった。

ハートフルサポート基盤整備事業（座間味村）

離島である座間味村において、地理的要因によって必要な社会福祉サービスを享受できないことがないよう、社会福祉サービスの拠点となる複合施設を整備した。

事業実施前	成果目標	成果実績
・小規模多機能居宅介護定員0人 ・短期入所定員0人	・社会福祉法人による施設開所（H24年10月） ・小規模多機能居宅介護定員25人 ・短期入所定員4人	・社会福祉法人による施設開所（H24年10月） ・小規模多機能居宅介護定員25人 ・短期入所定員4人

目標を達成

・小規模多機能居宅介護事業所を座間味村において、新規開設。24時間切れ目の無い介護サービスが提供可能となった。（登録者数4名）
・これまで、人材不足により実施できなかった短期入所サービスを施設の整備に伴い実施することが可能となり、介護家族の負担軽減を図ることができた。（利用者数6名、延べ利用日数29日）

竹富町妊婦支援事業（竹富町）

竹富町には産婦人科の医療機関がなく、妊婦は町外の出産施設へ待機宿泊をする必要があり経済的負担となっている。そのため、妊娠出産にかかる経済的負担の軽減を図り定住環境の充実を図るため、妊婦の渡航費並びに県内での宿泊費を助成した。

成果目標	成果実績
妊婦運賃助成：200回 妊婦宿泊助成：200日間	妊婦運賃助成：189回 妊婦宿泊助成：290日間

目標を達成
（助成要望を実施）

妊婦の渡航費並びに県内での宿泊費を助成し、妊娠出産にかかる経済的負担の軽減を図った。

将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して

（仮称）国際交流センター事業（沖縄市）

語学力や異文化理解能力の向上を目的に、多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点（コザインターナショナルプラザ）を設置し、各種語学講座等を実施した。

成果目標

多言語講座受講者数　600人（延べ）
相談件数　20人（延べ）

成果実績

多言語講座受講者数　672人（延べ）
相談件数　23人（延べ）

目標を達成

成果実績は目標を上回ったものの、コザインターナショナルプラザ来所者に占める外国人市民の割合が少ないことから、外国人市民への周知や日本語講座等の実施などにより多くの外国人市民の利用促進を図り、多様な国籍の住民等が交流できる拠点づくりを目指す。

石垣港国際交流拠点形成事業（石垣市）

市の観光振興を図るため、大型旅客船に対応したレクリエーション機能を合わせ持つターミナルビル設置を検討し、観光産業を含む国際交流拠点形成に向けた調査等を実施した。

成果目標

外航クルーズ船のニーズに対応したターミナルビルの規模・機能等に係る検討調査の実施

成果実績

外航クルーズ船のニーズに対応したターミナルビルの規模・機能等に係る検討調査の実施

目標を達成

国際交流拠点の形成に向け、大型旅客船に対応したターミナルビル及びレクリエーション施設・商業施設の導入の調査検討を実施した。
今後、港湾全体の整備計画と連携を取り、石垣港を取り巻く社会情勢の変化を勘案しつつ整備を進める事でより利便性の高い施設を建設する事ができ、国際色豊かな空間を創出することで交流拠点として観光振興を推進していく。

沖縄戦戦後復興調査事業（北中城村）

戦争当時の状況を知る者が高齢化する中で、戦後の復興体験を後世に伝えるため、米兵が綴った日誌など、未調査の英文資料（比嘉太郎・マーフィン資料）の翻訳及び聞き取り調査を実施した。

成果目標

資料翻訳の実施　：25件
聞取調査テープの
文字起こし　　：30件

成果実績

翻訳：7件
文字起こし：5件

目標を未達成

成果実績を踏まえ

取組内容の検証

【推進上の留意点（推進上の問題点、外部環境の変化）】
・英文資料とカセットテープ資料について、資料の重要度に差があることから、調査を実施する優先順位などに検討の余地がある。
・聞き取り調査において対象者をリストアップしたが、約30名と多人数にわたることと、想定していた以上に聞き取り調査そのものに時間がかかることから、聞き取り調査の手法について見直しが必要ないか検討の余地がある。

【改善余地の検証（効率の更なる向上）】
・英文資料、カセットテープ資料の重要度を事務局の可能な範囲で精査し、重要度に応じた資料整理を行う必要がある。
・聞き取り項目のポイントを絞り、聞き取り調査のスピード化を図るなどして、効率化を図る必要がある。

今後の取組方針

・翻訳対象資料を精選し、優先度の高いものから翻訳業者へ発注する。
・集落内の調査方法や地元住民からの聞き取り方法を、専門部会で再検討する。

将来Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して

家庭学習支援モデル事業（与那国町）

小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を実施した。また、授業については現役東大生が講師となり、単に知識のみでなく、勉強の方法や学ぶ姿勢を身につける場とし、日本最西端の離島の地において、都市と同様の教育環境を整えた。

事業実施前

学習塾受講率
中学生　62%
（中学生のみ実施）

成果目標

学習塾受講率
中学生　60%
小学生　51%

成果実績

学習塾受講率
中学生　60%
小学生　51%

目標を達成

教育環境格差の大きい与那国町の児童生徒の半数以上が学習塾を受講し、勉強の方法や学ぶ姿勢を身に付け、学力の向上に資する取り組みができた。

中国厦門（アモイ）理工学院留学生派遣事業（宜野湾市）

国際的視野を持った人材育成を図るため、友好都市である中国福建省厦門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣した。

成果目標	成果実績
留学生派遣人数 1人	留学生派遣人数 1人

目標を達成

海外友好都市提携先である中国福建省厦門市への留学生派遣を通じ、国際的視野を持つ人材の育成が図られる。また、派遣された留学生は語学を中心とする講義を学ぶ傍ら、厦門市民との交流を通して得られる中国の文化・生活等を広く宜野湾市民に周知することができる。

パソコン指導員配置事業（嘉手納町）

教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたるとともに、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図るため、町立幼・小・中学校にパソコン指導員を配置した。

成果目標	成果実績
パソコン指導員配置数 小学校　2人 中学校　1人	パソコン指導員配置数 小学校　2人 中学校1人

目標を達成

成果実績を踏まえ

取組内容の検証

【推進上の留意点（推進上の問題点、外部環境の変化）】

ICT支援員が担任や教科担当の授業補佐、授業支援をおこなうことで教育の情報化（児童生徒の情報活用能力の育成、学習指導におけるICT活用、校務の軽減）を推進しているが、以下の点で課題が見られる。

ア、事業の定量的な効果をどのような方法で検証するか。
イ、事業効果をあげるための情報収集や周知をどのように行うか。
ウ、機器整備計画と連動した支援員の効率的な活用をどのように図るか。

【改善余地の検証（効率の更なる向上）】

さらなる事業効果を上げるために、課題に対応した取組の視点を以下にあげる。

ア、事業効果を検証的データ（数値データ）でも検証できるようにする。
イ、事業の進捗状況把握や周知を図るための定期的な会議を開催する。
ウ、他部局との整備計画についての連携を図り、事前の研修や機器活用による効果性についての指標を作成する。

今後の取組方針

・小学校においては、キーボード操作能力を高めるためにキーボード操作検定サイト（キーボー島）の各学年目標級を設定し、達成に向けての取組を行う。
・中学校においてはパソコン検定の目標級を設定し、合格率を向上させるような取組を図る。
・定期で学校の情報担当・ICT支援員の連絡会を開催し、授業補佐・授業支援の状況・キーボード操作検定サイトやパソコン検定の進捗状況を確認し、指導助言を行う。
・連絡会において整備計画等についての周知を行うとともに、新しい機器の操作や効果的活用について研修を実施する。
・効果についてはPDCAのサイクルによる視点で検証を行い、次年度にむけての事業取組へ反映させる。

平成２４年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業成果一覧

平成25年8月6日

那覇市	1	嘉手納町	134
宜野湾市	25	北谷町	136
石垣市	32	北中城村	139
浦添市	44	中城村	145
名護市	53	西原町	149
糸満市	57	与那原町	152
沖縄市	66	南風原町	156
豊見城市	74	渡嘉敷村	165
うるま市	79	座間味村	167
宮古島市	90	粟国村	170
南城市	100	渡名喜村	171
国頭村	106	南大東村	172
大宜味村	111	北大東村	175
東村	113	伊平屋村	176
今帰仁村	115	伊是名村	180
本部町	119	久米島町	183
恩納村	123	八重瀬町	188
宜野座村	125	多良間村	192
金武町	127	竹富町	193
伊江村	129	与那国町	198
読谷村	130		

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光プラザ整備事業	H24～H25	観光都市としての国内・国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぶす那覇」に観光案内所を整備する。	観光案内所設置のため、区分所有建物を確保	－	繰
1	②	那覇港観光客利便性向上施設整備事業	H24～H25	観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。	那覇港のボーディングブリッジ整備に係る仕様書作成	－	繰
1	③	奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業	H24	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場と屋内運動場及び関連する周辺施設整備等の機能強化を行う。	野球場人工芝の整備 防球ネット設置工事 屋内運動場側広場暗渠排水施設整備 フロアーシート等備品購入	－	繰
1	④	市民体育館イベント誘致機能強化事業	H24	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう音響設備及び空調設備を整備し、機能強化を図る。	市民体育館空調機整備 市民体育館音響設備整備 市民体育館備品購入（空手競技用）	－	繰
1	⑤	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	H24	伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。	伝統工芸品のブランディング強化 特別展示室の観光客受入整備 琉球ガラス体験の受入整備	伝統工芸品のブランディング強化 特別展示室の観光客受入整備 琉球ガラス体験の受入整備	◎
1	⑥	常設展音声ガイダンス事業	H24	壺屋焼物博物館を観光施設としてグレードアップするため、常設展示コーナーの案内を外国人観光客に対応した多言語音声システムを整備する。	壺屋焼物博物館音声ガイダンスシステムの整備	壺屋焼物博物館音声ガイダンスシステムの整備	◎
1	⑦	公設市場環境整備事業	H24	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグヮーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。	・LED照明の設置 ・市場壁面のペイント ・市場エスカレーターの改修 ・多目的トイレの整備	－	繰
1	⑧	「那覇の祭り」模型制作設置事業	H24	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉とするため、那覇市を代表する祭り（那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭）のジオラマ模型を製作する。	那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭のジオラマ模型を製作、展示、PR	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	プラネタリウム番組開発事業	H24～H28	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のプラネタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。	プラネタリウム年間観覧者数：23,000人	プラネタリウム年間観覧者数：24,000人	◎
1	⑩	壺屋地区シンボルシーサー整備事業	H24	観光都市としてのグレードアップを図るため、壺屋焼巨大シーサーをやちむん通りの入り口となる牧志壺屋線の広幅員の歩道部（シンボル広場）に設置し、併せて多言語の観光案内施設を整備する。	シンボルシーサー音声案内利用回数：1,000回	シンボルシーサー音声案内利用回数：約3,600回	◎
1	⑪	那覇市旧跡・歴史的地名標示事業	H24～H25	観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から昭和戦前期にかけて存在した那覇市内の旧跡地等に標示板を設置する。	旧跡・歴史的地名表示板設置：：47基 標示版企画展の開催 標示版広報	－	繰
1	⑫	首里地区回遊促進案内板等設置事業	H24	観光都市としての景観・美観形成のため、特に観光客が多く、本市伝統文化の香りが残る首里城を中心とした首里地区に、地区内回遊促進のための調査を実施する。	首里地区における、案内板設置等の推進により地区内回遊を促進するための実施計画案の策定	首里地区における、案内板設置等の推進により地区内回遊を促進するための実施計画案の策定	◎
1	⑬	バス停上屋整備事業	H24～H26	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置：５基	－	繰
1	⑭	交流オアシス整備事業	H24～H27	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース（交流スペース）の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	交流オアシス基本計画策定	－	繰
1	⑮	亜熱帯庭園都市の歩行者専用道路整備事業	H24	観光地としてのグレードアップを図るため、那覇新都心シビックコア地区計画に基づき、官庁施設や商業施設をつなぐ亜熱帯庭園都市にふさわしい歩行者専用道路を整備する。	那覇新都心シビックコア地区における歩行者専用道路の整備延長率：100%	那覇新都心シビックコア地区における歩行者専用道路の整備延長率：100%	◎
1	⑯	市内観光地観光客安全対策事業	H24	観光都市としてのグレードアップと、観光客等の安心安全確保のため、市内観光地に防犯カメラを設置する。	主要観光地（施設）における防犯カメラ設置補助件数：２件	主要観光地（施設）における防犯カメラ設置補助件数：２件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑰	歴史散歩道整備事業	H24～H27	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、①やちむん通り②赤平当蔵線③しんかのちゃーまーい等の道路の公共空間において、路面改良、道路緑化・美化を行う。	歴史散歩道設置：4地区	－	繰
1	⑱	那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業	H24	観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好姉妹都市のシンボルとなるよう、巨大龍を作成し、那覇ふ頭旅客バースからの観光客迎え入れゲート的位置にある松山公園へ設置する。	シンボル施設の作成・設置：1基	－	繰
1	⑲	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。	・幹線道路及び観光地周辺市道の除草 ・街路樹剪定：1,350本 ・街路樹の植樹：480本	－	繰
1	⑳	那覇の観光イメージアップ事業	H24	観光都市としての景観・美観の確保のため、国際通り等の観光地の歩道路面に点在し景観悪化を招いている付着物の除去作業を行う。	・国際通りの環境美化（歩道付着物（ガム等）の一斉除去）の実施	・国際通りの環境美化（歩道付着物（ガム等）の一斉除去）の実施	◎
1	21	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、遊具・トイレ等の整備を行う。	・観光地周辺公園のトイレ整備棟：　2棟 ・桜の植樹：　70本 ・福州園の樹木剪定：　225本	－	繰
1	22	中心市街地における公園再生事業	H24	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地である中心市街地周辺の公園の課題を整理して、基本計画やパースを作成する。	中心市街地における公園再生計画の策定	－	繰
1	23	亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業	H24	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上宮やビーチがある旭ケ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊園路を整備する。	旭ヶ丘公園のり面保護施設整備：　316㎡ 旭ヶ丘公園回遊園路の整備：　44㎡	－	繰
1	24	市花木等普及推進事業（公共空間への植樹）	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビレアにより、公共空間の緑化に取り組む。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の公共空間への植栽：120㎡	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	25	ベランダ緑化推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：300鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地へブーゲンビレア苗等の配布：240鉢	○
1	26	花いっぱい運動推進事業	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗の配布を実施する。	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：26,000鉢	国県市管理幹線道路及び観光地周辺公園・道路沿線等の宅地等へ草花苗の配布：33,504鉢	◎
1	27	緑の診断・生育事業（公共空間）	H24～H33	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入れ替え等を行う。	緑の診断・生育マニュアルの策定	緑の診断・生育マニュアルの策定	◎
1	28	桜の名所づくり事業	H24～H27	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園などの候補地を選定する、桜の育成環境調査を行う。	桜の名所づくり調査報告書の策定	－	繰
1	29	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	H24～H25	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	薬剤の樹幹注入：　321本	－	繰
1	30	那覇爬龍船競漕振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「爬龍船競漕」を実施している那覇爬龍船振興会に対して事業支援を行う。	・那覇爬龍船振興会への補助 （那覇ハーリー会館建設支援等）	－	繰
1	31	那覇大綱挽振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。	那覇大綱挽まつり会場来場者数：400,000人	那覇大綱挽まつり会場来場者数：400,000人	◎
1	32	琉球王朝祭り首里振興事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。	琉球王朝祭り首里観客動員数：56,000人	琉球王朝祭り首里観客動員数：58,000人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	33	プロ野球キャンプ等支援事業	H24～H33	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数：9,500人／日	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数：5,796人／日	未
1	34	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業	H24	観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAマラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピータを増やすための交流イベントを開催する。	NAHAマラソンジョガー交流会参加者数：800人	NAHAマラソンジョガー交流会参加者数：800人	◎
1	35	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24～H33	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数：9,500人／日	読売巨人軍那覇キャンプ見学者数：5,796人／日	未
1	36	国際通りとマチグワァーのにぎわい事業	H24～H33	ひやみかちマチグヮー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。	さいおんスクエア前広場イベントへの来場者数：　1,000人／日	さいおんスクエア前広場イベントへの来場者数：　1,158人／日	◎
1	37	パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業	H24～H33	観光誘客のため、国際通りトランジットモールでのイベント・パフォーマンス等を行うことにより、国際通りの活性化を推進する。	トランジットマイル開催時の通行者数：20,000人／日	トランジットマイル開催時の通行者数：20,000人／日	◎
1	38	国際通りトランジットマイル推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	トランジットマイル開催時の通行者数：20,000人／日	トランジットマイル開催時の通行者数：20,000人／日	◎
1	39	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業	H24	観光都市としてのグレードアップを図るため、国際通りでのトランジットモールを活用した定期的なダンスイベントを実施し新たな観光資源とする。	ストリートダンスバトル来場者数：6,000人	ストリートダンスバトル来場者数：6,000人	◎
1	40	中心商店街活性化支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業やイベント等の支援を行う。	中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援件数：9件	中心商店街（マチグヮー）が実施するイベント等の支援件数：9件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	41	マチグヮー屋台村構想事業	H24	観光誘客と観光地としてのグレードアップを図るため、国際通り及びさいおんスクエア周辺など中心市街地に屋台村を設置する。	屋台村への来場者数：1,000人／日	屋台村への来場者数：1,057人／日	◎
1	42	一万人エイサー踊り隊推進事業	H24	伝統と文化に根差した観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	一万人エイサー踊り隊来場者数：73,000人（県外13,000人、県内60,000人）	一万人エイサー踊り隊来場者数：73,000人（県外13,000人、県内60,000人）	◎
1	43	那覇まちまーい推進事業	H24～H33	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	那覇まちま～いへの参加者数：6,200人	那覇まちま～いへの参加者数：6,571人	◎
1	44	「なはの日」ウチナーグチ再発見イベント	H24	観光地らしさとウチナーグチの普及啓発による観光都市としての魅力を高めるため、「なはの日」に合わせてイベントを展開する。	「なはの日」関連イベント会場への来場者数：2,000人	「なはの日」関連イベント会場への来場者数：3,200人	◎
1	45	「JAZZ Night in 那覇」事業	H24	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。	JAZZイベント来場者数：2,400人	JAZZイベント来場者数：2,985人	◎
1	46	歴史博物館企画展事業	H24～H33	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	歴史博物館来場者数:14,000人	歴史博物館来場者数:16,950人	◎
1	47	観光イベント安全確保事業	H24～H33	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。	那覇大綱挽まつり来場者数：400,000人 琉球王朝祭り首里来場者数：56,000人	那覇大綱挽まつり来場者数：400,000人 琉球王朝祭り首里来場者数：58,000人	◎
1	48	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「WiFi化計画」	H24～H33	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通り等に無料公衆無線LAN環境を構築し、まち歩き観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	那覇市内に公衆無線LANのAPを100カ所以上設置	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	49	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24～H33	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りの中心地域に大型ビジョンを設置し、観光情報や地域イベント、防災情報等を発信する。	那覇市ぶんかテンブス館に大型LEDビジョンを整備：1台	－	繰
1	50	県外メディア誘致観光プロモーション	H24	観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。	県外テレビ番組の放映回数：2回	県外テレビ番組の放映回数：2回	◎
1	51	観光宣伝誘致強化事業	H24	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。	ガイドマップ配布数：20,000部 アンケート実施数：250件	ガイドマップ配布数：20,000部 アンケート実施数：252件	◎
1	52	移動式車載大型ビジョン	H24	イベント等における観光情報の発信力を高めるため、移動式車載大型ビジョンを整備して、那覇マラソンや那覇大綱挽などの観光イベント、クルーズ船寄港時の歓迎セレモニーなどで映像放映を行う。	移動式車載大型ビジョンの購入・整備：1台	－	繰
1	53	観光資源データベース登録事業	H24	観光情報の発信力を強化するため、ホームページ上に本市文化財等の観光資源紹介を作成・掲載する。	市内観光資源のデータベースシステム構築（日本語、英語）	市内観光資源のデータベースシステム構築（日本語、英語）	◎
1	54	那覇市内観光周遊バス実証実験事業	H24～H26	観光都市としてのグレードアップを図るため、市内観光地やホテル等を回るバスの運行についての実証実験を行う。	実証実験の準備（バス等の手配、バスのラッピング、試乗会、広報等）の実施	－	繰
1	55	安心・安全なマチグヮー地区実証実験事業	H24	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、中心商店街で二輪駐輪場の実証実験を行い、観光拠点としてのマチグヮーの魅力向上と商店街の活性化に取り組む。	マチグヮーにおける二輪駐輪場利用台数（実証実験時）：50台／日	－	繰
1	56	人・地球にやさしいミスト事業	H24	観光地としてのグレードアップ及び誘客効果と環境負荷低減等のため、ミスト発生器をイベント時や公共施設等において実証実験を行う。また、引き続きミスト器の利用を通した、利活用を図る。	イベントや公共施設等で実証実験を実施 活用方法の提案策定	イベントや公共施設等で実証実験を実施 活用方法の提案策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	57	那覇三大祭りを中心とした観光振興調査研究事業	H24	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉として活用するため、市を代表する祭り（那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭）を活かす事業展開について調査研究を行う。	他県の祭りを中心とした観光振興事例調査 観光資源としての祭りの活用方策検討	－	繰
1	58	那覇市みどり実施計画事業	H24	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、本市の緑化推進のための具体的方策となる実施計画を策定する。	みどり実施計画の策定	－	繰
1	59	びんがた体験型観光施設基本構想調査事業	H24	観光都市としてのグレードアップを図るため、伝統工芸品である琉球びんがたを活かした体験型観光施設の整備に向けた基本構想を策定する。	びんがた体験型観光施設基本構想の策定	びんがた体験型観光施設基本構想の策定	◎
1	60	壺屋地区まちづくり総合計画推進事業	H24	観光都市としての景観・美観の創出のため、「やちむんの里」壺屋において、陶器関連産業再生のための調査と沖縄らしい美しい街並みの再生・創出に向けた総合的なまちづくり調査を実施する。	壺屋地域整備計画案の策定	壺屋地域整備計画案の策定	◎
1	61	景観まちづくり推進事業	H24～H26	観光都市としての景観・美観の再生・創出・継承のため、景観向上行動計画を策定する。また、 市内全域における屋外広告物について、現況調査などを行う。	・景観向上行動計画(首里、識名、壺屋地区)の策定 ・屋外広告物現況調査（市全域）に基づく民間広告物管理システムの更新	－	繰
1	62	新垣家住宅登窯保存活用計画策定事業	H24	観光都市としてのグレードアップを図るため、本市伝統工芸の郷・壺屋地区の新垣家住宅登窯をシンボルとして保存活用するための計画を策定する。	登窯の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	登窯の保存管理・環境保全・防災・活用等の計画策定	◎
2	①	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24～H33	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。	市魚マグロ等イベント開催回数：3回 市魚マグロ等イベント来場者数：20,000人	市魚マグロ等イベント開催回数：5回 市魚マグロ等イベント来場者数：20,000人以上	◎
2	②	中層浮漁礁設置強化事業	H24	本市の漁業振興を図るため、沖縄独特のマグロ漁法である浮漁礁設置に対して補助を行う。船舶の航行に支障がなく耐久性に優れた中層浮漁礁を設置し、市魚マグロを中心とする水産業の振興を行う。	中層浮漁礁2基の新規設置	中層浮漁礁2基の新規設置	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	那覇市沿岸漁協施設整備事業	H24	本市産業の振興発展を図るため、那覇市沿岸漁協施設の整備に対して補助を行い、水産業の振興を行う。	泊船揚場の台車1台及びレール改修台数1ヶ所	泊船揚場の台車1台及びレール改修台数1ヶ所	◎
2	④	泊セリ市場環境整備事業	H24	本市産業の振興発展を図るため、泊セリ市場の改修に対する補助を行い、水産業の振興と合わせて観光拠点化についても考慮した取り組みを行う。	泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	泊セリ市場の壁面、階段及びトイレ改修	◎
2	⑤	漁船近代化機械設置推進補助	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。	漁船近代化機器設置の補助申請者数：20件	漁船近代化機器設置の補助申請者数：20件	◎
2	⑥	那覇市農業振興事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、農機具及びビニールハウス、簡易井戸の設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。	農機具、ビニールハウス、簡易井戸等設置の補助申請者数：50件	農機具、ビニールハウス、簡易井戸等設置の補助申請者数：54件	◎
2	⑦	地産地消推進事業	H24～H26	本市産業の振興発展を図るため、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みを行い、本市農業の振興を行う。	学校給食における地場産物の使用する割合：28%	学校給食における地場産物の使用する割合：29.2%	◎
2	⑧	農産物直売支援事業	H24	本市産業の振興発展を図るため、鏡水大根の生産支援、地元野菜の普及推進及び商品認知度向上への支援を行う。	地元野菜を活用した料理講習会参加者数：60人	地元野菜を活用した料理講習会参加者数：64人	◎
2	⑨	亜熱帯農作物加工支援事業	H24	本市産業の振興発展を図るため、ハーブの一種であるバジルを原料としたバジルソースの生産加工機材整備に対する支援を行い、本市農業の振興を行う。	地元野菜の加工商品製造機械導入支援件数：1件	地元野菜の加工商品製造機械導入支援件数：1件	◎
3	②	農連市場相対売り継承調査事業	H24～H25	本市産業の振興発展を図るため、マチグヮーの象徴である「相対売り」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態を継承するための調査事業へ補助を行う。（H24配置計画作成・ルール検討調査等）	相対売り等継承調査への支援：1件	相対売り等継承調査への支援：1件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	③	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外へ販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。	助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数: 商談件数100件　成約件数5件	助成対象期間内における採択事業者の商談件数及び成約件数: 商談件数141件　成約件数13件	◎
3	④	企業誘致促進優良オフィス認定事業	H24	本市への企業誘致を推進するため、企業向けの優良賃貸事務所等の情報を掲載するWebを作成する。	優良オフィスの認定店舗数：100件	優良オフィスの認定店舗数：70件	○
3	⑤	企業誘致活動サポート事業	H24	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	県外企業の意向調査件数：5,000件 企業訪問件数：50件 フォローアップ活動件数：100件	県外企業の意向調査件数：5,000件 企業訪問件数：50件 フォローアップ活動件数：100件	◎
3	⑥	那覇の物産展推進事業	H24～H33	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。	物産展の売上額：1,000万円	物産展の売上額：1,050万円	◎
4	①	ガントリークレーン整備事業	H24～H25	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、免震機能付ガントリークレーンを製作する。	那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	－	繰
4	②	リーファー電源整備事業	H24	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、年々需要が増大しているリーファーコンテナ（低温輸送が必要な冷凍コンテナ等）に対応するリーファー電源を増設する。	那覇港のリーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	－	繰
4	③	那覇港生活物資安定供給対策事業（浦添ふ頭防風対策事業）	H24	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、浦添ふ頭へ防風柵を設置し、新港埠頭の混雑解消と物流サービスの向上を図る。	那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	－	繰
4	④	那覇港物流ビジネスモデル導入事業	H24	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、「那覇港ビジネスモデル」の提案及び「空コンテナ」対策など那覇港物流ビジネスモデル導入に向けた取り組みを行う。	那覇港における外貿航路の社会実験開始	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑤	那覇港総合物流センター可能性調査事業	H24	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充を図るため、総合物流センター設置に向けた可能性調査を実施する。	那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	◎
5	①	（就労者向け）ITフォローアップ人材養成事業	H24	市民の就業支援と本県でニーズの多いIT業界で求められている人材育成を支援するため、IT業界に勤める方を対象としたスキル習得研修を開催する。	ITフォローアップ人材養成講座受講者数：70人	ITフォローアップ人材養成講座受講者数：77人	◎
5	②	コールセンター人材育成及びマッチング支援事業	H24～H33	市民の就業支援と本県でニーズの多いコールセンター業界で求められている人材育成を支援するため、アンケート調査を実施する。	コールセンター雇用環境実態調査件数：企業15社、勤務者1,200人、離職者100人、教育機関5件	コールセンター雇用環境実態調査件数：企業17社、勤務者1,244人、離職者107人、教育機関5件	◎
5	③	IT業界を知る講座（高校・大学生向け）	H24	市民の就業支援を行うため、高校生や大学生向けに、IT業界の職種や職場環境を理解する講座を開催し、将来の就職につなげる。	教育講座受講生徒数：60人	教育講座受講生徒数：53人	○
5	④	中学生のための仕事と社会について考える講座事業	H24	市民の就業支援を行うため、中学生を対象に将来の進路選択についての体験・参加型講座、講演会等を開催する。	キャリア教育講座受講生徒数：830人	キャリア教育講座受講生徒数：778人	○
5	⑤	訪問介護員（ホームヘルパー）養成事業	H24～H33	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、訪問介護員2級資格を取得するための講座を実施する。	訪問介護員養成人数：200人	訪問介護員養成人数：210人	◎
5	⑥	なはし就職なんでも相談センター事業	H24～H33	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数：200人	なはし就職なんでも相談センターにおける就職に結びついた相談者数：115人	未
5	⑦	人材育成施設整備基本構想策定事業	H24	将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設整備のため、公民館、図書館、教育研究所等の施設整備についての基本計画を策定する。	人材育成施設整備基本構想の策定	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	①	基礎学力向上のための学習支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したティーム・ティーチング形式等での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	・学習支援員配置学校数：小学校21校	・学習支援員配置学校数：小学校21校	◎
6	②	電子黒板整備事業（小学校）	H24	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、小学校高学年等に電子黒板を整備し、児童の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	市内小学校6学年普通教室への電子黒板設置率：100%	－	繰
6	③	電子黒板整備事業（中学校）	H24	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、全中学校に電子黒板を整備し、生徒の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	市内中学校普通教室への電子黒板設置率：100%	－	繰
6	④	小学校英語指導員配置事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を小学校各校に配置し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	市内小学校への英語指導員派遣率：100%	市内小学校への英語指導員派遣率：100%	◎
6	⑤	中学校英語指導員配置事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	市内中学校への英語指導員派遣率：100%	市内中学校への英語指導員派遣率：100%	◎
6	⑥	特別支援教育充実事業（小・中学校）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校：計64人	特別支援教育ヘルパー配置数 小中学校：計64人	◎
6	⑦	特別支援教育充実事業（幼稚園）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	特別支援教育ヘルパー配置数：幼稚園29人	特別支援教育ヘルパー配置数：幼稚園29人	◎
6	⑧	特別支援教育充実事業（幼稚園預かり保育）	H24～H33	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園13人	特別支援教育ヘルパー配置数：預かり保育実施幼稚園13人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑨	学習支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	学習支援員配置：２人	学習支援員配置：２人	◎
6	⑩	学習ボランティア支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	学習ボランティア派遣人数：48人	学習ボランティア派遣人数：48人	◎
6	⑪	学校サポートチーム支援員活用事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通した登校復帰を促す取り組みを行う。	サポートチーム支援員配置数：５人	サポートチーム支援員配置数：５人	◎
6	⑫	教育相談支援事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。	教育相談支援員配置率： 小学校100%、中学校100%	教育相談支援員配置率： 小学校100%、中学校100%	◎
6	⑬	メンタルヘルスカウンセリング事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、臨床心理士等による教育相談及び支援を行う。	相談員配置数：９人	相談員配置数：９人	◎
6	⑭	青少年旗頭事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1.100人	旗頭フェスタに参加した児童生徒数：1.148人	◎
6	⑮	那覇市児童生徒県外交流事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。	交流事業で県外に派遣した児童生徒数：38人	交流事業で県外に派遣した児童生徒数：38人	◎
6	⑯	街頭指導事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。	専任指導員配置数：６人 青少年指導員配置数：80人	専任指導員配置数：６人 青少年指導員配置数：80人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑰	生徒サポーター派遣事業	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室を設置して、非行傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	市内中学校への生徒サポーター派遣率：100%	市内中学校への生徒サポーター派遣率：100%	◎
6	⑱	スポーツ広場整備事業	H24～H25	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設としてスポーツ広場を整備する。	スポーツ広場の年間利用者数：2,700人	－	繰
6	⑲	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	大会等派遣児童生徒数（累計）：220人	大会等派遣児童生徒数（累計）：264人	◎
6	⑳	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	大会等派遣児童生徒数（累計）：280人	大会等派遣児童生徒数（累計）：280人	◎
6	21	離島等自然体験学習事業自然教室	H24～H33	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	自然体験活動を実施した児童生徒数：3,100人	自然体験活動を実施した児童生徒数：3,246人	◎
6	22	幼稚園冷房機設置事業	H24～H26	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。	幼稚園冷房施設整備：10園	－	繰
6	23	小学校施設環境整備事業（冷房設置）	H24～H28	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	小学校冷房施設整備：21校	－	繰
6	24	中学校施設環境整備事業（冷房設置）	H24～H27	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	中学校冷房施設整備：5校	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	25	幼稚園施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24～H26	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	幼稚園園舎等外壁の全面塗装工事：3園	－	繰
6	26	小学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	小学校校舎等外壁整備：2校（曙小学校、垣花小学校）	－	繰
6	27	中学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	H24～H33	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	中学校校舎外壁等全面塗装工事：1校（那覇中学校）	－	繰
6	28	園舎剥離補修業務事業	H24	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化園舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	剥離補修を実施した幼稚園の割合：100%	剥離補修を実施した幼稚園の割合：100%	◎
6	29	校舎等剥離補修業務事業（小学校）	H24～H25	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化小学校校舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	小学校剥離補修施設整備：10校	－	繰
6	30	校舎等剥離補修業務事業（中学校）	H24～H25	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化中学校校舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	中学校剥離補修施設整備：5校	－	繰
6	31	学校施設劣化調査業務事業（小学校）	H24	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、小学校校舎の劣化状況の調査を行う。	小学校校舎等劣化状況調査：25校	小学校校舎等劣化状況調査：25校	◎
6	32	学校施設劣化調査業務事業（中学校）	H24	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、中学校校舎の劣化状況の調査を行う。	中学校校舎等劣化状況調査：10校	中学校校舎等劣化状況調査：10校	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	33	幼稚園等施設遮熱・紫外線対策強化事業	H24	亜熱帯気候等に対応した子育て施策の拡充を行うため、亜熱帯気候下での保育環境を確保できるよう、幼稚園施設等の窓ガラスに防災面での配慮も兼ねた紫外線対策フィルム等を整備する。	紫外線・遮熱対策を実施した幼稚園等を利用する幼児・児童数：　3,344人	紫外線・遮熱対策を実施した幼稚園等を利用する幼児・児童数：　3,344人	◎
6	34	老朽化校舎解体工事事業（若狭小学校）	H24	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、若狭小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。	若狭小学校校舎解体	若狭小学校校舎解体	◎
7	①	伝統芸能公演事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊等の本県伝統芸能の公演会を行う。	伝統芸能公演実施回数：1回 来場者数900名	伝統芸能公演実施回数：1回 来場者数900名	◎
7	②	市民文化発信事業	H24～H33	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇等を通じた市民文化活動の発表と発信に取り組む。	平和劇、ジャズ音楽公演実施:各1回	平和劇、ジャズ音楽公演実施:各1回	◎
7	③	ハイサイ啓発推進事業	H24	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチによる案内人を庁舎内に配置し、ウチナーグチの啓発活動を行う。	ハイサイ運動の認知度：50%	ハイサイ運動の認知度：40%	○
7	④	島クトゥバ継承・普及小冊子製作事業	H24	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クトゥバ小冊子を製作し、小中学校の児童・生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	しばくとぅば普及小冊子配布数：34,000冊	－	繰
7	⑤	琉球伝統芸能継承発展事業	H24	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、伝統芸能楽器を青少年健全育成関係団体等へ貸出し、子ども達が伝統芸能に触れる機会を広く提供する。	各伝統芸能楽器（三線・大太鼓・中太鼓・締太鼓）貸出数：2団体	各伝統芸能楽器（三線・大太鼓・中太鼓・締太鼓）貸出数：2団体	◎
7	⑥	伝統芸能・文化の継承発展補助事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存・継承に関わる活動に対して補助を行う。	伝統芸能文化の保存継承活動支援団体数：5団体	伝統芸能文化の保存継承活動支援団体数：5団体	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	⑦	那覇市舞台芸術体験事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。	舞台芸術体験事業参加児童生徒数：25名	舞台芸術体験事業参加児童生徒数：19名	○
7	⑧	伝統文化継承種まき事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。	保育所1ヵ所あたりの伝統文化継承種まき事業年間実施回数：12回	保育所1ヵ所あたりの伝統文化継承種まき事業年間実施回数：12回	◎
7	⑨	子どもが輝くまちづくり事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	子どもフェスタ参加児童生徒数：600人	子どもフェスタ参加児童生徒数：630人	◎
7	⑩	郷土資料整備事業	H24～H33	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、郷土資料の充実と、「琉米文化会館」資料として引き継いだ映像資料のDVD化を行い利活用の促進を図る。	16ミリフィルムのDVD化　295本 郷土関係資料約2,000点の購入及び貸出	－	繰
7	⑪	壺屋の歴史・文化発信事業	H24	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県外に流出した沖縄固有の貴重な文化財である厨子甕を購入し、壺屋焼物博物館にて展示公開する。	厨子甕の購入 収蔵棚の整備 厨子甕の公開及び展示会の実施 壺屋焼陶工の勉強会実施	厨子甕の購入 収蔵棚の整備 厨子甕の公開及び展示会の実施 壺屋焼陶工の勉強会実施	◎
7	⑫	琉球国王「王冠」複製事業	H24	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、歴史博物館で保存している国宝指定の尚家資料の象徴である王冠の複製品を作成し、常設展示する。	「王冠」複製品の作成 複製品展示 展示広報	－	繰
7	⑬	文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館)	H24	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼物博物館の空調設備を改修し、観光施設としての機能強化を図る。	文化発信拠点（壺屋焼物博物館）整備に係る基本設計の策定	－	繰
7	⑭	文化芸術発信拠点施設整備事業（パレット）	H24～H25	沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。	パレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの施設整備	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	⑮	文化芸術発信拠点施設整備事業（市民会館）	H24～H25	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の文化芸術発信拠点施設である市民会館の備品整備と充実を図り、機能強化を行う。	市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	◎
7	⑯	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24～H30	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定を行う。	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定	新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定	◎
7	⑰	崎山御嶽修復事業	H24	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財（史跡）「崎山御嶽」を整備し、観光資源としても活用できるようにする。	崎山御嶽の修復 ・樹木伐採　13本 ・石積修復　1.25㎡ ・ブロック壁修復　6.39m	崎山御嶽の修復 ・樹木伐採　13本 ・石積修復　1.25㎡ ・ブロック壁修復　6.39m	◎
7	⑱	崎山樋川修復事業	H24～H25	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財（史跡）「崎山樋川」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。	「崎山樋川」整備に係る実施設計	「崎山樋川」整備に係る実施設計	◎
8	①	認可外保育施設の環境整備事業	H24～H33	米軍統治下で整備が遅れた保育環境に対応した子育て施策の拡充を行うため、県の補助対象外となっている市内認可外保育施設の改修費に対して補助を行う。	認可外保育施設改修件数：16園 衛生消毒及び害虫駆除を実施する認可外保育施設割合：64%	－	繰
8	②	児童クラブ賃借料補助金	H24～H33	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、児童クラブ舎の公的施設整備を進めながら、賃借料負担の無い公的施設で活動している児童クラブに比べて、賃借料等を負担し民間施設等で活動している児童クラブへの負担軽減のため、家賃等の補助を行う。	賃借料補助を行っている児童クラブ施設利用児童数：811人	賃借料補助を行っている児童クラブ施設利用児童数：811人	◎
8	③	放課後児童クラブ支援事業	H24～H33	低所得県故の共働き世帯の多さ等に対応した子育て施策の拡充を行うため、アンケート調査によるニーズ調査・研究を行い、今後の児童クラブの整備に活かすとともに、発足まもない児童クラブ等の指導員にかかる人件費の補助を行い、補助対象児童クラブへのスムーズな移行を支援する。	・子育て施策の拡充に向けたニーズ調査・研究（放課後の過ごし方、児童クラブの利用状況とニーズ等） ・指導員にかかる補助を行った対象児童クラブの児童数：169人	・子育て施策の拡充に向けたニーズ調査・研究（放課後の過ごし方、児童クラブの利用状況とニーズ等） ・指導員にかかる補助を行った対象児童クラブの児童数：169人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9	①	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム事業	H24	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、当該事業の児童生徒OB・OGとの意見交換会や、人材育成を目的としたシンポジウムを開催する。	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム参加者数：60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数：17人	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム参加者数：60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数：17人	◎
9	②	海外移住那覇市出身者研修受入事業	H24～H33	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。	南米からの研修受入人数：２人	南米からの研修受入人数：２人	◎
9	③	外国人向け情報多言語化事業	H24	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、外国人向けに本市HPを多言語化して情報発信を行う。	本市HPの生活情報多言語化整備	－	繰
10	①	那覇軍港跡地利用計画事業	H24～H33	市内に残された米軍基地問題の解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取組む。	合意形成活動全体計画見直し案の策定	合意形成活動全体計画見直し案の策定	◎
11	①	離島連携事業	H24～H26	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4つの離島と連携事業を行い、4村との交流強化に取り組む。	離島4村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数：5,000人	離島4村（渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村）への渡航費及び宿泊費を助成した市民数：2,973人	未
11	②	「Okinavita(オキナヴィータ)」動画コンテンツ制作及び配信システム構築事業	H24	県都・那覇の持つ情報発信力等を活用し離島の振興発展を支援するため、市町村共同利用型ポータルサイトに、本市と船舶航路で結ばれている離島3島の観光・自然体験をテーマとした紹介用動画を制作実装する。	Okinavita閲覧者数（PV数）：500,000件	－	繰
11	③	離島体験学習支援事業	H24～H33	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。	離島等派遣延べ人数：140人	離島等派遣延べ人数：140人	◎
12	①	環境フェアの開催事業	H24	沖縄の豊かな自然環境保全や環境負荷の低減、資源循環型社会実現等による環境共生都市の実現を目指すため、環境全分野にまたがる市民意識啓発事業として環境フェアを開催する。	・環境フェアへの来場者数：7,000人 ・各種出展ブース数　50ブース	・環境フェアへの来場者数：約8,200人 ・各種出展ブース数　55ブース	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
12	②	リユース食器活用促進事業	H24	資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。	・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個	・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個	◎
12	③	モノレール沿線ベランダ緑化促進事業	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全のため、緑のカーテンや屋上緑化のためのプランター等をモノレール沿線地域に無料配布し、亜熱帯をイメージさせる都市景観の形成に取り組む。	モノレール沿線の建築物緑化面積,2,000㎡の増加を目指す。	モノレール沿線の建築物緑化面積,2,415.6㎡の増加	◎
12	④	EV、PHV、ハイブリッド・電動ごみ収集車等導入事業	H24	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、環境意識啓発のラッピングを行ったEV、PHV、ハイブリッド・電動ごみ収集車等を導入する。	環境負荷低減型のごみ収集車等の導入率61.4%	－	繰
12	⑤	資源化車輌購入事業	H24	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、負荷低減のPRとなる電動式フォークリフトを導入する。	環境負荷低減型のごみ収集車等導入率61.4%	環境負荷低減型のごみ収集車等導入率61.4%	◎
12	⑥	観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全のため、亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境を活かした環境基本計画を策定する。	市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定	◎
12	⑦	市内井戸・湧水等調査事業	H24～H25	沖縄の豊かな自然環境保全のため、市内の井泉・湧水・井戸の現況調査を実施して、今後の水資源有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。	・井戸・湧水・井泉に対する調査件数：3,716件	・井戸・湧水・井泉に対する調査件数：3,762件	◎
12	⑧	水資源有効利用推進事業	H24～H33	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。	・雨水施設等設置費補助件数：30件	・雨水施設等設置費補助件数：10件	未
13	①	化学消防ポンプ車整備事業	H24	自然災害や米軍基地が集中することに伴う人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、航空機燃料の貯蔵取扱所等がある那覇空港での火災への対応を想定した化学消防ポンプ車を導入する。	空港等での火災に対応できる化学消防車の導入： H23年度：Ⅱ型2台 → H24年度：Ⅲ型2台（機能強化）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
13	②	多言語避難所標識設置事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、避難所案内の多言語標識を市内の観光地を中心に設置する。	多言語の避難標識設置箇所数：22ヶ所	多言語の避難標識設置箇所数：22ヶ所	◎
13	③	海抜表示看板設置事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波発生時に備えた海抜表示看板を市内各地に設置する。	海抜表示板設置箇所数：162箇所	海抜表示板設置箇所数：162箇所	◎
13	④	救命講座普及啓発推進事業	H24～H33	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	応急手当講習受講者数：5,000人	応急手当講習受講者数：6,290人	◎
13	⑤	中学校区防災安心安全マップ作成事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波などの大規模災害への対応と、地域の危険箇所を確認できるよう、中学校区ごとに防災安心安全マップを作成して配布する。	防災安心安全マップ配布数：17,000枚	防災安心安全マップ配布数：17,000枚	◎
13	⑥	防災行政無線整備事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市内全域をカバーする防災行政無線を小中学校に設置する。	小中学校・公園等に防災行政無線を設置：53基	－	繰
13	⑦	小学校安心安全防災システム導入事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう小学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。	地震・津波への対策機器設置率：小学校100%	－	繰
13	⑧	中学校安心安全防災システム導入事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう中学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。	地震・津波への対策機器設置率：中学校100%	－	繰
13	⑨	特殊災害対応資機材整備事業	H24	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、特殊災害・大規模テロ災害が発生した場合を想定した必要資機材を整備する。	特殊災害時における危険物質除去・早期鎮静化のための対応資機材の整備	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
13	⑩	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）：100%	那覇市内24時間営業コンビニにおけるAED設置店舗数（設置率）：100%	◎
13	⑪	災害対策機器整備事業	H24	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、災害時に医療救援活動を行うために必要となる備品を整備する	災害用病院備付機材の整備 自衛消防隊用機材の整備 DMAT隊用機材の整備	－	繰
13	⑫	災害ボランティア中央センター等整備事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。	マニュアルの策定 災害ボランティア中央センター備品の整備	マニュアルの策定 災害ボランティア中央センター備品の整備	◎
13	⑬	応急給水用簡易貯水槽の購入事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時における応急給水時の給水拠点となる簡易式の貯水槽を整備する。	応急給水用簡易貯水槽保有数：20基 地震等の災害発生時における応急給水人数： 13,300人／日	応急給水用簡易貯水槽保有数：20基 地震等の災害発生時における応急給水人数： 13,300人／日	◎
13	⑭	津波避難ビル建設事業	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市の海抜が低い地域に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。	津波避難ビル建設に係る基本計画・基本設計を完了	－	繰
13	⑮	大災害時における電力供給及び避難拠点の整備事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害時に備えて、環境施設組合の運営する施設を電力供給拠点及び一時避難場所として活用できるよう整備する.	消防訓練参加人数 職場100人	－	繰
13	⑯	小学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	小学校校舎屋上手摺設置工事：2校（曙小学校、若狭小学校）	－	繰
13	⑰	中学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	H24～H26	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	中学校校舎屋上手摺整備：1校 （上山中学校）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
13	⑱	災害備蓄品整備事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害に備えた非常食糧等の備蓄品を購入し整備する。	災害備蓄品備蓄率：100%	災害備蓄品備蓄率：114%	◎
14	①	戦争遺跡保存事業	H24	沖縄の抱える様々な特殊事情（沖縄戦）に対応するため、沖縄戦の弾痕が残る石壁を戦跡として保存整備し、平和学習等に活用する。	戦争遺跡の保存整備：1ヶ所	－	繰
14	②	『なぐやけ』整備事業	H24	沖縄の抱える様々な特殊事情（沖縄戦）に対応するため、戦後50周年事業の一環として建立された恒久平和モニュメント『なぐやけ』を再整備し、恒久平和の願いを発信する平和都市の記念碑とする。	恒久平和モニュメントの整備：1ヶ所	恒久平和モニュメントの整備：1ヶ所	◎
14	③	ライナープレート整備事業	H24	沖縄の抱える様々な特殊事情（不発弾処理）に対応するため、処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを整備する。	不発弾処理用防護壁（ライナープレート）の整備数：合計5セット	不発弾処理用防護壁（ライナープレート）の整備数：合計5セット	◎
14	④	地下壕対策事業	H24～H33	沖縄の抱える様々な特殊事情（地下壕）に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻を行う。	地下壕危険度の判定等及び優先度と対策工の提案をする	地下壕危険度の判定等及び優先度と対策工の提案をする	◎
14	⑤	戦略的交通まちづくり推進事業	H24～H33	沖縄の抱える様々な特殊事情（鉄軌道等整備の遅れ）に対応するため、ｶｰﾌﾘｰﾃﾞｰ等の公共交通機関利用についての意識啓発ｲﾍﾞﾝﾄ、自転車利用環境改善基礎調査等の市内公共交通環境再構築に向けた事業を行う。	カーフリー宣言者数の目標：5,000人	－	繰
14	⑥	亜熱帯庭園都市形成推進調査	H24～H33	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じたまちづくりの課題）に対応するため、道路、密集市街地、まちなか居住、下水道など環境改善の方針を定めるための基礎調査を行う。	道路・密集住宅市街地改善策・まちなか居住推進策・ガーブ川幹線雨水施設等基礎調査の実施	－	繰
14	⑦	まちづくり拠点施設・ITインキュベート施設整備事業	H24～H25	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題）に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベート施設を整備する。	まちづくり拠点施設・ITインキュベート施設の実施設計の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

那覇市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
14	⑧	良好な市街地形成に向けた共同墓（納骨壇及び合葬室）整備事業	H24～H25	沖縄の抱える様々な特殊事情（墓地問題）に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内市民共同墓施設の整備及び拡充を実施する。	那覇市民共同墓施設の整備	－	繰
15		戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業	H24～H25	沖縄の抱える様々な特殊事情（戦争により失われた戸籍の問題）に対応するため、戦災により滅失し、再製された沖縄関係戸籍を電子データー化する。	沖縄関係戸籍の電算化着手	沖縄関係戸籍の電算化着手	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	道路景観整備事業	H24～H33	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道を整備する。	・主要観光道路（市道）景観整備箇所 1路線（0.65km）	・主要観光道路（市道）景観整備箇所 1路線（0.65km）	◎
1	②	はごろも祭り・カチャシー大会運営事業	H24～H33	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭りカチャシー大会」を支援する。	コンベンションエリア入域客数 基準値（H21年）430万人以上	コンベンションエリア入域客数 基準値（H21年）430万人以上	◎
1	③	海抜表示板設置事業	H24	安心・安全な観光地として、海岸近くのコンベンションエリアを訪れる観光客や地域住民に津波に関する情報を提供するため、消火栓標識柱、電柱に海抜表示板を設置する。	海抜表示の設置 ・消火栓標識柱（146カ所）、電柱（100カ所）	海抜表示の設置 ・消火栓標識柱（146カ所）、電柱（100カ所）	◎
1	④	風景づくり推進事業	H24～H25	観光振興の観点から、自然と都市が調和した環境整備を図るため、景観計画を策定する。	景観計画（案）の作成 市民説明会、 景観委員会開催等	景観計画（案）の作成 市民説明会、 景観委員会開催等	◎
1	⑤	企画展開催事業	H24～H33	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催：8件	歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展の開催：8件	◎
1	⑥	宜野湾市産業まつり	H24～H33	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	宜野湾市産業まつりの開催	宜野湾市産業まつりの開催	◎
1	⑦	文化財説明板・標識設置事業	H24～H33	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	文化財標識・説明板設置件数：6件 地域文化財案内板設置件数：1件	文化財標識・説明板設置件数：6件 地域文化財案内板設置件数：1件	◎
1	⑧	救助艇（ボート）等購入事業	H24	市民や観光客の安心・安全を確保するため、年間32万人が利用するトロピカルビーチの最寄にある消防署に救助艇を設置し防災力の強化充実を図る。	水難事故救助艇1艇の更新整備	水難事故救助艇1艇の更新整備	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H24～H27	観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場の外野芝の張替え等整備を行い、施設の機能向上を図る。	・プロ野球キャンプ見学者数 基準値（H23年度）：27,100人 目標値（H24年度）：50,000人	・プロ野球キャンプ見学者数 実　績（H24年度）：22,300人	未
1	⑩	防災行政無線整備事業	H24	災害情報の伝達手段を確保し、住民や観光客の迅速な避難行動に繋げるため、観光施設が集中する西海岸地域における防災行政無線子局、戸別受信機の整備を行う。	・防災行政無線子局、戸別受信機整備数 防災行政無線子局　37箇所 戸別受信機　8箇所	－	繰
2	①	スクールカウンセラー活用事業	H24～H33	不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校（2名）	・スクールカウンセラー配置 市内4小学校（2名）	◎
2	②	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを設置する。	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室（2名） 市内4中学校（4名）	スクールソーシャルワーカー配置 第一相談室（2名） 市内4中学校（4名）	◎
2	③	適応指導教室事業	H24～H33	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。	適応指導教室在籍児童生徒数：4名	適応指導教室在籍児童生徒数：4名	◎
2	④	児童生徒相談事業	H24～H33	教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、教育相談員、自立支援指導員を配置する。	青少年教育相談員（第一相談室1名） （第二相談室3名・教育相談指導員1名） 教育相談員配置（小学校へ3人） 自立支援指導員（中学校へ5人）	青少年教育相談員（第一相談室1名） （第二相談室3名・教育相談指導員1名） 教育相談員配置（小学校へ3人） 自立支援指導員（中学校へ5人）	◎
2	⑤	非行防止等巡回活動事業	H24～H33	児童生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な指導・助言を行うため夜間街頭指導員を配置する。	夜間街頭指導員活動人数　16人	夜間街頭指導員活動人数　16人	◎
2	⑥	小学校学習支援員活用事業	H24～H33	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	全国学力・学習状況の改善	全国学力・学習状況の改善	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	派遣費補助金交付事業	H24～H33	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	派遣費用補助団体数；4団体	派遣費用補助団体数；6団体	◎
3	①	文化財保存整備事業	H24 ～H33	宜野湾市では、市が指定する文化財の保存及び活用が課題である。平成24年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事に係る地質調査及び安全対策工事実施設計委託業務を実施する。	指定文化財の保存整備件数：1件	指定文化財の保存整備件数：1件	◎
3	②	歴史公文書等整理・活用事業	H24～H33	歴史的価値を有する宜野湾市（村）の公文書等を整理し、市民サービスに資するため検索システムの構築等を行う。	整理する公文書等　100冊	整理する公文書等　100冊	◎
4		預かり保育事業	H24～H33	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	預かり（一時）保育利用者数：1,900人	預かり（一時）保育利用者数：2,093人	◎
5	①	中国厦門理工学院留学生派遣事業	H24～H33	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省厦門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	留学生派遣人数：１人	留学生派遣人数：１人	◎
5	②	平和市民啓発事業（平和学習派遣事業）	H24～H33	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内児童8名を派遣する。	平和学習派遣生徒数：８名	平和学習派遣生徒数：８名	◎
5	③	小学校英語教育課程特例校事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、日本人の英語教師を小学校に派遣する。	小学校児童英検受験者数の増（2,015名）	小学校児童英検受験者数の増（2,065名）	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	④	外国人教師招致事業	H24～H33	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を小学校に派遣する。	中学校児童英検受験者数の増（1,422名）	中学校児童英検受験者数の増（1,211名）	○
5	⑤	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率：76.2%	教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」率：79.9%	◎
6		地域職業相談室（ミニハローワーク）推進事業	H24～H33	失業率の高い本県において雇用促進を図るため、宜野湾市役所敷地内に「地域職業相談室」（通称：宜野湾市ふるさとハローワーク）を設置し、求人情報の提供や職業相談等就職支援を行う。	求職者職業相談件数：6,500人	求職者職業相談件数：6,078人	○
7	①	宜野湾市総合防災訓練実施事業	H24～H33	災害に強いまちづくりに向けて市民の防災知識の普及啓発を図るため、西海岸地域において地域住民や観光客も想定した実践的な避難訓練を実施する。	訓練参加者数：1,500人	訓練参加者数：1,000人	未
7	②	災害時備蓄食糧購入事業	H24～H33	地震・津波による大規模災害発生時の避難生活等への対応のため、物資が搬送再開されるまでと想定される3日分の食料備蓄を行う。	備蓄食糧数人口(42,300/10年) 約94,000人×1／20×9食/10＝4,230食	備蓄食糧数人口 約94,000人×1／20×9食＝3,844食	○
7	③	自主防災組織育成事業	H24～H33	本県の自主防災組織率は、全国平均の74.4%に比較して6.6%と極端に低い。市内各自治会単位を基本にして組織率を上げるため、講演会の開催、啓発用備蓄用品等配布などを行い、住民の防災意識の高揚を図る。	講演会の開催（西海岸地域3自治会） 啓発用備蓄用品等配布　8自治会	講演会の開催（西海岸地域3自治会） 啓発用備蓄用品等配布　8自治会	◎
7	④	コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）	H24～H33	地域の防災力の向上を図り住民の安心・安全を確保するため、市が認定した自主防災組織に対して、災害の被害防止活動及び軽減活動に必要な資機材整備を行う。	市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施(伊佐区自主防災会への防災用資機材購入への補助)	市が認定した自主防災組織に対する必要な資機材整備の実施(伊佐区自主防災会への防災用資機材購入への補助)	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	⑤	災害時要援護者支援ネットワーク事業	H24～H33	要援護者の安心・安全を確保するため、災害時に自力で避難することが困難な人に対して支援を行う「災害時要援護者避難支援対策協議会」との連携を図る。	災害時要援護者登録数（50名）	災害時要援護者登録数（55名）	◎
8		宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	H24～H33	市の取得目標面積は253,000㎡であるが、現在までのところ、目標値の10%程度の達成率である。今年度以降の当面の目標として、49%の達成率を目標としている。	特定駐留軍用地先行取得基金造成 3億8,250万円積立	特定駐留軍用地先行取得基金造成 3億8,250万円積立	◎
9		はごろも小学校関連事業	H24	米軍普天間飛行場周辺は、スプロール状に住宅が密集しており、大山小学校の過密解消が、市教育行政における20年来の課題となっている。 同校の過密解消を図り、良好な学習環境を確保するため、分離新設校の建設用地を確保する。	はごろも小学校用地取得面積：20,096.54㎡	はごろも小学校用地取得面積：20,096.54㎡	◎
10		消防安全基盤強化事業	H24	当市は普天間基地の周辺に住宅地が密集しており、狭隘な道路が多く、ポンプ車の進入が難しい地域が多い。また、火災、事故現場に出動するためには、市の中央に位置する米軍普天間飛行場を迂回しなければならない。こうした課題を解決し、市民等の安全安心を確保するため、小型消防ポンプ車両を導入し、消防能力の強化を図る。	消防ポンプ車の購入：2台	－	繰
11		沖縄関係仮戸籍等電子化事業	H24	市民の公証資料を適正に管理保存するため、戦禍で焼失し、沖縄戸籍法により再製された仮戸籍、臨時戸籍、福岡戸籍等を電子化する。	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	◎
12	①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	H24～H33	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	普天間飛行場跡地利用計画策定	普天間飛行場跡地利用計画策定	◎
12	②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同事業）	H24～H33	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	普天間飛行場跡地利用計画策定	普天間飛行場跡地利用計画策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
12	③	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（自然環境調査）	H24～H33	基地周辺の地形や動植物の生息状況、湧水や鍾乳洞等の宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。	普天間飛行場跡地利用計画策定	普天間飛行場跡地利用計画策定	◎
12	④	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	H24～H33	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定	キャンプ瑞慶覧宜野湾市地区跡地利用計画策定	◎
12	⑤	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	H24 ～H33	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡（埋蔵文化財）以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想[案]」を作成する。	基本構想案策定	基本構想案策定	◎
12	⑥	瑞慶覧地区文化財保護マスタープラン策定調査事業	H24 ～H33	返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の利活用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「運営主体作り準備懇話会（仮称）」を発足し、運営主体づくりに向けて意見交換を行う場とし、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。	重要文化財実施設計策定	重要文化財実施設計策定	◎
13		墓地基本計画事業	H24	沖縄には独自の埋葬文化があり、個人墓地が住宅地と混在し造られている。墓地による市街地環境の悪化を防ぐため、墓地の集約化を検討し、地域の住環境を保全する必要がある。市民の需要を考慮し、安心して求めることができる多様な墓地の供給方策を示すため、墓地基本計画を策定する。	宜野湾市墓地基本計画の策定	宜野湾市墓地基本計画の策定	◎
14		市民会館施設整備事業	H24～H30	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。	トイレ改修工事 （バリアフリー化）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野湾市

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
15	中央公民館整備事業	H24～H26	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、建設後30年経過し老朽化が進んでいる。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の研修室等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。	生涯学習活動拠点研修施設整備	生涯学習活動拠点研修施設整備	◎
16	市民図書館施設整備事業	H24～H28	宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。 しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。	・施設の整備個所　1カ所 （授乳室設置）	・施設の整備個所　1カ所 （授乳室設置）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光誘客プロモーション事業	H24～H33	県外・国外の主要都市において、八重山の観光物産展を開催し販路拡大を図るとともに、新石垣空港の開港をPRすることにより、新規観光客の獲得に繋げる。	①観光キャラバン実施：9都市 ②観光セミナーにおけるプレゼンテーション	①観光キャラバン実施：9都市 ②観光セミナーにおけるプレゼンテーション	◎
1	②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業	H24～H33	本市ブランド“SPORTS！WELCOME！石垣島！”を立上げスポーツ誘致をすすめる。	プロモーションビデオ制作 WEB制作 キャンプ、合宿のグループブランド化 トレーニング機器の整備：5台	プロモーションビデオ制作 WEB制作 キャンプ、合宿のグループブランド化 トレーニング機器の整備：5台	◎
1	③	石垣島観光物産PR事業	H24～H33	新石垣空港開港を中心とした大々的なPRを行い、観光客誘致につなげる。	①観光物産展実施：2都市 ②プロモーションビデオの制作	①観光物産展実施：2都市 ②プロモーションビデオの制作	◎
1	④	美ら島情報発信事業	H24	石垣市がこれまで、実施してきた先進地事例となる事業や行政情報など、石垣市らしさ、特徴を網羅したパンフレットを作成し、能動的・積極的に全国自治体へ向けて配信し、行政視察や職員研修、コンベンションの誘致を事業目的とする。 　また、上記内容に加え、石垣市の豊富な情報をカテゴリ別の動画ページを作成し、さらに石垣島らしさを伝えるツールとして既存のホームページ強化を行う。	①誘致パンフレットの作成及び送付 　全国全市町村　1,719×2部 ②既存ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾘﾆｭｰｱﾙ ③動画ｺﾝﾃﾝﾂの制作	①誘致パンフレットの作成及び送付 　全国全市町村　1,683×2部 ②既存ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾘﾆｭｰｱﾙ ③動画ｺﾝﾃﾝﾂの制作	○
1	⑤	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24～H33	①博物館資料のうち、虫食いや焼け等により状態の良くない、古文書・掛軸類等紙資料の修復委託事業。②現在所蔵している資料の整理及び台帳のデータベース化事業。③その他、資料の保存整理活用に関する事業。	①古文書修復数：250冊 ②掛け軸修復数：2枚 ③収蔵資料データベース化：16,000点	①古文書修復数：250冊 ②掛け軸修復数：2枚 ③収蔵資料データベース化：11,000点	○
1	⑥	石垣島シネマフェスティバル事業	H24～H33	5．1chの立体音響、3Dの映像等と最新のシステムを使って上映会を開催し、視覚的にも、音響的にも劇場ならではの醍醐味を味わう。これまで16ミリ映写機（フィルム）が主流であったが、近年DVD等の映写会が増え、会館利用者からプロジェクターの設置を望む声も多い。当フェスティバルでは、その機器を導入して映画館で鑑賞するのと同じ臨場感を味わい、映画館で見る映画の楽しさを再確認する。	シネマフェスティバル入場者数：3,500人	シネマフェスティバル入場者数：3,733人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	文化財ガイドマップ作成事業	H24	国内外から訪れる観光客等に市所在の指定文化財を分かりやすく周知させるためのガイドマップを日本語、英語、中国語で作成し、本市の文化財の活用を図り、観光振興につなげる。	ガイドマップ作成：36,000部	ガイドマップ作成：36,000部	◎
1	⑧	友好・親善観光交流推進事業	H24	友好親善関係にある国内5自治体の市民で構成される文化芸能団を石垣市へ招聘し、文化芸能の披露を通じた交流を行うとともに、イベントの事前告知を行い観光客の誘致を図る。	招へい団体数：4団体	招へい団体数：4団体	◎
1	⑨	スポーツ文化交流事業	H24	青少年の芸能・スポーツ技術の向上を図ることを目的として、郷土芸能や野球、サッカーなどの指導者による技術指導を行いスポーツ文化環境の充実を図る。	①サッカー大会参加者：80人 ②野球教室参加者：15人	①サッカー大会参加者：83人 ②野球教室参加者：17人	◎
1	⑩	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	H24～H28	・キャンプ期間中における見学者導線の誘導及び飛球対策に係る警備誘導員の配置。 ・キャンプ会場内に総合案内所の設置と地域連携企画の実施	プロ野球キャンプ見学者数：のべ1万7千人（16日）	プロ野球キャンプ見学者数：のべ1万7千人（16日）	◎
1	⑪	サッカーパークあかんま施設整備事業	H24～H33	平成9年の供用開始以降、多くのプロ・アマのサッカーチームを受け入れておりキャンプ地として人気のあるサッカー場である。施設は経年劣化により防球ネットの劣化が激しくボールが道路に飛び出す危険な状況であるため、選手や通行する運転手の安全を確保しサッカーのキャンプ地として受入基盤を整備することで、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図る。	・防球ネット設置工事：（H＝6.75m×L＝158m）	・防球ネット設置工事：（H＝6.75m×L＝158m）	◎
1	⑫	観光地域検証調査事業	H24	観光地としての本地域を検証し、課題提起とその解決に取り組み、観光誘客の強化を図る。	・観光従事者によるワークショップ参加者数：30人	・観光従事者によるワークショップ参加者数：30人	◎
1	⑬	農業用ダム湖面利用調査事業	H24	農業用ダム湖面を活用した、各種水上スポーツのキャンプ地誘致の可能性を調査する。	農業用ダム湖面利用計画書の策定	農業用ダム湖面利用計画書の策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑭	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	H24～H28	市史編集事業で収集してきた写真・ネガフィルム等75,000点のデジタル化	・いしがきの原風景写真等のデジタル化実施率：20%	・いしがきの原風景写真等のデジタル化実施率：20%	◎
2	①	美崎町再開発推進事業	H24	美崎町地区は観光客等で賑わう石垣市の繁華街であるが、飲食店等の雑居ビルが乱立しており景観上及び都市機能上から課題が多く観光地としての質の低下を招いている。また、老朽化が進行していることから防災上からも早期に再開発に着手する必要がある。	美崎町再開発構想の策定	美崎町再開発構想の策定	◎
2	②	水族館建設推進事業	H24～H33	本市には海をはじめとした自然豊かな観光資源が豊富にあり、多くの観光客を魅了しているが、雨天、曇天時など、これらを十分に満喫できないときがある。同時に、海に入ることが困難な障がい者や高齢者に対し、本市の海を感じてもらう場の提供が求められている。よって、天候に左右されない観光資源の創出と、障がい者、高齢者等へも安心して海を感じてもらうことを目標に水族館建設を推進する。そのことにより、本市の観光満足度を高めていく。平成24年度は構想の策定を行う。	水族館の整備方針、機能・規模、建設候補地等建設の可能性調査の実施	－	繰
2	③	星空学びの部屋事業	H24～H25	日本一の石垣島・八重山諸島の星空を石垣島天文台のむりかぶし望遠鏡と連携して、地域の学校教育、生涯教育に活用するとともに、観光客への広報普及するレクチャールームを設置する。	・星空学びの部屋の設計及び建築	－	繰
2	④	クルーズ船寄港誘致支援事業	H24～H25	大型クルーズ船寄港誘致のための外国語パンフレット（4カ国語）の作成及び寄港時の大型タグボート経費の一部支援を行いクルーズ船社の負担軽減により誘致を図り、観光振興に繋げる。	①パンフレット作成（日本語版）：1000部 ②パンフレット作成（英語版）：200部 ③パンフレット作成（中国語版）：200部 ④パンフレット作成（韓国語版）：100部 ⑤タグボード支援：2回	①パンフレット作成（日本語版）：1000部 ②パンフレット作成（英語版）：200部 ③パンフレット作成（中国語版）：200部 ④パンフレット作成（韓国語版）：100部 ⑤タグボード支援：3回	◎
2	⑤	観光客の安全・安心事業	H24～H25	防犯カメラを設置する事により、盗難被害を抑制・防止し、観光客が安心・安全に利用できる施設の防犯体制を確立し、地域・離島の観光振興を図る。	・防犯カメラ設置数：10台	・防犯カメラ設置数：10台	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑥	フラワーロード整備事業（道路維持管理事業）	H24～H28	経年劣化したアクセス路の舗装及び街路樹の植栽改良、植樹帯・植栽枡低木の熱帯花木の植栽改良	フラワーロードの舗装改良 ①舗装改良L＝800m ②植栽改良L＝2，000m	－	繰
2	⑥	フラワーロード整備事業）（島まち美しゃ事業	H24	訪れて良かったと感じ取れる観光地を目指して、沿道にプランターを置き、市民が花の手入れや水やりなど意識啓発を図り、花いっぱいによる街づくりを展開する。	・花の苗木（プランター）設置数：4500個	－	繰
2	⑦	石垣空港跡地利用事業化調査事業	H24～H33	現空港跡地の利活用は将来の本市まちづくりに大きなインパクトを与えるポテンシャルを持っている。 そのため、土地利用計画の立案・実行は本市発展の大きな原動力となることから、当該地の約96%を所有する国・県に対し、事業導入に向けて具体的な計画を提示する。このことにより、現空港跡地周辺の発展を促し、ひいては本市発展の原動力とし、住みよいまちを目指す。	石垣空港跡地利用事業化調査の実施	－	繰
2	⑧	石垣市墓地基本計画事業	H24～H27	観光地形成のまちづくりを進めるため、土地利用の規制誘導がスムーズに進展するよう「石垣市墓地基本計画」の策定を委託する。	・墓地基本計画の策定	－	繰
2	⑨	美ら島ファミリーサポート整備事業	H24～H28	少子高齢化時代にあって、出生率全国一位の沖縄県の離島市である石垣市の、子育て支援の充実を図るため、子育て中のお母さんが乳幼児を連れて気軽に遊ばせることのできる遊具を設置する。	遊具施設を設置：2箇所	－	繰
2	⑩	石垣市土地保全・利活用計画策定事業	H24～H33	都市的土地利用と農業的土地利用を土地の保全と利活用の視点から両者を有機的につなぎ、国土利用計画を補完する指針を作成することによって、1次産業の土台である農地や観光資源である景勝地などを保全すると同時に、観光インフラや日常生活に資する土地の利活用を図る。このことによって、本市の均衡ある発展を目指す。	土地保全・利活用計画の策定	－	繰
2	⑪	スポーツイベントによる地域活性化事業	H24	世界で通用するスポーツのトップレベル選手の育成につなげるため、本県で競技人口の多い野球、サッカー、バスケット等のプロやアマチュアスポーツの公式戦を開催するまた、各チームのファン層をターゲットとした観光誘客を展開する。	①六大学野球の早慶野球戦入場者数：1500人 ②プロバスケットボールbjリーグ開催に伴う島外来場者数：5000人	①六大学野球の早慶野球戦入場者数：1500人 ②プロバスケットボールbjリーグ開催に伴う島外来場者数：5000人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑫	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ H33	多くの観光客が観光施設等を利用するが施設の経年劣化が激しいため早急に改修整備を行う。観光客を迎えるための施設に花などの緑化整備と魅力ある施設整備を行う。	①玉取崎展望台屋根改修 ②唐人墓トイレ屋根改修 ③伊野田キャンプ場トイレ屋根改修	①玉取崎展望台屋根改修 ②唐人墓トイレ屋根改修 ③伊野田キャンプ場トイレ屋根改修	◎
2	⑬	美ら島アクアマリン整備事業	H24	八重山の各島々と日本やアジアを結ぶ空港において、観光客に南国らしさを直感的に感じてもらうため、亜熱帯性特有の魚が泳ぐ水槽を設置し、八重山観光への期待感と魅力向上を図る。	新石垣空港への水槽設置：１台	新石垣空港への水槽設置：１台	◎
2	⑭	美ら島モニュメント整備事業	H24	新石垣空港の開港によって国内はもとよりアジアからの観光需要の増加が見込まれる。そうした状況から石垣島の著名人や八重山らしさを題材にモニュメントを設置。新たな観光資源の創出を図る。	モニュメント設置：3か所	－	繰
2	⑮	バス停上屋整備事業	H24～ H25	新空港開港を控え、より快適な観光地としてのまちづくりの一環として、公共交通機関であるバスの利便性の向上及び機能充実のためバス停上屋を整備する。	・バス停上屋整備設置：5箇所	－	繰
2	⑯	まちなか親水広場整備事業	H24～ H25	現存する井戸を復元させ、まちなかの観光スポットとしての利用や市民の憩いの場、また災害時における水の再利用を目的に整備する。	井戸の復元整備箇所：3か所	－	繰
2	⑰	観光地・観光施設への集客力強化事業	H24～ H25	外国人を含む観光客向けに無料の公衆Wi-Fi無線を提供することにより、バーチャルまちづくりによる集客と石垣ブランドの浸透を図る。スマートフォンを活用した観光・イベント情報等の発信を多言語で行うことにより、国内外の観光客の利便性向上と、入域観光客の増加に繋げる。	①Wi-Fi無線の設置箇所数：9か所 ②観光情報等の多言語化発信数：4か国語	－	繰
2	⑱	観光地アクセス道路安全安心推進事業	H24～ H25	観光拠点地アクセス路の防災対策を実施し、レンタカーで行動する観光客の利便性の向上と、快適さを確保する	アクセス路の測量設計委託	アクセス路の測量設計委託	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	①	青と緑の再生プロジェクト事業	H24～H25	沖縄県内で唯一、国指定名勝に選ばれている川平湾の水質は年々悪化しており対策が求められている。川平湾を保全し、同地域をモデル地区として観光地にふさわしいエコタウンとしての展開を図るため、EV船の導入補助を行い再生に向けた取組みを実施する。	・EV船導入補助件数：1件	－	繰
3	②	サンゴ再生事業	H24	近年、大発生状態にあるオニヒトデの食害等で枯渇化しているサンゴ礁の再生を図るべく、サンゴ再生事業の委託事業を実施する。	・サンゴ再生（移植）数：500個	－	繰
3	③	花木再生プロジェクト事業	H24～H27	デイゴヒメコバチの防除のため、防除樹幹注入を実施する。	病害虫防除対策を実施したデイゴの樹幹数：400本	病害虫防除対策を実施したデイゴの樹幹数：400本	◎
3	④	ダイビング船係留設置事業	H24～H25	ダイビングポイントとして利用度の高い川平石崎沖のマンタポイントにおいて、ダイビング船のアンカリングによるサンゴ礁破壊を防ぐため、専用の係留施設を設置する。	・係留施設設置個所数：20カ所	－	繰
3	⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24	石垣市の観光資源である沖縄・石垣らしさの景観保全・創出のため、景観法、都市計画法に基づく景観地区の将来像実現にむけ、一体的実施が必要な関連社会資本整備事業を計画的、効果的に実施・促進するための計画を策定し、地区住民と協働による景観形成を図る	景観形成向上行動計画の策定	景観形成向上行動計画の策定	◎
3	⑥	石垣市エコアイランド事業	H24	平成19年「石垣市自然環境保全条例」を制定したことを受け、自然環境に関する構想を策定する必要があることから、循環型社会の構築、環境負荷への軽減等、自然環境の再生に係る取組みを行う。具体的には、エコアイランド構想を策定するため、「（仮称）石垣市エコアイランド構想」の調査委託をする。	エコアイランド構想の策定	－	繰
3	⑥	石垣市防犯灯LED化事業	H24～H26	市内既設の防犯灯のLED化	・防犯灯LED化数：259基	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑥	農村集落防災灯更新事業	H24	農村集落内の既設置防災灯電球をLED化する。	・防災灯LED化実施個所数：87カ所	－	繰
3	⑥	街路灯省エネルギー化推進事業	H24～H25	街路灯を省エネ性能が高いLED化し、低炭素島嶼社会の実現に向けた取り組みを推進し、市民の意識向上を図り、エコアイランド構想の推進する。	・外路灯のLED化：150基	－	繰
3	⑦	自然エネルギー促進事業	H24	自然エネルギーを利用し水道事業の電気料金の削減を図るため、自然エネルギーの導入可能性調査を実施する。	水道施設における自然エネルギーの導入の可能性調査の実施	水道施設における自然エネルギーの導入の可能性調査の実施	◎
3	⑧	オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業	H24～H33	ここ数年、大量に発生しているオニヒトデの駆除を行い、サンゴの保全に努める。	・オニヒトデ駆除数：60,000匹	・オニヒトデ駆除数：44,534匹	○
3	⑨	ラムサール条約湿地登録「名蔵アンパルガイド」冊子作成事業	H24	子どもから大人まで手軽に利用でき、理解しやすい小冊子を作成する。	・名蔵アンパルガイド作成部数：5000部	・名蔵アンパルガイド作成部数：5000部	◎
3	⑩	南の島の猫アイランド事業	H27	新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、獣医師会の協力を得ながら猫の捕獲・保護及び避妊・去勢等を実施し、市民生活の環境保護に努める。	・猫の避妊・去勢個体数：150匹	・猫の避妊・去勢個体数：191匹	◎
3	⑪	赤土等流出防止対策事業	H24～H33	農地からの赤土流出防止を図る。 ①グリーンベルト（ベチベル・月桃）の設置。 ②緑肥（クロタラリア・ピジョンピー・ひまわりの種）の提供。 ③施肥をまく小型すじまき機械の購入し、貸与する。 （サトウキビの株出しで赤土流出を抑える効果がある。）	①グリーンベルト及び緑肥の設置面積：60ha ②株だし管理機材の購入	①グリーンベルト及び緑肥の設置面積：69ha ②株だし管理機材の購入	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑪	赤土等流出防止事業	H24	農用地等からの赤土流出防止を図るために、沈砂池や排水路等の浚渫を行い、自然環境の保全に努める。	・沈砂池の土砂浚渫：14ヶ所	・沈砂池の土砂浚渫：14ヶ所	◎
3	⑫	エコカー公用車導入事業	H24 ～ H29	石垣島全体をエコ化に向けた取り組みとして、環境の保全及び魅力ある観光地を形成することで沖縄振興に繋げる。具体的に、EV車を公用車として導入することにより、環境保全と先導的なエコアイランド化を推進する。	・EV車の導入台数：4台	・EV車の導入台数：4台	◎
4	①	ものづくり・マーケティング総合支援事業	H24～ H28	個人や小規模事業者等が地域農産物等を加工できる施設を整備することや専門家等によるセミナーを継続して開催することにより特産品開発を促進する。また、離島ゆえのハンディを抱えている出展業者への助成制度をもうけることにより出展を支援する。 特産品開発のノウハウを習得するための講習会やワークショップを開催し、特産品開発（工芸技術者）のできる人材を育てる	・物産展出展支援事業所：13事業所	・物産展出展支援事業所：13事業所	◎
4	②	就業支援マッチング事業・人材育成事業	H24～ H26	各分野の既存ストックを活用した職業訓練を実施し就業支援を強化するとともに、工芸産業の技術者を育成する。	①焼き物セミナーの開催：1回 ②八重山上布技術者講習会：70回 ③特産品開発セミナー：6回	－	繰
4	③	商店街・中心市街地活性化並びに商業振興事業	H24～ H28	地元商工会、まちづくり会社、商店街関係者、商業観光産業従事者等による中心市街地活性化を目的とする勉強会を継続して実施し、活気あるまちづくりの実践へ結びつけるとともに、そのためのアクションプランを策定する	①中心市街地活性化セミナー参加者数：50人 ②中心市街地活性化フォーラム参加者数：50人	①中心市街地活性化セミナー参加者数：50人 ②中心市街地活性化フォーラム参加者数：50人	◎
5	①	熱帯果樹栽培研究事業	H24～ H27	熱帯果樹（パパイヤ、マンゴー等）の生産拡大を図り、農業振興に寄与するとともに、製造業・観光業など他産業とも連携した市の自立的産業構造の確立を図る。	①パパイヤの優良矮性品種の作出数：0件 → 2件 ②熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発数：2件→4件	①パパイヤの優良矮性品種の作出数：0件 → 0件 ②熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発数：2件→2件	未
5	②	さとうきび振興事業 ①新防除農薬剤補助事業 ②さとうきび輪作品目としての蕎麦栽培事業	H24～ H27	さとうきびの安定生産を図ることを目的とし、単収の増加と品質の向上を図り、生産農家の意欲を高揚・糖業の振興を図る。また、さとうきび輪作品目として、さとうきび収穫後の裸地にそばを植え付け、耕土流出防止を図る。	①農薬購入袋数：10,000袋 ②裸地へのそば植付け面積：15a	①農薬購入袋数：30,000袋 ②裸地へのそば植付け面積：45a	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	③	石垣産の牛生産推進事業	H24～H33	口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止し、畜産及び観光振興の発展に資する。優良母牛を導入した農家へ1頭最大20万円の助成を行い、地域母牛群の改良を図り、市場性の高い子牛生産を推進する。	①消毒マット設置個所数：4か所 ②優良母牛更新数：50頭	①消毒マット設置個所数：4か所 ②優良母牛更新数：58頭	◎
5	④	水産振興事業	H24～H25	老朽化した八重山漁協の漁船燃料タンクの危険性を除去するため、改修に係る費用を補助する。 また、大型定置網設置箇所に関する調査事業を実施するとともに、オニヒトデやサメ等の有害生物による漁場悪化を保全する。	①漁船燃料タンク改修補助 ②大型定置網調査の実施 ③オニヒトデ駆除数：3500匹	－	繰
5	⑤	アカジン（スジアラ）養殖実証試験事業	H24～H25	アカジンの仔魚をに、餌に本市特産のユーグレナ（ミドリムシ）を混入して付加価値をつけるのとユーグレナを混入しないものとの違いで、他との差別化を図る養殖実証試験を行う。	・アカジン（スジアラ）養殖の実証試験	・アカジン（スジアラ）養殖の実証試験	◎
6		児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合型施設整備事業	H24～H26	災害時における「福祉避難所」と平常時における児童・高齢者・障がい者等の社会的な居場所を確保した複合型施設整備を図る。	児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合型施設の基本計画策定	児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合型施設の基本計画策定	◎
7	①	地域防災力強化育成事業	H24～H29	自主防災組織に対し救急救助資機材を整備することで組織の立ち上げを促し、地域の防災力向上につなげるもの	自主防災組織へ救急救助資器材の整備：16か所	自主防災組織へ救急救助資器材の整備：16か所	◎
7	②	防災避難道路整備事業	H24	予想される大地震時における津波避難道路を整備し、安全な農村集落の環境を整える。	防災避難道路整備工事　L=390m	防災避難道路整備工事　L=390m	◎
7	③	防災体制整備事業	H24～H33	災害発生時に迅速かつ適切な避難行動をするために、緊急情報や災害情報伝達手段の多様化、伝達体制の整備拡充、指定避難所などへの誘導するための標識を整備する。 防災計画に基づく防災拠点などに防災備蓄倉庫を整備する。 低地域における津波避難施設整備基本計画を策定する。	①防災無線拡声子局の整備数：12基 ②防災無線小型受信機の設置数：83個 ③避難所標識及び避難誘導標識の設置数：100本 ④防災備蓄倉庫の整備箇所：1か所 ⑤津波避難施設整備基本計画の策定	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	④	災害に強い港湾整備事業	H24～H25	ボーリング調査により、土質調査・液状化検討及び、防災・減災機能強化の検討を行い、地震・津波等災害時における施設及び、施設利用者の安全の確保を図る。	港湾の防災・減災機能強化に向けた調査検討の実施	港湾の防災・減災機能強化に向けた調査検討の実施	◎
7	⑤	水難事故対応強化事業	H24	市民や観光客による水難事故の発生時のため石垣島北西部・北部に在する消防出張所に必要資機材を配備し、事故発生時の対応能力の向上につなげる	①水難救助用資機材の整備 1）水上バイク2台 2）牽引車輌2台 3）トレーラー2台	－	繰
8	①	災害に備えた学校環境整備事業	H24	災害に備え、沿岸部に近接している小学校、幼稚園の児童、園児及び職員へライフジャケットを配備する。	ライフジャケットの配備数 小学校：1261枚 幼稚園：203枚 中学校：49枚	－	繰
8	②	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システムの構築・導入事業	H24	地元で発行された新聞および所蔵する古文書等の画像検索システムの構築	1952年(昭和27年)～2011年(平成23年)の間に発行された地元新聞、30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成・登録による検索システムの構築	1952年(昭和27年)～2011年(平成23年)の間に発行された地元新聞、30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成・登録による検索システムの構築	◎
8	③	石垣市立八重山博物館外壁改修事業	H24	・本館は築40年が経過しており、外壁剥離等の老朽化が見られるため外壁改修工事が必要。改修工事により、来館者の安全確保と、収蔵品等への環境保全の確保を図り、市民や観光客に開かれた事業を展開する。	・博物館外壁の工事	・博物館外壁の工事	◎
9	①	情報教育充実事業	H24	情報教育環境として、学校全体で無線LANを構築し環境を整備する。各学校に電子黒板等を配備し、併せてそれを活用する機器を導入しICT教育環境及び情報教育への機会を充実させ、学力向上に努めることにより人材育成を図っていく。	①小・中学校LANの整備　学校数 1）小学校：16 2）中学校：5 3）併置校：4 ②電子黒板の配備　255台	－	繰
9	②	ICT教育強化事業	H24～H33	市内の小・中学校へ主要教科のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示やシミュレーション、映像資料等による児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。	・教育用ソフト配布学校数 小学校：20校	・教育用ソフト配布学校数 小学校：20校	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9	③	外国語学習支援事業	H24～H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校外国語学習指導助手を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	外国語学習指導助手配置数 小学校：2人、中学校：1人	外国語学習指導助手配置数 小学校：2人、中学校：1人	◎
9	④	児童・生徒派遣費助成事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校の生徒が、市外及び県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会等派遣児童生徒数（累計）：1000人	大会等派遣児童生徒数（累計）：1,097人	◎
9	⑤	「ユースアドバイザー」事業	H24～H33	「困難を有する子ども」支援体制の整備	・ユースアドバイザーの配置：３人	・ユースアドバイザーの配置：３人	◎
9	⑥	すこやか子育て支援事業	H24～H33	幼稚園教育を希望する保護者が、安心して子育てできる環境整備のため、預かり保育を実施する。現在未実施の7園のうち4園で行うための用人賃金、各園への割り当て金、及び施設設備費。	・市内預かり保育実施園：４園	・市内預かり保育実施園：４園	◎
10	①	国際定期便誘致事業	H24～H28	行政、地元経済団体が一体となり、台湾、香港、上海、韓国等の東アジア圏の各航空会社及び航空局に路線開拓の要請を行うとともに、路線開拓先における、マーケティング戦略や広報戦略を図るための観光シンポジウムを開催する。	・セールス＆コンテンツ委員会の開催数：3回 ・国際観光大使の委嘱：1人 ・海外プロモーションの実施：2都市 ・観光シンポジウムの参加人数：200人 ・宿泊助成件数：300人	・セールス＆コンテンツ委員会の開催数：3回 ・国際観光大使の委嘱：1人 ・海外プロモーションの実施：2都市 ・観光シンポジウムの参加人数：200人 ・宿泊助成件数：376人	◎
10	②	石垣港国際交流拠点形成事業	H24～H25	大型旅客船に対応したターミナルビルの検討及び、ビルへのレクリエーション施設・商業施設の導入を検討し、観光産業を含む国際交流拠点形成に向けた施策を検討し離島の観光振興を図る。	石垣港の国際交流拠点形成に向けた検討調査の実施	石垣港の国際交流拠点形成に向けた検討調査の実施	◎
10	③	海洋基本計画策定事業	H24～H33	国の海洋基本計画、沖縄21世紀ビジョン基本計画、石垣市総合計画との整合を保ちながら、海洋を中心とする取り組みを市民協働で進め、未来の「海洋都市いしがき」を創造する。	海洋基本計画の策定	海洋基本計画の策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

石垣市

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
11	平和宣言活用事業	H24～H33	次世代を担う児童生徒を対象に、広島・長崎へ平和大使としての派遣、平和フォーラム・講演会等を開催して多くの市民が平和について考え学ぶ機会をつくる。　また「石垣市非核平和都市宣言」「石垣市核廃絶平和都市宣言」の両文の碑を建立することで、両宣言の趣旨を広く市民へ周知すると共により身近な存在にし、両宣言文を多言語化することで石垣市の平和への願いを国内外へ発信する。	・「平和都市宣言」の碑建立：２基 ・「平和都市宣言文」翻訳発信：6ヶ国語 ・広島、長崎平和大使の派遣：４人 ・「平和フォーラム・講演会」の開催：３回	・「平和都市宣言」の碑建立：２基 ・「平和都市宣言文」翻訳発信：6ヶ国語 ・広島、長崎平和大使の派遣：４人 ・「平和フォーラム・講演会」の開催：２回	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	浦添市来ヮ来ヮ推進事業	H24～H26	市の観光資源を創出するため、調査を委託し、課題抽出及びケーススタディ等を実施する。	観光資源、まちづくりの課題抽出	観光資源、まちづくりの課題抽出（基礎的調査）	◎
1	②	浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業	H24～H28	観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。	・市民への草花配布件数　45件	・市民への草花配布件数　45件	◎
1	③	美ら道推進事業	H24	観光地としての価値向上に資するための道路整備に努め、道路の安全性・快適性の確保を図る。	・整備箇所2カ所(勢理客地内215㎡・城間地内109㎡)	・整備箇所2カ所(勢理客地内215㎡・城間地内109㎡)	◎
1	④	てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」	H24～H33	全国のウォーカーと友好を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、来年2月に「うらそえツーデーマーチ・あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク」を開催する。	てだこウォーク参加人数　7，500人	てだこウォーク参加人数　6，783人	○
1	⑤	ありんくりんクリーン事業	H24～H33	浦添市の文化財を観光資源として活用するため、浦添城跡、玉城朝薫や浦添御殿の墓等の清掃や除草を行う。	文化財の美化活動の実施：9箇所	文化財の美化活動の実施：11箇所	◎
2	①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～H33	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、浦添グスク周辺エリアと西海岸周辺エリアにおいて景観法・都市計画法に基づく「景観地区」・「地区計画」の地区指定を行う。また、「景観向上行動計画」を策定する。	・景観まちづくりの基本方針 ・景観向上行動計画の策定 ・都市モノ沿線地区のまちづくりの将来像と方針の検討	・景観まちづくりの基本方針 ・景観向上行動計画の策定 ・都市モノ沿線地区のまちづくりの将来像と方針の検討	◎
2	②	浦添グスク周辺緑化推進事業	H24～H25	沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。	・茶山緑地整備面積　107㎡	・茶山緑地整備面積　107㎡	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	地域資源復元推進事業	H24～H28	・歴史的景観の再生を図るため、地域に古くから存在する「樋川」を復元整備する。平成24年度は発掘調査を実施する。 ・沖縄らしい風景づくりと観光振興のため、近年劣化が著しい市指定文化財「クバサーヌ御嶽」を復元整備する。平成24年度は復元整備に必要な用地購入を行う。	「安波茶樋川」「ｸﾊﾞｻｰヌ御嶽」復元整備	「安波茶樋川」発掘調査1件（目標1件） 「ｸﾊﾞｻｰヌ御嶽」用地購入0件（目標2件）	△
2	④	前田トンネル周辺修景事業	H24～H25	沖縄らしい風景や景観を守るため、前田トンネル両側のコンクリート壁のレリーフや壁面緑化等一体的な修景保存を行う。	実施計画の策定	実施計画の策定	◎
2	⑤	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24～H25	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施す。	仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装:2,660　㎡	仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装:2,660　㎡	◎
2	⑥	風景街なみ形成に資する建築技術提案事業	H24	沖縄らしい風景やまちなみづくりに資するため、民間企業に委託し、建築素材や技術の提案を受ける。（提案は①ウラオソイ風景づくり推進事業に反映させる予定。）	建築素材や技術提案策定	建築素材や技術提案策定 （基本方針の策定）	◎
3	①	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業	H24～H28	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。	・美術館来館者数：50,000人 ・常設展観覧者：2,000人	・美術館来館者数：58,668人 ・常設展観覧者：2,139人	◎
3	②	9月3日踊り観光・文化振興事業	H24～H28	観光振興及び文化振興を図るため、国立劇場おきなわを拠点に世界文化遺産である「組踊」の鑑賞機会を設けるとともに関連イベントを開催する。	組踊り鑑賞イベント参加人数：2,000人	組踊り鑑賞イベント参加人数：2,200人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	③	浦添スポーツの発信拠点運動公園内体育施設の機能強化事業	H24	観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進するため、体育施設の機能強化を図る。	・市陸上競技場機能強化 （トラック改修）、（競技用備品購入） ・市民球場ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ機能強化 （観覧席取替）、（防水工事） ・市民球場ｽｺｱｰﾎﾞｰﾄﾞ機能強化 （電光ｼｽﾃﾑ）、（電気） ・市民体育館機能強化 （観覧席取替）、（アリーナ床面研磨） ・市民体育館設備機能 （ﾎﾞｲﾗｰ取替） ・市温水プール機能強化 （天井材工事等）	・市陸上競技場機能強化 （トラック改修）、（競技用備品購入） ・市民球場ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ機能強化 （観覧席取替）、（防水工事） ・市民球場ｽｺｱｰﾎﾞｰﾄﾞ機能強化 （電光ｼｽﾃﾑ）、（電気） ・市民体育館機能強化 （観覧席取替）、（アリーナ床面研磨） ・市民体育館設備機能 （ﾎﾞｲﾗｰ取替） ・市温水プール機能強化 （天井材工事等）	◎
4	①	浦添の物産と観光展事業	H24～H28	産業振興及び観光振興に資するため、地場産品の展示販売や観光展を開催し、県民及び観光客等へ広くPRする。24年度は展示会等へのマスコミを誘致し来場者数の増加を図る。	観光・物産展の来場者数：30,000人 物産等販売の売上高：6,000千円	観光・物産展の来場者数：26,093人 物産等販売の売上高：3,872千円	○
4	②	着地型観光商品「うらおそいてだこ回廊」開発事業	H24～H28	着地型観光商品を開発するため、コンサルタントに業務委託し、調査研究やワークショップの開催等を実施する。	ワークショップの参加人数：150人（延人数） 観光誘客パンフレット等作成　3,000部	ワークショップの参加人数：42人（延人数） 観光誘客パンフレット等作成　8,000部	◎
4	③	来て・見て・楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業	H24～H28	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。	観光等情報ポータルサイト閲覧数：10,000件 観光コンテンツの制作数：200件	観光等情報ポータルサイト閲覧数：44,102件 観光コンテンツの制作数：295件	◎
4	④	ヤクルトファン浦添にめんそーれ事業	H24～H28	ヤクルト春季キャンプを活用した観光振興を推進するため、キャンプ期間中は、会場の総合運動公園を中心に観光情報を発信し、市内の飲食店や特産品販売店等への誘客を図る。 　また、シーズン中は神宮球場で開催される公式戦1試合を「浦添観光キャンペーンデー」として位置づけ、観光誘客イベントを実施し、沖縄県及び浦添市の特産品等の紹介及び販売等を行う。	誘客イベント来場者数　20,000人 プロ野球キャンプ来場者数　6,000人	誘客イベント来場者数　18,885人 プロ野球キャンプ来場者数　19,960人	◎
4	⑤	ここにおいでよ浦添タウン事業	H24～H28	市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化・緑化等に取り組む。	商店街イベント参加人数　600人	商店街イベント参加人数　125人	未

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑥	浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業	H24～H28	「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。	H24年度売上目標　17,000千円	H24年度売上目標　15,457千円	○
4	⑦	浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業	H24～H28	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。	県外・海外出展事業売上額：258万円/年	県外・海外出展事業売上額：0円/年 （出展応募事業者が無く未実施）	未
4	⑧	島桑オジー＆オバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24～H28	特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ（正式和名）」を活用し、養蚕業（繭の生産）のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。浦添市シルバー人材センターの高齢者を活用することで、コスト圧縮と事業者への安定的供給を図る。	事業に要する桑木の作付け面積：3,160坪	事業に要する桑木の作付け面積：3,836坪	◎
4	⑨	浦添市農業フェスタ支援事業	H24～H28	「農協まつり」における黒糖作り体験、集客イベント開催、会場設備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘客観に取り組み観光振興・産業振興を図る。	農協まつり来場者数：2100人	農協まつり来場者数：2500人	◎
5	②	経済人材育成事業	H24～H28	沖縄の産業振興に資する人材を育成するため、講習会、研修会、セミナー等を開催する。	研修・セミナー受講者数：100人	研修・セミナー受講者数：277人	◎
5	③	IT人材研修事業	H24～H28	実社会でのニーズに対応できる人材を育成するため、ソフトウェアやコールセンター関連の研修を開催する。	受講者数：20人	受講者数：20人	◎
5	④	スーパー・コミュニケーショナル・スクール事業	H24～H28	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパーコミュニケーショナルスクールを設置する。	・スーパー・コミュニケーショナルスクールの設定・運営	・スーパー・コミュニケーショナルスクールの設定・運営	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	①	ガントリークレーン整備事業	H24～H25	輸出貨物の積み残しが生じていることから、港湾機能強化を図るため、現在2基のガントリークレーンを1基増設する。平成24年度は製作工事を着手する。	・那覇港のガントリークレーン整備に係る仕様書作成、3号機製作工事着手	－	繰
6	②	那覇港物流ビジネスモデル導入事業	H24	那覇港を活用することによる新たな付加価値を生み出すため、「那覇港物流ビジネスモデル」の提案及び「社会実験」の実証をするための費用を補助する。	・那覇港における外貿航路の社会実験開始	－	繰
6	③	リーファー電源整備事業	H24	年々需要が増大しているリーファーコンテナをさらに獲得するため、リーファー電源整備を40口増設する。	・那覇港のリーファー電源整備に係る実施設計、整備工事着手	－	繰
6	④	生活物資安定供給対策事業	H24	物流機能の強化を図るため、浦添ふ頭の岸壁背後地に防風柵を設置し、船舶のシフトの円滑化を図る。	・那覇港浦添ふ頭における防風柵設置に係る実施設計、設置工事着手	－	繰
6	⑤	観光客利便性向上施設整備事業	H24～H25	観光旅客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するため、ボーディングブリッジを整備するための費用を補助する。	・那覇港のボーディングブリッジ整備に係る仕様書作成	－	繰
6	⑥	総合物流センター可能性調査事業	H24	物流機能の強化及び物流関連企業の誘致等を促進するため、国際・国内貨物を取り扱う那覇港総合物流センター整備の可能性調査を実施する。	・那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施	・那覇港における総合物流センターの需要、可能性調査の実施 （25社）	◎
6	⑦	浦添市西海岸開発基本方針検討事業	H24	那覇港管理組合が10年毎に策定する港湾計画が平成25年度に改定される。この改定に市のビジョンを盛り込むため、国際観光交流拠点を拡大する土地利用の検討、立地環境特性を考慮した地型の検討等を行い、地先自治体として、浦添ふ頭地区の地元基本計画を作成する。	浦添ふ頭地区の基本計画の策定	浦添ふ頭地区の基本計画の策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑧	那覇港浦添ふ頭地区港湾関連用地活用調査	H24	浦添ふ頭国際物流地区（港湾関連用地）を国際観光交流拠点として拡張した場合の企業の動向等を把握するため、需要動向調査（ヒアリング及びアンケート）及び先進地事例調査を実施し、土地利用基本方針案の根拠資料等に供する。	需要動向及び先進地事例の調査資料作成	需要動向及び先進地事例の調査資料作成	◎
7		未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24～H33	スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を負担する。	大会等派遣生徒数：480人	大会等派遣生徒数：257人	未
8	①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24～H33	社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学生を対象とした自然、農業、漁業の体験学習を行う。	当該事業で体験学習に参加した児童数：1427人	当該事業で体験学習に参加した児童数：1427人	◎
8	②	学力等底上げ推進支援事業	H24～H33	児童生徒の学力の底上げを図り沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員、教育相談員を各学校へ配置する。	学校教育支援員16名 日本語教育支援員2名 教育相談員16名	学校教育支援員16名 日本語教育支援員2名 教育相談員16名	◎
9		がんじゅうちびっ子育成事業	H24	高温多湿気候の沖縄県で、夏場においても園児の健康を確保するため、市立幼稚園に業務用冷蔵庫を整備するなど衛生環境の改善を図る。	衛生面・健康面での育児環境が向上した幼稚園数：１１園	衛生面・健康面での育児環境が向上した幼稚園数：１１園（業務用冷蔵庫の設置）	◎
10	①	浦添の歴史文化整備保存事業	H24～H30	歴史文化資料を市民共有の財産として後世に引き継ぐために、音声資料の翻刻およびデジタル化、写真資料のデジタル化を行い、保存等を行う。 今後これらの資料をもとに、「浦添市移民史」および「浦添の民話」を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として記録・保存する。	①移民・出稼・移住体験聴取調査音声記録翻刻：159件 ②先嶋新聞印刷製本（戦前）：10冊 ③戦前移民名簿データ入力：４資料より浦添関係出身者抽出：2228件 ④マイクロフィルム戦前新聞資料デジタル化：7紙 ⑤戦争・戦後体験および民話・民謡等聴取調査音声記録資料デジタル化等：318本	①移民・出稼・移住体験聴取調査音声記録翻刻：159件 ②先嶋新聞印刷製本（戦前）：10冊 ③戦前移民名簿データ入力：４資料より浦添関係出身者抽出：2228件 ④マイクロフィルム戦前新聞資料デジタル化：7紙 ⑤戦争・戦後体験および民話・民謡等聴取調査音声記録資料デジタル化等：318本	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
10	②	歴史にふれる館整備事業	H24～H26	港川調理場移転に伴う空き施設を文化財の保存と展示施設として再利用するための改修設計を行う。 本事業は、浦添城跡をはじめとする市内に所在する遺跡の発掘調査で得られた土器・石器・陶磁器等の遺物、市民から寄贈された多くの民具、近世の浦添の一端を表出する近世墓と厨子甕等を展示活用することで、浦添市の歴史と文化への理解を深めるとともに文化財保護の意識高揚を図る。	・歴史にふれる館の整備に係る実施設計	・歴史にふれる館の整備に係る実施設計	◎
10	③	琉球空手のルーツを探る事業	H24～H26	文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手（ティー）」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を実施する。	・琉球空手と中国武術との関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施	・琉球空手と中国武術との関連性の調査 ・琉球空手と中国武術の交流の実施	◎
11		学校給食衛生管理機能拡充事業	H24	高温多湿気候の沖縄県において、学校給食の更なる安全・安心を確保するため、老朽化が著しい市内小中学校の保冷庫を整備するなど衛生環境の向上を図る。	・衛生環境が向上した小中学校数：12校（小学校9校、中学校3校） ・衛生環境が向上した調理場：1調理場	・衛生環境が向上した小中学校数：12校（小学校9校、中学校3校） ・衛生環境が向上した調理場：1調理場	◎
12	①	幼稚園てぃーだっ子のびのび事業	H24～H33	全国と比較して保育所の待機児童数が多い本市において子育て支援を推進するため、小学校と連携した公立幼稚園において2年保育と預かり保育の充実を図る。	4歳児及び預かり保育の幼児数：633人	4歳児及び預かり保育の幼児数：633人	◎
12	②	浦添市学童っ子応援プロジェクト	H24～H33	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行う。	公的施設入居クラブ数：2クラブ	公的施設入居クラブ数：2クラブ	◎
13	①	災害時備蓄食糧購入強化促進事業	H24～H28	災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の食料3日分を備蓄する。	非常用食糧の目標備蓄率（市人口の5%）の20%	非常用食糧の目標備蓄率（市人口の5%）の28.9%	◎
13	②	災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業	H24～H28	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の設置や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。	備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所	備蓄倉庫：4棟 発電機：4機 造水機：4機 簡易トイレ：4箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
13	③	減災まちづくり事業	H24	地震や津波など、災害が発生した場合に、住民が自主的かつ迅速に避難するために必要な情報（避難場所や避難路、海抜、危険地域等）を地図上に示した「防災マップ」を作成し、地域住民や観光施設等の事業所に配布する。	防災マップ配布：60,000枚	防災マップ配布：44,591枚	○
14	①	航空機騒音基礎調査事業	H24	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	・航空機騒音測定器の設置箇所数：3件	・航空機騒音測定器の設置箇所数：3件	◎
14	②	戦災滅失戸籍等沖縄戸籍関係書類システム化事業	H24	戦禍により滅失し、戦後再生された沖縄戸籍は、現在、紙原本で約86,000枚の書類として保管されている。紙原本劣化による散逸の危険性を除去するため、電子化して保存する。	・沖縄関係戸籍の電算化率：100%	・沖縄関係戸籍の電算化率：100%	◎
14	③	里道及び水路の境界確定復元事業	H24	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の位置確定率	0%	未
14	④	牧港補給地区跡地利用計画基本計画策定事業	H24	平成18年に在日米軍再編協議において全面返還が合意された牧港補給地区において、返還後、速やかな事業着手が行えるよう跡地利用基本計画を策定及び効果分析を行う。	・跡地利用基本計画の策定	・跡地利用基本計画の策定	◎
14	⑤	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24～H33	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援（3回）	・牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援（3回）	◎
14	⑥	牧港補給地区情報システム事業	H24～H33	牧港補給地区に関する情報を適正に管理するため、土地及び地権者情報をデータベースによるシステム化を図る。	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・維持	・牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握・維持	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

浦添市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
14	⑦	学校施設騒音測定事業	H24	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生していることから、児童生徒の学習環境づくりに資するため、騒音測定器を市内16の小中学校に設置し、教室内の航空機騒音の正確な数値を把握する。	・市内小中学校への騒音測定器設置率：100%	・市内小中学校への騒音測定器設置率：100%	◎
14	⑧	浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業	H24～H33	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。	・基金の積み立て：13億円 ・用地測量(基準点1級・2級)及び里道、水路の境界確定復元事業資料調査委託	・基金の積み立て：12.1億円 ・用地測量(基準点1級・2級)及び里道、水路の境界確定復元事業資料調査委託	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	学習指導支援者配置事業	H24～H33	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習指導支援者を市内小学校に配置：5校	学習指導支援者を市内小学校に配置：5校	◎
1	②	生徒指導支援者配置事業	H24～H33	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通した個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善が見られた人数　：　4人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善が見られた人数　：　4人	◎
1	③	小中学校英語支援員配置事業	H24～H33	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	英語支援員の配置 小学校：3人、中学校：3人、小中兼務：2人	英語支援員の配置 小学校：3人、中学校：3人、小中兼務：2人	◎
1	④	教育用ソフト購入事業	H24	市内の小・中学校へ主要教科（国語・算数/数学・理科・社会）のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示や映像資料によるリアリティを持たせる授業をとおし、驚きや感動を与え、児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。	市内小中学校における教育用ソフトの導入率 小学校：100%、中学校100%	市内小中学校における教育用ソフトの導入率 小学校：100%、中学校100%	○
1	⑤	中学生海外短期留学派遣事業	H24～H33	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	海外短期派遣生徒数：12人	海外短期派遣生徒数：12人	◎
1	⑥	適応指導教室支援員配置事業	H24～H33	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善が見られた人数　：　6人	当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校生活への適応や学校復帰等の面で改善が見られた人数　：　6人	◎
1	⑦	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～H33	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	大会等派遣生徒数　H24年度：80人	大会等派遣生徒数　H24年度：39人	未

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	稲田小学校ハブ除けフェンス設置事業	H24	毎年4・5匹のハブが校内で捕獲されている稲田小学校周辺にハブ防護フェンスを設置し、児童生徒が安全な学園生活が送れるよう環境整備を行う。	ハブ防護フェンス設置数：1校	ハブ防護フェンス設置数：1校	◎
2		名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	H24	本市の沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	◎
3	①	陸上競技場改修事業	H24	住民の健康づくりやトップアスリート等による利活用を促進するため、名護市陸上競技場の改修整備によりスポーツ環境の強化を図る。	陸上競技場の走路及びインフィールドウレタン補修の実施	－	繰
3	②	真喜屋運動広場整備事業	H24～H25	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、多目的広場としての利用環境を改善する。	真喜屋運動広場拡張整備に係る基本設計の実施	真喜屋運動広場拡張整備に係る基本設計の実施	◎
4	①	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業（アグリパーク）	H24～H26	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	農産物6次産業化支援拠点施設の建設着手	－	繰
4	②	（仮称）名護市青果等市場整備事業	H24	地域農産物の販路の確保、地産地消の推進による農家の所得の安定・向上及び地域農業の振興を目的に、市外・県外への安定した農産物の供給体制を確立するための青果等市場を整備する。	（仮称）名護市青果等市場の建設着手	－	繰
4	③	羽地地域直売加工施設整備事業	H24～H25	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。	羽地地域直売加工施設の実施設計の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	①	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24～H33	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。	プロ野球キャンプ見学者数 H23年度：17,804人（29日間） H24年度：20,000人（28日間）	プロ野球キャンプ見学者数 H24年度：17,799人（28日間）	○
5	②	二見以北4小学校跡地等利用事業	H24	閉校となった二見以北4小学校を体験・交流施設等として利活用するため、危険性の高い施設を除去し、跡利用の推進に必要な環境整備を行うとともに、学校跡地周辺の地域資源を活用した地元主体の観光基盤整備及び地域づくりに必要な備品等を購入する。	危険施設の解体工事の着手	－	繰
5	③	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定事業	H24	体験型観光への転換による地域の振興を図るため、市指定天然記念物である大浦湾のマングローブ林という天然資源を活用した、自然体験学習施設整備を検討するための基本計画を策定する。	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定（ルート、各種プログラム）	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定（ルート、各種プログラム）	◎
5	④	轟の滝周辺整備事業	H24～H27	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。	・轟の滝周辺整備の実施設計の実施 ・用地測量 ・事業認定申請	－	繰
5	⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24	地域景観資源を保全・再生し、観光振興に活用するため、景観形成方策及び景観形成基準に関する検討を行い、名護市の景観計画を策定する。	・景観計画の策定（景観形成方策及び景観形成基準）	・景観計画の策定（景観形成方策及び景観形成基準）	◎
5	⑥	名護さくらのまち推進事業	H24～H25	名護さくら祭り会場となる名護城（ナングスク）及びその近隣の緑道並びに観光資源となっている勝山（安和岳、嘉津宇岳、八重岳）へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。	・桜の植栽整備地区：3地区 ・名護城跡地周辺の桜400本の健康度調査	－	繰
5	⑦	21世紀の森公園等機能強化事業	H24	多くの市民・観光客が利用する21世紀の森公園施設の機能強化による利便性・安全性の向上を図るとともに公園の美化・緑化を推進し、本市の観光振興を図る。	・コイン式シャワーユニット設置 ・ハブクラゲ防止ネット設置 ・乗用草刈り機購入 ・高所作業車両購入 ・特殊車両（ユニック車）購入	－	繰
6	①	行政区単位版ハザードマップ作成事業	H24～H26	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	ハザードマップ作成地区数：5地区分	ハザードマップ作成地区数：5地区分	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

名護市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	②	トンネル災害及びテロ災害等対応資機材整備事業	H24	平成23年４月に二見バイパス１号及び2号トンネルが開通し、平成24年４月には県内で最長となる名護東トンネルが供用開始されるなど、本市の山間地域には複数のトンネルがある。こうしたトンネル内で発生する車両事故や特殊なトンネル災害に対応するための資機材を整備し、迅速な救助活動を実現する。	トンネル災害等に対応した資機材の整備	トンネル災害等に対応した資機材の整備	◎
7	①	喜瀬交流プラザ整備事業	H24	喜瀬地区においては、スポーツや豊年祭をはじめとする伝統文化・芸能などの地域活動を通じて観光客との交流・体験活動を計画しており、本事業によりこれら交流拠点の整備を行う。	喜瀬交流プラザの建設着手	－	繰
7	②	地域力発信交流拠点施設整備事業（大北）	H24	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	地域力発信交流拠点施設（大北）の建設着手	－	繰
8		名護市自転車まちづくり推進事業	H24～H27	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン（自転車指導レーン）整備を実施する。	自転車レーンの整備：1,120m	－	繰
9	①	金融・情報通信国際都市形成計画策定事業	H24	平成１９年度事業で取りまとめた金融・情報通信国際都市形成計画を踏まえ、これまで進められてきた諸事業の進捗及び成果を検証し、再整理するとともに、検証及び再整理に基づく平成３０年度までのロードマップの構築を行う。	金融・情報通信国際都市形成計画の策定（５年間のロードマップ）	金融・情報通信国際都市形成計画の策定（６年間のロードマップ）	◎
9	②	企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、県外企業の経営者又は担当者に本市を訪問してもらい、本市の取組み、立地環境、進出済企業との意見交換等の情報提供の機会を設け、「名護市」の魅力をPRし、企業進出の契機とする。	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致：15人	金融・情報通信関連企業の経営者等の招致：13人	○
9	③	豊原地区光ファイバ設備整備事業	H24	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、みらい3号館からみらい4号館までの区間に光ファイバによる通信回線の冗長化（二重化）のための整備を実施する。	光ファイバの区間整備：１区間	－	ー

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	具志川城跡整備事業	H24～H26	国指定史跡具志川城跡を展示・解説する教養等施設を建設し、観光客の誘客などを推進する。当該年度は施設建設に向けた用地測量及び用地購入(400平方メートル)を実施する。	・ガイダンス等施設用地の購入（400㎡）	－	繰
1	②	サンゴ礁造成事業	H24	本市の漁業の発達は、地先の礁池内における沿岸漁業が源であった。復帰後は陸域起因物質等による海の汚れでサンゴの生息が脅かされてきた。豊かで美しい海を育むサンゴの減少は、水産業振興を後退させる要因である。また、沖縄観光に訪れる観光客にとって美しい海の存在は不可欠である。本市においては「全国豊かな海づくり大会」が開催されることもあり、これを契機として礁池内へのサンゴ礁移植を実施する。	・稚サンゴ移植数　590体	・稚サンゴ移植数　560体	○
1	③	海のふるさと公園機能強化事業	H24～H25	海のふるさと公園を漁業と海洋性レクリエーションの拠点とし、機能の強化をはかり体験学習の場としての活用をはかる。	・公園施設機能強化実施箇所4箇所	－	繰
1	④	ハーリー・ハーレー船造船事業	H24	市内の漁村地域では、爬竜船競漕が盛んでとりわけ糸満ハーレーは沖縄の夏を告げる行事として、さらに沖縄独特の旧暦文化を体感できる観光資源として名高い。漁村の地域行事を一層魅力ある観光資源とするため、木製のサバニを整備する。	・ハーレー等舟の充足率100%	－	繰
1	⑤	沖縄らしい風景づくり事業	H24	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進める為風景づくり計画の策定を実施する。	・風景づくり計画（素案）の策定	・風景づくり計画（素案）の策定	◎
1	⑥	昔ながらの原風景写真デジタル保存事業	H24	市史編集事業の一環で収集したフィルム等の写真資料は、沖縄県の高温多湿な環境により劣化が著しい。地域を記録する貴重な写真等は、今後『市史』等刊行物での活用だけでなく、教育現場や観光関連産業等、本市についての情報を発信するあらゆる機会での活用が期待できる。本事業では、貴重な歴史資料を後世に残し、有効活用する為、同情報のデジタル化を実施する。	・所蔵写真資料等のデジタル化及びデータベース化率100%	・所蔵写真資料等のデジタル化及びデータベース化率100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	新しい公共交通検討事業	H24	観光客が地域内（小さなムラ）を散策する姿が増加傾向にあるが、散策型観光を支える小さなムラへの交通手段が途絶える危機に直面している。 市内に点在する小さなムラ（市まるごと博物館の観光資源）をつなぐ公共交通手段の確保に向け、公共交通の調査検討事業を導入する。	・糸満市の公共交通現況調査及び実証実験等の手順書作成	・糸満市の公共交通現況調査及び実証実験等の手順案作成	◎
1	⑧	戦火を逃れた文化遺産の保護事業	H24	沖縄県本島南部は大戦の激戦地で多くの歴史文化遺産が焼失した。本市には奇跡的に残った砂岩質の石碑（報得橋記）があり、尚敬王によって架設された報得橋の経緯や役割等について記載されいる。同石碑を報得橋敷地内に移設し、表示板の設置等を行い、市民及び観光客に公開して本市の観光振興に資したい。	・石碑の移設及び覆屋等設置の実施（1式）	・石碑の移設及び覆屋等設置の実施（1式）	◎
1	⑨	生活感幸（観光）環境づくり事業	H24	市内集落に関する小冊子と地図を作成することにより、本市の風土・文化・歴史などについて学び、散策できる環境を整え、観光客など本市を訪れる人々の利便を図る。	・市史講座受講者数　50人	・市史講座受講者数　43人	○
1	⑩	地域散策道路整備事業	H24	観光客が地域内を散策する姿が増加傾向にあるが、域内散策をする道路の利便性や安全性が脆弱であること、さらに、市で取り組んでいる地域の観光資源化事業（村まるごと生活博物館）を進めるうえでも地域の道路整備が求められることから、農村地域の散策道路等を整備する。	・地域の散策道の整備 整備延長　舗装555m、側溝553m	・地域の散策道の整備 整備延長　舗装555m、側溝553m	◎
1	⑪	東シナ海と太平洋が交わるロケーション周辺保全事業	H24	沖縄本島の南部に位置する糸満市は、東シナ海と太平洋が交差する風光明媚なロケーションを有している。それらの観光客の訪れる観光ポイントの環境美化を実施する。	・不法投棄撤去量：15トン	・不法投棄撤去量：19.06トン	◎
1	⑫	冬場のエコスポーツ拡大事業	H24	沖縄の温暖な気候を求めてスポーツ観光が拡大傾向にあり、本市にあっては他自治体と競合しない新たな観光資源の掘り起こしを行っている。また、本市では本土では冬場コースが凍結し、開催が困難なマウンテンバイクの大会を開催している。外国人を含めたプロ選手等が参加する大会へ拡大するため、大会拡大に対応できる環境整備等を行う。	・マウンテンバイク大会参加来場者数：350人	・マウンテンバイク大会参加来場者数：400人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	①	庁舎スマート化基本計画策定事業	H24	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、糸満市庁舎のエネルギー利用をより効率化するための調査計画を行う。	・調査により得られた庁舎のエネルギースマートの方策案　5件	・調査により得られた庁舎のエネルギースマートの方策案　5件	◎
2	②	太陽光エネルギー利用設備合理化事業	H24	糸満市庁舎の太陽光発電設備の合理化により効率化をはかるとともに施設内容を解説する説明板を整備する。	・市庁舎への高効率太陽光パネルの設置 ・市庁舎への説明板の設置	－	繰
2	③	省エネ設備化推進事業	H24	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、庁舎の照明及び市管理防犯灯をLED化し省エネ化を推進する。	・市庁舎へのLED照明の設置 ・LED防犯灯のLED設置	－	繰
2	④	風力エネルギー利用推進事業	H24	糸満観光農園に設置されている風力発電施設をこの地域の電力系統に整合するように変更し、地元電力会社に売電が出来るよう施設改善を行い、エネルギーの有効活用を推進する。	・風力発電設備の改善の実施 ・売電実施	－	ー
2	⑤	エコカー導入事業	H24	公用車にエコカーの導入と電気自動車用充電器を設置することにより、クリーンエネルギーの普及啓発を推進する。	・庁用充電施設の設置　1箇所（12基） ・庁用電気自動車導入台数　8台	・庁用充電施設の設置　1箇所（12基） ・庁用電気自動車導入台数　8台	◎
2	⑥	電動式塵芥収集車導入事業	H24	塵芥収集車に電気自動車を導入し、クリーンなまちづくりを啓発する。	・電動式塵芥収集車の導入数　1台	・電動式塵芥収集車の導入数　1台	◎
2	⑦	燃料ごみ処理モデル事業	H24	現在、4地区のみで取り組んでいる可燃ごみの固形燃料化を市全域に広めていくよう「燃料ごみ処理モデル事業」を推進する。	・H24年度再資源化(RPF)量145トン	・H24年度再資源化(RPF)量127トン	○
3	①	運動公園・体育施設機能強化事業	H24～H26	西崎運動公園・体育館等の機能を強化しアマチュアスポーツのメッカにし、市民スポーツと地域の振興をはかる。	・運動公園等の機能強化工事の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	②	スポーツ観光分野開拓事業	H24	地域資源（歴史・文化・自然）を散策しつつ、ウォーキング・海洋スポーツによる軽スポーツと連携した事業を導入する。	・ウォーキング大会・海洋スポーツ大会参加者数1,300人／年	・ウォーキング大会・海洋スポーツ大会参加者数1,320人／年	◎
3	③	地域スポーツ施設の拡充事業	H24～H26	西崎に大規模スポーツ施設が存在するが、事業のすべてを同施設内で完結することは難しい。多くの選手団を受け入れ円滑な大会運営を確保するため、地域に散在するスポーツ施設を年次的に改善する。	・地域スポーツ施設機能強化工事の実施	－	繰
4	①	海抜表示委託事業	H24～H25	本市は、観光客が多く訪れる地のひとつであり、訪問地は海に近いところが多い。観光地をはじめ市内要所に海抜表示を行うことにより市民、観光客が安心なまちづくりとする。	・海抜表示の設置箇所数：555箇所	・海抜表示の設置箇所数：555箇所	◎
4	②	海洋レジャー客等安心確保事業	H24	サーフィン大会が開催されるなど既存施設以外の海上利用があり、不測の事態への対応範囲が拡大している。 海洋レジャーの救助活動等不測の事態に対応し、観光客等の安心を担保する環境整備に取り組む。	・ジェットボートの配置　1艇 ・スロープ設置工事の実施１箇所	－	繰
4	③	観光地危機管理対策事業	H24	大型ホテルや道の駅の設置、観光レジャーの拡大等県内有数の観光地として成長する本市にあって、観光客の増大に伴う事故や不測の事態への対処できる体制の確立が急がれるため、多様で高度な事故等へ対応できる環境整備を行う。	・防災拠点への防災資器材設置箇所7箇所	・防災拠点への防災資器材設置箇所7箇所	◎
4	④	減災マップ政策事業	H24	災害時非難に必要な標高、避難場所情報等が掲載された地図の作成し、市民や観光施設等事業所へ配布し、観光地として不測の事態に対応できる環境を整備する。	・観光拠点へのマップ設置率100%	・観光拠点へのマップ設置率100%	◎
4	⑤	学校校舎緊急避難施設整備事業	H24	スポーツ観光施設利用者や近隣住民等の緊急避難箇所がきわめて少ないため、学校施設内にスロープや車いす等で利用できるようにトイレをバリアフリー化し、突発的に発生する災害時の緊急避難施設として整備する。	・学校施設の緊急避難施設としての機能強化工事の実施	・学校施設の緊急避難施設としての機能強化工事の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	①	多言語観光案内マップ作成事業	H24	近年、糸満市にも中国、台湾、韓国など外国からの観光客の訪問が目に見えて増えてきており、その便宜を図るよう多言語表示の観光ガイドマップ（ブック）を作成する。	・多言語観光ガイドマップ（ブック）配布数21,000部	・多言語観光ガイドマップ（ブック）配布数21,000部	◎
5	②	糸満ふるさと祭推進事業	H24	糸満市の各字に残る民俗行事などを披露し、市民の融和と伝統行事の継承と意図すると共に観光客にも糸満の地域行事を楽しむ場とする。	・ふるさと祭りの開催	・ふるさと祭りを開催	◎
5	③	平和の光イベント推進事業	H24～H28	糸満市は、年末年始にかけて平和の光事業（ピースフルイルミネーション）を実施しているが今年度は関連事業として平和の柱事業を加えてより強く恒久平和の発信を行う。	・平和の光イベント来場者数79,000人	－	繰
5	④	体験交流促進事業	H24	滞在型観光を推進することを目的として体験交流事業を開催する。	・体験交流事業参加者数100人	・体験交流事業参加者数140人	◎
5	⑤	接客スキルアップ事業	H24	アジア圏域の旅行客が市内を訪れているが、地域の波及はきわめて少ない。アジア圏域の旅行者に対応できるよう、語学習得や接客法等事業所のスキルアップを支援し、受け入れ態勢を整備する。	・語学習得・接客法等講座受講者数70人	・語学習得・接客法等講座受講者数166人	◎
5	⑥	伝統行事観光化事業	H24～H26	大綱引やハーレー行事等の誘客に力を入れる場合、観客に配慮した取り組みが求められる。組み立て式の観覧席等を年次的に整備し、受け入れ態勢を向上させる。	・体験ツアー参加者数90人	－	繰
5	⑦	緑と花の演出事業	H24	何度も訪れたい美しいまちとして観光客の心に刻むため、大型ホテルが位置する西崎周辺や本市が進める花の名所づくり実施地域に南国らしい緑と花の異空間づくりに取り組む。	・花の名所づくり地域への植栽花木数50本	・花の名所づくり地域への植栽花木数50本	◎
5	⑧	観光情報発信事業	H24	スマートフォン等の普及に伴い、インターネットを利用した情報発信の重要性が増している。このため、本市独自の観光情報や平和情報等を積極的に発信する取り組みを行う。	・観光情報事業による新システム導入	・観光情報事業によるシステム整備完了	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	⑨	民泊受入体制強化事業	H24	自然体験や農業体験等教育旅行の需要が増えており、安心・安全な民泊がなされるよう研修や救急措置法等の講習会を実施し、民泊受け入れ世帯のスキルアップを行う。併せて、受け入れ世帯の拡大に向け、広報周知を行う。	・民泊受入民家向け講習会受講者数（延）150人	・民泊受入民家向け講習会受講者数（延）185人	◎
6	①	糸満市水産業振興センター設置事業	H24～H28	新たな水産技術の習得と応用により、養殖・水産加工業等の新たな水産業の確立を目ざす施設として整備する。	・水産振興センター用地購入	－	繰
6	②	フィッシャリーナ施設運営強化事業	H24	糸満フィッシャリーナの施設運営管理強化することで、新たな水産業の業態を生み出し、水産業と観光業の振興をはかることを目的とする。	・フィッシャリーナ駐車場管理システム導入の実施	・フィッシャリーナ駐車場管理システムを導入	◎
6	③	豊かな海づくり大会を通じた広報宣伝事業	H24	全国豊かな海づくり大会の式典の模様は全国にテレビ等で発信される。この機会に糸満市を広報宣伝することを目的としてこの事業を実施する。	・全国豊かな海づくり大会・関連イベント来場者数　50,000人	・全国豊かな海づくり大会・関連イベント来場者数　50,000人	◎
6	④	海人沖縄爬龍船大会	H24	沖縄の水産業の象徴であるサバニを漕ぐ爬龍船大会を海人のまちとして名高い本市において、漕ぎ手沖縄一を決める大会を本市で開催する。	・海人沖縄爬龍船大会来場者数：30,000人	・海人沖縄爬龍船大会来場者数：20,000人	未
6	⑤	海やからのまち推進事業	H24	水産都市として名高い本市は、水産業を総合産業として位置付けその発展可能性を導き出したい。そのため、振興計画を策定する。	・海やからの町振興計画の策定	基本計画を策定	◎
7	①	耕作放棄地対策事業	H24	耕作放棄地の実情を把握した後の流動化を促進し、規模拡大希望農家への農地斡旋を推進する。	・耕作放棄地の実態調査　350,000㎡	・耕作放棄地の実態調査　350,659㎡	◎
7	②	糸満和牛群改良整備事業	H24	ヤギや豚を食する文化が根強く、食用牛を育てる基盤が他自治体に比べ弱い。近年石垣牛など地域のブランドとして高い需要があり地域経済をけん引している。糸満市においても経済波及を生むよう質の高い食用牛の改良に取り組む。	・優良母牛リース頭数　40頭	・優良母牛リース頭数　40頭	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	③	小規模農家支援事業	H24	本市は、小規模農家が多く、圃場が点在している。さらに、個別の小さな畑が隣接するなど、農作物ごとに使用制限のある農薬が飛散しやすい。簡易パイプハウス、防風ネットの施設整備支援を行い改善を図る。	・防風ネット設置数　36箇所（件） ・簡易パイプハウス設置数　35基	・防風ネット設置数　36箇所（件） ・簡易パイプハウス設置数　35基	◎
8	①	姉妹都市等物産交流事業	H24	姉妹都市の宮崎県都農町、友好都市北海道網走市との物産交流を行い相互の特産品の販路拡大を推進する。	・物産交流会参加事業者数：18事業者 ・物産交流展来場者数（延）：300,000人	・物産交流会参加事業者数：40事業者 ・物産交流展来場者数（延）：313,000人	◎
8	②	全国豊かな海づくり大会物産フェア実施事業	H24	全国豊かな海づくり大会時にふれあい交流事業を実施する中で物産フェアーを開催し、本市の特産品を全国に発信する。	・全国豊かな海づくり大会物産フェア来場者数 50,000人	・全国豊かな海づくり大会物産フェア来場者数 52,000人	◎
8	③	報得川タマン祭・西崎フェスタ	H24	本市は水産の街として発展してきた歴史があり、森・川・海の連鎖を常に認識している。河川下流にある西崎商業地域において、森（農業）と海（水産業）を再認識させるイベントを実施し、市内農水商の連携を強くする事業に取り組む。	・西崎フェスタ・タマン祭り来場者：6,000人	・西崎フェスタ・タマン祭り来場者：5,000人	○
8	④	キッズインザキッチン	H24	本市の基幹産業の一つである農業において就農者離れが著しい、親子で農業体験と地場産品を活用した料理教室を行うことでレシピの共有につなげ、地産地消と食育を促進する。	・農業体験・料理教室参加者：250人	・農業体験・料理教室参加者：102人	未
9	①	戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	H24	沖縄戦で滅失した戸籍等を終戦後再生したが、用紙の劣化等により再び公文書の滅失する現状にある。同文書の電算化を図り保存する。	・沖縄戦滅失戸籍等の電子化整備率　100%	・沖縄戦滅失戸籍等の電子化整備率　106%	◎
9	②	平和の語り部育成事業	H24	戦争体験者の高齢化が著しく、この先10年程度で多くの語り部を失うことが予想される。同事業により新たな語り部を育成することで人的観光資源の養成につながる。	・語り部育成研修会受講人数　15人	・語り部育成研修会受講人数　18人	◎
10	①	確かな学力を育むサポート事業	H24	糸満市においては、学習支援を必要とする児童が多数おり、学校現場へ学習・自立支援教諭を配置、支援し課題解決をはかる。	・学習自立支援教諭配置数 小学校10校、中学校6校	・学習自立支援教諭配置数 小学校10校、中学校6校	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
10	②	英語指導強化事業	H24	小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での英会話指導を行う。	・英語指導教諭の配置数 小学校　10校　中学校6校	・英語指導教諭の配置数 小学校　10校　中学校6校	◎
10	③	障害児支援ヘルパー派遣事業	H24	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともにヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。	・障害児支援ヘルパーの配置数 幼稚園6園、小学校8校、中学校1校	・障害児支援ヘルパーの配置数 幼稚園6園、小学校8校、中学校1校	◎
10	④	学習ボランティア推進事業	H24	退職教諭や学生等による「学習ボランティア」の組織をつくり学校現場へ学習ボランティアを派遣する。また、学習指導ボランティアの連絡協議会を開催し運営者指導の充実をはかる。	・学習ボランティア組織化の協定数：2件	・学習ボランティア組織化の協定数：2件	◎
10	⑤	学びの体験事業	H24	学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣し、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における“学び”を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、全国下位にある学力向上を図る。	・先進地体験交流参加者数　47人	・先進地体験交流参加者数　51人	◎
11	①	幼稚園児預かり保育関連整備事業	H24	当該幼稚園の在園する園児で、保護者が「預かり保育」を希望する園児を募集し、教育課程修了後～午後6時までの「預かり保育」を実施する。	・幼稚園預かり保育利用者数：80人	・幼稚園預かり保育利用者数：90人	◎
11	②	地域子育て推進事業	H24	全ての家庭が安心して子育てができる環境を整備することを目的とし、地域における子育て支援ネットワークを構築する。	・すこやか館・児童館利用者数（延）：23,000人	・すこやか館・児童館利用者数（延）：21,008人	○
11	③	子育て応援NPO活動支援事業	H24	子育ての困難な親が増加しており、適切な支援を必要とする機会増えている。NPOを活用して親の居場所づくりや子育ての見守り、支援を行う。	・NPOを通じた親向け学習会の参加者数：480人	・NPOを通じた親向け学習会の参加者数：983人	◎
11	④	公立保育所環境整備事業	H24	園庭に開閉式遮光ネットを張り、安心して戸外遊びができる保育環境を整備する。併せて保育所建物の断熱塗装工事等に取り組み子どもたちの健やかな成長を支える。	・紫外線・冷房対策実施保育所利用児童数：31人	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

糸満市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
12	①	障害者就労支援事業	H24～H28	住んでいる地域でも自らが商品を販売できるよう移動式販売所設置するなど働く環境の整備をする。	・新商品開発件数　3件	・新商品開発件数　3件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光基盤整備事業	H24～H27	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、タッチパネル式のデジタル観光インフォメーションの設置に対する支援や観光案内ポータルサイトの作成およびAR基盤アプリケーションなどを整備する。	主要イベント来場者数　641.9千人 主要施設来場者数　2,235.5千人	－	繰
1	②	ｋｏｚａフィルムオフィス事業	H24～H27	伝統文化や景観など本市の地域資源を観光情報として発信し、誘客の拡大を図るため、魅力ある地域のロケ地情報の発信や撮影の誘致等を支援する。	誘致活動 撮影支援 撮影誘致助成　2件 撮影助成　1件 フィルムオフィスHPの構築 ロケ地マップ等の製作　2,000部	誘致活動 撮影支援：39件 撮影誘致助成　0件 撮影助成　1件 フィルムオフィスHPの構築 ロケ地マップ等の製作　2,000部	○
1	③	音楽資源収集事業	H24～H25	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、関係者への聞き取り調査、概要版映像を作成するなど、音楽資料の常設展示に向け取り組む。	音楽・芸能資源収集数220点 展示会の開催：1回以上	音楽・芸能資源収集数1,566点 展示会の開催：2回	◎
1	④	音楽観光誘客事業	H24～H27	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光産業や音楽産業との連携により、観光ホテルと中心市街地を結ぶバス周遊等を実施するとともに、観光資源であるライブハウスなどにおける定期イベントを開催する。	ライブハウス入場者数　7,200人 ライブハウス集客率　60%	ライブハウス入場者数　8,319人 ライブハウス集客率　64.1%	◎
1	⑤	外国人誘客推進事業	H24～H27	アジア地域からアーティストおよびマスメディアの招聘等により、誘客の拡大を図ることを目的とし、本市発祥のオキナワンロックなどを中心とした多彩な音楽イベントを拡充し、それらを実施する団体に支援を行う。	ピースフルラブ・ロックフェスティバル来場者数 H23年度：2,800人→H24年度：3,300人	ピースフルラブ・ロックフェスティバル来場者数 H23年度：2,800人→H24年度：3,800人	◎
1	⑥	市民小劇場あしびな一改修事業	H24～H30	音楽や文化による観光を推進するため、市民小劇場あしびな一の設備機器の機能強化に取り組む。	・市民小劇場あしびな一の設備（備品）の購入：1件	・市民小劇場あしびな一の設備（備品）の購入：1件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	（仮称）国際交流センター事業	H24～H27	国外の観光客も訪れることから、語学力や異文化理解能力の向上を目的に、多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を設置し、情報発信をはじめ、各種語学講座や異文化理解講座等を行う。	（仮称）国際交流センターの設置 【コザインターナショナルプラザに名称決定】 多言語講座、多言語相談、多言語情報コーナーの設置。 多言語講座受講者数　600人（延べ） 相談件数　20人（登録者数）	（仮称）国際交流センターの設置 【コザインターナショナルプラザに名称決定】 多言語講座、多言語相談、多言語情報コーナーの設置。 多言語講座受講者数　672人（延べ） 相談件数　23人（登録者数）	◎
1	⑧	エイサー文化発信事業	H24～H27	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる（仮称）青年エイサー会館の整備に向けた取り組みを推進するとともに、エイサー関連資源のブランド化の支援を行う。 また、「沖縄全島エイサーまつり」におけるシャトルバスの運行やエイサーの担い手の育成、エイサーによる文化交流活動への支援などを行う。	沖縄全島エイサーまつり来場者数 H24年度：310千人 エイサーナイト来場者数 H24年度：10千人	－	繰
1	⑨	エイサーサイン整備事業	H24～H29	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの絵柄を取り入れた下水道のマンホール蓋等を設置する。	市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置箇所：100ヶ所／年	市内観光施設付近におけるエイサー絵柄のマンホール設置箇所：91ヶ所／年	○
1	⑩	伝統文化観光推進事業	H24～H27	本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、本市の伝統工芸である知花花織で沖縄こどもの国の動物を着飾ったイベントの開催および伝統行事である「ウマハラセー（美ら競馬）」の復活への支援を行う。	伝統文化であるウマハラセーの復活	伝統文化であるウマハラセーの復活	◎
1	⑪	文化財整備等事業	H24～H27	市指定文化財の「奉安殿」や「忠魂碑」は、県内においても貴重な文化財であり、沖縄戦の歴史を語り継ぐ貴重な文化資料として保存・活用するため、経年劣化による損傷を修復する取り組みをおこなう。	奉安殿及び忠魂碑の修復等設計業務の実施	奉安殿及び忠魂碑の修復等設計業務の実施	◎
1	⑫	文化財等公開デジタル化事業	H24～H25	市民および観光客など利用者の利便性向上による誘客を図るため、市が所有している文化価値の高い収蔵品や映像資料、民話データ等のデータ公開システムを構築する	博物館資料のデジタルデータ化作業	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑬	地域自然環境調査事業	H24～H27	自然と共生する観光を推進するため、嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境資源が現存する「嶽山原」地域および本市北部地域の自然環境実態を把握するため、植生概観と動物概観に関する調査を行う。	「嶽山原」地域の自然調査の実施	「嶽山原」地域の自然調査の実施	◎
1	⑭	戦後文化資料等展示事業（デジタル化）	H24～H27	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」のさらなる誘客の拡大を図るため、本市関係戦後新聞記事資料のデジタル化を行う。	新聞記事デジタル化作業進捗状況：60%	－	繰
2	①	スポーツ推進整備事業	H24～H28	多くの市民そしてスポーツ合宿団体が利用する沖縄市総合運動場について、施設とスポーツ備品を整備し、より利用しやすい体育施設・スポーツ合宿地として強化し、利用者の競技力向上や健康増進はもとよりスポーツ合宿の増大による観光振興を図る。	・サッカー人工芝化の実施設計の実施 ・備品整備：2件	－	繰
2	②	コザ運動公園整備事業	H24～H25	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、スポーツコンベンションの拠点であるコザ運動公園の車両出入り口の改良に関する調査検討を行う。	コザ運動公園の車両出入り口改良工事に関する実施設計の実施	－	繰
3	①	道路緑化推進事業	H24～H33	観光地周辺道路のにぎわいを演出するため、四季おりおりの草花を植栽する。	道路緑化箇所　4箇所	－	繰
3	②	道路景観形成推進事業	H24～H33	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽の整備計画をはじめ、道路空間活用計画や道路鋲の整備計画の検討、道路照明設置やデザインの検討などを行う。	・市道沿線環境美化業務10路線実施 ・照明灯LED化調査業務20路線実施 ・照明灯デザイン作成業務実施	－	繰
3	③	観光地周辺道路整備事業	H24～H33	観光施設の利便性向上に向け、アクセス道路における道路施設や歩道および街路樹の整備等の調査業務を行う。	市道東南植物楽園線実施設計を実施	市道東南植物楽園線実施設計を実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	①	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ推進事業	H24～H28	こどもたちが優れた文化芸術にふれ、体験・交流できる機会を創出するため、「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ（キジムナーフェスタ）」やフリンジ（非招待）公演を開催する。また、世界各国から演劇関係者が集う国際児童青少年演劇協会（アシテジ）第１回国際会議を開催する。	キジムナーフェスタ観客動員数：32,000人	キジムナーフェスタ観客動員数：39,765人	◎
4	②	沖縄こどもの国施設整備事業	H24～H32	次世代を担うこどもたちの科学への興味や豊かな感性を育てるため、ワンダーミュージアム展示品等整備およびロボット展を開催するとともに、琉球弧の動物展示施設整備を行う。	沖縄こどもの国公園・琉球弧動物展示施設の実施設計および第１期工事の実施	－	繰
4	③	こどものまち推進事業	H24～H28	こどもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるため、こどものまち推進アクションプログラムの策定や、こども市民会議(仮称)の運営、こども学講座の開講、えほんの国の開設などを行う。	沖縄こどもの国来場者数： H23年度：383,559人→H24年度：385,000人	－	繰
5	①	沖縄市こども科学力向上事業	H24～H28	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、科学実験イベント、体験ワークショップ、出前科学教室を開催する。	科学関連イベント参加人数：44,000人	科学関連イベント参加人数：62,534人	◎
5	②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24～H28	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、キャリア教育コーディネーターによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネーターによる授業改善の指導・支援、外国人児童生徒への日本語指導、児童生徒への外国語指導、書画カメラ等情報教育機器の整備を行う。	・キャリア教育コーディネーターの配置：2人 ・教科コーディネーターの配置：3人 ・日本語指導員の配置：4人 ・外国語指導助手の配置：25人 ・情報通信機器の整備：デジタルテレビ148台、書画カメラ565台	・キャリア教育コーディネーターの配置：2人 ・教科コーディネーターの配置：3人 ・日本語指導員の配置：4人 ・外国語指導助手の配置：25人 ・情報通信機器の整備：デジタルテレビ148台、書画カメラ560台	○
5	③	吹奏楽部支援楽器整備事業	H24	生徒の音楽に対する興味と表現力を育み、音楽をとおしたまちづくりや人材育成を図るため、老朽化した吹奏楽の楽器を整備する。	吹奏楽の楽器購入 購入台数：74台	吹奏楽の楽器購入 購入台数：77台	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	④	気になる子等の学びを支援する事業	H24～H28	小中学校に特別支援教育支援員を配置するとともに、行動や学習に配慮を要する児童生徒（気になる子）についての支援を図る。 また、不登校や学力不振の児童生徒への学習支援を行う。	・臨床心理士の配置：1人 ・保健師の配置：1人 ・看護師の配置：1人 ・スクールカウンセラーの配置：10人 ・心の教室相談員の配置：8人 ・スクールソーシャルワーカーの配置：3人 ・スクールサポーターの配置：1人 ・学校支援教育補助者の配置：14人	・臨床心理士の配置：1人 ・保健師の配置：1人 ・看護師の配置：1人 ・スクールカウンセラーの配置：10人 ・心の教室相談員の配置：8人 ・スクールソーシャルワーカーの配置：3人 ・スクールサポーターの配置：1人 ・学校支援教育補助者の配置：14人	◎
5	⑤	幼稚園園舎遮熱対策事業	H24～H28	保育環境の充実のため、幼稚園舎の窓ガラスに日射調整、断熱、台風等による飛散防止を兼ねた遮熱フィルムを施工する。	幼稚園の遮熱対策実施率：12.5%	幼稚園の遮熱対策実施率：18.75%	◎
6	①	こどもいきいき安心事業	H24～H28	こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターの設置、児童館整備計画に伴うニーズ調査等を行う。	放課後児童支援センターの設置	－	繰
6	②	園児の健やかな成長を支える保育事業	H24～H28	子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる、「預かり保育」を実施する。	市内幼稚園における預かり保育実施率：100%	市内幼稚園における預かり保育実施率：100%	◎
6	③	認可外保育施設支援事業	H24～H28	保育環境の充実支援を図るため、認可外保育施設指導監督基準を満たす施設に対する施設修繕費、保育士の新規採用に対する補助を行う。	・保育士人件費補助：13人 ・施設改善費補助：5施設	・保育士人件費補助：0人 ・施設改善費補助：6施設	△
7	①	若年者就労等支援事業	H24～H27	雇用の創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者、企業等を対象に支援員等による就労支援、ワークショップ・サロンの定期開催等を実施する。また、心因性の理由等により就職が困難な若者を対象に、社会的・経済的自立支援を図るため、就労へ向けた支援やインターンシップ、職業訓練等を実施する。	アウトリーチ人数　200人 生活支援人数　400人 巡回就労相談人数　240人	アウトリーチ人数　23件 生活支援人数　157人 巡回就労相談人数　85人	未
7	②	ITワークプラザスタジオ設備改修事業	H24	情報通信関連施設の利用環境を向上し、コンテンツ産業等における雇用の創出を図るため、モーションキャプチャーシステムを改修する。	モーションキャプチャー設置台数：32台	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	③	空き店舗活用モデル推進事業	H24	地域において障がい者の雇用の場を確保し、地域の一員として社会参加の場づくりを推進するため、空き店舗を活用した植物工場を設置し、葉野菜の計画的栽培や直売および商品開発を実施するとともに、空き店舗活用のモデルを構築する実証実験を行う。	障がい者の雇用促進　4人 （当該事業実施による雇用数）	障がい者の雇用促進　14人 （当該事業実施による雇用数）	◎
7	④	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H27	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区においてコンテナ等の整備に対する支援や物流輸送にかかる支援の実施および物流促進に関する調査・検討を行う。	中城湾港における実証実験船貨物量　450t／回	－	繰
7	⑤	雇用基盤等環境整備事業	H24	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、都市基盤が脆弱な状況にある準工業地域等において、整備計画や実現方策並びに誘致企業の検討など、雇用および経済効果の可能性を調査する。	産業・雇用基盤に係る目指す将来像について基本構想（案）、基本方向（案）の策定	－	繰
7	⑥	沖縄市振興計画検討調査事業	H24	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、本市の持つ地域資源や可能性及び優位性等の調査・検討を行う。	沖縄市振興計画策定に向けた調査・検討の実施	－	繰
8	①	伝統工芸産業支援事業	H24～H27	工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花花織事業協同組合の販路拡大および販売促進に対し支援を行う。	知花花織事業協同組合売上 H23年度：1,555万円　→　H24年度：1,800万円	知花花織事業協同組合売上 H23年度：1,555万円　→　H24年度：3,202万円	◎
8	②	工芸による街づくり事業	H24～H27	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、（仮称）沖縄市伝統工芸館の創設に向け基本構想の策定等を実施する。	沖縄市工芸フェア売上額：1,500万円 伝統工芸館基本構想の策定の検討	－	繰
8	③	地域ブランド推進事業	H24～H27	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源（二次加工品等）を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。	コザスター商品認定数：6商品 コザチョイス商品選定数：60商品	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9		アグリビジネス推進事業	H24～H26	農業生産および農業経営の安定化を図るため、台風等の自然災害に影響を受けにくい栽培施設の整備に対し支援を行う。	食用菊強化型パイプハウス設置農家戸数　5戸 食用菊強化型パイプハウス設置面積　5,124㎡	食用菊強化型パイプハウス設置農家戸数　5戸 食用菊強化型パイプハウス設置面積　5,124㎡	◎
10		コミュニティーパーク整備事業	H24～H27	市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域住民と協働による公園の基本計画を策定する。	若夏公園の基本計画策定	－	繰
11	①	地域防災対策強化事業	H24～H33	災害等に備えるため、デジタル防災行政無線親局の整備に向け取り組むとともに、災害用備蓄倉庫（備蓄品含む）の整備、防災マップ（観光情報も掲載）の作成、避難場所標識の設置等を行う。	デジタル防災行政無線親局の実施設計の実施 災害用備蓄倉庫（備蓄品含む）の整備：2箇所で3棟 防災マップ（観光情報も掲載）の作成：6万部 避難場所標識の設置 等：10箇所	－	繰
11	②	災害時緊急避難通路整備事業	H24～H33	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路の整備を行う。	災害時緊急避難通路整備計画の策定 4地域10箇所実施	－	繰
11	③	沖縄市防災研修センター改修事業	H24～H25	防災に関する知識及び技術の向上、ならびに防災意識の高揚を図るため、また、海抜の低い地域における津波に関する防災研修が行えるよう、沖縄市防災研修センターの改修に向け取り組む。	防災研修センターの基本設計の実施 防災研修備品等の購入	－	繰
11	④	学校安全対策強化事業	H24～H28	全園児・児童・生徒へ配布する安全下敷きと学校掲示用安全マップの作成	・園児・児童・生徒への防災意識啓発用の下敷きの配布：約16,700枚 ・学校掲示用安全マップ設置数：全幼稚園（16園）、小学校（16校）、中学校（8校）	－	繰
12	①	航空機騒音測定事業	H24～H25	平成25年4月1日から施行される「航空機騒音に係る環境基準」に対応した航空機騒音測定器を設置し、本市における航空機騒音の実態を把握する。	航空機騒音自動測定器の設置：4箇所	航空機騒音自動測定器の設置：4箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

沖縄市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
12	②	里道および水路の境界確定復元事業	H24～H33	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業を行う。	・境界が不明確な里路の境界確定測量の実施： 100箇所 ・境界が不明確な水路の境界確定測量の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	瀬長島観光拠点整備事業	H24～H27	瀬長島の自然環境の保全、活用を図りつつ、歴史・文化的な価値等を踏まえた広場等の拠点施設を整備する。	瀬長島観光拠点施設整備計画の策定、用地取得（9,283㎡）、施設設計・整備	－	繰
1	②	文化観光創出事業	H24～H28	豊見城城址公園とその周辺について、重要な都市景観を形成し、憩いや安らぎを提供する観光資源等としての活用を図るため、調査等を行い同地域の土地利用構想を策定する。	豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用構想の策定	豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用構想の策定	◎
1	③	西海岸活性化構想事業	H24～H28	本市の西海岸地域の地理的特性を活かし、臨空産業や観光関連施設などの誘致、開発計画、周辺アクセス道路整備などの総合的検討を行い、沖縄観光振興の増進を図るため、基本構想の策定を行う。	西海岸活性化基本構想の策定	西海岸活性化基本構想の策定	◎
1	④	西海岸観光地域利用促進事業	H24～H28	質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチ（砂浜）において、マリンスポーツの快適な実施に必要な砂浜の清掃機器及び整備機器を購入するとともに倉庫等の施設整備を行う。	・清掃機器及び整備機器等備品購入（クリーナー等車両、ハブクラゲネット他） ・クリーナー等倉庫建設	・清掃機器及び整備機器等備品購入（クリーナー等車両、ハブクラゲネット他）：5件 ・クリーナー等倉庫建設：1棟	◎
1	⑤	体験事業受入施設及び産業振興施設整備事業	H24	体験事業受入施設及び産業振興施設を設置し、市内事業所が実施する体験事業を本施設に集積することにより、観光客や修学旅行の受入拠点とするとともに観光・産業振興を図る。	体験事業受入施設及び産業振興施設の整備	－	繰
1	⑥	バス停上屋整備事業	H24	観光客が多く立ち入る地域において快適に公共交通を利用していただくとともに観光地にふさわしい景観を形成するため、沖縄らしい装飾等を付したバス停上屋を整備する。	バス停上屋整備数：8基	－	繰
1	⑦	観光情報コンテンツ化事業	H24～H28	観光関連団体が行う豊見城市における観光マップ、飲食店特産品マップ、それらに関連するデジタルコンテンツ（WEBサイト向け）及びWEBサイトの多言語化（英語、中国語、韓国語）を行う等、観光情報発信ツールを制作する事業に対して補助を行う。	・飲食店特産品ガイドブック（マップ付）作成 H23年度：0部→H24年度：55,000部 ・ガイドブック等デジタルコンテンツ化 H23年度：0件→H24年度：2件 ・多言語化WEBサイト構築数 H23年度：0サイト→H24年度：4サイト	・飲食店特産品ガイドブック（マップ付）作成 H23年度：0部→H24年度：55,000部 ・ガイドブック等デジタルコンテンツ化 H23年度：0件→H24年度：2件 ・多言語化WEBサイト構築数 H23年度：0サイト→H24年度：4サイト	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	観光案内サイン整備事業	H24	市内に点在する観光施設や名所等、拠点間を有機的に結びつけるため、外国人観光客を含む全ての方々にわかりやすい案内サインを整備し観光地としての利便性を高める。	案内サイン設置：6箇所	－	繰
2	①	那覇空港周辺における航空機騒音測定事業	H24～H28	当該区域は航空機騒音増加により騒音測定の必要性があり、測定により実態を把握し、その結果を基に空港と共生するまちづくり等について検討・議論が促進することを目指す。	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施：3地点×2回	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施：2地点×1回	未
2	②	防災情報通信設備整備事業	H24	市庁舎と市内沿岸地域とを無線システムで結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置して防災無線システムを構築する。	防災無線の自治会カバー数 H23年度：17自治会→H24年度：47自治会	－	繰
2	③	トンネル災害対応資機材整備事業	H24～H28	那覇空港自動車道豊見城トンネルは沖縄県の空の玄関口、那覇空港に最も近く観光客等が中北部を訪れる際、主に利用する幹線道路である。トンネル内においての特殊災害、交通事故等による火災等に対応、迅速な救助及び消火活動を可能にするために早急な整備を図る必要がある。	移動式呼吸器用高圧コンプレッサーユニット整備　1台	移動式呼吸器用高圧コンプレッサーユニット整備　1台	◎
2	④	水難救助車整備事業	H24	各種水難救助用の資機材とクレーンや救助ボート等を装備するとともに、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得者や水難救助訓練を積んだ隊員が迅速に出動できる体制を整備する	水難救助車等整備　1台	－	繰
2	⑤	海抜表示板設置事業	H24	地域住民を含めた市内滞在者、とりわけ地理に不案内の観光客が、津波発生時に現在位置に関する情報を容易に確認し、迅速に避難・安全確保できるよう、海抜5メートル以下の地域を中心に電柱等に海抜表示看板を設置する。	沿岸部及び指定避難所、自治会公民館への海抜表示案内板設置（383箇所）	－	繰
3	①	いきいき野菜生産支援事業	H24～H28	市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、JA又は生産者団体が設置する耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）の設置費の一部を補助する。	耐候性野菜栽培施設整備補助 補助対象JA（32，782．5㎡、91棟、19農家）	耐候性野菜栽培施設整備補助 補助対象JA（32，782．5㎡、87棟、19農家）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	②	豊見城産マンゴー販売促進事業	H24～H28	県の拠点産地に認定されるなど、評価が高い豊見城産マンゴーの更なる販売促進を図るため、首都圏において試食等を含めた普及事業を実施する。	販売促進活動回数6回　県内3回　県外3回	販売促進活動回数6回：県内3回　県外3回	◎
4	①	預かり保育事業	H24～H28	預かり保育担当教諭を配置し、ひとり親世帯や共働き世帯の園児を午後、幼稚園で預かることで、子育て支援を行う。	預かり保育した園児数 H23年度：323名→H24年度：約400名	預かり保育した園児数 H23年度：323名→H24年度：約405名	◎
4	②	認可外保育園環境整備事業	H24～H25	認可外保育施設の保育環境を整備することにより、入所児童の健全育成を促進し、保育の質の向上を図るとともに、保育事業者の認可化に対する意欲向上が期待される。	施設整備を支援した認可外保育園数：１８園	－	繰
5	①	学力向上サポート事業	H24～H28	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら、児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学力向上対策補助員配置： 小学校８名：中学校３名	学力向上対策補助員配置： 小学校８名：中学校３名	◎
5	②	キャリア教育コーディネーター配置事業	H24～H28	キャリア教育コーディネーターを活用し、小学校の職場見学、中学校の職場体験を受け入れる事業所を開拓することで、キャリア教育の充実を図る。	キャリア教育受入事業所バンク登録事業所数 H23年度：156件→H24年度：250件	キャリア教育受入事業所バンク登録事業所数 H23年度：156件→H24年度：263件	◎
5	③	情報教育補助員派遣事業	H24～H28	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室で授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちの情報リテラシーの向上を図る。	情報教育補助員配置：２名	情報教育補助員配置：２名	◎
5	④	適応指導教室学習支援員配置事業	H24～H28	適応指導教室に支援員を配置し、心因的不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援を行い、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、引きこもり解消や学校復帰を支援する。	適応指導教室学習支援員配置：２名	適応指導教室学習支援員配置：２名	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	⑤	幼小中学校長寿命化事業	H24～H28	沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 幼稚園：3校 小学校：1校	－	繰
5	⑥	小学校空調設備設置事業	H24～H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備する必要があることから、空調設備を設置する。	空調設備設置校数 小学校：2校	空調設備設置校数 小学校：2校	◎
5	⑦	中学校空調設備設置事業	H24～H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備する必要があることから、空調設備を設置する。	空調設備設置校数 中学校：1校	空調設備設置校数 中学校：1校	◎
5	⑧	沿岸地区学校安全整備事業	H24～H28	ライフジャケットを購入し、沿岸地区にある幼稚園・小学校へ津波等震災に備える。実際、ライフジャケットを着用するなど訓練を行い安全教育の充実を図る。	沿岸地区の幼稚園・小学校におけるライフジャケット整備率（100%）	沿岸地区の幼稚園・小学校におけるライフジャケット整備率（100%）	◎
5	⑨	小学校PCB廃棄物処理事業	H24	学校内に保管された高濃度PCB廃棄物を適切に処理することにより児童・生徒の安全・安心な学習環境を整備する。	長寿命化等の安全対策を実施した校舎数 小学校：1校	－	ー
6	①	伝統文化等継承拠点整備事業	H24～H28	伝統文化の継承及び発展を目的にエイサーまつり等に取り組む団体の活動の拠点となる施設を整備し、活動を活性化させ、更なる人材育成及び伝統文化継承を図るとともに新たな観光資源としての活用を目指す。	拠点施設（交流広場）の整備（470㎡）	拠点施設（交流広場）の整備（470㎡）	◎
6	②	豊見城市内文化財説明板設置事業	H24～H27	本市に存する文化財の説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置件数（5基）	－	繰
6	③	組踊継承事業	H24～H28	組踊継承者育成のため豊見城市にゆかりのある組踊「未生の縁」を上演する他、専門的見地から「雪払い」の台本復元を行い、伝統文化の保全及び新たな地域資源として活用を目指す。	組踊継承者養成数（組踊「未生の縁」出演者延数（28名）	組踊継承者養成数（組踊「未生の縁」出演者延数（244名）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

豊見城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	④	文化交流拠点整備事業	H24	伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出を行うため、拠点施設における照明設備等を更新し、様々な文化活動を支援するとともに県民の文化交流活動の促進を促す。	拠点施設（中央公民館大ホール）における照明及び音響設備の整備	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	企業誘致推進業務委託事業	H24～H33	企業立地を効果的に促進するため、国内外の経済動向分析や企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかける。	①訪問する企業件数　80社	①訪問する企業件数　96社	◎
1	②	沖縄IT津梁パーク周辺環境整備事業	H24	沖縄IT津梁パーク周辺における安心安全な企業立地環境を創出するため、州崎幹線5号に道路照明等の防犯灯を整備する。	①沖縄IT津梁パーク周辺市道における道路照明等設置数　11基	－	繰
1	③	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～H27	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成を実施する。	①金型技術者人材育成者数　25人	①金型技術者人材育成者数　59人	◎
1	④	中城湾港新港地区物流促進支援事業	H24～H27	中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、中城湾港新港地区物流貨物集積計画を策定する。	①中城湾港新港地区物流貨物集積計画の策定に係る調査	①中城湾港新港地区物流貨物集積計画の策定に係る調査（現状認識・課題抽出）	◎
2	①	うるま市地域雇用人材育成事業	H24～H33	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業と連携による人材育成（OJT等）を実施する。	①H24年度当該事業における新規雇用者数（100人）	①H24年度当該事業における新規雇用者数（106人）	◎
2	②	街角コンタクトセンター設置運営事業	H24～H33	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	①年間利用者数（年間）　4,100人 ②年間相談件数（年間）　1,400件	①年間利用者数（6ヶ月）　1,589人 ②年間相談件数（6ヶ月）　411件	未
2	③	うるま市失業対策アクションプラン策定業務	H24	当市の雇用情勢について、失業率は平成22年国勢調査で18.2%と前回調査（平成17年国勢調査）より3.6%悪化しており、緊急的かつ総合的な雇用対策を講じる必要性がある。このため、失業者の実態や雇用状況等について把握するとともに、実効性の高い雇用対策を調査研究し、失業率の改善を図るためのアクションプランを策定する。	①失業対策アクションプランの策定	①失業対策アクションプランの策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	①	戦略的観光資源創出事業	H24～H33	当市の地理的特性を生かし観光誘客を促進するため、観光入域ルート周辺の滞在できる観光施設、レストラン、土産販売所などの情報収集を行うとともに、今後の観光拠点施設整備計画・観光地誘導サイン計画などのパッケージ化に取り組むための基礎調査を実施する。	①観光レンタカー動向の実態把握 ②レンタカーの入込及び動向を踏まえた観光地誘導サイン設置計画 ③観光客から得られる観光拠点施設整備の方向性に関する調査報告	①観光レンタカー動向の実態把握 ②レンタカーの入込及び動向を踏まえた観光地誘導サイン設置計画策定 ③観光客から得られる観光拠点施設整備の方向性に関する調査報告	◎
3	②	観光商品開発流通促進事業	H24～H33	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営を行うとともに、世界遺産勝連城跡や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。	①ﾌｫﾄｳｪﾃﾞｨﾝｸﾞのﾓﾆﾀｰ参加者数 （10組） ②伝統芸能・文化を活用した観光商品ﾓﾆﾀｰ参加者 （10組）	①ﾌｫﾄｳｪﾃﾞｨﾝｸﾞのﾓﾆﾀｰ参加者数 （8組） ②伝統芸能・文化を活用した観光商品ﾓﾆﾀｰ参加者 （53組）	◎
3	③	新・食の開発等推進支援事業	H24～H33	当市の豊かな農水産物および柑橘類等を活用し、新たな食（ご当地グルメ）と土産品等の開発やセールスプロモーション、またグルメイベント等を開催し、魅力ある観光資源・コンテンツを開発する。また特産品等を観光商品として開発支援し、販路開拓するために全国物産展や大手百貨店などでの商談会、実演販売などの支援を実施する。	①ご当地グルメの商品開発件数　1件 ②商品開発件数　2件	①ご当地グルメの商品開発件数　1件 ②商品開発件数　4件	◎
3	④	特産品販路拡大支援事業	H24～H33	当市の市産品や特産品等を県外および国外へ販路拡大を図るため、常設販売や物産展等を実施し、プロモーション活動を通じて商品の定番化と販路拡大の促進を図る。	①県内外における物産展等での売上額（15,000千円）	①県内外における物産展等での売上額（12,630千円）	○
3	⑤	金武湾～海中道路における海洋性リゾート空間形成事業	H24～H26	地域資源を再確認し、金武湾から海中道路にかけた地域を魅力ある観光リゾート空間として形成するため、ニーズ及び可能性調査等を実施する。	①ニーズ調査及び可能性調査等の実施	－	繰
3	⑥	うまんちゅ健康文化交流広場整備事業	H24	市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能・文化の継承活動と交流・体験の場として、交流広場の整備を実施する。	①うまんちゅ健康文化交流広場整備に係る実施設計等の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑦	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24～H28	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	①観光情報コンテンツの作成件数　2件 ②飛行機の機内紙に掲載した件数　1件	①観光情報コンテンツの作成件数　2件 ②飛行機の機内誌に掲載した件数　1件	◎
3	⑧	海中道路ライトアップ観光景観形成事業	H24～H25	当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図るため、知名度と評価の高い海中道路大橋のライトアップ事業を実施する。	①海中道路ライトアップに係る基本計画の策定及び基本設計・実施設計の実施 ②ライトアップの設備設置工事	－	繰
3	⑨	石川イベント公園機能強化調査事業	H24	観光誘客を促進するため、石川イベント公園（通称「石川ドーム」）において、多彩な伝統芸能・文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベントを開催するためのビジョンや方策、施設の活用方法や機能強化のあり方を調査検討するとともに、施設機能を最大限に発揮するための観光イベント（ソフト面）のニーズ等の調査検討を実施する。	①石川ドームの施設機能強化に向けた調査事業の実施	－	繰
4	①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24～H31	世界遺産勝連城跡には毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。 そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	①文化観光拠点整備に向けた基本計画の策定	－	繰
4	②	生涯学習・文化振興拠点整備事業	H24～H26	本市にはエイサーや闘牛、獅子舞など多種多様な文化資源があることから、伝統文化と生涯学習を融合した文化の薫るまちづくりを推進するため、生涯学習及び文化振興拠点施設の整備を実施する。	①生涯学習・文化振興拠点施設の整備に向けた実施設計及び用地買収等の実施	－	繰
4	③	市内文化財総合整備調査活用事業	H24～H27	市内に所在する貴重な歴史資産を再評価するとともに、それらを最大限活用して、文化の薫るまちづくりを推進するため、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。	①勝連城跡の石垣悉皆調査・基本計画の策定 ②市内文化財の環境整備工事の実施	－	繰
4	④	全島獅子舞フェスティバル事業	H24～H33	民俗芸能としての獅子舞の保存・継承・発展に寄与するとともに、沖縄らしい新たな文化観光を構築するため、全島獅子舞フェスティバルを開催する。	①全島獅子舞フェスティバルの入場者数 4,000人	①全島獅子舞フェスティバルの入場者数 3,000人	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑤	ふるさと芸能デー事業	H24～H33	沖縄文化を基軸とした付加価値の高い観光振興を図るため、ふるさと芸能デーを開催する。	①ふるさと芸能デーの入場者数　1,700人	①ふるさと芸能デーの入場者数　2,375人	◎
4	⑥	文化施設機能強化事業	H24～H28	文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場、きむたかホール、石川会館の設備を整備する。	①市民芸術劇場の調光卓及び舞台機構整備に係る設計及び工事 ②石川会館及びきむたかたﾎｰﾙの舞台機構整備に係る設計及び工事	－	繰
4	⑦	文化施設環境整備事業	H24	地域芸術文化の振興を図るため、うるま市民芸術劇場の外壁を機能強化する。	①市民芸術劇場外壁リニューアルに向けた設計及び工事	－	繰
4	⑧	南風原文書整理翻刻事業	H24～H28	県文化財指定の勝連間切南風原村文書等を調査し、その修復とスキャニングを実施し、その成果を学校教育及び生涯学習へ利活用する。	①南風原文書の修復保全件数　（約800件） ②所蔵収蔵物のデジタル化	－	繰
4	⑨	マーラン船等復元活用事業	H24～H28	市指定の無形民俗文化財を調査し、その民俗技術を次世代へ継承するため、マーラン船等の復元を実施する。その成果を学校教育及び生涯学習へ利活用する。	①マーラン船建造に伴う木材調達（資材） ②木造船の一部復元 ③所蔵収蔵物のデジタル化	①渡し舟(木造船)の記録保存及び一部復元 ②所蔵収蔵物のデジタル化	◎
4	⑩	景観調査活用事業	H24～H28	世界遺産勝連城跡とその周辺に関する文化的景観の調査を実施し、学校教育及び生涯学習へ利活用する。	①勝連城跡周辺小動物目録等 ②文化的景観に関する講演会 ③い草のリーフレット発行 ④所蔵収蔵物のデジタル化	－	繰
4	⑪	芸術文化振興の環境整備事業	H24	地域芸術文化の振興を図るため、各種展示会にて使用する展示パネルの整備を行う。	①パネル一式（パネル280枚、ポール310本）	①パネル一式（パネル280枚、ポール310本、運搬用台車4台）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑫	新沖縄型エンターテイメント事業	H24～H33	沖縄の結婚式で行われる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから沖縄の観光イベントとして開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。	①うるま祭りニービチ余興大会の来場者数（予選会を含む） 2,000人 ②予選会へのエントリー数 20組（150人）	①うるま祭りニービチ余興大会の来場者数（予選会を含む） 31,000人（推定） ②予選会へのエントリー数 21組（200人）	◎
4	⑬	文化財標柱等設置事業	H24～H27	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境整備を推進する。	①標柱等設置工事に向けた設計業務の実施 ②設置工事（93件）	－	繰
4	⑭	蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業	H24～H27	「伊計村遊草（イケイムラユウソウ）」と著者である蔡大鼎（サイタイテイ）に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー復刻版や翻刻解説本などを刊行し、伝統文化の保全・継承を図る。	①「伊計村遊草」等原本史料展示会の来場者数 （600人）	－	繰
5	①	景観づくり事業	H24～H33	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、景観地区の指定、景観に関するイベントの開催など、景観・風景づくり推進に関する事業を実施する。	①景観地区指定に向けた地域検討会等の開催 5回	①景観地区指定に向けた地域検討会等の開催 6回	◎
5	②	伊計海岸周辺環境整備事業	H24	伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の侵食が進行しており、砂浜と背後地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。	①自然石被覆護岸工事の実施 （整備状況　高さ3.0m　延長70.0m）	－	繰
5	③	海洋観光安全確保体制整備事業	H24	当市は周囲を海に面し、海中道路や伊計ビーチをはじめとする多くのビーチがある。夏場は、海水浴やマリンスポーツなどの海洋レジャーを楽しむ観光客が多く訪れるが、その一方で水難事故等の発生が増加傾向にある。そこで、市民や観光客の安心安全を確保するとともに、水難事故等への迅速な対応を図るため、潜水資機材等を整備する。	①潜水資機材等の整備率　100%	①潜水資機材等の整備率　100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	④	石川イベント公園駐車場整備事業	H24	石川イベント公園（通称：石川ドーム）は、沖縄自動車道の石川IC周辺に立地し、恩納村を中心とする西海岸リゾート地域からアクセスの利便性が高く、多くの来場者があるが、駐車場が不足し安全安心な観光イベント運営に支障を来している。そこで、更なる観光誘客と施設の利便性向上を図るため、沖縄自動車道高架下を活用し駐車場を整備する。	①駐車場整備に係る設計業務及び工事 駐車場整備台数　750台	－	繰
6	①	島アートプロジェクト事業	H24～H33	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート（造形物、オブジェ、美術絵画など）による島おこしを実施する。	①島アートイベントの来場者数　4,000人	①島アートイベントの来場者数　4,700人	◎
6	②	津堅・島おこし支援事業	H24～H26	本市唯一の有人離島である「津堅島」に関し、現地踏査・調査などを通して離島特有の環境・地域振興に関する課題を抽出・分析するとともに、地域との対話等を通して島民自らが課題を解決できるような仕組みづくりに向けた支援事業を実施する。	①津堅島現地調査回数：2回 ②住民等の参画によるワークショップ等の開催回数：4回	－	繰
7	①	石川野球場及び周辺環境整備事業	H24	韓国プロ野球LGツインズのメインキャンプ場である石川野球場は、両翼が92mとプロ野球の試合をするには狭く、オープン戦等も開催できない状況であるため、両翼の拡張工事、外野芝生の張替、スタンドの改修などを実施する。	①同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施 1）野球場両翼拡張（92m→95m） 2）外野芝生張替（9,380㎡） 3）外野防球ネット工事（1,253㎡） 4）電光掲示板改修工事（1式） ②野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	－	繰
7	②	具志川野球場及び周辺環境整備事業	H24	韓国プロ野球SKワイバンズのメインキャンプ場である具志川野球場は、オープン戦や交流戦等の開催条件が整備されていない状況であるため、防球ネットや内外野をメンテナンスする機械整備などを実施する。	①同球場の機能強化に向けた設計及び工事の実施 1）防球ネット設置工事(217m) 2）外野芝生張替工事（9,730㎡） 3）安全ラバーフェンス設置工事（304m） 4）電光掲示板改修工事（1式） ②野球場乗用整地機1台及び乗用草刈機1台の購入	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
8	①	桃原地区小型漁船用通路機能強化事業	H24	当市の宮城島と平安座島に挟まれた通路（水路）は、干潮時には水深が浅くなり小型漁船による海上事故が発生するなど、安全な漁業活動に支障を生じている状況であるため、当該通路を一部浚渫し機能強化を図る。	①小型漁船用通路整備に係る設計及び工事の実施 1）通路浚渫：8,000㎡ 2）通路の整備延長　=600m	－	繰
8	②	農水産業振興戦略構築及び拠点施設整備事業	H24～H27	当市は第１次産業が盛んな地域である。地域特性を発揮し、農水産業の６次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	・農水産業振興拠点施設の整備に係る基本計画等の策定	・農水産業振興拠点施設の整備に係る基本計画等の策定	◎
8	③	水産業拠点施設機能強化事業	H24	当市所有の水産物鮮度保持施設（製氷施設）の機能強化を実施し、水産業の振興にめる。	・製氷及び貯氷機器設備（一式）整備に係る設計及び工事	－	繰
8	④	グァバ産地拠点機能強化事業	H24	グァバの葉は茶葉として加工され、「グァバ茶」として愛飲されている。当市はグァバが特用作物として唯一拠点産地として認定を受けており、茶葉生産に係る機械設備の機能強化を実施することにより、拠点産地としての生産強化を図る。	①洗浄機、大型乾燥機、粉砕機、包装機の導入を支援	－	繰
8	⑤	い草産地拠点機能強化事業	H24	当市照間地区は沖縄県唯一のい草生産地で、照間い草はブランドとして広く認知され、希少価値が高く、その品質は評価されている。その一方、高齢化による生産農家の減少や後継者不足等が課題となっていることから、加工機械設備の整備により、安定した生産体制を確保する。	①ハーベスター（６台）、乾燥機（４台）、織機（２台）の導入を支援	－	繰
8	⑥	津堅島イモゾウムシ等根絶対策事業	H24	イモゾウムシの根絶対策を強化するため、イモづるやくずイモを粉砕する機械（チッパー）を整備し、安全・安心な農林水産物の安定供給を確保する。	①樹木粉砕機（チッパー）１台の導入	①樹木粉砕機（チッパー）１台の導入	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9	①	産業集積戦略構築調査事業	H24～H25	東日本大震災以降、多くの企業がリスク分散のため、沖縄への進出について検討を進めている。そこで沖縄科学技術大学院大学のリサーチパークと連携した新たな産業集積地を整備するための基礎調査を実施する。	①産業集積地の候補地選定	①数か所の候補地を選定	◎
9	②	沖縄アミークス周辺環境整備事業	H24	大学院大学関連事業の一環として、教職員や学生等の子弟が通学する沖縄アミークスインターナショナルが平成23年4月に開学した。通学路となっている市道の一部を改良し、安心・安全な通学・通勤環境の確保を図る。	通学・通勤環境の整備 ①市道改良に係る実施設計及び分筆測量 ②道路の一部改良工事（整備延長110.0m） ③歩道の設置工事（整備延長290.0m）	－	繰
10	①	小学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	沖縄科学技術大学院大学を中心とする国際的な学術拠点、国際的な観光地、そしてアジアと日本を結ぶ物流・産業拠点として発展していくためには、語学教育の強化が重要であることから、小学校における語学教育を推進するため、外国人英語助手派遣を行う。	①英語指導助手配置数　9人	①英語指導助手配置数　9人	◎
10	②	中学校外国人英語助手派遣事業	H24～H33	沖縄科学技術大学院大学を中心とする国際的な学術拠点、国際的な観光地、そしてアジアと日本を結ぶ物流・産業拠点として発展していくためには、語学教育の強化が重要であることから、中学校における語学教育を推進するため、外国人英語助手派遣を行う。	①英語指導助手配置数　6人	①英語指導助手配置数　6人	◎
11	①	小学校学力向上対策推進事業	H24～H33	小学生の基礎的・基本的な学力の定着と「自ら学び、自ら考える力」を高めるため、各小学校に学習支援員を配置し学習支援を実施する。	①学習支援員配置数　33人	①学習支援員配置数　33人	◎
11	②	中学校学力向上対策推進事業	H24～H33	中学生の基礎的・基本的な学力の定着と「自ら学び、自ら考える力」を高めるため、各中学校に学習支援員を配置し学習支援を実施する。	①学習支援員配置数　17人	①学習支援員配置数　17人	◎
11	③	島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	複式学級から単式学級への移行に伴い、習熟の難しい科目（国語と算数）の基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し小学生の学習支援を実施する。	①非常勤講師配置数　2人	①非常勤講師配置数　2人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
11	④	島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業	H24～H28	複式学級から単式学級への移行に伴い、習熟の難しい科目（英語と数学）の基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し中学生の学習支援を実施する。	①非常勤講師配置数　2人	①非常勤講師配置数　2人	◎
12	①	児童館建設事業（実施設計業務等）	H24～H25	地域で安心して子育てができ、また地域との連携により次世代を担う児童の「健やかな成長に資する教育環境の整備」、「子育てを支援する地域社会の形成」を図るため、児童館建設に係る実施設計業務等を実施する。	①児童館整備に係る実施設計及び外構設計等の実施	－	繰
12	②	気になる子巡回相談事業	H24～H33	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	①巡回相談実施施設数（延数）60施設	①巡回相談実施施設数（延数）21施設	未
12	③	放課後児童クラブ支援事業	H24～H28	地域で安心して子育てができ、また地域との連携により次世代を担う児童の「健やかな成長に資する教育環境の整備」、「子育てを支援する地域社会の形成」を図るため、放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質向上に取り組む。	①放課後児童クラブ　指導員研修（参加者数175人）	①放課後児童クラブ　指導員等研修（参加者数　216人）	◎
13	①	問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業	H24～H28	問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。 また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。	①自立支援員配置数　2人	①自立支援員配置数　2人	◎
13	②	中学校教育指導推進事業	H24～H28	問題を抱える生徒が置かれた環境の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを学校へ配置する。教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図る。	①スクールソーシャルワーカー配置数　3人	①スクールソーシャルワーカー配置数　3人	◎
13	③	教育相談事業	H24～H28	相談室に教育相談員を配置し、市内の幼児・児童・生徒の不登校や教育上の問題や悩みの相談に対応する。	①教育相談員配置数　8人	①教育相談員配置数　8人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
13	④	適応指導教室事業	H24～H28	うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	①チャレンジ登校できた人数　5人（7人中）	①チャレンジ登校できた人数　4人（7人中）	○
14	①	原子力艦防災活動資機材等整備事業	H24	ホワイトビーチ地区での事故等に備え、迅速な消防警戒区域の設定や避難指示、避難誘導等が実施され、市民および観光客の安全・安心の確保を図るとともに、円滑な救急救助活動を実施できるよう原子力艦防災活動資機材等を整備する。	①原子力事故救急・救助活動の資機材整備率　100%	①原子力事故救急・救助活動の資機材整備率　100%	◎
14	②	米軍航空機騒音実態調査事業	H24	環境基準の類型指定エリア外の地域において、航空機騒音を測定し、客観的なデータの集積を図ることにより航空機騒音の実態を把握し、市民の安全・安心な生活に寄与するため、航空機騒音測定に必要な機器を等を整備する。	①航空機騒音測定機の整備	①航空機騒音測定機の整備	◎
15	①	緊急情報伝達施設機能強化整備事業事業（中城湾港新港地区）	H24	企業や住宅地の進出により防災行政無線による防災情報の聞き取りが困難となっている地域の解消を図るとともに、津波災害時の低地帯における地域住民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、うるま市防災行政無線の増設を行う。	①中城湾港新港地区防災行政無線放送可聴エリアカバー率　100%	－	繰
15	②	防災避難通路整備事業	H24～H27	低地帯地域に居住する市民や企業等の生命と身体、財産を確保するとともに、市内各地をレンタカーなどで訪れる観光客等の安全・安心を確保するため、うるま市津波対策緊急事業計画書に基づき、緊急一時避難路を整備する。	①防災避難通路整備に係る設計業務の実施	－	繰
15	③	桃原地区（市道与那城24号線）避難道路整備事業	H24	当該道路は、桃原地区から高台は避難する重要な道路であるが、道路が未整備のため、高台から雨水等で路面が浸食されていることから、舗装を行い、安全な避難道路を確保する。	①桃原地区避難道路整備（延長＝200m　幅員＝5.0m）に係る実施設計及び工事の実施	－	繰
15	④	うるま市災害時通信手段多重化整備事業	H24	大規模自然災害等の発生時に孤立するおそれのある島しょ地域や津波災害時の低地帯における地域住民や観光客等の生命と身体、財産の安全性を確保するため、通信手段（戸別受信機の増設、新たに衛星電話の整備）の多重化を図る。	①衛星携帯電話整備率　100% ②防災行政無線戸別受信機整備率　100%	①衛星携帯電話整備率　100% ②防災行政無線戸別受信機整備率　100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」･･･「◎」　「概ね達成」･･･「○」
「一部達成」･･･「△」「未達成」･･･「未」
「繰越」･･･「繰」
「廃止（中止）」･･･「－」

うるま市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
16	①	沖縄戸籍等整備プロジェクト	H24	安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	①沖縄関係戸籍の電子化率　100%	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	緊急物資備蓄事業	H24～H28	被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。	緊急物資の備蓄：2,000人分	緊急物資の備蓄：2,000人分	◎
1	②	宮古島市防災マップ製作事業	H24	災害時における市民の安全を確保するため、防災マップを作成し、災害時における避難ルートや避難場所等の周知を図る。	避難ルート及び避難場所の周知 ・防災マップ配布世帯数：25,000世帯	－	繰
1	③	海抜表示委託事業	H24	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海抜表示を市内各地区に設置する。	海抜表示の設置：市内69箇所	海抜表示の設置：市内69箇所	◎
1	④	与那覇地区防災センター整備事業	H24～H25	海沿いに面した海抜の低い与那覇地区に防災センターを整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	防災センターの整備着手（与那覇地区）	－	繰
1	⑤	宮古島市標高分類マップ製作事業	H24	災害時における市民の安全を確保するため、標高分類マップを作成し、推定される津波到達区域や避難ルート等を明らかにするとともに、市民への周知を図る。	標高分類マップの掲示：市内の公共施設・観光関連施設35箇所	－	繰
2	①	ﾄｩﾘﾊﾞｰ地区マリーナ整備事業	H24	観光交流拠点としての機能拡充を図り、多様な交流を促進するため、平良港ﾄｩﾘﾊﾞｰ地区のマリーナを整備する。	マリーナ施設の機能強化 1）道路整備 ： 改良工・舗装工100m 2）外灯施設整備 ： 4基 3）水道施設整備 ： 280m 4）その他 ： 巻揚機1式	－	繰
2	②	スポーツ観光交流拠点整備事業	H24～H25	年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	観光交流拠点施設の整備に係る調査設計業務	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	宮古島市公設市場青空市サンルーフ設置事業	H24	公設市場の活性化と集客施設としての機能を高めるため、青空市にサンルーフを設置する。	公設市場の機能強化 ・サンルーフ設置：66.12㎡	公設市場の機能強化 ・サンルーフ設置：66.12㎡	◎
2	④	宮古島市公設市場屋外階段設置事業	H24	公設市場の利便性を向上させ、集客施設としての機能を高めるため、屋外階段を設置する。	公設市場の機能強化 ・屋外階段設置：1カ所	公設市場の機能強化 ・屋外階段設置：1カ所	◎
2	⑤	熱帯植物園再生事業	H24	熱帯植物園の集客機能を向上させるため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。	熱帯植物園の集客機能の向上 ・遊歩道整備：1Km	熱帯植物園の集客機能の向上 ・遊歩道整備：1.4Km（工事設計作成）	◎
2	⑥	宮古島市伝統工芸館整備事業	H24～H25	国の無形伝統文化財に指定されている「宮古上布」の歴史が学べ、機（ハタ）を使っての織物体験ができる伝統工芸館を新たに整備する。	伝統工芸館の整備着手：1,080.45㎡	－	繰
2	⑦	観光施設改修事業	H24	観光拠点施設である「ドイツ文化村」の改修工事を実施する。	観光施設（ドイツ文化村）の機能強化 ①駐車場整備 ②キンダーハウス漏水補修 ③屋外プール外壁修繕 ④遊具改修	－	繰
2	⑧	伊良部島・下地島間入江整備事業	H24～H27	伊良部・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査と、既存観光施設の活用と合わせた水域一帯の整備に向けた基本計画を策定する。	伊良部地区観光地形成基本計画(仮称）策定	伊良部地区観光地形成基本計画策定	◎
2	⑨	伊良部大橋橋詰広場地域振興施設整備事業	H24～H25	現在整備が進んでいる宮古島・伊良部島間を結ぶ伊良部大橋の橋詰め広場に観光拠点となる地域振興施設を整備する。	観光拠点施設（地域振興施設）の整備に係る実施設計の実施	観光拠点施設（地域振興施設）の整備に係る実施設計の実施	◎
2	⑩	伊良部地区観光地環境整備事業	H24	観光地として多くの観光客が訪れている伊良部島・下地島間の入江周辺にトイレ施設を整備する。	観光地の環境整備 ・施設整備：公衆トイレ（46．4㎡）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑪	渡口の浜観光地整備事業	H24	観光地として多くの観光客が訪れている「渡口の浜」に観光バスやレンタカーに対応した駐車場を整備する。	アクセス道路の整備 1）アクセス道路舗装（L＝88．0m） 2）駐車場整備（513．0㎡）	アクセス道路の整備 1）アクセス道路舗装（L＝88．0m） 2）駐車場整備（513．0㎡）	◎
2	⑫	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24～H28	「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。	歴史・文化ロードの整備 1）文化財の復元工事の実施：3件 2）遺跡の発掘調査の実施：3件 3）案内板等の設置：16基 4）散策パンフレットの作成：100部	歴史・文化ロードの整備 1）文化財の復元工事の実施：2件 2）遺跡の発掘調査の実施：4件 3）案内板等の設置：22基 4）散策パンフレットの作成：12000部	◎
2	⑬	与那覇湾環境総合整備事業	H24～H33	ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。	与那覇湾利活用調査の実施	－	繰
2	⑭	宮古島市スポーツマネジメントプラン策定事業	H24～H26	スポーツを柱とした観光振興を推進するため、スポーツコンベンションの推進、スポーツ関連ビジネスの創出、スポーツ産業に係る人材育成、既存ストック施設の有効活用及び整備計画について、調査・分析を行い、取り組むべき最適な施策とその手法を明らかにした総合的な整備計画を策定する。	スポーツマネジメントプランの策定	－	繰
2	⑮	ハブクラゲネット設置事業	H24～H33	夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があることから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。	ハブクラゲ刺症被害者数 H23年度：8人　→　H24年度：0人	ハブクラゲ刺症被害者数 H23年度：8人　→　H24年度：3人	未
2	⑯	オニヒトデ駆除事業	H24～H26	環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。	オニヒトデ駆除数 H23年度：0匹　→　H24年度：8,000匹	オニヒトデ駆除数 H23年度：0匹　→　H24年度：8,245匹	◎
2	⑰	観光ガイド養成事業	H24～H25	今後、増加することが予想される外国人旅行者に対応して、観光ガイドを養成する	観光ガイドの養成研修会参加人数：60人	観光ガイドの養成研修会参加人数：22人	未

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	観光アクセス道路の環境美化（路線数） 宮古地区：20路線 伊良部地区：13路線	－	繰
3	②	観光地公園環境美化強化事業	H24～H33	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	観光地公園の環境美化箇所数：3カ所 （東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園） 美化作業回数：月１回以上	観光地公園の環境美化箇所数：3カ所 （東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園） 美化作業回数：月１回以上	◎
3	③	大嶽城址公園環境整備事業	H24～H28	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。	観光地の形成（観光公園の整備） 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計	－	繰
3	④	花と緑のあふれる島づくり事業	H24～H33	花と緑あふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。	苗畑施設の基盤強化に係る調査業務	－	繰
3	⑤	ごみの不法投棄撤去事業	H24	本市は、県内でも不法投棄されたごみの量が最も多く確認されており、美しい島づくりを推進するため、不法投棄ゴミの一斉撤去を行う。	不法投棄ごみの一斉撤去	不法投棄ごみの一斉撤去 目標23ヶ所→実績21ヶ所	○
3	⑥	宮古島市墓地基本計画策定事業	H24	墓地利用の適正化を図るとともに、墓地需要の動向を把握するなど墓地行政の総合的指針となる「宮古島市墓地基本計画」を策定する。	宮古島市墓地基本計画策定	宮古島市墓地基本計画策定	◎
3	⑦	伊良部地区景観向上事業	H24～H26	伊良部地区の玄関口である佐良浜港に隣接する宮古島市振興総合センターは、築34年が経過し、老朽化が著しく危険であり、観光地としての景観も損ねているため、施設の撤去等周辺整備を行い、周辺住民の安心・安全を確保するとともに、観光振興に資する跡地利用を進め、沖縄らしい美しい景観を形成し、観光リゾート地としてのまちづくりを推進する。	観光地の形成 1）景観を損ねている危険性の高い施設の除去：振興総合センター（1,710㎡） 2）観光振興に資する跡地利用の推進 （観光公園の整備）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	①	誘客促進プロモーション事業 （MTV）	H24	効果的な誘客を促進するため、アジア最大級を目標とした新たな音楽イベントを開催するための取り組みに対し、補助金を交付する。	音楽イベント参加者数：4,500人 （アイルオブ・MTV・ミヤコジマ）	音楽イベント参加者数：4,506人 （アイルオブ・MTV・ミヤコジマ）	◎
4	②	誘客促進プロモーション事業 （広告宣伝）	H24～ H25	県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数50万人を達成するため、沖縄県内のモノレール及び県外の鉄道車輌等への広告宣伝活動を行う。	広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・モノレール車両での広告宣伝 ・県庁前スーパービジョンでのCM放映 ②県外での広告活動 ・鉄道車両での広告宣伝 首都圏エリア：JR東日本・東京メトロ 関西エリア：JR西日本・大阪地下鉄	広告宣伝による誘客活動 ①県内での広告宣伝活動 ・モノレール車両での広告宣伝 ・県庁前スーパービジョンでのCM放映 ②県外での広告活動 ・鉄道車両での広告宣伝 首都圏エリア：JR東日本・東京メトロ 関西エリア：JR西日本・大阪地下鉄	◎
4	③	誘客促進プロモーション事業 （純と愛）	H24	効果的な誘客を促進するため、連続テレビ小説「純と愛」を通して、宮古島市の魅力を広くPRするための取り組みに対し補助金を交付する。	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ①番組制作支援事業：セレモニー等　2回 ②関連イベント協働事業：パネル展等　3回 ③告知、広報事業：幟・タペストリー等 ④産業振興支援事業：大正区鶴浜フェスタ参加（物産展・パネル展）	テレビドラマを活用した誘客促進活動 ①番組制作支援事業：セレモニー等　2回 ②関連イベント協働事業：パネル展等　2回 ③告知、広報事業：幟・タペストリー等 ④産業振興支援事業：大正区鶴浜フェスタ参加（物産展・パネル展）	○
4	④	観光WEB戦略事業	H24	効果的な誘客を促進するため、観光に特化したホームページを新たに作成し、観光情報発信力を強化する。	－	－	－
4	⑤	観光振興事業補助金 （観光協会）	H24	観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に対し補助金を交付する。	誘客活動等への支援 ①誘客宣伝活動：県内2回、県外2回 ②研修会参加者数：38人 ③観光地浄化対策参加者数：80人 ④観光案内所パンフ送付：120回 ⑤調査研修の実施:12回 ⑥民泊事業者育成数：10人	誘客活動等への支援 ①誘客宣伝活動：県内2回、県外3回 ②研修会参加者数：38人 ③観光地浄化対策参加者数：80人 ④観光案内所パンフ送付：120回 ⑤調査研修の実施:24回 ⑥民泊事業者育成数：10人	◎
4	⑥	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会補助金	H24～ H33	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数：400人	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会の参加者数：384人	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑦	エコアイランド宮古島大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	エコアイランド宮古島大会の参加者数：1,000人	エコアイランド宮古島大会の参加者数：941人	○
4	⑧	サニツ浜カーニバル補助金	H24～H33	夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。	サニツ浜カーニバルの参加者数：1,100人	サニツ浜カーニバルの参加者数：1,039人	○
4	⑨	宮古島100kmワイドーマラソン大会補助金	H24～H33	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドーマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	宮古島100kmワイドーマラソン大会の参加者数：1,200人	宮古島100kmワイドーマラソン大会の参加者数：1,146人	○
5	①	エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業	H24～H28	本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できる設備の整備や島内の観光関連施設に電気自動車の充電設備を整備することにより、電気自動車の普及促進と観光振興を図る。	メガソーラー展望施設の整備 観光施設等への充電器の整備：3箇所	－	繰
5	②	電気自動車充電設備設置補助事業	H24～H25	本市の観光利用される施設に電気自動車の充電設備を設置する者に対し、設置に係る費用の一部を補助することで、電気自動車の普及促進と利用者の利便性の向上を図る。	電気自動車充電施設設置補助：5件	電気自動車充電施設設置補助：2件	未
5	③	市民連携型太陽光発電整備事業	H24～H25	電気的・敷地的に再生可能エネルギーの導入制約のある離島において、市民と連携して一般住宅等の屋根の導入ポテンシャルを活用した太陽光発電の導入モデルを構築するとともに、県の「沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」と連携して、来間島における再生可能エネルギー100%自活の地域づくりを目指す。	来間島内に太陽光発電施設を設置	－	繰
5	④	運輸部門における低炭素推進事業	H24	本市は、環境モデル都市として二酸化炭素の削減に向けた取り組みを推進しており、エコカーを率先して導入し、各種イベント等で活用することにより、二酸化炭素の削減を図り、低炭素社会の実現を目指す。	エコカー（ハイブリッド車）の導入：5台	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	⑤	農業産業化プラットフォーム整備事業	H24～H26	再生可能エネルギーを活用した植物工場を構築し、安定・計画生産を実現することにより、生産、加工、流通、小売及びエコアイランドのブランド化までを一体とした新たな産業モデルの構築を目指すとともに、人材育成や事業化支援を行うプラットフォームの構築に向けた各種調査等を実施する。	植物工場やその事業化可能性に関する調査検討の実施	植物工場やその事業化可能性に関する調査検討の実施	◎
5	⑥	バイオエタノール高効率製造・流通事業	H24～H28	本市の基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールの事業化を目指して以下の事業を実施する。 ○バイオエタノールの高効率製造事業 ○バイオ燃料の流通安定化検証 ○付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等	バイオエタノールの製造	－	繰
6	①	ヤソ防除事業	H24～H28	さとうきびをヤソの被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。	ヤソ被害からの防除 1）航空防除：宮古島一円 2）地上防除：伊良部島一円	ヤソ被害からの防除 1）航空防除：宮古島一円 2）地上防除：伊良部島一円	◎
6	②	さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業	H24～H25	さとうきび病害虫の被害を防止することを目的に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。	基幹作物（さとうきび）の安定生産の確保 ・春植え・株出し用農薬購入補助 計画面積：750ha	基幹作物（さとうきび）の安定生産の確保 ・春植え・株出し用農薬購入補助 計画面積：739ha	○
6	③	甘藷（イモ）を活用した6次産業化モデル事業	H24～H28	宮古島産甘藷（イモ）の生産体制を強化し、ブランド化を図り、雇用を生み出す農業として確立するため、芋の生産に係る機械設備を導入する。	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具一式 ﾄﾗｯｸﾀｰ5台、ﾛｰﾀﾘｰ1台、甘藷移植機9台、甘藷つる切機械9台、甘藷掘取機械9台、甘藷収穫機10台 ②運搬トラック一台 ③プレハブ冷蔵庫一基	甘藷の生産基盤強化に向けた機械設備の導入 ①甘藷機械器具一式 ﾄﾗｯｸﾀｰ5台、ﾛｰﾀﾘｰ1台、甘藷移植機9台、甘藷つる切機械9台、甘藷掘取機械9台、甘藷収穫機10台 ②運搬トラック一台 ③プレハブ冷蔵庫一基	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	④	資源循環型農業推進事業	H24～H26	本市の資源リサイクルセンターでは、庭木や街路樹等の剪定後に出る枝葉等を利用して有機質肥料を製造しており、農地へ還元することにより、化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。年々剪定枝等、原料の搬入が増加しているが、現在の機械設備では処理能力が十分ではないため、処理能力のより高い機械設備を導入するとともに、雨天時対策として、雨よけ屋根を整備し、施設の機能強化を図る。	資源リサイクルセンターの機能拡充 1）破砕機等の導入件数：4台 ①油圧ショベル ②ホイルローダ ③破砕機 ④自走式選別機 2）施設整備：計量器上屋増築	－	繰
6	⑤	農産物加工施設導入事業	H24～H25	本市で生産される農産物の規格外商品を島内で加工し、全国へ販売することで、販路拡大を図るとともに、「宮古島産農産物」を広くPRする。	1）農産物加工設備の導入 ①原料冷凍庫：1台 ②製品冷凍庫：1台 ③軽量保管庫：1台 ④金属検出器：1台 ⑤X線検出器：1台 2）加工施設の整備：368㎡	－	繰
6	⑥	宮古島市海業センター整備基本計画検討調査事業	H24	宮古島地域の栽培漁業を行う海業センターの役割を再検討し、今後の栽培漁業の方向性や可能性を探ることを目的に、検討調査を実施する	宮古島市海業センター整備基本計画策定	宮古島市海業センター整備基本計画策定	◎
7		雇用促進事業	H24～H25	本市の雇用促進に向けて、平成23年度に「地域雇用創造実現事業」にて開発された「島シャツ」の商品化に向けた取り組みを実施し、地域雇用の拡大を目指す。	苧麻を活用した島シャツの研究開発	－	繰
8		伝統工芸産業振興事業	H24～H28	本市の伝統工芸産業の振興に向けて、国の重要無形文化財に指定されている「宮古上布」の生産・保存・伝承を支援するため、織物事業協同組合に対し、補助金を交付する。	伝統工芸産業（宮古上布）の振興に向けた支援 ①新商品の開発 ②国内外への販路拡大	伝統工芸産業（宮古上布）の振興に向けた支援 ①新商品の開発 ②展示会県外１回	◎
9		「結いの島」推進事業	H24	地域の子ども達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として児童館建設にかかる設計業務を委託する。	児童館建設のための実施設計	児童館建設のための実施設計	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
10	①	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～H33	本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通して、ニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携・協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校：4人（校区別）	スクールソーシャルワーカー配置数 小中学校：4人（校区別）	◎
10	②	問題行動等学習支援者事業	H24～H33	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	問題行動学習支援者配置数 中学校：3人	問題行動学習支援者配置数 中学校：3人	◎
10	③	選手派遣補助金交付事業	H24～H33	本市の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：1,677人 ○内訳 小学校　636人（県外含む） 中学校　1,041人（県外含む）	◆H24年度計画人数 大会等派遣児童生徒数：1,887人 ○内訳 小学校　658人（県外含む） 中学校　1,229人（県外含む）	◎
10	④	宮古島市子ども劇団設立事業	H24～H33	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し、宮古島を表現することで、地域アイデンティティーを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。	演劇を活用した人材育成 子ども劇団の設立	演劇を活用した人材育成 子ども劇団の設立	◎
11	①	水道水源水質改善事業	H24～H28	本市の水道水源流域である白川田・東添道・福里北・伊良部地下水流域内で農業を営む耕作者を対象に地下水保全に関する緩効性肥料の重要性について、専門家による啓発資料の作成と周知を図り、地下水の汚染につながる速効性肥料の使用を抑制し、緩効性肥料への転換を促すことで、地下水保全を推進する。	緩効性肥料の普及啓発 ・パンレット配布世帯数：24,500戸	緩効性肥料の普及啓発 ・パンレット配布世帯数：45,500戸 （2回に分けて延べ）	◎
11	②	水道水源流域保全調査及び啓発事業	H24～H26	本市の水道水源流域のうち、最も重要な白川田・東添道地下水流域は、その北側において隣接する他の地下水流域との境界が不明瞭であるので、電気探査・ボーリング調査等を実施し、厳正な地下水保全を図るべき地域を明らかにする。また、これにより地下水の流域面積が明らかになり、そこでの地下水貯水量を正確に推定するため、降水の何%が地下水になるのかを明らかにするための蒸発散量調査も併せて行う。これらの流域保全調査が完了した後、水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。	・流域保全調査の実施 ・白川田・東添道地下水流域界の確定調査の実施	・流域保全調査の実施 ・白川田・東添道地下水流域界の確定調査の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宮古島市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
12	①	博物館図録作成事業	H24～H28	本市の博物館には、約8，000点に及ぶ資料が収蔵されており、資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データーベース化、デジタル化及び図録を作成する。	図録等の作成 （宮古島市の自然資料編）400部	図録等の作成 （宮古島市の自然資料編）400部	◎
12	②	博物館内設備改修事業	H24	本市の歴史、文化、風習、自然等を映像コンテンツとしてデジタル化し、来館者に対し最新の情報を提供する。	総合博物館内設備の充実 ・歴史、文化、風習、自然等の映像コンテンツのデジタル化による館内設備の充実	総合博物館内設備の充実 ・歴史、文化、風習、自然等の映像コンテンツのデジタル化による館内設備の充実	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光物産拠点整備強化事業	H24	魅力的な観光地づくりを図るため、Webサイトや各種広報媒体等を活用した観光客への情報発信拠点及び観光案内所を含めた、地域観光物産館を整備する。	地域物産館の建設着手	－	繰
1	②	市域景観形成強化事業	H24～H26	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市域内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	市道植栽帯防草工事実施 整備路線数　1箇所 整備延長　L=0.8km	－	繰
1	③	″南城市の魅力発見″観光ガイドマップ作成事業	H24	本市は世界遺産「斎場御嶽」など県を代表する観光施設を有し、年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れている。本市の魅力をPRするため、日本語のみならず、外国語を用いた観光ガイドマップを作成する。	南城市観光ガイドマップ作成 （日本語・英語併記）　4万部	南城市観光ガイドマップ作成 （日本語・英語併記）　4万部	◎
1	④	海外移住者子弟研修・国際交流推進事業	H24	本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業等を行う。	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生　1名受入	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生　1名受入	◎
1	⑤	久高島離島宿泊交流館施設整備事業	H24	夏場の高温時においても、島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備するため、久高島の観光拠点施設である宿泊交流館に空調設備を整備する。	久高島宿泊交流館の空調設備整備	久高島宿泊交流館の空調設備整備	◎
1	⑥	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	H24～H26	魅力的な観光地づくりを図るため、世界遺産「斎場御嶽」周辺一帯の散策道、手摺り等の整備及び用地購入を行う。	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備着手	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備着手	◎
1	⑦	南城ウェルネス機能拡張事業	H24	観光客等の誘客促進を図るため、観光資源を活用した心身の再生（ウェルネス）を柱とした観光プログラムの実践及びNFCタグ等を活用した認証システム等を構築する。	非接触IC等を活用した認証システムの構築	非接触IC等を活用した認証システムの構築	◎
1	⑧	第1次コミュニティFM放送施設整備事業	H24	観光情報、市内のイベント情報、緊急時には災害情報等を提供することを目的にコミュニティFM放送に必要な演奏所及び送信所の整備を行う。	南城市コミュニティFM放送局の放送開始	南城市コミュニティFM放送局の放送開始	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	準天頂衛星実証実験事業	H24	新たな観光誘客に繋げるため、「準天頂衛星観測センター」の本市への誘致及び準天頂衛星の活用についての検証を行う。	準天頂衛星実証実験の実施	準天頂衛星実証実験の実施	◎
1	⑩	デマンド交通導入検討業務	H24	滞在型観光を推進するため、「デマンド交通システム」を活用した検討業務を行い、実用化に向けた検証を行う。	デマンド交通の運行実施計画（案）策定	デマンド交通の運行実施計画（案）策定	◎
1	⑪	なんじょうハートプロジェクト推進事業	H24	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。	・商品パッケージの開発（3品目） ・PRグッズ等の制作及び配布（11,500個） ・PRイベントの参加者数（2万人）	・商品パッケージの開発（3品目） ・PRグッズ等の制作及び配布（11,500個） ・PRイベントの参加者数（2万人）	◎
1	⑫	なんじょう誘客対策事業	H24	南城市滞在型の誘客を促進するため、本市の持つ豊富なコンテンツ力に魅力あるストーリーを加え、地元での宿泊（ホテル・民泊）をしながら「なぞ解きの」旅行スケジュールを企画する。	ミステリーツアーの参加者数　100名	ミステリーツアーの参加者数　100名	◎
1	⑬	お新下り（聞得大君即位式等）再現事業	H24	世界遺産「斎場御嶽」は沖縄観光のパワースポットとして多くの観光客に親しまれています。魅力的な観光地づくりを促進するため、「お新下り」聞得大君の即位式の一部再現を行う。	・お新下り記録映像の作成 （全記録収録120分×3本） （編集済み記録映像　80分×3本） ・お新下りリーフレット作成　（2万部）	・お新下り記録映像の作成 （全記録収録120分×3本） （編集済み記録映像　80分×3本） ・お新下りリーフレット作成　（2万部）	◎
1	⑭	電動自転車による市内観光活用事業	H24	本市は世界遺産「斎場御嶽」をはじめ、歴史文化遺産が多いことから観光入域客も年々増加している。観光地の環境負荷軽減など、自動車に頼らない観光地づくりを促進するため、レンタサイクル実証実験を行う。	レンタサイクル利用者965名 （3箇所、各10台・実証実験日数45日）	レンタサイクル利用者660名	未
1	⑮	南城市地域特産品開発及び販売促進計画策定事業	H24	魅力ある観光特産品を提供するため、農水産品及び工芸品等を活用した魅力ある特産品の研究開発を行い、南城市特産品の需要及び販売ルート等の調査を行う。	・特産品ニーズ調査、特産品開発、販売ルート指針作り、認定制度の構築、促進計画策定の実施	－	繰
1	⑯	南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業	H24～H25	本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流型観光を推進する。	モニターツアー参加者数20人	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑰	尚巴志関連展開調査事業	H24～H25	観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。	尚巴志関連事業の展開可能性調査の実施	尚巴志関連事業の展開可能性調査の実施	◎
1	⑱	スポーツツーリズム推進事業	H24～H25	観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、競技場の天然芝の良質な状態を保持するための管理用機器を導入する。	天然芝管理用機材の導入	天然芝管理用機材の導入	◎
2	①	雇用サポートセンター就労支援事業	H24	新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事業所等に人材情報を提供する。	雇用創出サポートセンター登録数100人	雇用創出サポートセンター登録数250人	◎
2	②	企業誘致・定住促進環境整備事業	H24	雇用創出を実現し、定住促進及び地域振興を図るため、企業立地区域の環境整備を実施する。	企業誘致及び企業立地区域の環境整備計画策定 南城市水道事業基盤整備計画策定 都市計画再編に伴う新たな下水道計画策定業務の実施	－	繰
2	③	南城市超高速通信サービス整備事業	H24	南部圏域における情報通信関連産業の振興にあたり、超高速通信サービス整備は必要不可欠である。 企業誘致、雇用促進を図るため、市内全域（久高島を除く）に超高速通信サービスを整備する。	超高速通信サービス環境の整備 ※市内総面積48.39㎢（久高島除く）	－	繰
3	①	平和発信プロジェクト事業	H24～H28	戦後65年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れていく中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会とするため、南城市独自の平和の日を制定し、講演会、コンサート等を実施する。	こころぽっかぽかコンサート入場者数　400名	こころぽっかぽかコンサート入場者数　400名	◎
3	②	戦没者追悼慰霊祭事業	H24	恒久平和の誓いを発信するため、本市では、合併前の旧町村単位で、慰霊祭が行われている。近年は参加する遺族の高齢化や月日の経過とともに小規模化しつつあるため、慰霊碑を１箇所に整理・統合し、市一円の大規模な慰霊祭を実施する。	慰霊碑の整理・統合（3箇所→1箇所） 大規模慰霊祭の開催	慰霊碑の整理・統合（3箇所→1箇所） 大規模慰霊祭の開催	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	①	さとうきび優良種苗安定確保事業	H24～H28	沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。 安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付けの普及を推進する。	さとうきび優良種苗植付面積1,780アール	さとうきび優良種苗植付面積1.448アール	○
4	②	農業生産体制強化事業	H24	農業生産物の生産体制の強化を図るうえで、作物の品質保持は欠かせない要素である。 作物の粉塵による生育不良や日照量低下の解消、大雨時の路盤の流出した後の凹凸による生産物の荷崩れを防止する為、既設の簡易農道にアスファルト舗装を実施する。	農道舗装　L＝1200m	農道舗装　L＝1,193m	○
4	③	蔬菜花卉園芸施設整備事業	H24～H28	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	既存ハウス等施設の整備24ヵ所	－	繰
4	④	沖縄型野菜工場実証試験事業	H24～H25	低コスト化、低炭素社会実現を推進し、農業振興を図るため、空き施設（公共施設）を利用して野菜工場を作り、生産性、継続性等の実証実験を行う。	・運営維持方法の策定 ・野菜工場整備の着手	－	繰
4	⑤	漁港巻上機・施設機能強化事業	H24	水産業の振興を促進するため、巻き上げ機施設の機能強化事業を実施する。	志喜屋・久高上下架可能漁船の台数：11隻	志喜屋・久高上下架可能漁船の台数：11隻	◎
5	①	地域防災対策強化事業	H24～H28	防災組織、地域防災リーダーの育成を図るため、地域住民による防災活動を実施する。 また、地域によって異なる災害を想定した避難訓練、防災知識の普及啓発、防災資機材の整備を行う。	・1団体で、組織結成に向けた防災訓練の開催	・2団体で、組織結成に向けた防災訓練の開催	◎
5	②	災害に強いまちづくり推進事業	H24	安心・安全の確保及び災害に強いまちづくりの実現を図るため、被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品、日用雑貨、備品等の整備を実施する。	海抜表示板の設置(200箇所) 備蓄食料の整備(660食)	海抜表示板の設置(200箇所) 備蓄食料の整備(660食)	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	③	台風・大雨浸水被害対策事業	H24～H26	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルートを調査し、適切な排水路整備を計画する。	佐敷地区雨水流域調査	佐敷地区雨水流域調査	◎
5	④	人にやさしいなんじょう情報マップ事業	H24	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、なんじょう情報マップを作成する。	市内全域の情報マップの作成　17,000冊 中学校区毎のマップの作成　5,400枚 市HP及び市GISでのデータの活用	市内全域の情報マップの作成　17,000冊 中学校区毎のマップの作成　5,400枚 市HP及び市GISでのデータの活用	◎
6	①	電気自動車充電ステーション設置事業	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、多くの市民や観光客等が利用する公共施設へ電気自動車充電ステーションを設置する。	電気自動車充電ステーションの設置工事の着手	－	繰
6	②	太陽光採光システム普及事業（企業・一般家庭）	H24～H26	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、太陽光照明システムの一般家庭への普及を推進する。	太陽光採光システムの設置台数　120台 電気使用量削減量　2,477kw	－	繰
6	③	太陽光採光システム普及事業（公共施設）	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを公共施設へ導入する。	太陽光採光システムの設置台数　50台 電気使用量削減量　4,800kw	－	繰
6	④	鶏糞バイオマス発電導入調査事業	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、鶏糞バイオマスを利用した発電を視野に入れ、更なる利用方法等の導入調査事業を実施する。	鶏糞バイオマス発電等調査の実施	鶏糞バイオマス発電等調査の実施	◎
6	⑤	風力・太陽光ハイブリッド発電導入調査事業	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、風力エネルギー及び太陽光エネルギーを組み合わせたシステムを普及させるための実証実験を実施する。	風力・太陽光ハイブリッド発電システムの構築	－	繰
6	⑥	畜産悪臭対策事業	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内3箇所の豚舎等で、水質改変装置を設置し、臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施する。	臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施（3地点　8項目）	臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施（3地点　8項目）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「ー」

南城市

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑦	環境浄化エコリサイクル事業	H24	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内で回収した伐採草木及び市内食品工場等から排出される生ごみを利用した腐葉土の生産及び販売に取り組む。	ホイールローダー1台 自動計量機付袋詰機1台	ホイールローダー1台 自動計量機付袋詰機1台	◎
7	①	英語コーディネーター配置事業	H24	国際性豊な人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。	・英語コーディネーター配置数 市教育委員会　：　1人	・英語コーディネーター配置数 市教育委員会　：　1人	◎
7	②	小中学校学習教室空調設備整備事業	H24	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。	空調機天井吊形設置工事 （家庭科教室空調機天吊り形2台設置）	空調機天井吊形設置工事 （家庭科教室空調機天吊り形2台設置）	◎
7	③	受水走水田園体験事業	H24	将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲の発祥地とされる受水走水において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。	田園体験学習　参加者453人	田園体験学習　参加者467人	◎
8	①	文化のまちづくり実行委員会支援事業	H24	地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。	南城市文化センター・自主公演4事業 2,409名	南城市文化センター・自主公演4事業 2,409名	◎
8	②	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24～H28	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。 これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。	H24年度 御嶽・グスク等調査件数：60字	H24年度 御嶽・グスク等調査件数：60字	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	やんばる地域情報発信プロモーション委託事業	H24	自然が保全されているやんばるエリア（国頭村・大宜味村・東村）の地域観光情報を広く発信、集客活動を実施し、観光活性化を推進、観光を基軸とした新たな地域のまちづくりを図る。	全国情報誌（るるぶやんばる）の発行：13,000部 観光プロモーション実施：2回 観光資源メニュー開発：2件	全国情報誌（るるぶやんばる）の発行：13,000部 観光プロモーション実施：2回 観光資源メニュー開発：2件	◎
1	②	産業まつり誘客推進事業	H24～H28	産業まつりにおいて、観光客を含めた参加型のイベントを開催し、村民と県内外の観光客との交流の場を提供することにより、国頭村の魅力や認知度の向上を図り、リピーターの増大につなげる。	産業まつり会場への来場者数 H23年：3,000人→H24年：3,877人	産業まつり会場への来場者数 H23年：3,000人→H24年：3,877人	◎
2	①	森林セラピーガイド認定システム等構築事業	H24～H25	森林セラピー推進協議会と連携して他地域の森林セラピーガイド認定システムを調査し、国頭村独自のガイド認定・登録を構築し、質の高いガイドを育成する。	森林セラピーガイド認定制度の検討	森林セラピーガイド認定制度の検討	◎
2	②	受入民間団体体制強化事業	H24～H26	森林セラピーの受け入れ体制を充実するため、受入民間団体の組織化を図るとともに、ガイド研修などの人材育成を実施し、組織体制の強化を図る。	森林セラピーの受入民間団体への支援	森林セラピーの受入民間団体への支援	◎
2	③	薬草風呂等体験施設整備事業	H24～H25	森林セラピーの体験メニューの充実を図る基盤整備の一つとして、雄大な自然を望みながら、薬草風呂や薬草スキームを満喫できる体験施設を整備し、森林セラピーの誘客増加を図る。	薬草風呂等体験施設の実施設計	－	繰
2	④	癒し食メニュー開発及びモニターツアー実施事業	H24～H26	「健康・長寿沖縄」の根源をなす地域食材と、4つのセラピーロードの特徴を活かした癒し食メニューの開発するとともに、癒し食メニューを含んだモニターツアーを実施する。	・癒し食モニターツアー参加者数 H24年度　：　10人	・癒し食モニターツアー参加者数 H24年度　：　17人	◎
2	⑤	セラピーロード付帯施設整備事業	H24～H25	山中で展開される森林セラピーツアー客の利便性向上を図るため、多言語の案内看板や説明版の設置や水源や電源のない山中でも設置可能なエコトイレなどの付帯施設を整備する。	セラピーロード付帯施設の整備着手 ・案内看板：4基 ・エコトイレ：3基	－	繰
3	①	「木育」インストラクター・「木育」マイスター養成講座事業	H24～H28	国頭村木材を活用した「木育」の推進に不可欠なインストラクターや木育玩具を作成するマイスターを養成し、「木育」推進体制の構築を図る。	・養成講座参加者数 H24年度　：　15人	・養成講座参加者数 H24年度　：　16人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	②	ウッドスタート推進事業	H24～H28	国頭村木材を活かした、玩具、家具、内装材などを開発し、木に対する親しみや木の文化への理解を深める活動を推進し、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やしことにより、「木づかいファン」を増やし、国頭村木材の利用促進による林産業の活性化を促す。	木育玩具の製作	－	繰
3	③	「木育」イベント等出展PR事業	H24～H28	県内で開催される「木育」イベント等に参加し、国頭村木材おもちゃの普及を図るとともに、全国の木のおもちゃ職人が集結する「森の恵みの子供博」へ出展し、国頭村木材による木のおもちゃのPRや他地域の職人等と交流によるスキルアップを図る	・木育イベント参加者数 H24年度： 500人 /年	・木育イベント参加者数 H24年度： 573人 /年	◎
3	④	「森のおもちゃ広場」等整備事業	H24～H28	命薬の森と呼ばれる国頭村の森の中に「森のおもちゃ広場」を設置し、だれでも気軽に利用できるおもちゃの空間を演出し、国頭村の木育の拠点として整備する。また、都市部での「木育」おもちゃ広場の要望に応えられるよう、移動おもちゃ広場のキットを作成する。	森のおもちゃ広場施設の実施設計の実施 移動おもちゃ広場キットの作成	－	繰
4		国内外水族館「観賞魚」の供給体制構築事業	H24～H26	定置網等で水揚げされた魚を「観賞魚」として県外水族館に供給できる体制構築を目指し、国内水族館の亜熱帯の魚のニーズ調査及び関係構築によるネットワーク化に取り組む。	国内水族館のニーズ把握 国内水族館とのネットワーク強化	国内水族館のニーズ把握 国内水族館とのネットワーク強化	◎
5	①	多自然川づくり事業	H24～H28	中心市街地を流れる辺土名川を整備し河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に生かした河川再生を図るとともに街づくりとリンクして、地域の活性化を図る。	・辺土名川河川整備に係る調査業務の実施	－	繰
5	②	魅力あるヤンバル路づくり事業	H24～H28	「魅力ある安心・安全な観光ルートづくり」に向けて、観光地へアクセスする村道の景観美化を集中的・重点的に実施する。	景観美化を実施する観光ルート数：11路線	－	繰
5	③	緑の美ら島づくり環境整備事業	H24～H28	森林セラピーや森林ツーリズムなど、森林の癒しの効用や自然観察等を目的に訪れる観光客への満足度を高めるため、観光地周辺や林道沿いの不法投棄、散乱ゴミの回収や雑草除去等を実施し、快適な観光地として、リピーターの増加を目指す。	景観美化実施箇所数： 3箇所	景観美化実施箇所数： 7箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	①	文化財観光資源化事業	H24～H27	国頭村指定文化財「義本王の墓」の観光資源化のためその周辺踏査・文献調査等を行い、観光活用の土台を作る。	「義本王の墓」の調査及び整備	「義本王の墓」の調査及び整備	◎
6	②	文化財観光振興事業	H24～H27	国頭村指定文化財「義本王の墓」の記録・修復等を行い、そこから得られた情報をもって周知を図るとともに観光活用の土台を強化する。	「義本王の墓」の記録・修復に係る調査や植物調査等の実施	「義本王の墓」の記録・修復に係る調査や植物調査等の実施	◎
6	③	文化財観光活用事業	H24～H27	文化財観光資源化事業及び文化財観光振興事業によって得られた成果を基に、文化財説明版や案内板の設置を行い国頭村観光コンテンツとして文化財を活用する。	文化財総合案内サイン設置：1基 解説サイン設置：2基 誘導サイン設置：7基	文化財総合案内サイン設置：1基 解説サイン設置：2基 誘導サイン設置：7基	◎
7	①	比地大滝吊り橋点検改修事業	H24	比地大滝の吊り橋本体の鉄骨・床板（木部）・金具等の点検改修を行い利用者の安全・安心を確保する。	比地大滝の吊橋改修整備着手	－	繰
7	②	比地大滝歩道改修事業	H24～H25	比地大滝の歩道沿いの危険箇所（法面・階段）の整備と、起伏の激しい箇所においては、バリヤフリー対策を講じ子供から年配者まで気軽に散策できるように整備する。	比地大滝の歩道改修整備着手	－	繰
8	①	「森林業」研修セミナー等実施事業	H24～H26	多種多様な森林資源を活用する「森林業」の可能性を調査・研究すため、専門の講師を招き、研修等を実施するとともに、林道の落葉を活用した腐葉土や製材残差として残るバークを混ぜた培養土開発を実施する。	森林業研修セミナー参加者数：28人 腐葉土・培養土の開発調査	森林業研修セミナー参加者数：25人 腐葉土・培養土の開発調査	○
8	②	有用樹木・有用植物調査及び苗木等開発事業	H24～H28	幹だけでなく葉や香りなどを活用できる樹木や、薬草、寄せ植え、食事の妻もの等に活用される植物などを調査し、苗木の栽培技術を確立する。	有用樹種・有用植物調査及び苗木等開発	有用樹種・有用植物調査及び苗木等開発	◎
8	③	低炭素社会モデル推進調査事業	H24～H28	県外の山間部や林業地域で取り組まれている低炭素社会モデルの調査研究を行い、国頭の森における低炭素社会モデルの実現可能性を検証する。	低炭素社会モデル計画の基礎資料作成	低炭素社会モデル計画の基礎資料作成	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9		平張網掛施設整備事業	H24～H28	国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の園地平張網掛施設を整備し、ノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。	平張網掛施設の整備件数：8件	平張網掛施設の整備件数：8件	◎
10		ヤンバルクイナの郷づくり構想策定事業	H24～H28	ヤンバルクイナが生息する自然と共生する安田区及び東部地域の地域活性化を図るため、「ヤンバルクイナの郷づくり構想」を策定し、ヤンバルクイナモニュメント設置や自然散策路等の整備など、観光産業と地域活性化が連動する各種事業を展開することにより、「ヤンバルクイナの郷」としての地位確立を目指す。	・ヤンバルクイナの郷基本構想の策定	・ヤンバルクイナの郷基本構想の策定	◎
11	①	海抜マップ及び看板設置事業	H24	津波に対する危険性を村民及び観光客に認知してもらい、防災意識の向上を図るため、海抜高度マップの作成及び海抜表示看板の設置を行う。	海抜高度マップの作成：5,000部 避難所海抜表示看板の設置：50箇所	海抜高度マップの作成：5,000部 避難所海抜表示看板の設置：67箇所	◎
11	②	国頭村減災地域社会形成事業	H24～H28	地震・津波、風水害等の災害に対する村役場の災害対応力と村域全体の防災力の向上を図るため、地域防災計画や災害時初動対応マニュアルを策定するとともに、自助・共助支援のための観光地域防災訓練や防災学習を実施する。	・地域防災計画（新基準）策定に向けた基礎調査の実施 ・集落毎防災訓練実施数：10集落	・地域防災計画（新基準）策定に向けた基礎調査の実施 ・集落毎防災訓練実施数：10集落	◎
11	③	集落別減災地域社会形成事業	H24～H28	各集落の減災社会の形成のために各集落と調整を行い、安全・安心な避難路や避難施設の整備を行う。	桃原区避難経路実施設計の実施	桃原区避難経路実施設計の実施	◎
12		観光地の施設整備促進事業	H24～H25	自然資源を利用する観光客やビーチ利用者等へのサービス向上を図るため、観光地内の老朽化した施設（公衆トイレ・シャワー等）を整備し、施設利用者の利便性及び快適性の向上とリピーター確保を目指す。	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設実施設計	辺土名ビーチ公衆トイレ・シャワー施設実施設計	◎
13		教育施設環境整備事業	H24～H25	亜熱帯気候である沖縄においては、1年のうち高温多湿の状況が長期的に及ぶことから、本村の幼稚園、小学校、中学校の夏場の暑さ対策として、空調設備の設置を実施し、教育環境の改善を図る。	・空調施設の設置箇所数 幼稚園：1園 小学校：7校 中学校：1校	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

国頭村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
14	①	体験型民泊受入促進事業	H24～H26	旅行業者・学校関係者・雑誌社へ国頭村民泊事業のPRのためのモニターツアーを企画・実施し、国頭村での民泊事業への誘客を図るとともに、民泊事業者等を対象に講習会や先進地域との交流視察研修等を実施し、民泊受入体制を強化する。	・旅行業者・学校関係者・雑誌社向け、民泊PRモニターツアーの企画・実施 ・民泊ステップアップ研修参加者数：４２人	－	繰
14	②	地域資源継承・交流拠点地域整備事業	H24～H28	国頭村与那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム（海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等）等による観光客との交流・体験活動を促進するマスタープランを策定するとともに、文化交流や体験活動の拠点となる施設を整備する。	交流拠点施設整備マスタープラン作成	交流拠点施設整備マスタープラン作成	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

大宜味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	H24～H29	大宜味村の特徴ある観光資源（自然・文化・歴史・祭・文化財等）を連携させる各ポイントの整備計画から村一円の観光周遊ルート整備計画を作成し、受入体制の強化による観光振興を図る。	観光スポット、メインルートの設定 整備計画案の作成	観光スポット、メインルートの設定 整備計画案の作成	◎
1	②	「長寿と癒やしの森」整備事業	H24～H29	大宜味村の三大重点プロジェクトに位置付けている「長寿と癒しの森」の整備に向けて、具体的な実施計画を作成し、沖縄北部やんばる地域特有の自然等を生かした体験型観光が実施できるよう環境整備を行う。	長寿と癒しの森整備計画の作成 ・フロントゾーン　ウエルネスセンター整備計画 ・森の体験ゾーン	－	繰
1	③	大宜味村観光情報発信整備事業	H24～H29	村の観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、イメージキャラクターの作成、誘客イベントの開催、観光サイトやVTRによる情報発信等により大宜味村らしい観光情報発信を展開し、誘客を促進する。	イメージキャラクターの製作（着ぐるみ、イラスト集） 産業まつり参加者数：3,000名 おおぎみ椿まつり参加者数：1,000名	イメージキャラクターの製作（着ぐるみ、イラスト集） 産業まつり参加者数：4,000名 おおぎみ椿まつり参加者数：1,800名	◎
1	④	エコツーリズム人材育成事業	H24～H29	村における人材（ガイド、指導者へ）の認定制度を設け、北部やんばる地域の世界遺産登録に寄与できる体制整備と大宜味（やんばる）らしいエコツーリズム実践のためのインタープリターの要素を備えた、認定ガイド等の育成を図る。	大宜味村エコツーリズム人材育成方針の策定	大宜味村エコツーリズム人材育成方針の策定	◎
1	⑤	石灰岩の山資源調査・活用促進事業	H24～H29	大宜味村の中央部山地にある全国でも稀な石灰岩の山を観光資源として活用するため、鍾乳洞、湧水、滝、自然資源（生物・植物）等の調査を行う。あわせて、小水力発電等による自然エネルギー活用の可能性も含めた新たな活用方法について調査を行い、大宜味村の特性を活かした観光事業につなげる。	洞窟、鍾乳洞、湧水など山資源の基礎データ把握	洞窟、鍾乳洞、湧水など山資源の基礎データ把握	◎
1	⑥	結の浜公園整備事業	H24～H29	産業振興と村の定住環境空間の拠点として位置付られた公有水面埋立地「結の浜」を県民や観光客等が交流する拠点公園として整備することにより、観光振興の受入体制を強化する。	結の浜公園整備測量設計の実施 結の浜公園整備工事の実施 （土木工事（造成、植栽、駐車場等舗装、遊戯施設等）	－	繰
1	⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H29	大宜味村の地域性にあった景観づくりに向けて、景観法に基づく景観計画の方針を明らかにし、大宜味村の地域にあった魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。	景観計画の策定	景観計画の策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

大宜味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	芭蕉布会館機能高度化整備事業	H24～H25	国の重要無形文化財である芭蕉布の継承発展及び観光客への文化発信拠点として重要な施設である芭蕉布会館において、体験ブースの設置やバリアフリー化等の機能強化を実施し、体験受入事業による施設利用者の増加を図る。	芭蕉布会館における体験ブース設置やバリアフリー化等の整備工事 芭蕉布PR用パンフレット・作業工程パネルの作成	芭蕉布会館における体験ブース設置やバリアフリー化等の整備工事 芭蕉布PR用パンフレット・作業工程パネルの作成	◎
2		仮戸籍申告書の電算化事業	H24	沖縄県の戸籍の証明書等は、太平洋戦争下で多くが消失しており、昭和28年に琉球政府が設立した「戸籍整備法」に基づいた戸籍の再製作業において、住民の記憶を基に作製された書類となっており、作製から58年が経ち劣化が激しく、今後の保存活用に耐えられない。このため、仮戸籍申告書の電子データ化及び管理システムの構築を図る。	仮戸籍の電子化率：100%	仮戸籍の電子化率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	東村ヒルギ公園等美化保全計画策定事業	H24	観光地に相応しい公園施設の景観美化や長寿命化を図ることによる施設の保全の為公園美化保全計画を策定する。	公園美化保全計画の策定	公園美化保全計画の策定	◎
1	②	東村特産品加工直売施設整備事業	H24	観光客の増大に対応できるよう、東村特産品加工直売施設（ｻﾝﾗｲｽﾞひがし）の駐車場を拡張整備する。	東村特産品加工直売施設（ｻﾝﾗｲｽﾞひがし）の駐車場拡張整備　（大型バス4台、普通車25台）	東村特産品加工直売施設（サンライズひがし）の駐車場拡張整備	◎
1	③	東村産業祭り強化事業	H24	村外からの誘客を促進するため、東村産業祭りの充実を図り、パインアップルをはじめとする本村の特産品及び産業など村の魅力のPRを行う。	産業祭り来場者数：1,000人（H23）→1,300人（H24）	産業祭り来場者数：1,300人（H24）	◎
1	④	東村観光産業人材育成事業	H24	村内の観光関連団体との連携のもと、新たな顧客を掴むための東村観光（主に農家民泊）の営業や、新たな体験メニューの創出等に必要なノウハウを実践的に身につけることにより、観光産業の振興に資するコーディネーターを育成する。	観光コーディネーター育成　1人 特産品販売員育成　1人	観光コーディネーター育成　1人 特産品販売員育成　1人	◎
2	①	東村災害に強い観光地づくり事業	H24	避難所として利用している各地域の集会所(6地域)や村保健福祉センター、観光客が訪れる主要観光施設等に発電機を整備し、台風等の災害時における避難施設の利用改善を図る。	避難所等への発電機設置：10箇所	避難所等への発電機設置：10箇所	◎
2	②	東村避難所公園整備事業	H24	村立有銘小中学校は避難所として指定されているが、海抜3．7mに位置し、大きな津波発生時の避難所としては不十分であるため、背面高台周辺を大きな災害時でも対応できる避難所として整備する。	避難所公園及び避難経路の整備（有銘地区）	－	繰
3	①	東村鳥獣被害防止対策事業	H24	収穫前のパインアップルは、カラスなどの鳥獣類による被害を受けやすいことから、平張りハウスに鳥獣被害対策ネットを整備し、被害の減少を図る。	平張ハウス（防鳥施設）の設置工事	平張ハウス（防鳥施設）の設置工事	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	②	東村台風に強い農業施設整備事業	H24	本村の主要作物の一つであるマンゴーは、台風による被害を受けやすいことから、防風ネット等を整備し、被害の軽減を図る。	防風ネット（二重カーテン）の設置：3箇所	－	繰
4		東村ｸﾘｰﾝｴﾈﾙｷﾞｰ推進事業	H24 ～ H25	本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光ﾊﾟﾈﾙを設置し太陽光発電を整備するとともに、浄水場の流水を利用し水力発電を整備する。	・太陽光発電施設設備詳細設計の実施 ・東村川田浄水場における小水力発電設備詳細設計の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	H24～H26	沖縄県第2の長寿村である今帰仁村は、「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図ることとしている。本事業では、住民へのアンケートや会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。	・健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査：1,987件 ・健康長寿作戦会議開催：3回	・健康長寿基本システム構築に向けたアンケート調査：1,847件 ・健康長寿作戦会議開催：2回	○
2	①	指導用情報機器購入事業	H24	教職員指導用ノートパソコン、タッチパネル等を導入し電子教科書を活用した学習が可能となり児童・生徒の学習意欲の向上を図る。	・教育用情報機器配布学校数 小学校：3校 中学校：1校	・教育用情報機器配布学校数 小学校：3校 中学校：1校	◎
2	②	学習指導要領に準拠した改訂版の副読本の作成事業	H24	学習指導要領に準拠した副読本を作成することにより、小学校3・4年生の社会科の学習で郷土についての幅広い知識を身につけることができる。	・副読本配布学校数 小学校：3校	・副読本配布学校数 小学校：3校	◎
2	③	吹奏楽楽器購入事業	H24	吹奏楽に必要な楽器を整備することにより、村内の祭りやスポーツイベント、式典などの多様な場面において、演奏活動を行うことが可能となり、今帰仁村の教育・文化・観光産業に寄与する。	吹奏楽楽器の整備：27個（中学校）	吹奏楽楽器の整備：27個（中学校）	◎
2	④	人材育成事業	H24～H33	小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流は子供達の視野の広がりと将来に向けて刺激を与えることができる。	・派遣生徒数：36人	・派遣生徒数：36人	◎
2	⑤	東ティモールと本村児童の交流推進事業	H24～H33	東ティモールの児童を招聘し、本村4小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。	国際交流活動による海外からの受入者数 ・受入児童数：4人、引率：1人	－	ー
2	⑥	芸術家招聘事業	H24～H27	本村の小学校校歌の作詞者親族であるソプラノ歌手（講師）を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。	・公演会に参加した児童生徒数：462名	－	ー

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	未来を担う人材育成事業	H24～H33	国公立大学進学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	・講座参加人数：16名	・講座参加人数：16名	◎
3	①	景観形成強化事業	H24～H28	村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入れ体制を整える。	・快適な観光アクセスルートの整備（2.2km）	・快適な観光アクセスルートの整備（2.2km）	◎
3	②	環境保全美化推進事業	H24～H33	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・快適な観光アクセスルートの整備(27路線)	・今帰仁城跡及び観光地の美化 ・快適な観光アクセスルートの整備(27路線)	◎
3	③	風景づくり推進事業	H24	今帰仁村らしい景観を保全・継承し、さらに発展させていく景観計画の策定、その実施に向けた推進体制を行政・住民・事業者で構築して、地域振興にも寄与する景観計画を策定する。	・景観条例の制定	・景観条例の制定	◎
3	④	観光力基盤強化事業	H24～H33	今帰仁村の観光地としての認知度アップを図るため、「現代版組踊　北山の風」などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	・現代版組踊　北山の風の開催、イベントへの開催支援：4回	・現代版組踊　北山の風の開催、イベントへの開催支援：4回	◎
3	⑤	観光地安全強化事業	H24～H33	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	・今帰仁城跡来訪者安全対策	・今帰仁城跡来訪者安全対策	◎
3	⑥	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	H24～H28	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。	・今帰仁村運動公園機能強化に係る基本計画の策定	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑦	バンガロー機能強化整備事業	H24～H25	今帰仁村森林公園のバンガロー・キャンプ場宿泊施設の機能強化を図り、観光客・村民の観光拠点施設としての基盤強化を図る。	・バンガローキャンプ場宿泊施設の機能強化	・バンガローキャンプ場宿泊施設の機能強化	◎
3	⑧	観光拠点整備強化事業	H24	今年度建設予定のワルミ大橋活性化施設（仮称）の建築に伴う駐車場整備の用地取得と備品を購入し、太陽光システムを導入するとともに、観光案内板を設置し、北部観光資源を結ぶ周遊ルートの拠点化を図る。	太陽光システムの導入 観光案内板の設置：2箇所 駐車場の整備：28台、大型バス2台 ワルミ大橋活性化施設（仮称）の備品整備 用地取得2,695㎡	太陽光システムの導入 観光案内板の設置：2箇所 駐車場の整備：28台、大型バス2台 ワルミ大橋活性化施設（仮称）の備品整備 用地取得2,695㎡	◎
3	⑨	今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24～H27	世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。	・実施設計・測量・調査設計の実施	－	繰
3	⑩	古宇利ふれあい広場機能強化整備事業	H24	今帰仁の駅「そーれ」は、村の特産物販売施設である。本部町の美ら海水族館や世界遺産の今帰仁城跡、古宇利島への本部半島周遊観光ルート上で今帰仁村の中心地に位置している。観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。	・実施設計・建築工事の実施	－	繰
3	⑪	古宇利ふれあい広場機能強化整備事業	H24	平成17年2月古宇利大橋開通、平成22年12月ワルミ大橋開通により古宇利島への来島者が大幅に増加した。近年の観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。	・実施設計・建築工事の実施	－	繰
3	⑫	体験滞在観光促進事業	H24	村営グラウンド及び、兼次小学校敷地内に照明施設、屋外トイレを新設整備し、体験提供施設として利用することで、郷土芸能であるエイサー等沖縄文化の発展・継承を促進しながら、民泊事業を促進する。	・村営グランド及び兼次小学校への照明施設等の整備	・村営グランド及び兼次小学校への照明施設等の整備	◎
3	⑬	観光ガイドブック作成事業	H24	観光客等に村施設の情報提供を行うため、観光ガイドブック・観光マップ・PRポスターを作成し本村の魅力を発信する。	・観光ガイドブック配布箇所数：10箇所 ・観光マップ配布箇所数：10箇所 ・PRポスター配布箇所数：20箇所	・観光ガイドブック配布箇所数：10箇所 ・観光マップ配布箇所数：10箇所 ・PRポスター配布箇所数：20箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

今帰仁村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑭	今帰仁城跡駐車場安全強化事業	H24	世界遺産今帰仁城跡の駐車場をアスファルト舗装し、区画線及び安全対策をする事で利用者の安全性と快適性の向上を図る。	・今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装及び安全対策整備	・今帰仁城跡駐車場のアスファルト舗装及び安全対策整備	◎
3	⑮	民泊・体験型観光受け入れ基盤整備調査事業	H24	民泊・体験型観光の運用体制構築・基盤整備のための基本調査を実施する。	運用体制構築・基盤整備のための課題等把握	運用体制構築・基盤整備のための課題等把握	◎
3	⑯	今帰仁城跡多言語リーフレット作成事業	H24	世界遺産今帰仁城跡は年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れている。そのため日本語のみならず多言語リーフレットを作成し城跡の魅力を発信する。	・今帰仁城跡多言語リーフレットの配布箇所数：12箇所	・今帰仁城跡多言語リーフレットの配布箇所数：12箇所	◎
4	①	沖縄関係戸籍の電算化事業	H24	沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。	仮戸籍の電子化率100%	－	繰
4	②	地域防災計画策定事業	H24	地域住民の安心・安全の確保のため地域防災計画の見直しを行う。	・地域防災計画の策定	－	繰
5	①	今帰仁村南米移住者子弟研修生受入事業	H24～H33	南米諸国の村出身の海外移住者子孫（2世・3世）を研修生として受け入れ、村の歴史・文化（伝統芸能・三味線・エイサー・ウチナーロ）等の体験を通し国際交流の促進を図り、南米諸国との架け橋となる人材を育成する。	国際交流活動による海外からの受入者数：1人	国際交流活動による海外からの受入者数：1人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24～H28	一年を通して花いっぱいのまちづくりを推進するために、町内の各種団体と連携して国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。また、「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立し、花いっぱいのまちづくりを推進する。	美化作業への参加者数：270人 プランター設置数：540個	美化作業への参加者数：270人 プランター設置数：540個	◎
1	②	八重岳及び町有公園の美化推進事業	H24	町有公園等の観光施設には多くの木々や花が植えられているが、亜熱帯気候地域に位置する沖縄（本部町）は、適切な管理を行わなければ雑草の繁茂が早く、花が見えなくなる現状である。魅力ある観光地づくりを推進し、観光施設の整備を図るためにも、景観美化等を実施する。	観光地美化の実施：4.5km	－	繰
1	③	観光アクセスロード整備事業	H24	本町を訪れる観光客は散策を楽しむ傾向があるが、町内にある観光文化施設へのアクセスロードは老朽化が進み歩行者にとって危険な道路となっている箇所が多くあるため、観光客の安全や観光イメージを損なわないためにも、アクセスロードの整備を実施する。	アクセス道路の整備（カルスト散策道・石くびり道・土帝君道）約L=500m	－	繰
1	④	周遊観光実証調査事業	H24～H28	観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットを観光コース化するとともに、周遊観光事業としての実施可能性調査や観光ガイド等の人材育成を実施する。	新たな観光コースの創出数：2ルート	新たな観光コースの創出数：2ルート	◎
1	⑤	もとぶ港まち活性化事業	H24	平成24年5月に整備された渡久地港プロムナードは、近くに町営市場や飲食店などが多数ある町中心地域であり、本スペースの有効的な活用と新たな観光スポットを形成するため、商工会や観光協会と連携し『もとぶ夜市』を開催し、観光客の誘客を図る。	みなと夜市の実施 イベント開催数：年8日、来訪者数：500名	みなと夜市の実施 イベント開催数：年8日、来訪者数：2,990名	◎
1	⑥	外国人対応観光人材育成事業	H24～H28	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	観光人材の育成数：10名	観光人材の育成数：11名	◎
1	⑦	観光施設設備整備事業	H24	高齢化社会を迎える中で、観光に訪れるお客様も、お年寄りの団体観光が増えてきており、高齢者に配慮した環境整備が急務である。町内における観光施設の公衆トイレを整備し、高齢者にやさしいトイレ環境を整備する。	公衆トイレ整備数：1箇所	公衆トイレ整備数：1箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	市場駐車場整備事業	H24	町営市場の慢性的な駐車場不足の解消のため、市場駐車場を整備し、観光客等の利便性を向上させることにより、集客力の増大を図り、観光の振興につなげる。	公共駐車場整備台数：32台	－	繰
1	⑨	本部半島ジオパーク推進事業	H24～H28	平成25年度に日本ジオパークに認定されることを目標に、本部半島のジオサイト（地球科学を中心とした自然・文化的みどころ）調査、住民理解の促進、ジオツアーの企画・実施、ホームページの作成、解説板の整備等を行う。	ジオツアーへの参加者数：60人	ジオツアーへの参加者数：59人	○
1	⑩	自然体験研修施設整備事業	H24	旧健堅分校施設を有効活用するために、町内の海・山を利用した自然体験施設を整備し、本町の児童生徒をはじめ、修学旅行等で本町を訪れる児童生徒にも施設を活用して自然体験を提供し、児童生徒の情操の教育と、観光振興にも繋げる。	シャワー施設整備：１箇所	シャワー施設整備：１箇所	◎
1	⑪	スポーツツーリズム環境整備事業	H24	本部町運動公園は、プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿施設及び競技会場として利用されているが、設備環境が不十分なこともあり、今後も安定した合宿や公認競技等の誘致のために、公認競技場の認定取得及びプロスポーツ等の練習施設としての環境整備を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。	公認陸上競技場3種認定	－	繰
2	①	本部町キク拠点産地強化事業	H24～H26	本町の拠点産地である輪菊については、産地拡大の課題となっている収穫労働の省力化を図るため、花弁選別機の整備により産地基盤の強化を図る。	自動結束ロボット付重量選別機導入数：7台 （内訳） 沖縄県農業協同組合：3台 沖縄県花弁園芸農業協同組合：4台	自動結束ロボット付重量選別機導入数：7台 （内訳） 沖縄県農業協同組合：3台 沖縄県花弁園芸農業協同組合：4台	◎
2	②	園芸農業防災施設整備事業	H24～H25	沖縄県は台風が多々発生し、農産業に大きな被害を与えるため、台風などの自然災害に強い農業生産施設（ビニールハウス）の整備を図り、台風時の農業生産物被害の軽減や生産農家が年間を通して計画的な生産・販売を行える環境を整備する。	施設の整備件数：8件	施設の整備件数：５件	未
2	③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	H24～H28	近年、果樹類については、カラス・ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、生産農家の生産意欲が低下している。このため、鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	鳥獣駆除数：1,500羽	鳥獣駆除数：2,266羽	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

本部町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	④	亜熱帯バイオマス有効活用事業	H24	本町は、中山間部が多く、周年温暖であるため、草木・木材等の植物系および水産加工を主体とした動物系等バイオマス資源を豊富に有している。バイオマス資源のストックヤードの整備を図ることにより、現在焼却処分等で対応している植物系・動物系等各種バイオマス資源の総合的利活用システムを確立する。	ストックヤードの整備・活用	－	繰
2	⑤	水納島産業創出支援事業	H24	本町の唯一の離島である水納島は、夏期は観光、冬期は農業が中心となっている。冬期に生産される野菜は高品質で消費者ニーズも非常に高い、水納島の農業振興により島民の農業所得向上を図るため、農業用機械の整備を推進する。	農業機械の導入：1台	農業機械の導入：1台	◎
2	⑥	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	H24～H28	本町には観光客向けのホテルや飲食店等が多数立地しているが、町内にまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため町内産の食材はほとんど活用されておらず、観光振興及び農業振興上の大きな課題となっている。ゴーヤー・キャベツを始めとする、在来ネギ、島ラッキョウ、ハンダマ、在来紅いも等、本町特有の島ヤサイ等の集出荷体制を整備し、それらを地元で消費する「自産自消推進モデル」を構築する。年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせ、農業振興及び観光振興の相乗効果を図り、地域経済の活性化につなげる。	出品登録者数：20人 町内取引先数：10件	出品登録者数：69人 町内取引先数：46件	◎
3		本部町漁業生産体制強化事業	H24	高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少や自然環境の悪化などによる水産資源の減少等により、安定した漁家経営を行うことが難しくなっている現状を踏まえ、渡久地港北側岸壁の船揚場に漁船巻揚げ機を設置し、漁業作業の効率化を図る。	漁船巻揚げ機整備：1基	漁船巻揚げ機整備：1基	◎
4		本部町地域産業安定化事業	H24	現在、未開拓のまま放置されている上本部飛行場跡地に、平成23年度に策定した「上本部飛行場跡地利用基本構想・基本計画」に基づき、6次産業化の実践、観光体験型農業の実践、農産物・農産加工品のブランド化など産業創出に係る企業を立地させるため用地取得を実施する。	基地跡地用地：94筆	基地跡地用地：94筆	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

本部町

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	本部町文化拡充事業	H24～H28	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラッシク、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「地域一体型音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンル及び地域とのコラボレーションによる音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。 地域一体型音楽の中で、児童生徒を巻き込んで、芸能文化の継承を図る。音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。 また、これらの音楽イベントを観光客向けのコンサートとして定例化を図り、観光資源としても利活用していく。	イベント等動員人員数：250人	イベント等動員人員数：440人	◎
6	本部町自然環境保全事業	H24～H28	貴重な観光資源となる美しい海を保全するため、赤土流出が見られる流域の現地調査、地形調査、水文調査等を実施し、木材チップによるマルチングや、グリーンベルトおよびガラスリサイクル製品で製作したフィルターによる効果実証事業を実施する。	グリーンベルト等による効果実証：3箇所	グリーンベルト等による効果実証：3箇所	◎
7	本部町防災体制強化事業	H24	本部町は、美ら海水族館等の主要観光地を抱え、毎年多くの観光客が訪れる。情報が不足しがちな観光客の安全を確保するために、アクセス道路である国道、主要観光施設、宿泊施設等に海抜表示板等を整備し、防災体制の強化を図る。	海抜表示板等設置箇所数：350ヶ所 避難場所等設置箇所数：30ヶ所	海抜表示板等設置箇所数：350ヶ所 避難場所等設置箇所数：30ヶ所	◎
8	本部町仮戸籍等電子化事業	H24	戦争で焼失した戸籍を再編する際の経緯に基因し、従前戸籍と実家戸籍との間で誤りが多く土地、相続手続き等で支障を及ぼす場合が多々あり、国、県、市町村等の事業を進める際に支障をきたしている。 これらを電子化しサービスの改善を図る。	仮戸籍の電子化率：100%	仮戸籍の電子化率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

恩納村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	仲泊内海周辺活性化施設整備事業	H24～H28	恩納村の入口であり、仲泊貝塚などの国指定文化財や村博物館、農水産物販売センター「おんなの駅」に隣接する仲泊内海周辺に、賑わい及び交流拠点としてプロムナードを整備し、魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施する。	・仲泊内海周辺にプロムナード等（交流拠点）調査・実施設計、整備工事を実施	－	繰
1	②	文化・観光情報発信拠点整備事業	H24～H27	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する為の基盤整備を行い、「文化交流型産業」の活動を推進する。	恩納村文化情報センター施設の実施設計の実施	恩納村文化情報センター施設の実施設計の実施	◎
1	③	赤間運動公園内貯水施設整備事業	H24	プロ野球チームやナショナルサッカーチームのキャンプ地として活用されている赤間運動公園に整備されている芝の維持管理に必要な水源を確保し、年間を通し芝を良好な状態に保ち、キャンプ等の定着を図る。	赤間運動公園内貯水施設の実施設計、整備工事の実施	赤間運動公園内貯水施設の実施設計、整備工事の実施	◎
1	④	恩納村コミュニティーセンター広場照明施設取替工事	H24	「うんなまつり」や「美らしまオキナワセンチュリーラン」等の会場であるコミュニティー広場の照明施設を改善し、夜間、未明に行われるイベント開催時の照度の向上と安全を確保し、各種イベントの定着化を図る。	コミュニティーセンター広場照明施設の実施設計、取替工事の実施	コミュニティーセンター広場照明施設の実施設計、取替工事の実施	◎
1	⑤	恩納地区観光環境整備事業（恩納多目的広場遊具等整備事業）	H24	恩納地区における児童遊具及び大人を対象とした健康器具を設置することにより、本村海浜公園を訪れる観光客等のアクティビティーが充実し、更なる観光客等の誘致を図る。	恩納多目的広場遊具等の整備	恩納多目的広場遊具等の整備	◎
1	⑥	瀬良垣地区観光環境整備事業（瀬良垣漁港便益施設整備事業）	H24	本村の瀬良垣地区は、目前に美しい海を活かしたﾏﾘﾝｽﾞｨｬｰ関係事業が盛んであり、ﾀﾞｲﾋﾞﾝｸﾞ等目的の観光客が多く訪れている。その拠点となる瀬良垣漁港は船揚場等基本的な整備はされているが、ﾄｲﾚ等整備されていないため不便をきたしている。そこで、漁港内にﾄｲﾚ等便益施設を整備する事により、観光客等の受け入れ体制の充実を図り満足度を高め、更なる観光客の誘客活動を実施する。	瀬良垣漁港便益施設の整備	瀬良垣漁港便益施設の整備	◎
1	⑦	恩納村「みどりの回廊」整備事業	H24～H28	魅力ある観光地づくりを行うため、村内景勝地などの周辺を緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理を行い観光客の誘客促進を図り、地域の活性化を実現する。	・植栽本数（累計）：380本／年 ・漂着ゴミ除去箇所：11か所／年	・植栽本数（累計）：429本／年 ・漂着ゴミ除去箇所：11か所／年	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

恩納村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24～H28	年間84万人が訪れる景勝地「万座毛」は、トイレやおみやげ品店等の老朽化が激しく、また狭隘な駐車場は観光客と車両が混在する等の危険な状況である。そこで、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境整備を行うことにより安全で魅力ある観光地の形成を図るための基本計画を策定する。	・万座毛周辺整備基本計画の策定	・万座毛周辺整備基本計画の策定	◎
1	⑨	県外観光客誘客促進事業（おんな村観光物産展事業）	H24～H26	東京池袋（サンシャインシティ）において本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサーの実演、特産品の販売等を行い村産品の販路開拓、観光PRを実施する。	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数：H24年度6万人	サンシャイン「沖縄めんそーれフェスタ」物産展来場者数：H24年度63,440人	◎
1	⑩	県内外観光客誘客促進事業（「春や春おんなWEEKでたのしまナイト！！」事業）	H24～H28	沖縄県内の若手芸能トップレベルの実力を持つ「沖芸琉球芸能専攻OB会」のメンバーを中心に琉球芸能、組踊り、芝居、空手などの舞台公演を実施するとともに会場周辺での地元特産品販売等を実施する。	公演入場者数 H24年：900人	公演入場者数 H24年：881人	○
1	⑪	観光地防災対策強化事業	H24	平成23年度において地域防災計画見直しを行った。その中で高齢者、障害者、外国人、観光客等様々な方に対応するマニュアルの作成、避難経路点検及びマップの作成などを村が実施すべき事項として掲げている。それらを推進していくため、災害時初動行動マニュアル作成、災害時要援護者避難支援プラン作成、防災マップ見直し作業を実施する。それと併せて海抜表示板設置業務を行い、全ての滞在者が避難の際の目安を確認できる環境整備を行う。	・初動行動ﾏﾆｭｱﾙ作成 ・要援護者避難支援プラン作成 ・防災マップ作成 ・海抜表示板設置個所数　546箇所	－	繰
1	⑫	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	H24	ハブ及び、外来種のタイワンハブが村内で頻繁に捕獲、発見されるようになり、観光施設周辺や国頭方西海道（歴史の道）などにおけるハブ出没も多く、観光地周辺や歴史の道の散策者などへの咬傷事故が予想されるため、積極的に駆除することを目的とする。	・ハブ捕獲数：150匹	・ハブ捕獲数：184匹	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	景観維持緑化振興事業	H24～H33	村内幹線道や観光、文化施設周辺の美化活動のために必要な車輌を導入し、花の村づくり運動を村内全域に推進することにより、観光客受入体制を強化する。	美化緑化活動　歩道植樹帯約：2km	美化緑化活動　歩道植樹帯約：2km	◎
1	②	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24～H33	阪神春季キャンプの受入体制の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源（タイガースタウン)としてを開拓していく。	キャンプ受け入れ態勢の整備 （土入替え、防球ネット、歓迎のぼり等整備	キャンプ受け入れ態勢の整備 （土入替え、防球ネット、歓迎のぼり等整備	◎
1	③	海抜表示板設置事業	H24	海岸付近にペンションや海洋療養施設、物産センター、ホテルなどが立地している為、海抜表示板を設置し、利用者へ注意喚起することにより「安心・安全な村」「何度も訪れたい魅力ある村」をアピールする。	海抜表示板設置箇所数：250カ所	海抜表示板設置箇所数：250カ所	◎
1	④	リバーパーク整備事業（パークゴルフ場）	H24	パークゴルフ場を整備し、民泊事業と連携を図ることで、年間を通した民泊需要を確保する。	パークゴルフ場の整備（18ホール）	パークゴルフ場の整備（18ホール）	◎
1	⑤	かんなタラソ沖縄活性化事業	H24	村内にある「かんなタラソ沖縄」に身体測定システム導入など機能強化することにより、長期滞在型の観光モデル形成やスポーツ合宿、阪神タイガースキャンプと連携した誘客を図る。	長期滞在観光施設の機能強化	長期滞在観光施設の機能強化	◎
1	⑥	ビーチクリーンアップ事業	H24～H33	ビーチクリーナーを整備し、台風後の海岸美化活動を推進することにより、観光シーズンの観光客受入環境を強化する。	ビーチクリーン実施回数：10回	ビーチクリーン実施回数：0回	未
1	⑦	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24～H33	宜野座村文化センター「がらまんホール」を中心として、様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催し、地域芸能のアピールと文化振興、交流事業を図り、村外や県外からの観光客を誘致する。	伝統文化・芸能公演来場者数：16,000人	伝統文化・芸能公演来場者数：15,831人	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

宜野座村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	①	小学校学力向上対策事業	H24～H33	小学校に学習支援員を配置し児童一人一人への確かな学力を身につけさせ生きる力を育成すると共に、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本的事項の確実な定着を図っていく。また、小学校にIT指導員を配置しタブレット端末などの操作技術、活用能力を取得し、情報化社会に対応できる人材を育成する。	支援員配置数：8人	支援員配置数：8人	◎
2	②	中学校学力向上対策事業	H24～H33	中学校に学習支援員を配置し生徒一人一人への確かな学力を身につけさせ生きる力を育成すると共に、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本的事項の確実な定着を図っていく。	支援員配置数：4人	支援員配置数：4人	◎
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24～H33	幼稚園において預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実させていく。	預かり保育担当配置数：4人	預かり保育担当配置数：4人	◎
3	①	有機の里宜野座村確立事業	H24～H33	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施する。	エコファーマーの認定数：5名	エコファーマーの認定数：3名	未
3	②	堆肥センター（バキューム車購入）整備事業	H24	畜産農家と耕畜連携を強化するため施肥資材を整備する。	施肥利用農家数：3名	施肥利用農家数：3名	◎
4		仮戸籍申告書の電子化事業	H24	劣化が激しく長期保存に耐えられない戸籍関係書類をデータ化し、管理システムを構築することにより、住民サービスの向上を図る。	仮戸籍の電算化率：100%	仮戸籍の電算化率：100%	◎
5		上水道遠隔監視設備設置事業	H24	村の立入りが許可されない米軍演習場内にある水源水質等の遠隔監視を強化するため、水道施設8カ所の遠隔操作管理システムを機能強化する。	米軍演習場内水道施設・水質などの遠隔監視体制の強化（8箇所）	米軍演習場内水道施設・水質などの遠隔監視体制の強化（8箇所）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

金武町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	金武町歓迎の塔改修事業	H24	国道沿いに設置されている歓迎の塔（モニュメント）を改修し、また観光案内板の設置等を行うことにより、観光客受け入れ体制の強化を図る。	観光案内板の設置数：2基	－	繰
1	②	金武町ベースボールスタジアム外構整備事業	H24	金武町ベースボールスタジアムの観覧席屋根の設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事及び屋外トイレの設置工事を行い、施設の機能強化を図る。	スタジアムの機能強化 （観覧席屋根設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事、屋外トイレ設置工事）	－	繰
1	③	バス停上屋整備事業	H24	ギンバル訓練場の跡地利用により、リゾートホテル等が整備されると観光客の増加が見込まれる。本町の今後の観光振興を推進するため、公共交通機関の利便性を高める必要があり、バス停の上屋を整備する。	バス停留所上屋の整備率：100%	－	繰
1	④	民泊運営管理システム導入事業	H24	民泊事業の推進に当たり、年々増加している受入件数の円滑な処理と管理体制を強化するため、予約・実施・収支管理を行うコンピューターシステムの導入を行う。	民泊運営管理システムの導入	民泊運営管理システムの導入	◎
1	⑤	新開地地区防犯灯LED電球設置事業	H24	金武町キャンプ・ハンセン第1ゲート前付近の新開地地区内のLED防犯灯を機能強化整備し、観光客受け入れ体制を強化する。	新開地地区防犯灯LED化率：100%	新開地地区防犯灯LED化率：100%	◎
1	⑥	新開地地区緑化整備事業	H24	新開地地区内の防犯灯にハンギングバスケットを設置し、既設植栽枡と併せ緑化することにより、観光客受入体制を強化する。	ハンギングバスケット・植栽枡設置：230箇所	－	ー
1	⑦	ウォーキングコース等整備事業	H24～H25	町営グラウンド周回道路及び隣接する金武地区公園内遊歩道にゴム状のチップ舗装等を整備し、陸上競技大会の開催や、県外大学合宿等の誘致を図る。	ウォーキングコースのゴム状チップ舗装等の実施	－	繰
2	①	小中学校学習等支援事業	H24	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援員等を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	学習支援員配置数 小学校：7人 中学校：8人	学習支援員配置数 小学校：7人 中学校：8人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

金武町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	②	特別支援教育支援事業	H24	発達障害等を持つ幼児・児童・生徒の学習生活、学校生活等の困難の改善と克服を目的に教育を支援し、適切な指導及び支援を行い、学力向上に資する。	特別教育支援員配置数 幼稚園：４人 小学校：１０人 中学校：１人	特別教育支援員配置数 幼稚園：６人 小学校：９人	○
2	③	幼稚園預かり保育事業	H24	子育て環境改善を目的に嘱託職員を配置し、預かり保育の充実を図る。	預かり保育実施率：９０％	預かり保育実施率：６９％	◎
3		仮戸籍申告書の電算化事業	H24	安定かつ継続して仮戸籍申告書に係る住民サービスを提供する為、仮戸籍申告書の電子データ化及び管理システムを構築する。	仮戸籍申告書の電算化率：100％	仮戸籍申告書の電算化率：100％	◎
4	①	芳魂の塔改修整備事業	H24～H25	太平洋戦争等において、悲惨な体験をした事実を後世へ伝えていくことは、本町の使命であり、毎年６月に行われている金武町戦没者追悼式の継承は、恒久平和を願う金武町民の心を伝えるものである。	芳魂の塔整備に係る実施設計、改修工事の実施	－	繰
4	②	金武町青年海外派遣事業	H24～H33	国際交流機会の増加促進に寄与するため、本町の青年を海外に派遣し、本町と海外移住国との有効親善関係及び人材育成の推進に資することを目的としている。	派遣研修生数：２人	派遣研修生数：２人	◎
5		ギンバル訓練場跡地利用事業	H24	ギンバル訓練場跡地利用事業が世間に周知され、多くの人に関心を持ってもらうためにモニュメントを設置する。	モニュメント整備に係る実施設計、設置工事の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊江村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1		村立診療所人工透析施設整備事業	H24～H25	人工透析患者の住民が、離島である本村で安心して暮らせるようにするとともに、本村に訪れる人工透析が必要な観光客に対し、安全・安心な観光を提供するため、人工透析施設を整備する。	・人工透析施設の実施設計、用地購入	・人工透析施設の実施設計、用地購入	◎
2		伊江村立東保育所整備事業	H24	幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準（平成12年改正建築基準法）を満たす保育所を整備する。併せて現在の多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保することにより、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。	・新しい耐震基準（平成12年改正建築基準法）を満たす保育所の供用開始	・新しい耐震基準（平成12年改正建築基準法）を満たす保育所の供用開始	◎
3		沖縄関係戸籍の電算化事業	H24	本村で戸籍事務の電算化が未整備である沖縄関係戸籍（いわゆる福岡戸籍等）は、現在でも戸籍訂正やつぶれ地補償事務において、極めて重要な役割を果たしているが、紙媒体で保存されているため、劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、紙媒体で保存されている沖縄関係戸籍を電算化する。	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	◎
4	①	フラワーロードプロジェクト推進業務	H24	年間を通して休耕地や沿道等に四季を通じた植栽を行う。	・主要幹線道への花の苗本数：2,400本	・主要幹線道への花の苗本数：2,400本	◎
4	②	ハイビスカスプロジェクト推進業務	H24	ハイビスカスを植栽し、花の島づくりを推進する。	・ハイビスカス苗500種購入育成	・ハイビスカス苗500種購入育成	◎
4	③	村花・世界のゆり植栽推進業務	H24	村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。	・ゆり球根30,000球購入植栽	・ゆり球根30,000球購入植栽	◎
4	④	名所・景勝地等案内板設置工事	H24	花の名所・景勝地等に案内板を設置し、観光客受入態勢を強化する。	・観光案内板の設置：32箇所	・観光案内板の設置：32箇所	◎
4	⑤	観光客誘客環境整備事業	H24	ハブ対策ネットの整備により、安全で安心な観光客受入態勢を構築する。	・防護フェンス設置数：1個所	・防護フェンス設置数：1個所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	大型定置網漁船購入補助事業	H24	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、観光客などを対象にした定置網体験漁業のために必要な大型定置網船の新造を支援する。	大型定置網船1隻の新造を補助	大型定置網船1隻の新造を補助：1隻	◎
1	②	ジンベイザメ生簀購入設置補助事業	H24	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、ジンベイザメを観察しながら一緒に泳げる体験型観光漁業に必要な生簀設置を支援する。	ジンベイザメ生簀購入設置の補助	ジンベイザメ生簀購入設置の補助：1施設	◎
1	③	スポーツコンベンション誘致促進事業	H24～H33	スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプをしているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施する。	中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦 ・観光PRチラシ配布1,000枚 ・読谷観光PRビデオ上映 サガン鳥栖（ﾍﾞｽﾄｱﾒﾆﾃｨｽﾀｼﾞｱﾑ）公式戦 ・観光PRチラシ配布1,000枚 ・読谷観光PRビデオ上映	中日ドラゴンズ（ナゴヤドーム）公式戦 ・観光PRチラシ配布1,000枚 ・読谷観光PRビデオ上映 サガン鳥栖（ﾍﾞｽﾄｱﾒﾆﾃｨｽﾀｼﾞｱﾑ）公式戦 ・観光PRチラシ配布1,000枚 ・読谷観光PRビデオ上映	◎
1	④	平和の森球場機能強化事業	H24	良好なトレーニング環境の提供による更なるスポーツコンベンション誘致と良好なキャンプ見学環境を提供することによる観光客の誘客を図るため、平和の森球場の全面改修を実施する。	・平和の森球場改修工事設計書の作成 ・平和の森球場の機能強化	－	繰
1	⑤	景観形成事業	H24	地域性にあった景観づくりの実現に向けて、景観法に基づく景観計画のもとでの方針を明らかにし、読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。	景観地区指定における調査の実施 （座喜味地区）	景観地区指定における調査の実施：7回 （座喜味地区）	◎
1	⑥	読谷型観光情報発信事業	H24	読谷村への観光客の誘客を促進するため、村ホームページを活用した国内外への観光資源情報の発信力を強化する。	村ホームページ機能強化整備 （多言語化・観光情報コンテンツの作成）	村ホームページ機能強化整備 （多言語化・観光情報コンテンツの作成）	◎
1	⑦	情報中継車整備事業	H24	観光客や地域住民を対象にインターネットやFMラジオ等を活用した地域の情報発信を強化するため、村内イベントの現地取材・放送等を行うための情報中継車両を整備する。	情報中継車両の購入整備	情報中継車両の購入整備：1台	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	多言語観光ビデオ制作事業	H24	海外の潜在観光客をターゲットに沖縄にある読谷村の知名度やイメージの向上を図り訪問動機を高めるため、本村の自然や歴史、文化、地域特性等を広く紹介した「村づくり紹介映像」を多言語化する。	多言語観光ビデオ制作（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）	多言語観光ビデオ制作（英語、北京語、広東語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語）	◎
1	⑨	スポーツコンベンション誘致促進事業（残波いこいの広場グラウンド機能強化工事）	H24	地域振興及び経済活性化に向けて、スポーツコンベンション誘致の促進を図るため、残波岬公園運動広場芝グラウンドの機能を強化する。	・残波岬いこいの広場グラウンドの工事設計の作成 ・残波岬いこいの広場グラウンド機能強化	－	繰
1	⑩	読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化事業	H24	読谷村への観光客の誘客を促進するため、洋式トイレを整備するなど読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化をする。	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備	読谷村残波岬いこいの広場のトイレを和式から洋式に整備	◎
2	①	小中学校情報教育支援員配置事業	H24～H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	情報教育支援員の配置 小学校1人　中学校1人	情報教育支援員の配置 小学校1人　中学校1人	◎
2	②	日本語教育支援員配置事業	H24～H33	二重国籍や帰国児童などで日本語を習得していない子ども達への支援体制を強化するため、日本語支援員を配置する。	日本語教育支援員の配置 小学校2人	日本語教育支援員の配置 小学校2人	◎
2	③	騒音計の購入・騒音基礎調査事業	H24	米軍の嘉手納弾薬庫において行われる不発弾処理及び弾薬処理作業時に発生している騒音が授業の妨げにならないようその対策を検討するため、騒音計を購入し、騒音基礎調査を行う。	・騒音計の導入 ・騒音の測定及び記録	・騒音計の導入：2台 ・騒音の測定及び記録：1回	◎
3	①	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務	H24	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、地区計画の予備設計を行う。	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計の作成	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計の作成	◎
3	②	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等作成支援委託業務	H24	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の都市計画決定図書等の作成を行う。	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等作成	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等作成	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	③	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査委託業務	H24	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行う。	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査の実施	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査の実施	◎
3	④	楚辺通信所跡地環境基礎調査委託業務	H24	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行う。	楚辺通信所跡地環境基礎調査の実施	楚辺通信所跡地環境基礎調査の実施	◎
3	⑤	楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務	H24	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区地区計画の都市計画決定に向けた調査委託業務を行う。	楚辺通信所跡地地区計画策定調査の実施	楚辺通信所跡地地区計画策定調査の実施	◎
3	⑥	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定委託業務	H24	平成23年度に作成した読谷村村民センター南側地区等基本計画調査業務報告書に基づき、向こう10箇年を目途とし、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画書の策定	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画書の策定	◎
3	⑦	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計等支援委託業務	H24	読谷補助飛行場の跡地利用の具体化を図るため、農地整備をⅠ期・Ⅱ期に分けて行っており、その第Ⅱ期工区の道路予備設計を行う。	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計の作成	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計の作成	◎
3	⑧	読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業	H24	駐留軍用地跡地も含めた読谷村全体の読谷村道路網計画の見直しを行い、道路の交通機能のみならず空間機能の観点も含めた、望ましい道路の交通体系を目指す新しい「読谷村道路基本計画」の策定を行う。	読谷村道路基本計画の策定	読谷村道路基本計画の策定	◎
3	⑨	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定委託業務	H24	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する、国道バイパスや区画整理地との配置計画を含め検討する。	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定 （計画・敷地条件の検討、調査、公園敷地計画の方針設定、導線の検討、配置計画の策定）	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定 （計画・敷地条件の検討、調査、公園敷地計画の方針設定、導線の検討、配置計画の策定）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

読谷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	①	地域文化振興事業	H24～H33	読谷村は、三線の祖とされている赤犬子の終焉の地とされ、三線・箏・琉球舞踊・茶道等の伝統文化・芸能の盛んな村である。この伝統を継承・伝授すべく外部講師を村内小中学校等へ派遣する。	外部講師派遣人数：27人 参加者数：　500人	外部講師派遣人数：27人 参加者数：　538人	◎
4	②	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H28	読谷の自然・歴史・文化資源等に関する情報を共有・発信・活用できるにように再整理し、読谷村の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てる。	文化財ガイドマップ設置：３箇所	文化財ガイドマップ設置：３箇所	◎
4	③	読谷村戦災文化財修復事業	H24	沖縄戦で破壊を受けた文化財を修復し、読谷村の文化的生活の向上や地域活性化、観光振興に役立てる。	戦災文化財修復数：３件	戦災文化財修復数：３件	◎
4	④	くるちの杜１００年プロジェクト	H24～H33	沖縄固有の文化である三線文化の継承と、更なる発展を図るため、三線の材料となるくるち（黒木）の植樹、くるち（黒木）と三線に関する講座、コンサート等を開催するとともに、読谷村の魅力を国内外にアピールする。	・植樹祭、コンサート等イベント参加者数：700人 ・黒木の植樹本数：200本	・植樹祭、コンサート等イベント参加者数：715人 ・黒木の植樹本数：200本	◎
4	⑤	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24～H33	国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。	・読谷村移民・出稼ぎ調査中間報告書の作成 （ヒアリング・テープ反訳）	・読谷村移民・出稼ぎ調査中間報告書の作成 （ヒアリング・テープ反訳）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	嘉手納町観光振興基本計画策定事業	H24	通過型の観光から滞在型の観光への転換を効率的かつ効果的に実施するため、嘉手納町の観光の現状、課題分析、ニーズ調査や地域資源調査を行い、本町の歴史・文化財、自然、人材、施設などの資源を活用した観光振興を中長期的に推進するための基本的な計画を策定する。	観光振興の基本計画の策定	観光振興の基本計画の策定	◎
1	②	嘉手納町かでな文化センター機能向上事業	H24～H27	滞在型の観光振興の促進を図るため、既存アナログ設備を時代のニーズに適合した活用のできる設備へと機能を拡充するとともに、多くの方々から多くの改善の要望が寄せられている施設のバリアフリー化を図る。	・設備機能向上工事実施設計の作成 ・舞台照明設備の機能改善 ・音響設備の機能改善 ・バリアフリー化基本設計書の作成	・設備機能向上工事実施設計作成 ・バリアフリー化基本設計書作成 ・舞台照明設備の機能改善 ・音響設備の機能改善	◎
1	③	嘉手納町観光振興ちゅらまち景観創出事業	H24	観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化の形成を行い、町内への誘客と魅力ある観光地づくりを推進するため、町内の主要箇所に多言語総合観光案内板及び道路名称看板、観光拠点施設内の多言語案内板を設置するとともに、ポケットパークを整備する。	・ちゅらまち景観創出事業実施設計の作成 ・総合観光案内看板の設置：2箇所 ・主要道路愛称名板の設置：7箇所 ・多言語施設案内看板の設置：2箇所 ・ポケットパークの整備	－	繰
1	④	嘉手納町観光史跡等説明板整備事業	H24～H27	地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。	観光史跡等説明板の設置：9箇所	－	繰
1	⑤	嘉手納町観光リーフレット作成事業	H24	広く国内外へ道の駅かでな及び嘉手納町の観光情報を発信し観光客の誘客を図るため、日本語・外国語版の観光リーフレットを作成する。	観光リーフレット作成製本：50万部	観光リーフレット作成製本：50万部	◎
1	⑥	嘉手納町比謝川緑地広場整備事業	H24～H26	体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在、エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。	用地取得面積：390㎡	用地取得面積：390㎡	◎
2	①	学習支援員配置事業	H24～H33	基礎学力向上対策の上で課題となっている算数・数学、国語、英語の基礎学力定着のため、チームティーチング、習熟度別授業、長期休業中の個別指導及び放課後の補習授業に必要な学習支援員を小・中学校へ配置する。	生徒指導支援者配置数 小学校：3人、中学校：1人	生徒指導支援者配置数 小学校：3人、中学校：1人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

嘉手納町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	②	英会話指導員配置事業	H24～H33	本町は平成22年度に教育課程特例校の認定を受け、英語教育に取り組んでいる。ネイティブスピーカーの講師が授業に参加することにより、日常的に英語に親しめる環境をつくるため、町立幼・小・中学校に英会話指導員を配置する。	英語指導員配置数 小学校：3人、中学校：2人	英語指導員配置数 小学校：3人、中学校：2人	◎
2	③	パソコン指導員配置事業	H24～H33	教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたるとともに、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図るため、町立幼・小・中学校にパソコン指導員を配置する。	パソコン指導員配置数 小学校：2人、中学校：1人	パソコン指導員配置数 小学校：2人、中学校：1人	◎
2	④	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24～H33	保護者不在、携帯電話による交友関係の広がり、外泊等規則正しい生活リズムを築けない状況にある生徒がいる。生活リズムの正常化を目指すために、指導員による家庭訪問を行い在宅確認及び本人と家族支援を実施する。又、時差登校をする生徒への対応として別室での相談を実施する。	生徒指導支援者配置数 中学校：2人	生徒指導支援者配置数 中学校：2人	◎
3	①	法定外公共物・未買収道路現況調査事業	H24	戦後米軍嘉手納飛行場の建設により町域の大部分を接収された混乱期に、道路等の基盤整備が計画的に行われないまま市街地が形成されたため本町のいたるところに筆数や面積を詳細に把握できていない法定外公共物や未買収道路が点在している。 今後の良好な市街地形成を図るため、法定外公共物及び未買収道路の筆数や面積を確定する調査を行う。	法定外公共物・未買収道路調査率：100%	－	繰
4	①	災害時避難場所表示灯整備事業	H24	沖縄県は台風の常襲地域でもあり、自然災害を被りやすい地域であることから、災害により電力供給が停止し、夜間の防犯灯が災害時に不点になる恐れがある。 夜間の防災機能を強化し、災害避難時の町民及び観光客等の安心・安全を図るため、本町指定の避難場所の入口付近にソーラー照明灯を設置する。	避難場所へのソーラー照明灯設置率：100%	避難場所へのソーラー照明灯設置率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	北谷町観光情報センター整備事業	H24	国内外から訪れる観光客に新鮮で詳細な観光情報を発信するとともに、物産振興と文化振興の推進、地域安全と環境浄化活動の拠点にもなりうる施設を整備し、本町の観光振興の拠点とするため、北谷町観光情報センターを整備する。	・北谷町観光情報センター基本設計および実施設計の実施 ・観光情報センター建設 （建築面積174㎡）	－	繰
1	②	少年少女野球キャンプ招聘事業	H24	温暖な気候に恵まれた北谷町において、少年少女を対象にしたスポーツキャンプ事業を展開する。	少年少女野球キャンプの実施	－	ー
1	③	花と緑のまちづくり事業	H24	美浜アメリカンビレッジにおいて、観光・ショッピング街に相応しい花と緑にあふれた景観を形成に向けて、美浜メディアステーション周辺の美化事業を実施する。	花壇への植花作業 （173.38㎡）	花壇への植花作業 （173.38㎡）	◎
1	④	国際的観光地形成促進事業	H24	本町の西海岸一帯を中心とした国際的観光地の形成に向けて、人脈の形成と今後のネットワーク構築の足がかりとするため、ハワイで開催される催し物に参加する。 併せて、新たな観光メニューを開発するため、気候や観光資源が類似するハワイの音楽やエンターテイメントのプロデュースや観光施設等を視察する。	・観光振興計画案への反映 ・ハワイアンイベントの開催検討	・観光振興計画案への反映（参考事案の報告） ・ハワイアンイベントの開催（台風により中止）	未
1	⑤	北谷町文化発信拠点整備事業	H24～H30	（仮）町立博物館を建設を購入する。	土地取得率100%	－	繰
1	⑥	北谷町観光物産プロモーション事業	H24	中日ドラゴンズキャンプの開催時期や他の時期においても、本町への観光客誘客を図るため、中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」において、本町の観光情報、地域特産品情報を広く告知する観光物産プロモーション事業を実施する。 また、本町の知名度を一層向上させ、沖縄及び北谷町への外国人旅行者の訪日旅行促進を図るため、「第20回　台北国際旅行博（ITF2012）」に設置される沖縄県ブースに参加し、本町の観光情報、地域特産品情報を広く告知する。	・沖縄ウィークinナゴヤドーム 北谷デイ 町特産品、パンフレットの配布：1,000個 ・第20回台北国際旅行博（ITF2012） 町特産品、パンフレットの配布：400個	・沖縄ウィークinナゴヤドーム 北谷デイ 町特産品、パンフレットの配布：1,000個 ・第20回台北国際旅行博（ITF2012） 町特産品、パンフレットの配布：400個	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北谷町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	北谷町観光産業啓発広報促進事業	H24	これまでパンフレット等で補いきれなかったタイムリーで充実した情報発信を図り、観光産業振興を推進するため、本町の観光拠点地である美浜アメリカンビレッジ内で屋外大型ディスプレイを設置し、来訪する国内外の観光客に観光イベントや地域情報等の観光情報を多言語でPRする。	デジタルアーカイブ映像の配信件数：20件	デジタルアーカイブ映像の配信件数10件	未
1	⑧	西海岸環境保全事業	H24	台風等悪天候の後にビーチへ漂着する多くの流木等を迅速に撤去するため、ビーチクリーナーを購入するとともに、ビーチクリーナーを保管する倉庫を設置する。	・ビーチクリーナー1台 ・ビーチクリーナー倉庫の設置	－	繰
1	⑨	西海岸歩行者ネットワーク整備事業	H24	安良波公園から浜川漁港フィッシャリーナ地区までウォーキングや散策ができ、多くの町民や観光客が集まるような魅力ある遊歩道を整備するため、造成工事を実施する。	・遊歩道整備着手　214.7m	－	繰
1	⑩	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	H24～H27	宮城海岸の水叩き部分を既設部分(県施工)に合わせてインターロッキングブロック舗装及び休憩舎を設置することにより景観的に優れた護岸整備を行う。	景観に優れた護岸の整備 （ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装：1,642㎡） （休憩舎設置）	景観に優れた護岸の整備 （ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装：1,675㎡） （休憩舎設置１箇所）	◎
2	①	英語指導助手派遣事業（小学校）	H24～H33	教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げるため、小学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小学校に英語指導助手を派遣する。	・英語指導助手（AET）配置数 全小学校に各１人：４人	・英語指導助手（AET）配置数 全小学校に各１人：４人	◎
2	②	英語指導助手派遣事業（中学校）	H24～H33	教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げるため、中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各中学校に英語指導助手を派遣する。	・英語指導助手（AET）配置数 全中学校に各１人：２人	・英語指導助手（AET）配置数 全中学校に各１人：２人	◎
2	③	北谷の次代を担う人材育成事業	H24～H28	直接異文化にふれ、歴史を学び、交流体験することで、心豊かな国際性に富み、将来の北谷町を担い、国際社会に貢献する素地を醸成に繋げるため、中学生を海外に派遣する。	・派遣生徒数：４人 （英語スピーチコンテスト並びにカンバセーションコンテストの上位入賞者）	・派遣生徒数：４人 （英語スピーチコンテスト並びにカンバセーションコンテストの上位入賞者）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北谷町

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	跡地利用推進事業	H24	キャンプ桑江南側地区の有効かつ適切な跡地利用計画を策定するため、跡地利用推進調査事業において外国大学誘致検討委員会の設置や外国大学誘致基本構想（案）を策定する。	外国大学誘致基本構想（案）の策定	外国大学誘致基本構想（案）の策定	◎
4	仮戸籍等電子化事業	H24	現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしている沖縄関係戸籍は、紙媒体であるため劣化が著しいことから、今後も安定的かつ継続的に同戸籍に係る住民サービスを確保するため、同戸籍の電算化を実施する。	沖縄関係戸籍の電算化率 :100 %	沖縄関係戸籍の電算化率 :85 %	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24～H28	長期滞在型の宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用し、野外活動するためのインストラクター養成等を実施する。	・体験交流人数：50人	・体験交流人数：104人	◎
1	②	歴史文化散策路ネットワーク整備構想・計画調査事業	H24～H28	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するため、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備の計画を作成する。	・重点地区の計画策定	・重点地区の計画策定	◎
1	③	北中城まつり活性化事業	H24～H33	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	・三大祭りにおける来場者数：10万人 ・地元産業事業者参画数：40事業所	・三大祭りにおける来場者数：11.1万人 ・地元産業事業者参画数：37事業所	◎
1	④	音楽で村づくり支援事業	H24	村内の各イベントや各自治会におけるまつり等と子供たちの音楽活動を融合させ、幅広い世代による地域活性化と魅力ある観光地形成を目指す。その初年度として子供たちがより充実した活動が行えるよう楽器等の機材を購入する。	・北中城まつりにおける音楽発表	・北中城まつりにおける音楽発表：2校	未
1	⑤	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	H24～H28	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備調査を実施する。	・湧水群活用基本構想策定	・湧水群活用基本構想策定	◎
1	⑥	東海岸まちづくり構想策定事業	H24	特色ある観光地としての基盤整備を目指し、本村の東海岸域はアーサ（ヒトエグサ）の産地であることから、魅力ある「食」の観光資源としての活用を図るため、東海岸地域まちづくり構想を策定する。	・東海岸地域まちづくり基本構想策定	・東海岸地域まちづくり基本構想策定	◎
1	⑦	観光コミュニティバス導入検討事業	H24～H26	村内にある観光資源をターゲットとした観光コミュニティーバス導入に向け、本村の観光特性・交通特性・課題を把握し、交流活性化の具体策とモデル事業への検討を行う。	・観光コミュニティーバス導入検討調査の実施	・観光コミュニティーバス導入検討調査の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	農道除草作業事業	H24	魅力的な観光地を形成するため、日本一早い「ひまわりまつり」（1月～2月開催）会場周辺の除草作業を実施する。	・会場周辺農道除草率：100%	・会場周辺農道除草率：100%	◎
1	⑨	景観計画策定事業	H24	本村における景観特性や目指すべき「将来像」及び「景観形成に関する方針」等を示し、良好な景観形成のための行為の制限等を定めることにより、実現性の高い景観形成を推進するため、景観計画を策定する。	・景観計画の策定	・景観計画の策定	◎
1	⑩	公営墓地整備基本計画策定事業	H24	沖縄独特の墓地散在化の規制と、景観的な配慮をするため、公営墓地の形態、規模、運営方法、候補地選定の基本計画を策定する。	・公営墓地整備基本計画の策定	・公営墓地整備基本計画の策定	◎
1	⑪	南米3カ国青年研修・葛巻町青少年交流事業	H24～H33	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多くいる南米3カ国（ペルー、アルゼンチン・ブラジル）に研修生を派遣する。 また、北中城村の文化・伝統等の発信と将来を担う人材ネットワークの形成を図り、国内外の観光客の誘客強化のための人材育成を目指すため、姉妹町村である岩手県葛巻町の青少年交流事業を実施する。	・南米3カ国派遣人数：2名 ・葛巻町交流生徒派遣人数:15名	・南米3カ国派遣人数：2名 ・葛巻町交流生徒派遣人数:15名	○
2	①	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり計画策定事業	H24	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりの推進と、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査を実施し、計画を策定する。	・アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	・アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	◎
2	②	アワセゴルフ場地区景観形成検討調査事業	H24	アワセゴルフ場地区における魅力的で快適な観光拠点としてのまちづくりにたち、総合的な観点から無電柱化にむけた整備計画を策定する。	・景観整備計画の策定	・景観整備計画の策定	◎
2	③	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24～H28	戦後強制収容で消滅した比嘉集落の戦前の営みから返還合意・跡地の利用までを記録として残し歴史文化の継承を図るため、映像としてまとめる。	・記録映像の作成 ・記録映像の撮影時間：3時間	・記録映像の作成 ・記録映像の撮影時間：3時間	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	④	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業	H24～H26	プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得て跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー(プロジェクトに関係しているあらゆる人々)との調整及び管理を実施する。	・アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整・管理の実施	・アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整・管理の実施	◎
2	⑤	サウスプラザ地区跡地利用検討基礎調査事業	H24	昭和49年に返還されたサウスプラザ地区（約3.0ha）は、アワセゴルフ場跡地に国道を挟んで隣接していることから、一体的に整備することが有効的であり、未調査である環境調査・測量調査を行う。	サウスプラザ地区の調査実施率：100%	サウスプラザ地区の調査実施率：100%	◎
2	⑥	アワセゴルフ場地区総合整備計画修正事業	H24	平成22年度に作成した「アワセゴルフ場総合整備計画」は、大型商業施設と大型医療施設を核とした総合整備計画に基づくまちづくりに必要な要素を満たしてきているものの、「地域の歴史、文化」、「健康増進」、「スポーツ交流」などの分野が満たされておらず、それらを満たす必要な施設の配置等を検討するため見直しを行う。	・アワゴルフ場総合整備計画の見直し（歴史文化、健康増進、スポーツ等の分野を追加）	・アワゴルフ場総合整備計画の見直し（歴史文化、健康増進、スポーツ等の分野を追加）	◎
3		雇用サポートセンター事業	H24～H33	活力ある地域作りを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るとともに、退職期を迎えた「団塊の世代」の再就職希望に対応するため、雇用サポートセンターを設置する。	・失業者のマッチング人数：10人 ・新規求人数：100件	・失業者のマッチング人数：7人 ・新規求人数：105件	○
4	②	沖縄戦戦後復興調査事業	H24～H28	戦後67年を迎え、聞き取り調査の対象者（当事者）が高齢化する中、沖縄戦・戦後の復興体験を後世に伝えるため、米兵が綴った日誌など未調査の英文資料（比嘉太郎・マーフィン資料）の翻訳を行うとともに、聞き取り調査等を行う。	・翻訳件数：25件 ・調査済みテープの文字起こし：30件	・翻訳件数：7件 ・調査済みテープの文字起こし：5件	未
4	③	戦没者管理システム導入事業	H24	自治体等で行われる戦没者追悼などの平和活動へ活用するため、沖縄戦における北中城村の戦没者約2,000名（当時の人口の約1/3）についてデータベース化を行う。	・戦没者情報のシステム化率：100%	・戦没者情報のシステム化率：107.5%	◎
5	①	地域ブランド構築事業	H24～H33	産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行い、商品選定委員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う。	・地域特産品販売所の工事着手 ・PR活動回数：2回	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	②	農業経営改善支援事業	H24～H33	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	・経営指導農家の件数：40件	・経営指導農家の件数：40件	◎
5	③	再資源化ストックヤード等整備事業	H24～H33	循環型農法の推進とともに、焼却回避によるゴミ減量化を目指し、青草、伐採木の堆肥化・再資源化を図るためのスットクヤード整備、伐採木等のチップ処理機械を導入する。	・車両、機械の導入 ・用地購入率：100% ・実施調査測量設計書の作成	－	繰
6	①	地域防災・危険箇所調査等事業	H24～H26	災害の予防、災害発生予想箇所の調査、海抜表示板の設置、災害時応急対策、災害復旧対策に係る一連の防災活動を適切にかつ迅速に実施するため、新たな防災・減災計画を策定するとともに、防災体制ネットワークの強化を図るため、大規模災害時等の長期避難生活に備え、食料品、その他避難生活に必要な最低限の日用雑貨等を備蓄する環境整備を行う。	・防災、減災計画の策定 ・備蓄品11品目の追加補充	・防災、減災計画の策定 ・備蓄品11品目の追加補充	◎
6	②	災害時要援護者避難支援計画策定事業	H24～H26	本村ホームページにおける統合型GISシステムによる視覚的観光情報発信手段構築を視野に入れ、そのレイヤー構築の1つとして観光客が安心安全に滞在できるよう大規模災害時を想定した避難支援計画の策定を行う。	・要援護者避難支援計画の策定	・要援護者避難支援計画の策定	◎
6	③	航空機騒音自動測定機器導入事業	H24	普天間飛行場から離発着する航空機等の騒音測定を目的に機器（3機）を購入する。	・騒音測定機器の導入数：3機	・騒音測定機器の導入数：3機	◎
6	④	北中城小学校避難施設改修事業	H24	災害時の避難施設として指定されている北中城小学校が、台風・塩害等により屋根葺き材（防水シート）の劣化が著しく、台風襲来のたびに近隣に危険を及ぼしている。避難施設として安全・安心にその機能の活用を図るため、施設の改修を行う。	・北中城小学校整備棟数：3棟	・北中城小学校整備棟数：3棟	◎
7	①	全村植物公苑化推進事業	H24～H33	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみたて、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	・村内主要道路等の美化・緑化率：100%	・村内主要道路等の美化・緑化率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	②	公共施設等エコアクション推進事業	H25～H29	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー（太陽光）の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替え、電気自動車の導入を行う。	・エコカーの導入数：2台 ・公共施設への太陽光先行導入数：2か所	－	繰
8	①	総合英会話指導支援事業	H24～H33	国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。	・英語指導員配置数 小学校：2人、中学校：1人	・英語指導員配置数 小学校：2人、中学校：1人	◎
8	②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24～H33	国際化社会に対応できるよう、子どもから大人までを対象とした人材育成・教育方法等を教育現場に活かすため、米国の教育機関とインターネット講座ができるWEBシステムを導入し、米国大学教員による集中講座を行う。	①小学生講座回数：30回 ②中学生講座回数：30回	①小学生講座回数：30回 ②中学生講座回数：29回	○
8	③	学校ICT活用指導支援事業	H24～H33	コンピュータ操作指導やITに関する専門的な知識向上のために、指導員を配置するとともに、操作指導・インターネットモラルなどのIT教育の推進を図るため、学校ICT機器機能拡充を行う。	・PCインストラクター支援員配置数：1名	・PCインストラクター支援員配置数：1名	◎
9	①	琉球歴史風致資産調査事業	H24～H28	琉球の歴史を踏まえたまちづくりに向けて、村内の歴史的建造物及び歴史伝統のある文化を後世に引き継ぐため、伝統的建造物のほか、文化財未指定ではあるが沖縄の特殊な歴史の産物として再評価できる文化財を悉皆調査する。	・歴史風致資産の悉皆調査率：30% （240件）	・歴史風致資産の悉皆調査率：31.25% （250件）	◎
9	②	文化財情報データベース作成事業	H24	村内の文化財について、データベース化を図り、村ホームページにおいて、容易に検索できるシステムを構築し、魅力ある文化財の紹介・発信を行う。	・文化財データベース化率：100%	・文化財データベース化率：100%	◎
10	①	一時預かり室整備事業	H24～H26	本村の公立保育所2園のうち1園は、ニーズの高い一時預かり保育について、預かる環境が充分でないため、その対応のため保育室の増築工事を行う。	保育室の増設工事の着手 整備面積：45㎡	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
10	②	幼稚園預かり保育給食対応事業	H24～H33	幼稚園預かり保育（午後）において、小・中学校と同様の学校給食を提供するため、賃金調理員の配置を行う。	預かり保育実施幼稚園への給食提供数：600食/月	預かり保育実施幼稚園への給食提供数：328食/月	未
11		臨時戸籍電子化事業	H24	終戦直後に整備（約5,000枚）された紙資料の臨時戸籍の劣化が進み保存状態が悪いことから、保存のため電子化を行う。	・紙保存の臨時戸籍修復保存作業及び電子化率：100%	・紙保存の臨時戸籍修復保存作業及び電子化率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
	①	吉の浦会館施設機能強化事業	H24	村民のスポーツや学習、サークル活動等の拠点となっており、利用者が増加している吉の浦会館について、塩害や台風被害による破損箇所を修繕するとともに太陽光発電システムを導入する等、機能強化を図る。	・屋根(銅板)撤去工事 ・屋根防水工事 ・太陽光発電システム設置工事 ・LED証明機器設置工事 ・空気調和設備設置工事	－	繰
	②	吉の浦体育館施設機能強化事業	H24	サッカーをはじめとするスポーツキャンプの誘致に資するとともに村民の健康づくりに活用するため、吉の浦体育館内にトレーニングジムを設置する。	吉の浦体育館内にトレーニングジム設置	吉の浦体育館内にトレーニングジム設置	◎
2		護佐丸歴史資料図書館の整備事業	H24～H27	沖縄や中城村の歴史や文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、護佐丸歴史資料図書館の建設を行う。なお、当該施設は、災害時に地域住民等の身の安全を確保するため、「防災タワー」を兼ねた複合施設とする。	・建設検討委員会の設置、開催 ・護佐丸歴史資料図書館の基本構想・基本計画 ・建設予定用地の購入	－	繰
3	①	トマトの安定生産に向けた取組	H24	トマトの品質向上及び作業効率の向上を図るため、栽培施設へ灌水設備及び防除機を導入する。	・灌水設備設置支援件数：3件 ・防除機設置支援件数：1件	・灌水設備設置支援件数：3件 ・防除機設置支援件数：1件	◎
	②	島人参の安定生産に向けた取組	H24	中城村ブランドである島人参の安定生産を目指し、収穫機械の導入、品種管理圃場及び平張り施設の整備、品種選抜の実施、土壌消毒器による土壌病害対策等を行う。	・収穫機械の導入件数：1件 ・平張施設の設置個所選定・設置工事の着手	－	繰
	③	キャベツの安定生産に向けた取組	H24	キャベツの生育環境改善及び作業効率の向上を図るため、定植機、播種機、運搬機の導入を支援する。	・定植機設置支援件数：2件 ・運搬機設置支援件数：5件 ・灌水設備設置支援件数：3件 ・防除機設置支援件数：1件	・定植機設置支援件数：2件 ・運搬機設置支援件数：5件 ・灌水設備設置支援件数：3件 ・防除機設置支援件数：1件	◎
	④	輪ギクの安定生産に向けた取組	H24	輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、施肥作業と選別・調整作業の機械化を実施する。	・選別機械の導入支援件数：3件	・選別機械の導入支援件数：3件	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4		とよむ中城産業まつり事業	H24	中城村内で生産、製造又は提供される産業製品を村内外に紹介し、販路拡大を図るため開催される「とよむ中城産業まつり」を支援する。	・まつり来場者数：3,000人	・まつり来場者数：2,819人	○
5	①	中城防災行政無線の撤去及び増設工事	H24	県事業の対象となる土砂災害危険区域以外の地域においても災害情報の伝達手段を確保するため、スピーカーや増強アンプ等を設置し、防災無線放送エリアを拡充する。	・防災行政無線の整備 ・既存防災無線施設37箇所を他事業と連携し48箇所に増設整備する工事の着手	－	繰
	②	防災行政無線Jアラート整備工事	H24	災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報（Jアラート）を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達するため、自動起動機を設置する。	・Jアラート自動起動機の設置数：１箇所	・Jアラート自動起動機の設置数：１箇所	◎
	③	地域防災計画策定	H24	海岸線を有し、毎年、台風の襲来を受ける本村において、住民等の避難誘導を図るため、地域防災計画の全面改訂及びハザードマップの見直しを行う。	・地域防災計画の策定着手 ・防災マップの作成：7,000部	－	繰
	④	災害対策避難路整備事業	H24～H25	海岸線に近い本村における台風や津波等の対策として、避難路を整備し、児童等の安全を確保する。	・避難路の測量及び実施設計の完了 ・避難路整備築造工事の着手	－	繰
	⑤	南上原地内緊急災害時避難広場整備事業	H24	台風や大規模地震等の自然災害や有事の際に、地域住民や観光客の安全安心を確保するため、緊急避難広場を整備する。	・緊急災害避難広場の住民説明会 ・緊急災害避難広場の実施設計の完了 整備箇所数：3ヵ所	－	繰
6	①	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	H24～H26	「郷土の歴史・文化についての学習」を充実させるため、小中学校の教材等を編纂する。今年度は小学生向け教材の企画検討、執筆者編集委員会の設置等を行う。	・幼小学校教材（絵本　読み物　3年・4年・5年・6年教材）の作成	絵本　読み物　3年・4年・5年・6年教材教材プロットの作成	◎
	②	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H33	児童生徒が、コンピューター等の情報手段に慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報支援員の配置やコンピュータの設置等により環境を整備する。	・新世代教室パソコン　（40台） ・コンピュータ-教室パソコン（40台） ・情報教育対応補助者1人配置し 各小中学校への指導	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

中城村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
	③	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H33	特別に支援を要する児童生徒等について、個に応じたきめ細かな支援を行うため、特別教育支援員や学習支援員を各学校に配置する。 不登校になる児童生徒へのスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、児童生徒と保護者に対して、精神的にきめ細かく支援する体制を整備する。	・生徒指導支援者配置数 小学校：4人、中学校：2人、教育相談室：2人	・生徒指導支援者配置数 小学校：4人、中学校：2人、教育相談室：2人	◎
	④	国際理解人材育成事業	H24～H33	学校の外国語活動及び国際教育を充実させるために英語指導の補助員を配置する。	・英語指導員配置数 小学校：１人	・英語指導員配置数 小学校：１人	◎
	⑤	沖縄文化推進事業	H24	児童生徒が沖縄の文化である歌や三味線をはじめ、様々な音楽を継承するために、楽器等を購入し、音楽の授業やクラブ活動等の環境を整備する。	・楽器等音楽環境整備 各小中学校音楽備品購入　一式	・楽器等音楽環境整備 各小中学校音楽備品購入　一式	◎
	⑥	学校施設窓ガラス遮熱対策事業	H24	児童等の学習環境の改善等を図るため、学校の窓ガラスに加工を施し、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な環境を提供する。	・窓ガラスフミンコート吹き付け 小学校2校　785.96㎡ 中学校1校　455.75㎡	・窓ガラスフミンコート吹き付け 小学校2校　785.96㎡ 中学校1校　455.75㎡	◎
	⑦	児童館・子育て支援センター強化事業	H24～H33	子育ての不安を解消し、子供たちへの虐待を防ぐため、相談体制の強化を図るとともに、地域のボランティア育成を強化する。	・指導員、保育士の配置 （児童館：3人、子育て支援センター：2人）	・指導員、保育士の配置 （児童館：3人、子育て支援センター：2人）	◎
7		戦災滅失戸籍等沖縄戸籍関係書類システム化事業	H24	本村の沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	沖縄関係戸籍の電子化率　100%	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

中城村

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
8	ござまるエネルギープロジェクト	H24～H33	中城村に建設中の吉の浦火力発電所は、沖縄で初めて導入されるLNG（液化天然ガス）を燃料として発電を行う。液化された天然ガスが気化する際に発生する廃熱を中城村の地域振興と地域エネルギーシステムの確立に利用するため琉球大学及び中城村商工会の産官学連携により共同研究を行う。	①産学官による再生可能エネルギーの共同研究 H24年調査・研究内容 ・琉球大学・中城村連携推進協議会の発足 ・冷熱エネルギー発生と発電ガス利用の仕組み及び制度調査 ・先行調査の整理と評価 ・先進事例調査 ②琉球大学・中城村連携推進協議会の発足	①産学官による再生可能エネルギーの共同研究 H24年調査・研究内容 ・琉球大学・中城村連携推進協議会の発足 ・冷熱エネルギー発生と発電ガス利用の仕組み及び制度調査 ・先行調査の整理と評価 ・先進事例調査 ②琉球大学・中城村連携推進協議会の発足	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	農産物直売施設商圏調査事業	H24	本町の農作物を活用した6次産業化を進め、地産地消の推進を図るため、農作物の加工・直売所施設建設に向けた商圏調査を実施する。	商圏調査の実施 （施設立地可能性調査検討）	商圏調査の実施 （施設立地可能性調査検討）	◎
1	②	農業活性化支援システム開発事業	H24	作物毎の収穫時期や生産量を的確に予想し、効率的な農業経営及び営農指導等を実施するため、町内の農地情報を一括管理するシステム開発を行う。	農地情報管理システムの構築	－	繰
2	①	観光マップ作成事業	H24	魅力的な観光スポットや文化財等を紹介した多言語対応の観光マップを発刊し、まちの魅力を発信する。	観光マップの作成：20,000部 （町内5施設、モノレール駅及び県外沖縄事務所等に配布）	観光マップの作成：20,000部 （町内5施設、モノレール駅及び県外沖縄事務所等に配布）	◎
2	②	地域防災計画策定事業	H24	国指定史跡となった「内間御殿（うちまうどぅん）」や沖縄本島東海岸の新たな観光地として賑わう「西原マリンパーク」等に多くの観光客を安心・安全に迎えるため、本町における地域防災計画を策定する。	地域防災計画の策定	地域防災計画の策定	◎
2	③	棚原の石畳道の石垣整備事業	H24	観光振興及び文化財保護の観点から、本町に古くからある集落（棚原地区）の石畳道を保存整備する。	棚原石畳道（幅員1.8m、延長27m）の石垣整備	棚原石畳道（幅員1.8m、延長27m）の石垣整備	◎
2	④	走る広告塔事業	H24	本町の地域振興・観光振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成・取付する。また、従来標識にはない「発光塗料」も併せて採用することで、交通安全の一助となるよう工夫する。	オリジナルナンバープレートの制作 5,000枚（3年分）	オリジナルナンバープレートの制作 5,000枚（3年分）	◎
2	⑤	沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査事業	H24	観光振興及びパークアンドライドの推進を図るため、沖縄都市モノレール新駅周辺の土地利用及び沖縄自動車道との結節等について調査を実施する。	沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査の実施	－	繰
2	⑥	災害に強い観光まちづくり推進事業	H24	台風等の災害時に観光客等に必要な情報を迅速かつ確実に伝達するため防災行政無線システムを整備し、併せて海抜表示板設置及び防災マップの作成等を行う。	屋外拡声子局の整備：76箇所 海抜表示板の設置：158箇所 防災マップの作成：1,000部	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

西原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑦	災害・事故等避難所環境整備事業	H24	台風等の災害時に観光客等の安全を確保するため、避難所である中央公民館の台風や塩害による破損箇所等を整備し、安全性向上と長寿命化を図る。	・中央公民館の破損箇所等の整備及び安全性の向上	・中央公民館の破損箇所等の整備及び安全性の向上（破損箇所等の整備）	◎
2	⑧	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H25	本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。	景観計画の策定	－	繰
2	⑨	公園樹木等環境整備事業	H24～H28	沖縄県は国内唯一の高温多湿の亜熱帯性気候という気象条件から、季節を問わず年中雑草等が繁茂し、植物の育成が早いという特徴がある。観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	町内公園の美化・緑化実施箇所：3箇所	町内公園の美化・緑化実施箇所：3箇所	◎
3	①	小学校英語活動指導員派遣事業	H24～H33	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	外国語活動が好きな児童の割合：80%	外国語活動が好きな児童の割合：85%	◎
3	②	教育相談員配置事業	H24～H33	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として教育相談員を配置する。	教育相談員への相談件数：600件	教育相談員への相談件数：396件	未
3	③	学校等公共施設改修事業	H24	全国と比較して学力格差の著しい沖縄県において、夏場においても安全で快適な学習環境を保持する必要があることから、教室内の老朽化の著しい扇風機を取り替える。	西原東小学校扇風機改修：64台	西原東小学校扇風機改修：64台	◎
4		子育て世代ゆいまーる支援事業	H24	乳幼児の感染症予防のため、空気清浄機（殺菌機能付）やインフレエンザ予防湿度計等を保育所（認可、認可外）、学童クラブ、児童館等へ設置する。	空気清浄機の設置：77台 インフルエンザ予防温湿度計の設置：64台	空気清浄機の設置：77台 インフルエンザ予防温湿度計の設置：64台	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

西原町

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	スポーツ環境整備事業	H24～H25	西原町民陸上競技場は、芝管理の評価が高く、毎年、プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め、観光資源としても活用するため、スプリンクラーや芝面の排水設備、全天候ウレタン舗装の整備を行い、施設の機能強化を図る。	陸上競技場内芝面の排水設備整備及び走路のウレタン整備	－	繰
6	ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	H24～H27	ICTを活用した観光振興を図るため、ポータルサイトの構築や観光アプリ開発を行う。観光アプリについては、開発過程を研修対象とすることで若年者のITスキル向上を図る。また、町の情報発信と人材育成を兼ねて、若年者によるインターネット動画配信番組の制作に取り組む。	ポータルサイトの構築、観光アプリ開発のための調査・基礎設計の実施	ポータルサイトの構築、観光アプリ開発のための調査・基礎設計の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	歴史・文化を活かした観光振興事業	H24～H29	与那原大綱曳をPRするための大綱曳大看板設置や町内への多言語案内板の設置、山原船活用推進に向けた委託等を実施する。	大看板設置1ヶ所 観光ガイドブック発行2万部 山原船改修	－	繰
1	②	伝統行事を活かした観光振興事業	H24	伝統行事の与那原大綱曳をPRするため大看板及び多言語案内板等の設置、与那原大綱曳への補助	与那原大綱曳誘客数10,000人	与那原大綱曳誘客数15,000人	◎
1	③	地域活性化イベント支援事業	H24	商店街でのイベント（ちゃんぷる～市・軽便市）開催による誘客活動を活発にしていく。それに必要な経費助成とイベント用備品整備を行い商工・観光の活性化を図る	ちゃんぷる～市・軽便市を年6回開催、 誘客数6,000人	ちゃんぷる～市・軽便市を年4回開催、 誘客数3,350人	未
1	④	商工会青年部南北交流支援事業	H24	本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部との交流事業を通して沖縄と与那原をPRを図り、南北少年少女体験交流を支援し将来の沖縄観光リピーターを生み出す。	交流派遣者数　24人	交流派遣者数　26人	◎
1	⑤	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24～H29	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ちよく町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	散策コース美化清掃実施 沿岸線緑化工事実施（2.5km）	散策コース美化清掃実施 沿岸線緑化工事実施（2.5km）	◎
1	⑥	聞得大君「御新下り」と「与那原街道」復元・周辺整備事業	H24	歴史、文化を活かした観光資源の確立と、聞得大君をキーワードに御殿山を起点にした一体感を持った「史跡散策コース」を設定し、集客力の強化と、需要を見越したガイドボランティア団体の結成と育成の実施、周辺整備による安心安全な観光地を目指す。	史跡散策コースの復元・再現調査実施	－	繰
1	⑦	与那原の伝統・文化・言語（方言）を活かした紙芝居等作成事業	H24	方言標識を設置し、観光マップとリンクさせた町内散策ルートを整備する。 大綱曳きや与那原かるた、与那原ことばテキストを活用し伝統文化の紹介、継承者育成、イベントの開催を行う。	観光マップとのリンクした散策コースの設定 伝統・文化・方言を活かしたコンテンツ数：3種類	－	繰
1	⑧	歴史資料館（仮称）整備事業	H24	県内外問わず積極的に収集した綱曳(引き)に関するアーカイブ機能を確立させ、綱曳、民族、戦争遺品等の平和資料を展示した「歴史資料館(仮称)」の建設検討調査を行い。新たな観光ニーズに十分な対応のできる歴史資料の拠点建設を目指す。	建設可能性調査の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	東浜水路活用調査及び与那原町観光計画策定事業	H24	沖縄県及び与那原町の観光に関する資料のとりまとめと観光計画の策定及び東浜水路の活用調査に関するワークショップの開催	・与那原町観光計画の策定 ・観光メニュー創出　10プログラム	－	繰
2	①	交流施設駐車場整備事業	H24～H25	レンタカーを利用する環境客が本町を訪れ、自由に散策できるよう駐車場の整備を行い、観光客が史跡巡りや街中の散策がしやすい環境を整備し、本町の観光振興及び経済振興を図る。	・交流施設駐車場の整備着手 （駐車可能台数:54台）	－	繰
2	②	来訪者と町民の交流施設整備事業	H24～H27	本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備することで、将来のリピーターを生み出し持続可能な観光振興を図る。	・与那原町観光交流施設の基本・実施設計の実施	－	繰
3		軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	H24～H25	太平洋戦争で破壊された軽便鉄道の与那原駅跡の用地を購入し、軽便鉄道の説明版やモニュメントを設置し、与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。	・軽便鉄道与那原駅;跡公園の整備着手	－	繰
4	①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～H29	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、デジタル教科書の充実、ソフトを利用するデジタルテレビ、電子黒板等を整備する。また、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。	情報教育支援員の配置　1人 町内小中学校における教育用ソフトの導入率 小学校　100%　・　中学校　100%	－	繰
4	②	きめ細かな児童生徒支援事業	H24～H29	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、学習支援員を各学校に配置する。	学習支援員の配置　5人 スクールカウンセラーの配置　1人 ※当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善が見られた人数　：　2人	学習支援員の配置　6人 スクールカウンセラーの配置　1人 ※当該事業でサポートした児童生徒のうち、学校復帰など改善が見られた人数　：　2人	◎
4	③	国際理解人材育成事業	H24～H29	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	英語指導助手の配置　1人	英語指導助手の配置　1人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	④	沖縄文化推進事業	H24～H28	沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承し、地域イベントへの積極的な参加を支援する為に、三線や管楽器等の楽器整備を行う。	三味線・管楽器等の整備 小学校　三味線・ﾋﾟｱﾉ　・　中学校　管楽器等	三味線・管楽器等の整備 （三味線40挺、打楽器等8点、管楽器23点）	◎
5		ほっとハート子育て応援事業	H24～H33	0歳児童の待機児童対策を目的に、9人以上の0歳児童保育を実施する為に看護師配置をする認可保育所へその経費の一部を助成する。	0歳待機児童数 H23（10月）24人→H24（10月） 14人	0歳待機児童数 H23（10月）24人→H24（10月） 14人	◎
6		与那原三叉路情報発信大型ビジョン活用事業	H24	与那原三叉路に大型ビジョン屋外型デジタルサイネージを設置し、地域情報や地域イベント情報を届け、新たな賑わいを創出・演出して観光客誘客を図る。ビジョン活用により商店街活性化も同時に繋げる。	観光情報発信大型ビジョンの設置　1箇所	－	繰
7		与那原町観光発信・観光誘致事業	H24	本町の海岸沿いは、昔ながらのリーフが現存しており、風光明媚な景色を創出し観光スポットとして観光客が多く訪れている。そのため、町道に電光掲示板を設置し、広く地元客や観光客に観光案内・観光発信を行い、観光誘致と観光振興強化を図る。	・観光案内電光掲示板の設置：2箇所	－	繰
8		与那原町景観形成強化事業	H24～H27	本町は、沖縄らしい風景を象徴する赤瓦の県内唯一の生産地であることから、赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを形成し観光振興を図る為の景観計画を策定する。	景観計画の策定	－	繰
9	①	地場産業振興支援事業	H24	県内唯一の赤瓦生産地として赤瓦原料（クチャ）の埋蔵量調査を行い、需要と供給を予測して今後の地場産業振興と沖縄県全体の赤瓦街並み形成による観光振興を図る。	赤瓦原料（クチャ）埋蔵量調査箇所数　5ヶ所	－	繰
9	②	商工業振興支援事業	H24	商店街をきらめきのある光で魅力ある賑わいの場を演出し、商店街及び町の観光シメージアップを図り商工観光振興につなげていく。	商店街街路灯設置数　20基	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
10	①	人工的ひじき生息環境（ひじき畑）の整備事業	H24	ひじき藻場の保全、増殖技術の研究、人工的にひじき生息環境を整えて収穫増量につなげる取り組みを支援する。	ひじき収穫量 H23年度：56t → H24年度：60t	－	繰
10	②	水産加工品ブランド定着化事業	H24	特産品のひじき、水揚げの多いソデイカなどを活かした付加価値の高いブランド加工品開発により、漁獲・加工・販売の6次産業化の支援を行う。	ブランド加工商品数　5品	－	繰
11		与那原町海抜及び津波避難ビル表示整備事業	H24	東日本大震災の教訓を踏まえ、町民及び観光客の減災対策として、町内の電柱や津波避難施設へ海抜表示等を設置する。	海抜表示板の設置　65箇所 津波避難ビル表示板の設置　19箇所	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	青少年国際交流事業	H24～H28	国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図ることを目的として、町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。	交流事業派遣生徒数：10名	交流事業派遣生徒数：10名	◎
1	②	小学校英語指導助手配置事業	H24～H33	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	・小学校英語指導助手配置：4人	・小学校英語指導助手配置：4人	◎
1	③	学力調査等事業	H24～H33	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。	標準学力調査の実施 小学校4校中4校 中学校2校中2校	標準学力調査の実施 小学校4校中4校 中学校2校中2校	◎
1	④	学習支援員配置事業	H24～H33	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。	・学習支援員配置 小学校：5人、中学校：4人	・学習支援員配置 小学校：5人、中学校：4人	◎
1	⑤	特別支援教育補助員配置事業	H24～H33	児童生徒の総合的な学力向上を図るため、町内の幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育補助員を配置し、教師と連携して補習や個別指導を実施する。	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園：13人、小学校：24人、中学校：3人	・特別支援教育支援員配置数 幼稚園：14人、小学校：25人、中学校：4人	◎
1	⑥	学校ICT推進事業	H24～H28	町内の小中学校において電子黒板やデジタル教科書を整備し、教育の質向上による児童生徒の学力向上を図るため、ICT環境の充実を図る。	電子黒板導入率 ・小学校：H23年度：19%→H24年度：38% ・中学校：H23年度：16.5%→H24年度：33% デジタル教科書導入率 ・小学校：H23年度：40%→：80% ・中学校：H23年度：71.4%→H24年度：85.7%	電子黒板導入率 ・小学校：H23年度：19%→H24年度：38% ・中学校：H23年度：16.5%→H24年度：33% デジタル教科書導入率 ・小学校：H23年度：40%→：80% ・中学校：H23年度：71.4%→H24年度：85.7%	◎
1	⑦	児童健全育成事業	H24～H33	怠学や問題行動･暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	・自立支援教室指導員(中学校)：2人 ・生徒校外指導員(中学校)：3人 ・登校支援員(小中学校)：2人	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	教育相談支援事業	H24～H33	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。	・町教育相談員配置数：1人 ・心の教室相談員配置数：2人	・町教育相談員配置数：1人 ・心の教室相談員配置数：2人	◎
1	⑨	中学校外国人英語指導助手配置事業	H24～H33	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	・中学校英語指導助手配置数：1人	・中学校英語指導助手配置数：1人	◎
2	①	地域観光まちづくり推進事業	H24	県内外へ観光地としての知名度を上げていく方策として、平成24年1月から12月まで、県の緊急雇用創出事業基金を活用し観光協会設立に向けた推進室を町商工会内に設置しており、引き続き、交付金を活用し事業を実施する。	・観光協会の設立	・観光協会の設立	◎
2	②	南風原町観光景観美化整備事業	H24～H33	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施する。また、専用の車両も購入する。	・観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を実施	・観光ルート延長L=12,600mの町道メンテナンス（草木の伐採等による景観美化の管理）を実施	◎
2	③	観光による地域産業活性化事業（ｉ　かすりの道景観活性化事業）	H24～H33	地域の観光資源である「かすりの道」を活用した観光客誘客活動を行う。具体的には、滞在型観光客の受入体制の整備やイベントの開催、散策体験プログラムの策定等を実施する。	・かすり体験プログラムの制作：1本 ・かすりの道緑化活動：10回 ・壁面かすりの柄装飾：43ヶ所	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅱ　観光ビジュアル戦略プロジェクト事業）	H24	町の観光振興のため、インターネット、DVD、ポスター、パンフレット等、広報媒体を活用して旅行エージェントや一般旅行者へ誘客を図る。	・観光用DVD作成：1本 ・観光用ポスター作成：3種 ・観光用パンフレット作成：5,000部	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅲ　観光資源創出）	H24	町の新たな観光資源を開発するために、NPO等を支援し、滞在型観光プログラムを制作する。	・滞在型観光プログラムの制作：1本	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅳ　やさしい観光地づくり）	H24～H33	スマートフォンを活用した観光誘客を図るため、野外ホットスポットの設置や観光アプリケーションの制作等を行う。	・wifiアンテナ設置：2ヶ所 ・観光ポータルサイトの制作：1サイト ・観光プロモーション実施（3回）	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅴ　かぼっちゃマンスクール事業）	H24～H28	地域活性化に資する人材を育むため、ダンススクールやマナー講習会を開催する。	・ダンススクール受講者数（25人） ・マナー講習会受講者数（15人）	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅵ　復活かぼっちゃマンプロジェクト）	H24～H33	平成11年から10年間活躍してきたローカルヒーローかぼっちゃマンを参考に、町の伝説を取り入れた新たなキャラクターを作る。新たなキャラクターにより地域活性化を図る。	・かぼっちゃマンの活動映像資料のDVD化 ・活動記録集の発刊：500部 ・かぼっちゃマンのモニュメント製作 ・Newキャラクター衣装製作（5種類6体）	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅶ　イメージキャラクター制作事業）	H24	観光誘客を図るため、南風原町の新たなイメージキャラクターを制作しPR活動を展開する。	・南風原町イメージキャラクターの制作	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅷ　デザイン・くくり担い手育成）	H24～H33	町の伝統工芸品である「琉球絣」を発展継承するため、絣事業協同組合において後継者の指導育成を行う。	・デザインくくり担い手育成人数：5人	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅸ　担い手経営戦略事業）	H24～H33	町の伝統工芸品である「琉球絣」を発展継承するため、後継者を対象に経営や工芸の新技術等について講座を開設する。	・絣事業担い手経営学習者数：6人	－	繰
2	③	観光による地域産業活性化事業（ⅹ　伝統工芸と観光戦略）	H24～H33	琉球絣を町民だけではなく、広く知ってもらうため、滞在型観光につながる絣体験のコンテンツをプログラム化し、町でしか経験できない体験を作る。さらに絣事業の拠点でもある琉球絣会館を観光客のニーズに対応し、琉球絣の行程が見学できるよう改修工事を行い、町内外より観光客の増加を図る。	・かすり体験プログラム制作：1本 ・琉球絣会館改造計画調査設計委託実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	観光による地域産業活性化事業（ｘｉ　町独自の商品開発・技術力強化）	H24～H26	地域資源の活用や異業種連携による商品開発及び企業と連携により消費者ニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい、商品開発等を行い産業展開する。H24年度はターゲットを2点に絞り、H25年度は実際に商品を作り、販路を開発する。	・試作品製作：2品	－	繰
2	④	地域資源利便性向上事業	H24～H25	地区の高度利用及び景観形成図るため、建物の高さを制限し都市計画で想定した市街地の形成を妨げている低い位置にある高圧線の鉄塔を嵩上げする。	市街地形成の妨げになっている高圧線の鉄塔の嵩上げ	－	繰
2	⑤	南風原町情報発信事業	H24	町ホームページを観光による地域産業活性化事業ともタイアップし、町をピーアールする動画配信や音声案内を導入するなどリニューアルを行う。	観光情報発信サイトのリニューアル ・FLASHの導入 ・スマートフォン対応 ・サイト内検索機能構築 ・電子書籍公開機能構築 ・GoogleMap対応 ・音声案内	観光情報発信サイトのリニューアル ・FLASHの導入 ・スマートフォン対応 ・サイト内検索機能構築 ・電子書籍公開機能構築 ・GoogleMap対応 ・音声案内	◎
2	⑥	物産と食開発プロジェクト	H24～H26	本町の特産品のへちま、ストレリチア(極楽鳥花)、かぼちゃ、スターフルーツ、はえばる豚等を活かした「南風原町らしいグルメ」の開発のため、物産展・グルメコンテストを行う。	「南風原町らしいグルメ」の開発：4品	「南風原町らしいグルメ」の開発：8品	◎
2	⑦	食と観光全国へ発信！事業	H24	沖縄独特の食材や加工品、町内で生産され又はよく食されている食材や伝統行事食の栄養価を分析し、「地域版栄養成分表」を作成する。その資料を基に観光客向けと町民向けのパンフレット作成する。	・観光施設等における観光客向けパンフレットの配布：200,000枚 ・町民向けパンフレットの配布：12,000枚（全世帯：11,000枚、町商工会等：1,000枚）	・観光施設等における観光客向けパンフレットの配布：6,000枚 ・町民向けパンフレットの配布（全世帯12,000枚	未
2	⑧	観光・文化等サイン整備事業	H24	町内の歴史・文化・史跡・伝統工芸等の観光産業資源に係る関連施設の案内サインを整備する。	・案内板の設置箇所数：10箇所 ・誘導表示板の設置箇所数：60箇所	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑨	南風原町地域農業活性化事業	H24	本町では、ヘチマの栽培が盛んで、生産量は毎年県内の上位に位置している。しかし、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)病害虫、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっており、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行う。	強化型パイプハウス設置件数：5件	－	繰
2	⑩	農業生産体制強化事業	H24	農産物の未舗装道路の粉塵による生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止するため、既設の未舗装道路にアスファルト舗装を行う。	農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路（720m）→アスファルト舗装（720m）	農産物の荷崩れ防止対策の実施 ・未舗装道路（720m）→アスファルト舗装（720m）	◎
2	⑪	動く広告塔事業	H24	本町のイメージアップを図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成する。また、交通安全の推進を図るため、従来標識にはない「発光塗料」等も併せて採用する。	原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作枚数　3000枚	原動機付自転車オリジナルナンバープレート製作枚数　3000枚	◎
3	①	はえばるリサイクルループ事業	H24～H28	町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：45トン	生ごみ（家庭系）の年間資源化量：37トン	○
3	②	環境学習支援事業	H24～H28	児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	環境学習「買い物ゲーム」体験者数：400人	環境学習「買い物ゲーム」体験者数：407人	◎
3	③	草木リサイクル事業	H24～H28	「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。	・草木のリサイクル量：340t	・草木のリサイクル量：349t	◎
3	④	沖縄の気候を活かした環境に配慮したクリーンエネルギー事業	H24～27	地球温暖化の原因となる温室効果ｶﾞｽを削減する手段として消費電力を抑えるため、役場庁舎に断熱フィルムを設置する。また、汚水処理施設の電気料削減のため太陽光発電システム導入する。	・役場庁舎 断熱フィルム貼付面積　700.47㎡ ・汚水処理場 太陽光発電システムの導入	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	⑤	省エネ施設推進事業	H24～H26	地球温暖化の原因となる温室効果ｶﾞｽを削減する手段として消費電力を抑えるため、小中学校、公立保育所等に断熱フィルムを設置する。また、小中学校の教室の扇風機を取り替える。	断熱フィルム施工 ・総合保健福祉防災センター：244.99㎡ ・宮平保育所：145.05㎡ ・小学校：980.62㎡ ・中学校：549.43㎡ 扇風機設置 ・小学校：4台×28室、・中学校：5台×10室	断熱フィルム施工 ・1919.06㎡ 扇風機設置 ・162台	○
4	①	デジタルMCA携帯・無線電話装置等導入事業	H24	台風等の自然災害による被害が多発しているため、災害時の際に、災害現場と災害対策本部との正確な情報交換を行い、災害対策本部からの適切な指示と迅速な行動がとれるよう携帯用無線機等を購入する。	・携帯用無線機購入台数：4台 ・レスキューキットBOX：1セット	・携帯用無線機購入台数：4台 ・レスキューキットBOX：1セット	◎
4	②	防災体制強化事業	H24～H28	沖縄県は島しょ県であるため、大災害が発生すると孤立する可能性がある。町独自での自主防災として防災行政無線の整備やハザードマップの整備、食料備蓄などを実施し、様々な災害に瞬時に対応できる体制を整える。	・防災行政無線カバーエリア率：70% ・ハザードマップ（修正版）配布枚数：12,917世帯 ・南風原町地域防災計画の「食料等備蓄計画」の目標備蓄数16,200食（36,000人×1/20×3日分×3食）に対する充足率：23.5%	－	繰
4	③	不発弾避難支援システム整備事業	H24	町が保有する図面と住民情報、要援護者台帳等を連携した避難支援システムを導入し、不発弾発見時や自然災害時に、避難対象区域内の住民情報及び要援護者情報を正確に把握し、避難支援を効率的に実施する。	・住民情報・要援護者台帳の電子化率：100%	・住民情報・要援護者台帳の電子化率：100%	◎
4	④	小中学校体育館屋根長寿命化事業	H24	台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっている体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所としての施設強化を図る。	屋根の改修（施設強化） 小学校体育館：4校中1校 中学校体育館：2校中1校	屋根の改修（施設強化） 小学校体育館：4校中1校 中学校体育館：2校中1校	◎
4	⑤	災害時等避難施設改修事業	H24～H33	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	・施設整備補助　H23：0件→H24：1件	・施設整備補助　H23：0件→H24：1件	◎
4	⑥	災害時等避難施設防災体制強化事業	H24～H28	沖縄県は島しょ県であり、大災害が発生すると孤立する可能性があるため、災害時の避難施設である地域公民館や集会施設に災害に備えた食料等を備蓄する。	・備蓄品の購入（19自治会） ・防災倉庫の購入（19自治会）	・備蓄品の購入（19自治会） ・防災倉庫の購入（19自治会）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	①	町立幼稚園給食受室設置事業	H24	子育て支援策として、幼稚園教育の時間延長を行い給食提供を開始するため、幼稚園に給食受け室を増築するとともに給食配送車、牛乳保冷庫や食事用机など関連備品を購入する。	幼稚園給食受室：3幼稚園 牛乳保冷庫：4台 給食運搬ワゴン：４台等 給食配送車：１台 カートイン消毒保管機等	幼稚園給食受室：3幼稚園 牛乳保冷庫：4台 給食運搬ワゴン：４台等 給食配送車：１台 カートイン消毒保管機等	◎
5	②	放課後児童の居場所づくり支援事業	H24～H33	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、賃借料を負担して民間施設等で運営を行っている学童クラブに対して、負担軽減のため一月50,000円の上限で家賃補助を行う。	学童クラブ家賃補助実施学童：5件 （津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ）	学童クラブ家賃補助実施学童：5件 （津嘉山学童クラブ、学童クラブわんぱく家、ドルチェ学童クラブ、こがね森学童クラブ、第二こがね森学童クラブ）	◎
5	③	預かり保育事業	H24～H33	幼稚園の教育時間修了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を配置する。	幼稚園預かり保育教諭配置数（拡充分）：4人	幼稚園預かり保育教諭配置数（拡充分）：4人	◎
6	①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業（ⅰ）陸軍病院壕公開活用事業	H24～H33	町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、平和学習の拠点である沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行う。	・見学者数：H24年度9,700人	・見学者数：H24年度10,000人	◎
6	①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業（ⅱ）シマじまガイド事業	H24～H33	町内各地に残されてきた歴史的・文化的財産を資源として活用し、町内外の人たちに南風原町の良さを広くアピールするため、町内歴史文化等のガイドを実施する。	・シマじまガイド事業参加人数：1,000人	・シマじまガイド事業参加人数：3,349人	◎
6	①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業（ⅲ）町史編集事業	H24	失われつつある戦争の体験や記憶を整理してまとめ、公刊誌として発刊し、広く戦争の歴史を知らせるとともに若い世代に継承する。	・「南風原町史第9巻戦争編本編」発刊	・「南風原町史第9巻戦争編本編」発刊	◎
6	①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業（ⅳ）資料の公開活用事業	H24～H28	南風原文化センターに収蔵されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用の幅を広げつつ後世へと継承する。	・南風原文化センター収蔵資料データベース化率：5%	・南風原文化センター収蔵資料データベース化率：5%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業（ｖ）文化･歴史･伝統継承事業	H24	町独自の文化・伝統・芸能を保全し、それを町内外へ発信していくため、地域の伝統芸能継承団体の組織化および育成のため補助金を交付する。	・伝統芸能継承団体への補助：3団体	・伝統芸能継承団体への補助：3団体	◎
6	②	平和・文化交流で育む青少年育成事業（ｉ）子ども平和学習交流事業補助金	H24～H33	戦争の歴史を継承し、これからの平和な社会構築を図るため、小学生を対象に戦争、平和、人権、差別などについて県内外での学習・交流を行う。	・子ども平和学習交流事業参加児童数（16人）	・子ども平和学習交流事業参加児童数（16人）	◎
6	②	平和・文化交流で育む青少年育成事業（ⅱ）第4回町民劇場公演事業	H24～H33	青少年の地域文化や共同体への意識の高揚を促し、新しい仲間と共にあらゆる表現を通して地域の連帯を図るため、町民劇場を実施する。	・町民劇場集客数：900人 ・町民劇場への参加町民数：70人	・町民劇場集客数：950人 ・町民劇場への参加町民数：70人	◎
6	②	平和・文化交流で育む青少年育成事業（ⅲ）伝統芸能保存育成補助金	H24～H33	伝統芸能継承を推進するため、各字・自治会の伝統芸能の保存や継承への取組に対し助成を行う。	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H23年度：55回　→　H24年度：67回	・年中行事等での伝統芸能上演等回数 H23年度：55回　→　H24年度：67回	◎
6	③	戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	H24	沖縄戦において滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍(沖縄関係書類等)並びに戸籍受附帳の紙情報をデータ化する。	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	◎
6	④	南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業	H24～H33	文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化を学習させる。	・受け入れ国の数（1国：アルゼンチン） ・受け入れ研修生の数（2人）	・受け入れ国の数（1国：アルゼンチン） ・受け入れ研修生の数（2人）	◎
6	⑤	宮平獅子舞ハワイ公演事業	H24	青年達の伝統芸能に対する意識の向上と、文化交流の推進を目的に、戦争で失われハワイから送られた伝統芸能の一つである獅子舞と、現在まで継承された技をハワイへのお礼として公演を実施する。	・ハワイ公演参加者数（10人） ・宮平獅子舞公演回数（4回）	・ハワイ公演参加者数（10人） ・宮平獅子舞公演回数（4回）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南風原町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑥	伝統文化交流施設活性化事業	H24～H26	文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げることを目的に、地域交流センターの施設設備を強化するため、付帯設備（音響・照明・スクリーン・舞台バトン・プロジェクター等）の整備を行う。	・地域交流センターの舞台装置等整備（スクリーン、音響、照明等） 5件	・地域交流センターの舞台装置等整備（スクリーン、音響、照明等） 5件	◎
7		安心・安全な学校づくり事業	H24	沖縄は離島県で規模も小さいことから産業廃棄物等における特殊物の処理が出来ないため、役場庁舎（地下倉庫）で保管している「蛍光灯安定器」と小学校で使用されていた低濃度（微量）PCB廃棄物の「高圧トランス」を県外で処理する	低濃度微量PCB汚染物質保管量 蛍光灯安定器　H23：75個→H24：0個 高圧トランス　H23：2個→H24：0個	低濃度微量PCB汚染物質保管量 蛍光灯安定器　H23：75個→H24：0個 高圧トランス　H23：2個→H24：0個	◎
8		大災害時における電力供給及び避難拠点の整備事業	H24	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害時に備えて、環境施設組合の運営する施設を電力供給拠点及び一時避難場所として活用できるよう整備する。	消防訓練参加人数 職場100人	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	渡嘉敷村美化清掃事業	H24～H26	観光地としてのイメージアップを図るため、海浜、道路、公園など観光客等が利用する公共施設の美化、清掃等を実施する。	観光地及びその周辺の美化　8箇所	観光地及びその周辺の美化　8箇所	◎
1	②	花と緑の美ら島景観整備事業	H24～H33	観光客が魅力を感じ、また来たいと思うような村づくりを推進し、年間通して四季折々の花の咲く美しい景観の島にするため、幹線道路及び散策道等に「ケラマツツジ」や「ハイビスカス」、「サクラ」の植栽及び緑地帯等の周辺整備を行う。	観光地へのアクセス道路等の植栽及び緑地帯の整備　40箇所	観光地へのアクセス道路等の植栽及び緑地帯の整備　40箇所	◎
1	③	渡嘉敷港ターミナル機能強化事業	H24	渡嘉敷港ターミナル利用者の利便性向上を図るため、ターミナルと待合ロビー及び旧ターミナルの間の通路や、旅客出入り口に屋根を設置し、さらに洋式トイレへの取り替え等の機能強化を行う。	トイレ改修工事、空調機取替工事、屋根改修工事設計・施工	－	繰
1	④	渡嘉敷村ホスピタリティー向上及び多言語観光情報発信事業	H24	外国人観光客へ情報提供の充実やホスピタリティー向上を目指し、多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）にて、村内の観光スポットやお勧めの散策コースといった周辺情報が入手できるサービスを構築する。	iPhoneを活用した「観光名所、食事処、宿泊、遊び、島の特産品」を紹介するためのアプリの運用開始	iPhoneを活用した「観光名所、食事処、宿泊、遊び、島の特産品」を紹介するためのアプリの運用開始	◎
1	⑥	修学旅行等観光客誘致促進、渡嘉敷島PR促進事業	H24～H26	あらたな観光客の掘り起こしを図るため、県外からの修学旅行生の受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等での島のPR活動、観光パンフレットや広告媒体を通した観光情報の発信を行う。	・修学旅行及び離島体験交流促進事業10校の入れ対応 ・渡嘉敷港旅客待合所における観光情報案内業務の実施 ・村公式ホームページやﾌｪｲｽﾌﾞｯｸでのｲﾍﾞﾝﾄ情報発信の実施	・修学旅行及び離島体験交流促進事業10校の入れ対応 ・渡嘉敷港旅客待合所における観光情報案内業務の実施 ・村公式ホームページやﾌｪｲｽﾌﾞｯｸでのｲﾍﾞﾝﾄ情報発信の実施	◎
1	⑦	戦争遺跡遊歩道設置事業	H24～H25	観光客誘致や平和学習の根拠地として活用するため、村内の戦争遺跡に遊歩道を設置するための調査を実施する。	戦争遺跡遊歩道の概略測量設計の実施	戦争遺跡遊歩道の概略測量設計の実施	◎
1	⑧	「鬼慶良間伝説うふな一橋」展示及び村伝統歌「大谷辻歌碑」建立事業	H24	本村で古くから語り継がれている民話に登場する「うふな一橋（石橋）」や古謡「大谷辻」を新たに観光資源として活用するため、石橋を復元展示及び歌碑を制作する。	石橋の復元のための調査測量設計、展示工事、歌碑の建立工事の実施	石橋の復元のための調査測量設計、展示工事、歌碑の建立工事の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

渡嘉敷村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	村指定文化財「根元家の石垣」復元修復事業	H24	琉球王朝時代に建設したといわれている石垣は、観光スポットとなっているが、第二次大戦において、一部破壊され崩壊箇所があることから、更なる観光地としての魅力向上を図るため、石垣の修復を行う。	石垣の復元修復工事の実施	石垣の復元修復工事の実施	◎
2		渡嘉敷村災害に強い観光地づくり事業	H24	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するため、災害情報や避難伝達情報等の伝達体制を強化するための屋外子局の増設や、正確な情報を提供するため、村内全戸へ戸別受信機を設置する。	ｱﾅﾛｸﾞ防災無線のﾃﾞｼﾞﾀﾙ化　100% 屋外子局増設　100% 戸別受信機取付　100%	ｱﾅﾛｸﾞ防災無線のﾃﾞｼﾞﾀﾙ化　100% 屋外子局増設　100% 戸別受信機取付　100%	◎
3	①	渡嘉敷村農地保全事業	H24～H33	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的に農産物を生産させ、農業振興を図るため、箱罠等を設置してイノシシを捕獲駆除する。	イノシシ捕獲頭数：100頭 （渡嘉敷村鳥獣被害防止対策協議会の駆除頭数）	イノシシ捕獲頭数：103頭 （渡嘉敷村鳥獣被害防止対策協議会の駆除頭数）	◎
3	②	渡嘉敷村水産業振興事業	H24	漁業の安定操業や水産業の振興を図るため、製氷施設を整備する団体へ補助する。	製氷施設の整備	製氷施設の整備	◎
4	①	阿波連小学校学習支援員配置事業	H24	本村では児童の減少により、複式学級となった学校の子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。	学習支援員配置数 小学校：1校	学習支援員配置数 小学校：1校	◎
4	②	渡嘉敷村立小学校（3・4年）副読本製版事業	H24	3・4年生の社会科副読本は、村内の特定の地区に偏った内容となっていることから、村内全域を網羅した資料収集と現状にあった内容を編纂し、村内の小学校が等しく利用出来る副読本を作成する。	副読本製版の作成：300冊	副読本製版の作成：300冊	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	学校教育環境改善事業	H24	学校教育施設において、空調設備が整っていない給食室、視聴覚室及び児童生徒交流センター等の特別教室等において、施設内環境を改善するため冷房機の取付を行う。	冷房機取付：7施設×23台取付	冷房機取付：7施設×23台取付	◎
1	②	座間味村歴史文化継承事業	H24	歴史・文化の次世代への継承と周知を図るため、過去村内の長老や各家庭で聞取り聴衆した民話や童話を取りまとめた原稿資料をもとに一冊の本として発刊するため編集作業等を実施する。	保存・継承した民話：13件 県内主要図書館へ配布：45施設 県内市町村教育委員会等へ配布：40市町村	保存・継承した民話：13件 県内主要図書館へ配布：45施設 県内市町村教育委員会等へ配布：40市町村	◎
2	①	がんばる観光支援事業	H24～H33	観光客誘客に向け既存イベントである座間味村祭り・ホェールウォッチングフェスタ等の開催内容の拡充を図るため、主催団体及び村商工会へイベント拡充支援と観光大使の派遣による県内外PR活動を実施する。	ﾎｪｰﾙｳｵｯﾁﾝｸﾞﾌｪｽﾀ来場数： H23年度7,600人⇒H24年度8,000名 ヨットレース：25艇300名 東京しながわ水族館PR活動50日間開催	ﾎｪｰﾙｳｵｯﾁﾝｸﾞﾌｪｽﾀ来場数： H23年度7,600人⇒H24年度8,000名 ヨットレース：25艇300名 東京しながわ水族館PR活動50日間開催	◎
2	②	ファンを育てる観光地ポータルサイト作成事業	H24	増加する外国人への多言語対応や観光案内を図るため、自動翻訳等のホームページの充実を図り、船舶予約時のカード決済による利便性の向上、参加型の映像や画像等の投稿が可能となるコンテンツ開発やシステム構築を行う。	外国人観光客対応ホームページサイト充実 多言語翻訳システム構築：6ヶ国語対応 WEB及び窓口でのカード決済システム構築 観光関連情報の配信に係るコンテンツ作成：2個	外国人観光客対応ホームページサイト充実 多言語翻訳システム構築：6ヶ国語対応 WEB及び窓口でのカード決済システム構築 観光関連情報の配信に係るコンテンツ作成：2個	◎
2	③	歴史文化・健康づくり拠点整備事業	H24～H28	魅力ある観光陸域メニューの充実を図るため、既存港公園内へビーチバレーコートの整備を実施。 また、将来、更なる充実と利便性向上を図るため全体計画の構想策定を行う。	公園整備基本構想の策定実施 ビーチバレーコート（2面）整備	公園整備基本構想の策定実施 ビーチバレーコート（2面）整備	◎
2	④	観光受入推進（ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟ）事業	H24	多様化する観光客のニーズと需要に応じるため、陸域メニュープログラム開発と、外国人観光客の生活文化習慣の違いによる対応を可能とするため接遇や料理講演会・多言語講座・セミナー等を開催する。	多言語パンフ・ルールブック作成：3ヶ国語（スペイン・ロシア・中国繁体） 観光受入メニューのプログラム開発数：4個	多言語パンフ・ルールブック作成：3ヶ国語（スペイン・ロシア・中国繁体） 観光受入メニューのプログラム開発数：4個	◎
2	⑤	慶留間海域を活用するダイビング事業者のルール策定事業	H24	観光と自然保護の両立を図るため、エコツーリズム推進法にて承認された本村と隣村の渡嘉敷村からなる慶良間諸島海域利用にあたり、海洋利用から海域保全・罰則等を含めたルールとなる要綱を策定する。	－	－	ー

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	①	座間味村鮮魚美食事業	H24～H29	地元で採れる新鮮な水産物の食材を観光客や宿泊施設へ提供と流通を図るため、地元漁協協力のもと必要な各種冷凍機材・保冷庫及び移送用フォークリフト購入に係る事業費の補助を行う。	直売所開設：1ヶ所 移送フォーク：1台 大型輸送用冷凍コンテナ：5台	直売所開設：1ヶ所 移送フォーク：1台 大型輸送用冷凍コンテナ：5台	◎
3	②	サンゴ（海の森）育成・植付事業	H24～H33	白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。	サンゴ育成技術研修会の実施：3ヶ月間 海上イケス作製（海上現場）	サンゴ育成技術研修会の実施：3ヶ月間 海上イケス作製（海上現場）	◎
4	①	阿佐地区避難路整備事業	H24	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全を図るため、高台へ通じる避難路確保のための整備を行う。	阿佐地区避難場所への避難時間の短縮 現状：50分　整備後：30分	－	繰
4	②	離島防災備蓄品設置対策事業	H24	本村の高台避難場所は拠点となる建物がなく長期避難が不可能なため、仮設テント設備配置を図る。また、救助活動資機材の確保と食糧・飲用水保管のため防災コンテナ設置する。	防災倉庫の購入数：6基 50名分3日間の食糧確保。村全地区へ救助資機材設置 避難テントの購入数：6張　240名収容（1機40名×6基）	防災倉庫の購入数：6基 50名分3日間の食糧確保。村全地区へ救助資機材設置 避難テントの購入数：6張　240名収容（1機40名×6基）	◎
4	③	離島防災計画等策定事業	H24	1村3島からなる本村特有の地理的要因や観光地としての諸条件を考慮し、実情に見合った防災・減災への取り組みの指針となる離島防災計画書を策定する。	防災計画書の策定 多言語防災マップ作成：日本語・英語・韓国語・中国語（2種） 宿泊施設配布箇所数：64件 観光関連施設へ配布箇所数：58件	防災計画書の策定 多言語防災マップ作成：日本語・英語・韓国語・中国語（2種） 宿泊施設配布箇所数：64件 観光関連施設へ配布箇所数：58件	◎
5		座間味村環境保全整備事業	H24～H33	観光誘致と特定公園である本村の自然を生かした魅力ある観光地形成と集落内の景観促進のため、緑化等の基本計画書の策定と、観光ポイントへ苗木や花の植え付けを行い年間をとおして花と緑で観光客を迎え入れる。	座間味村美ら島花の森基本計画書の策定 花の森記念植樹祭の実施 苗木配布全世帯数：500世帯	座間味村美ら島花の森基本計画書の策定 花の森記念植樹祭の実施 苗木配布全世帯数：500世帯	◎
6		ハートフルサポート基盤整備事業	H24	離島である本村において、地理的要因によって必要な社会福祉サービスが享受できないことがないよう、社会福祉サービスの拠点を整備する事業者へ補助を行う。	社会福祉法人による施設開所（目標：H24年10月） 居宅介護定員H23年0人⇒25名 短期入所定員H23年0人⇒4名	社会福祉法人による施設開所（H24年10月） 居宅介護定員H23年0人⇒25名 短期入所定員H23年0人⇒4名	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

座間味村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
7	①	座間味村観光受入拠点事業	H24～H33	365日対応の観光案内業務とタイムリーな観光情報発信及びダイビングや民宿事業者への取次案内をスムーズに行い、外国人を含めた観光誘客に向け、企画立案と事業展開を実施するため事業主体となる観光協会設立へ向け支援を行う。	一般社団法人座間味村観光協会設立（H24年10月）	一般社団法人座間味村観光協会設立（H24年10月）	◎
7	②	座間味村海域安全隊事業	H24～H33	村指定の3ビーチにおいて、観光トップシーズンから修学旅行受入期間中、海洋事故防止及び安全確保並びに周辺自然環境の保全活動を図るため、ライフセーバー員を配置する。	村内3ビーチへのライフセーバ配置 H23年度：4・5月（週末のみ）～9月（常駐）まで配置 ⇒H24年度4・5月（常駐）～10月（常駐）まで配置	村内3ビーチへのライフセーバ配置 H23年度：4・5月（週末のみ）～9月（常駐）まで配置 ⇒H24年度4・5月（常駐）～10月（常駐）まで配置	◎
8		座間味村美ら島環境整備事業	H24	海岸保全と自然環境の保持を図るため、漂着ごみ及び観光利用地で発生するゴミ収集後、速やかに処理を行うため小型焼却炉を設置する。また、漂着ゴミの収集時、人力で対応できない重量物対応機材を整備する。	小型焼却炉の設置：2機 移送用フォークリフト1台購入 移送用ユニック車1台購入	小型焼却炉の設置：2機 移送用フォークリフト1台購入 移送用ユニック車1台購入	◎
9		座間味村外来植物伐倒事業	H24～H33	自然環境保全と観光地である本村の景観保持のため、村内至る所で野生化した外来種「モクマオウ木、ギンネム木」繁殖の抑制を図るため伐倒事業を実施する。	外来植物の討伐（村内一円） 討伐本数500本（モクマオウ・ギンネム）	外来植物の討伐（村内一円） 討伐本数550本（モクマオウ・ギンネム）	◎
10		座間味村高速船購入事業	H24	村では観光客及び離島住民の海上移動の足として、沖縄本島と本村を結ぶ高速船クィーンざまみを運行しており、現在リース船である高速船を一括購入し、安定した運行を確保することにより、定住条件整備と観光振興を図る。	高速船購入1隻（クィーンざまみⅢ）	高速船購入1隻（クィーンざまみⅢ）	◎
11		座間味村村内運航に係る対策事業	H24～H33	離島と離島を結ぶ海上交通手段として、小型船舶の資格を有する賃金職員2名を採用し、座間味島と阿嘉島間を定時運航、渡嘉敷村と座間味村の諸島間新規運航を実施し、離島交通の足の確保と観光振興を図る。	定期船運航 座間味～阿　嘉：1日4便(目標運航800回) 座間味～渡嘉敷：1日2便（目標運航60回）	定期船運航 座間味～阿　嘉：1日4便(目標運航841回) 座間味～渡嘉敷：1日2便（目標運航32回）	◎
12		座間味村島ちゃび解消移動手段安定化対策事業	H24～H33	離島観光利便性の向上と離島住民の足を確保し、観光振興と定住条件を図るため、フェリー及び高速船が悪天候などにより欠航等の場合、ヘリチャーターによる移動した際の運賃の一部支援を行う。	慶良間空港～那覇空港間フライト数：125回	慶良間空港～那覇空港間フライト数：122回	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

粟国村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	文化資源活用観光推進事業	H24～H25	粟国村発祥の雑踊り「むんじゅる節」を観光資源として広めていくためにむんじゅる節の映像化や関連商品開発を実施する。	地域資源を活用した観光商品開発：4件	地域資源を活用した観光商品開発：4件	◎
1	②	粟国島パークゴルフ場機能拡充事業	H24	粟国村の新たな観光資源として平成24年5月に開業した粟国島パークゴルフ場の機能を充実させるために貯水タンク及び散水栓等を整備し、機能向上を図る。	シャワー室兼更衣室1棟及び散水栓4カ所の整備	－	繰
1	③	マハナ崎整備事業	H24～H25	観光客や住民の憩いの場である島1番の景勝地マハナ崎の快適性及び安全性の向上を目的に東屋及び安全柵を整備する。	東屋1棟及び安全防止柵約350mの整備	－	繰
1	④	環境美化促進事業	H24～H28	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。	観光地及びアクセス道路の美化：15箇所	観光地及びアクセス道路の美化：18箇所	◎
2		ものづくり振興支援事業	H25	地産地消の推進及び雇用創出に向け、周年栽培が可能である葉野菜を中心とした植物工場の整備に向け、ビジネスモデル作成や先進地視察調査等を実施する。	植物工場整備に向けた可能性調査の実施	植物工場整備に向けた可能性調査の実施	◎
3	①	多目的施設整備事業	H24～H25	災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難施設、地域住民と観光客が交流できる複合施設を整備する。	避難及び交流等のための多目的施設の整備	－	繰
3	②	防災マップ作成事業	H24	東日本大震災の影響を受け、本村でも防災・減災の意識向上が求められている。そこで、村民・行政・大学等との協働により、ワークショップ等を通じ、防災マップ（ハザードマップ）を作成する。	防災マップ全世帯作成（450世帯分）	防災マップ全世帯作成（450世帯分）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

渡名喜村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	景観むらづくり推進事業	H24	景観行政団体として良好な景観むらづくりを推進するため、景観条例の制定及び景観ガイドラインの作成を実施し、地域をあげて渡名喜らしい景観の保全・継承を目指す。	・景観条例の制定 ・景観ガイドラインの作成	・景観条例の制定 ・景観ガイドラインの作成	◎
1	②	環境保全・美化推進事業	H24～H33	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物（ギンネム等）の駆除及び在来植物の保全育成を図る。また、観光客も含めたごみ処理に対応するため、新たに小型焼却炉設備の設置を行う。	・緑化及び美化活動実施箇所：28箇所 ・外来植物駆除実施箇所：8箇所 ・在来植物保全育成実施箇所：14箇所 ・小型焼却炉設備設置件数：1件	－	繰
1	③	景観配慮型街路灯（フットライト等）設置事業	H24	観光客を含む歩行者等の安全を確保しつつ、集落内からも美しい星空が見えるよう、集落内の主要交差点及び集落外周道路において、景観に配慮した街路灯（フットライト等）の設置を行う。	・景観配慮型街路灯の設置：3.17Km、240基	－	繰
2		渡名喜村防災支援センター機能強化事業	H24	津波や地震等の自然災害から住民及び観光客を守るため、既存の防災支援センターにて施設の補強や避難居室、物資保管庫の整備等の機能強化工事を実施し災害に強い観光地づくりを行う。	・高台避難場所の確保：1箇所	－	繰
3		多様な住み手・担い手の住宅確保事業	H24	農漁業をはじめ多様な産業・業務の担い手のための住宅を確保し地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。	・多用途住宅の整備：6棟9戸	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	健康診査用機材搬送事業	H24～H28	特定健診等の集団検診に使用する健診機材、胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ車の海上輸送運賃等の負担軽減を図る。	集団検診受診者：300人　受診率 30.%	集団検診受診者：345人　受診率 39.2.%	◎
1	②	医師訪問診療事業	H24	終末医療等で在宅療養されている家庭への訪問や移動困難な患者宅への訪問医療の安定的な実施を図り、医師が島内移動するための車両を整備する。	終末在宅医療者等への訪問車両1台	終末在宅医療者等への訪問車両1台	◎
1	③	自立促進雇用対策事業	H24	ビニールハウスを設置し、地元食材の確保による地産地消の推進や、花等の育苗による村内美化緑化の推進を図る。また移動式朝市を設置し村内活性化による自立促進の取組を行う。	ビニールハウスの設置：2棟 機械格納庫：1棟 朝市の開催準備	ビニールハウスの設置：2棟 機械格納庫：1棟 朝市の開催準備（コンテナ1庫）	◎
1	④	快適定住推進事業	H24	島内は池沼が多く存在していることや、製糖工場から発生する副産物（バカス・ケーキ等）がはえ等の格好の産卵場所となり害虫の異常発生が起こっている。そこで高性能煙霧器を導入し、害虫駆除による伝染病予防と快適な生活環境の造成を図る。	高性能煙霧機の導入：5台	高性能煙霧機の導入：5台	◎
1	⑤	地産・地消推進事業	H24	地産地消を推進するために、地域の食糧自給率及び地域生産物、島外入荷物等を調査し生産者の拡充を図る。また、低価格な食料の需給を図るため地産・地消推進計画及び行動計画を策定する。	特産品加工器具の設置 地産地消推進計画・行動計画の策定	特産品加工器具の設置 地産地消推進計画・行動計画の策定	◎
2	①	フェノロジーカレンダー作成事業	H24	観光客誘致等を図るため、島の歴史、景観、動植物、食文化等の魅力発信として、南大東島における食の宝フェノロジーカレンダーを作成する。	食の宝ﾌｪﾉﾛｯｼﾞｰｶﾚﾝﾀﾞｰ作成：1,000冊	食の宝ﾌｪﾉﾛｯｼﾞｰｶﾚﾝﾀﾞｰ作成：1,000冊	◎
2	②	南大東島魅力発信事業	H24	観光産業を今後の新たな産業の柱と位置づけ「島丸ごとミュージアム構想」を推進し、年間観光客数1万人を目指して、島の魅力をPRする観光コンテンツ映像を作成しホームページ等で島の魅力をアピールする。	観光ｺﾝﾃﾝﾂ映像の撮影、編集、製作	観光ｺﾝﾃﾝﾂ映像の撮影、編集、製作 （ホームページ掲載）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	③	月見ちゅら島公園機能強化事業	H24	本村の観光振興を図る為には、更なる体験型観光の環境整備が必要である。そこで、カヌー体験地点の月見橋周辺を中心に美化緑化の推進や、月見ちゅら島公園内に遊具・健康器具を設置し観光客等が憩いの場としての整備を図る。	月見ちゅら島公園内への遊具・健康器具の設置	－	繰
2	④	大池地区水辺環境保全整備事業	H24～H28	本村には多くのカルスト湖が点在し、その中でも大池と呼ばれる池が最大規模となっている。現在の大池は水草が繁茂し景観を損なうとともに、生態系への影響や環境保全の点からも課題となっている。そこで水草除去、水路汚泥浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	大池地区水辺環境の保全・再生 ①水草の除去 ②水路汚泥浚渫	－	繰
3	①	地域防災計画策定事業	H24	東日本大震災後において、村域における防災対策全般について、地域の特性をふまえて、地域防災計画を見直し、村民や観光客の安全安心等を確保する。	南大東村地域防災計画の策定	南大東村地域防災計画の策定	◎
3	②	防災サイン等整備事業	H24	本村の地域特性をふまえて、地域防災対策を行う必要があることから、遠隔離島の不利性などを考慮し備蓄食糧と防災保管倉庫の確保を実施する。また避難場所のトイレ、防災道具保管庫等の整備を行うことにより観光客への利便性と安心安全の確保を目的とする。	防災サインの設置 ・海抜表示板設置60箇所 ・避難場所表示板設置1箇所 備蓄食料の備蓄：3200食 備蓄倉庫の建設：2箇所 ﾄｲﾚ、駐車場、進入道路の整備	－	繰
3	③	安心安全強化対策事業	H24	災害時の避難所に指定する南大東村高齢者福祉センターを災害時の指定避難所として位置づけ、避難時の食糧備蓄庫と非常食を整備し、施設の災害対応への機能強化を図る。	非常用物資の備蓄：270食 非常用発電機1機 簡易ﾄｲﾚ整備：1箇 備蓄倉庫の建設1箇所	非常用物資の備蓄：270食 非常用発電機1機 簡易ﾄｲﾚ整備：1箇 備蓄倉庫の建設1箇所	◎
4		やすらぎの空間環境整備事業	H24	本村においては将来的にも広域化、法人等の霊園墓地整備は困難な状況下にあり、公営霊園墓地の整備を行う実施調査設計を委託する。	墓地整備に係る測量調査、実施設計の実施	墓地整備に係る測量調査、実施設計の実施	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

南大東村

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	仮戸籍電算化事業	H24～H25	国が進める高度情報通信ネットワーク社会に対応して行く必要があり、紙ベースで管理している戸籍、除籍、附票、改正原戸籍等は用紙の劣化等により公文書の滅失する現状にあり、その対応として沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	沖縄関係戸籍の電子化の着手	－	繰
6	南大東村人材育成事業	H24	対外交流が乏しい村の柔道塾生（柔武館、小中学生15名）に対し身体と精神の鍛錬教育と交流を目的に、県内の柔道名門高校の合宿を誘致して鍛錬と交流を図ることによって人材育成を図る。	－	－	ー
7	廃棄物ストックヤード整備事業	H24	産業廃棄物の沖縄本島への搬出一時保管施設を整備し、搬入、搬出を管理し、産業廃棄物の適正な処理による景観等の保全を目指します。	廃棄物ｽﾄｯｸﾔｰﾄﾞ整備工事着手	－	繰
8	ボロジノ島歴史文化保存事業	H24	歴史を語る貴重な写真や文化資料及び現在の祭事・行事をデジタル保存、製本にして後世に伝えると共に教材や観光関係にも活用する。	文化資源をﾃﾞｼﾞﾀﾙ保存・製本化の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

北大東村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	道路中央線・歩行者通路整備等事業	H24～H33	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	アクセス道路及び周回道路の美化の実施 10箇所	アクセス道路及び周回道路の美化の実施 10箇所	◎
1	②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	H24～H33	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成すると共に、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	・文化資源の担い手育成数：1人 ・文化交流イベント参加者数：20人	・文化資源の担い手育成数：1人 ・文化交流イベント参加者数：20人	◎
2	①	食の安心基盤構築事業	H24	北大東村の定住化を支える農業振興と台風等の災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設を整備し、村による地域の種苗供給等の農業基盤を構築する。	・種苗等生産施設の整備	－	繰
3	①	定住受入基盤構築事業	H24	北大東村に若者を呼び戻し、島外や県外からの移住を促進する為、集合住宅（4世帯）を建設し、定住者の受入基盤を整備する。尚、島外住宅の入居者選定に当たっては、観光や農業等、島の産業高度化に寄与する人材を優先する。	・多用途集合住宅（4世帯）の整備	－	繰
4	①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	H24～H33	待機児童を解消する為、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。又、特別支援教育を充実させる為、学習支援員を配置する。	・預かり保育を利用する園児数：10人 ・学習支援員の配置：1人	・預かり保育を利用する園児数：10人 ・学習支援員の配置：1人	◎
4	②	離島の児童の交流促進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進する為、スポーツや交流学習における渡航費の一部を負担する。	・スポーツや交流学習等の為に派遣した児童生徒数（延べ数）：20人	・スポーツや交流学習等の為に派遣した児童生徒数（延べ数）：20人	◎
4	③	離島特別医療質確保推進事業	H24～H33	離島の不利益を克服し、妊婦等の健康を守る為、妊婦検診等、島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。	・妊婦検診助成回数 H23年度：3回/1人　→　H24年度：5回/1人	・妊婦検診助成回数 H23年度：3回/1人　→　H24年度：5回/1人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	商工観光産業支援事業	H24～H28	観光客の受入れ体制整備の強化、誘客の促進を図ることを目的とし、商工観光事業者向けセミナーの開催、相談会の実施、異業種間の連携促進、旅行社による旅行プランの企画・プランニングの補助等を実施する。	H24年度セミナー参加者：25人	H24年度セミナー参加者：70人	◎
1	②	観光地イメージアップ推進事業	H24～H33	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	観光アクセス道路の美化清掃：29.5km	観光アクセス道路の美化清掃：29.5km	◎
1	③	海岸漂着物処理対策事業	H24	観光地としてのイメージアップを図り、伊平屋島の定住を支える重要な産業である観光を振興を推進するため、海岸漂着物の処理を行う小型焼却炉を導入する。	小型焼却炉整備：1基	小型焼却炉整備：1基	◎
1	④	海浜公園植栽等整備事業	H24～H28	沖縄らしい原風景の創出と安心、安全で利便性、快適性の高い観光地づくりを目指し、台風や塩害に強く、緑陰機能に優れた在来樹種への植栽転換を実施する。また、ハブ対策として防蛇網の整備を行う。	緑陰植物植栽植栽工事 植栽計画策定業務 ハブ侵入防止工事	－	繰
1	⑤	誘客イベント推進事業	H24～H28	本村の観光振興及び、年間を通じた安定的な集客を図ることを目的とし、各種観光イベントを強化して実施する。また、いへやまつり及び伊平屋マラソンを実施する団体への支援を行う。	主要観光イベント来場者数 いへやまつり：1,000人 ﾑｰﾝﾗｲﾄﾏﾗｿﾝ：1,400人 合計：2,400人	主要観光イベント来場者数 合計：3,631人	◎
1	⑥	観光情報発信強化事業	H24	観光情報発信の強化により本村の観光振興を図ることを目的とし、観光ポスター、観光パンフレットの多言語化や、観光施設でのHPの開設を行い、観光情報発信の強化により、本村の観光振興を図る。	多言語観光パンフレット：1,000部 キャンプ施設HP開設	多言語観光パンフレット：1,000部 キャンプ施設HP開設	◎
1	⑦	多言語観光DVD制作事業	H24	多言語版DVDを制作し、デジタルコンテンツによる、海外の旅行者に本村の魅力を視覚的に訴え、インバウンド観光での観光客増加を目指し、海外に向けて、開かれた観光を目指す。	多言語DVD製作：4言語/100枚	多言語DVD製作：4言語/100枚	◎
1	⑧	シャトルバス運行支援事業	H24～H28	空港から運天港までのシャトルバスを運行（需要の高い7～8月は毎日運行、それ以外は週末のみ）し観光客の伊平屋島へのアクセスを向上させることによって、本村の観光振興を図る。	シャトルバス運行（那覇空港～運天港区間） 1日4便（2往復）6月～10月	シャトルバス運行（那覇空港～運天港区間） 1日4便（2往復）6月～10月	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑨	水道水安定供給対策事業	H24	台風時やイベント時の許容範囲を超えた水需要に対応するため、水道施設の機能強化を行い、観光地としての受入れ体制を強化し、観光客の快適性、利便性等の向上を図る。	・水道水安定供給対策 浄水機器機能強化工事 送水ポンプ機能強化工事	・水道水安定供給対策 浄水機器機能強化工事 送水ポンプ機能強化工事	◎
2	①	堆肥利用促進事業	H24	堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。	堆肥製造撹拌機器機能強化：1基	－	ー
2	②	肥培管理及び塩害対策事業	H24～H25	台風等の影響による塩害を最小限に抑えさとうきびの安定収量の確保と農家所得の向上を目指し農業用水用のマリンタンクを設置する。	マリンタンク（2t）設置：8箇所	－	ー
2	③	病害虫防除事業	H24～H26	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病害虫の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	防虫剤（フェロモン剤）散布：149ha	防虫剤（フェロモン剤）散布：149ha	◎
2	④	黒糖関連商品の開発・販売支援事業	H24～H25	島の特産品である黒糖商品の需要奮起や販売拡大を目指し新たな特産品の開発と販売支援を行いブランドイメージの向上を目指す。	島外（県内）イベント実施数：5回	島外（県内）イベント実施数：1回	未
2	⑤	干ばつ対策事業	H24～H26	夏場や作付け時期となる終期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。	マリンタンク（21t）設置：10箇所	－	繰
2	⑥	林産副産物生産支援事業	H24～H26	新たな産業として林産副産物（木炭・シイタケ等）の生産支援を行い雇用の創出と新規特産物の開発を目指す。	林産副産物（木炭）生産量 基準値（H23年度）：0.6t 目標値（H24年度）：1.0t	－	ー
2	⑦	モズク用資材保管倉庫整備事業	H24	台風時におけるモズク用資材の保管倉庫を整備し、漁家経営の安定化と担い手支援を行う。	モズク収穫量 H24年度：950t→H25年度：1,300t	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑧	漁船避難施設整備事業	H24	台風や荒天時の漁船等の陸揚げ施設として巻き揚げ機を整備し、漁家経営のリスク軽減化や観光遊漁船の安全性を確保し漁業、マリンレジャー等の産業支援を行う。	船舶陸揚げ機器の整備：１基	－	繰
2	⑨	特産品等販路拡大推進事業	H24～H25	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出店を支援する。	島外（県外）イベント出店支援：3回	島外（県外）イベント出店支援：3回	◎
3	①	島発ち教育推進事業	H24～H28	島に高校がないことから中学卒業後に島発ちすることを前提とした人材育成の一環として、家庭、学校、地域が協働で児童生徒を育成する環境やプログラムを構築するため、コーディネーター、アドバイザーとして専門員を1名配置する。	教育指導主事配置数：1名	－	ー
3	②	伝統文化継承支援事業	H24～H28	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	伝統文化の日の制定 伝統文化教室の開催：11教室/11回（100名）	伝統文化の日の制定 伝統文化教室の開催：11教室/11回（100名）	◎
3	③	学校環境整備事業	H24～H25	学校環境の充実と児童・生徒の安全性を確保するため、夏場の直射日光の影響による水道水の残留塩素の希釈を改善する必要があり、高架タンクへの追塩装置を整備する。	水質管理機器の設置：2基	水質管理機器の設置：3基	◎
4	①	幼稚園預かり保育支援事業	H24～H28	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	預かり保育利用児童数：5名	預かり保育利用児童数：5名	◎
4	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	妊婦平均受診回数 H23年度：4回/人　→　H24年度：6回/人	妊婦平均受診回数 H23年度：4回/人　→　H24年度：2.4回/人	○
4	③	障がい者自立支援事業	H24～H28	障がい者自立支援としてNPO法人等の育成のための地域生活支援について委託を行う。	障がい者活動参加人数：8人	－	ー

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊平屋村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	④	介護ヘルパー養成講座事業	H24	介護体制強化として介護保険ヘルパー資格取得のための養成講座を行う。	介護保険ヘルパー資格（2級）養成講座開催 H24年度受講者数：10名	介護保険ヘルパー資格（2級）養成講座開催 H24年度受講者数：10名	◎
4	⑤	高齢者福祉施設整備事業	H24～H25	島内に一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の機能強化を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築に係る設計業務を行う。	高齢者福祉施設の機能強化工事着手	－	繰
4	⑥	地域自立支援推進事業	H24～H26	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を行う。	ワークショップ開催：5回 先進地調査：2回 行動計画の策定	ワークショップ開催：5回 先進地調査：2回 行動計画の策定	◎
4	⑦	コミュニティビジネス支援事業	H24～H25	コミュニティビジネスの拠点施設としてさとうきび関連商品や野草、薬草等の加工、販売施設を整備する。	加工施設整備工事	－	繰
4	⑧	自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	自動車航送運賃の低減 現状運賃：18,750円→低減後運賃：6,843円	自動車航送運賃の低減 現状運賃：18,750円→低減後運賃：6,843円	◎
5		伊平屋島災害に強い村づくり推進事業	H24～H25	地域住民はもとより訪れる観光客等に安心・安全な地域環境を提供するため「災害に強い村づくり」の構築に向けた、防災マップ、避難マニュアル、非常食、備蓄倉庫等の整備を行う。	防災マップ・避難マニュアルの策定：1,000部 非常食の常備：全世帯1食分	防災マップ・避難マニュアルの策定：3,000部 非常食の常備：全世帯3食分	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	観光誘客生活基盤整備事業	H24	観光客が増加傾向にある中、自然災害などにおける観光客の安全面を確保する上で情報通信システムが必要である。本事業では、災害時等に観光客や村民への的確な情報の提供をするため防災行政無線設備を整備し、安全確保に努めるため安全安心な基盤整備を推進する。	防災行政無線の世帯カバー率　100%	防災行政無線の世帯カバー率　97%	○
1	②	伊是名村観光客受入体制づくり強化事業	H24	伊是名ビーチは、毎年10月に開催される「いぜな88トライアスロン大会」のスイム競技の会場であり、また、5月の大型連休や夏休みには多くの観光客がキャンプを楽しんでいる。そのほか、「いぜな島体験修学旅行」として県外から訪れる修学旅行生の海水浴場として利用されているが、シャワー・トイレ室が一箇所しかなく、支障をきたしている状況である。ビーチ利用者の利便性の向上を図るためシャワー・トイレ室等を一体的に整備し、観光施設として体制づくりを推進する。	・海水浴場のシャワー・トイレ室等の整備	－	繰
1	③	観光地等クリーンアップ事業	H24～H33	本村には、数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽など美化・緑化活動を強化し、島全体を一つの観光地として整備する。	美化緑化箇所：15箇所 【まつり会場(1箇所)、、フットパスコース(1箇所)、集落内外(5箇所)、フラワーロード(4箇所)、他観光施設等(4箇所)】	－	繰
1	④	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～H25	魅力ある自然や文化・景観等の保全・活用による人と自然が共生する村づくりを推進するため、地域と一体となった魅力的な観光地づくり、地域における景観形成の取り組みを推進するため景観計画を策定する。	伊是名村景観計画（素案）の策定 伊是名村が景観法に基づく景観行政団体に移行	伊是名村景観計画（素案）の策定 伊是名村が景観法に基づく景観行政団体に移行	◎
1	⑤	いぜな尚円王まつり支援事業	H24～H33	いぜな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し観光客の誘致を図る。	いぜな尚円王まつりの来場者数：約1,000名	いぜな尚円王まつりの来場者数：約1,800名	◎
1	⑥	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	H24～H28	「本村は、琉球第二尚氏王朝の始祖、尚円王の生誕地として広く知られ、王家ゆかりの史跡、琉球王朝以前のグスク（城）「伊是名城跡」及び王家の清明祭など数多くの文化遺産等が残っている歴史的島であることから、これらの先人達が残してくれた歴史的遺産の復元及び周辺整備、文化行事の継承など、歴史・文化を活用し、本村から琉球の歴史を県内外へ情報発信し、更なる誘客による観光振興につなげる。	・公事清明祭への来訪者数:約100人（H24）	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑦	赤土等流出防止対策事業	H24～H25	末端沈砂地で堆積している土砂を浚渫することで沈砂地の機能回復を図り、また周辺雑木を撤去し、土壌浸食防止のため天端を張りコンクリートすることで機能強化を図り、海域への赤土等流出を抑制する。	・沈砂地に堆積する土砂の浚渫（2箇所、9,750㎥） ・沈砂地周辺の雑木等伐開	・沈砂地に堆積する土砂の浚渫（2箇所、9,750㎥） ・沈砂地周辺の雑木等伐開	◎
2	①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～H33	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送コスト負担軽減を図る。	・自動車航送コストの負担軽減：約3,500台	・自動車航送コストの負担軽減：約4,894台	◎
2	②	妊婦健診渡航費助成事業	H24～H33	村内には、専門の産科医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて、1泊2日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心で安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・宿泊費を助成する。また、出産待機のため滞在した場合は1日3,000円の助成をする。	妊婦健康診査のために島外に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成	妊婦健康診査のために島外に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成	◎
2	③	人工透析医療受給者助成事業	H24～H33	本村は、専門医療施設がないことから、人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。	人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成	人工透析医療に係る交通費及び宿泊費の助成	◎
3	①	伊是名村人材育成推進事業	H24～H33	幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネーターを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に寄与する。	教育コーディネーターの配置：1人	教育コーディネーターの配置：1人	◎
3	②	人材育成事業（日高小との交流事業）	H24～H33	生まれ育った島の良さを再発見させ島への思いを醸成するため、日頃体験することのない厳しい環境のもとでの日高小学校との交流やスキー体験などを実施する。	日高小学校との交流会参加人数：29人	日高小学校との交流会参加人数：29人	◎
3	③	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24	児童生徒の島外での諸教育活動への参加のための交通費、宿泊費の支援を行う。	島外教育活動への派遣児童生徒数：233人	島外教育活動への派遣児童生徒数：278人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

伊是名村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	④	小学校社会科副読本編纂事業	H24～H33	次代を担う児童が島の自然や産業について深く学習するための社会科副読本を編纂し、それを活用し学習することで島への思いが醸成され人材育成が図られる。	社会科副読本の作成：250冊	社会科副読本の作成：200冊	○
3	⑤	学習支援員配置事業	H24～H33	学校の教育活動支援及び学習に遅れのある児童生徒の学習支援を行う。	学習支援員の配置数：1人	学習支援員の配置数：1人	◎
3	⑥	幼稚園預かり支援事業	H24～H33	幼稚園教育の基本を踏まえ、地域の実情により幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を雇用する。教育課程に係る教育時間終了後において、保護者が安心して仕事ができる環境整備が必要である。	預かり保育を利用する幼児数：H24年度：15人	預かり保育を利用する幼児数：H24年度：13人	○
4		伊是名村土づくり支援事業	H24～H33	肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	農家補助用堆肥の確保：1,000t	農家補助用堆肥の確保：1,000t	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	H24～H26	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行う。	1　施設整備及び運営計画の策定	－	繰
1	②	瞬間凍結冷凍庫及び真空包装機整備事業	H24	本町水産業の主要品目である養殖車エビの出荷体制の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、市場での需要が伸びている「活締め（超鮮度凍結）」での出荷を行える施設の整備を実施する団体へ支援する。	1　瞬間凍結冷凍庫の整備　1台 2　真空包装器の整備　1台	1　瞬間凍結冷凍庫の整備　1台 2　真空包装器の整備　1台	◎
1	③	モズク加工場機能強化事業	H24	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、既存加工施設加工ラインの強化に必要な圧送真空ポンプや梱包機等の整備を行う団体へ支援する。	1　ホークリフト車の整備　2台 2　自動梱包器の整備　3台 3　モーターコンプレッサー及びレシーバータンクの整備　一式 4　圧送真空ポンプの整備　4台	－	繰
1	④	高温高湿冷凍庫冷凍機整備事業	H24	水産業の出荷体制の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、水揚げされたマグロ等の輸送時の鮮度を保つために必要な冷凍施設の整備を行う団体へ支援する。	1　高温高湿冷凍庫冷凍機の整備　2台	1　高温高湿冷凍庫冷凍機の整備　2台	◎
2	①	久米島紬販売促進事業	H24～H33	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。	1　島外での展示会の開催回数　4回	1　島外での展示会の開催回数　5回	◎
2	②	若手後継者育成事業及び販路開拓事業	H24～H33	特産品の販路開拓及び将来の若手事業者の育成を図るため、本町にある高等学校と商工業者が連携した商品開発を行い、さらにパッケージデザインの開発を行うとともに本土地域との物産販売交流の開催や各種商談会・物産展への参加等、開発から販路開拓に関する経費の一部を助成する。	1　特産品試作品開発数　3点 2　パッケージデザイン開発数　3点 3　物産展開催数　3回	1　特産品試作品開発数　3点 2　パッケージデザイン開発数　3点 3　物産展開催数　3回	◎
2	③	海洋深層水全国展開事業	H24～H26	海洋深層水関連商品の新商品の開発や販路拡大を図るため、首都圏において展示会等を開催し、深層水の有用性などについて効果的なPRイベントを実施する。	1　首都圏でのサンプリング調査サンプル数3,000個 2　流通商談会への参加数　150社	1　首都圏でのサンプリング調査サンプル数3,995個 2　流通商談会への参加数　150社	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	④	久米島コーディネートセンター構築事業	H24～H26	久米島町の特産品を効果的に販売するため、沖縄本島と久米島町に特産品販売に係るコーディネーターを配置し、販売促進の活動を支援する。	1 アンテナショップ販売実績：1,200千円（9～2月） 2 商談会開催数　4回	1 アンテナショップ販売実績：1,893千円（9～2月） 2 商談会開催数　4回	◎
2	⑤	東西交流推進事業	H24～H26	海洋深層水関連商品の諸外国への販路開拓を見据え、計画的な貿易に関する研修会等を実施するため、交流候補地であるハワイ州及び中国福州の現地基礎調査及び国際化人材育成計画書（仮称）の策定を行う。	1 国際化人材育成計画書の策定	－	繰
3	①	観光誘客促進事業	H24～H33	離島である久米島を知ってもらい、旅行社視点からの本町の魅力をフィードバックさせた旅行商品の企画を行うため、県内外旅行社の企画担当者を招聘する団体へ支援する。	1 招聘旅行者数　10社　10名 2 商品設定数　10個	1 招聘旅行者数　11社　22名 2 商品設定数　11個	◎
3	②	期間限定キャンペーン	H24～H33	久米島観光の付加価値を高め観光誘客の促進を図るため、観光入域客の最小値となる月を絞込み、期間限定でクーポン券を発行を実施する団体へ支援する。	1 誘客のためのクーポン券発行数　1，400部	1 誘客のためのクーポン券発行数　1，300部	○
3	③	久米島観光広報推進事業	H24～H33	本町の魅力を積極的に県外、国外へ紹介し、観光誘客の促進を図るため、観光大使や「久米島観光の日」関連イベント等を活用した広報活動を実施する。	1 観光広報活動件数　5件	1 観光広報活動件数　5件	◎
3	④	久米島シュガーライド開催事業	H24～H33	本町の観光誘客の促進を図るため、本町の魅力的な自然環境を活かした全国規模のサイクリングイベントを実施する。	1 サイクリングイベント参加者数　500人	1 サイクリングイベント参加者数　218人	未
3	⑤	ハワイアンフェスティバル開催事業	H24～H33	本町の観光誘客の促進を図るため、国内に50万人を有するフラ愛好家に向けてハワイアンフェスティバルを開催し、南国情緒豊かな久米島をPRする。	1 ハワイアンフェスティバルイベント参加団体数　10団体（300人） （イベント参加者数）	1 ハワイアンフェスティバルイベント参加団体数　22団体（168人） （イベント参加者数）	◎
3	⑥	久米島桜まつり開催事業	H24～H33	本町の観光誘客の促進を図るため、日本一早い桜まつりを開催し自然豊かな南国久米島をPRする。	1 桜まつりイベント来場者数　1，100人	1 桜まつりイベント来場者数　1，000人	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	①	観光受入強化事業	H24	観光客受入体制の強化を図るため、本町の玄関口である空港へ島の観光に関するきめ細かな情報の発信が行える案内所の常設や、体験プログラムの開発及び実施等を行う。	1　案内所利用者数　10，000人 2　体験プログラム利用件数　30件 3　体験プログラム利用者数　250人	1　案内所利用者数　21，000人 2　体験プログラム利用件数　43件 3　体験プログラム利用者数　546人	◎
4	②	デジタルサイネージによる観光情報提供システム整備事業	H24	観光案内機能を充実させ観光客受入体制の強化を図るため、デジタルサイネージを利用した観光情報提供システムを導入する。	1　デジタルサイネージを利用した観光情報提供システムの導入	－	繰
4	③	地域発信力強化促進事業	H24～H26	新たな久米島の魅力等を効果的に発信する地域の情報発信力の強化を図るため、島内各集落に古くから伝わる芸能及び諸行事のコンテンツ制作及び地域FM放送局を活用した情報発信システムの整備を行う。	1　FMラジオ放送サテライト局の設置　1箇所 2　移動放送車（通信機材車）の整備　1台 3　コンテンツ映像の作成　1式	－	繰
4	④	バーデハウス久米島健康増進システム整備事業	H24	本町を訪れる観光客に対し魅力あるウェルネスリゾートを提供し観光誘客の促進を図るため、水中マッサージや水中運動等の健康増進プログラムを提供しているバーデハウス久米島の健康管理システムの整備を実施する。	1　健康管理システムの整備	－	繰
4	⑤	スポーツコンベンション施設機能強化事業	H24	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場及び仲里野球場関連施設（屋内運動場の改修、駐車場、食堂上屋、ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞの改修）の整備を実施する。	久米島野球場及び仲里野球場関連施設の屋内運動場の改修、駐車場等の改修	－	繰
4	⑥	観光関連施設循環促進事業	H24	本町を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、点在する島内観光関連施設を連結循環するコミュニティバスを導入する。	1　観光関連施設循環バスの導入	－	繰
4	⑦	防災まちづくり事業	H24	安全で安心な観光地の形成を図るため、台風襲来等の災害時の避難経路や避難所等を表示した防災マップの作成、避難所に必要な毛布等及び自主防災の活動に必要な資機材を配備する。	1　自主防災組織敷材設置 2　避難場所案内看板設置 3　防災マップ作成 4　備蓄用非常食料の購入	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
4	⑧	ヤジヤーガマ整備事業	H24～H25	本町唯一の鍾乳洞であるヤジヤーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する。	1　自然体験施設の実施設計 （取付道路、駐車場、進入階段、遊歩道整備に係る測量設計）	－	繰
5	①	赤土等流出防止対策事業	H24～H33	農地保全はもとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト（ベチバー）の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。	1　グリーンベルト植栽延長　600m 2　グリーンベルト導入箇所数　6箇所	1　グリーンベルト植栽延長　600m 2　グリーンベルト導入箇所数　6箇所	◎
5	②	球美の島エコアイランド化推進事業	H24～H28	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	1　LED化基本調査 2　太陽光発電システムの設置	－	繰
5	③	球美の島緑化推進事業	H24～H26	久米島に自生している花や花木（クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等）の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	1　緑化推進公園実施設計 2　緑化推進公園用地購入	－	繰
6	①	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24	本町の優れた景観を次世代に受け継ぐため、準景観地区景観形成基準策定のための調査を行う。	1　準景観地区の景観形成基準策定	1　準景観地区の景観形成基準策定	◎
6	②	古民家活用事業	H24～H28	本町に数多く点在する伝統的な赤瓦の古民家を保全活用し美しい景観の創出を図るため、本町の偉人である仲原善忠生家の保全整備の他、町内にある古民家空家の整備改修のための調査を実施する。	1　古民家活用計画の策定 2　仲原家活用計画の策定	1　古民家活用計画の策定 2　仲原家活用計画の策定	◎
6	③	個性豊かな文化の振興事業	H24～H28	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	1　伝統芸能イベント出演者数　150人 2　伝統芸能イベント来場者数　800人	1　伝統芸能イベント出演者数　154人 2　伝統芸能イベント来場者数　830人	◎
6	④	文化遺産保存活用事業	H24～H33	指定文化財及び天然記念物である樹木や久米島博物館の蔵書・資料等を保全しこれら文化遺産の有効活用を図るため、台風等の自然災害対策及び樹勢回復処置の実施や久米島博物館へ収蔵されている蔵書・資料等の整備を実施する。	1　五枝の松樹勢回復処置・補修 2　久米島町博物館の蔵書等の整備	1　五枝の松樹勢回復処置・補修 2　久米島町博物館の蔵書等の整備	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

久米島町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
6	⑤	音楽で元気な島づくりサポート事業	H24	学校での部活動のみならず町内で開催される各種イベント等において活躍している生徒を、地域活性化を推進する各種イベントへの積極的な参画を促進するため、活動に必要な楽器を購入する。	1　吹奏楽用楽器の購入	1　吹奏楽用楽器の購入	◎
6	⑥	久米島現代版組踊り創作事業	H24～H26	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた現代版組踊り創作の脚本を制作する。	1　組踊り脚本の制作	－	繰
7	①	英語指導員配置事業	H24～H33	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	英語指導員配置数　小学校1名	英語指導員配置数　小学校1名	◎
7	②	学校ICT環境整備事業	H24	児童・生徒の情報リテラシーの向上や離島における公平な教育機会を確保するために、HP更新環境の整備や特別支援学級へのタブレットPCの導入等を実施する。	1　学校ホームページの構築 2　特別支援教育用タブレットPCの導入 3　屋外教育活動用音響機器の導入	1　学校ホームページの構築 2　特別支援教育用タブレットPCの導入 3　屋外教育活動用音響機器の導入	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	八重瀬町外国語指導強化事業	H24～H33	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養い、通年で英語に興味を持たすため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催する。	外国語指導助手配置数 小学校：4人（幼稚園兼務3人） 英語指導助手 中学校：2人	外国語指導助手配置数 小学校：4人（幼稚園兼務3人） 英語指導助手 中学校：2人	◎
1	②	八重瀬町パソコン指導強化事業	H24～H33	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を、義務教育で強化するため、ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置する。	ﾊﾟｿｺﾝ指導員配置数 小学校2人（4校を掛け持ち） 中学校2人	ﾊﾟｿｺﾝ指導員配置数 小学校2人（4校を掛け持ち） 中学校2人	◎
1	③	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	H24～H33	中学校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演会を開催する。	伝統芸能特別授業の受講者数 中学校　205人	伝統芸能特別授業の受講者数 中学校　205人	◎
1	④	八重瀬町国際交流人材育成事業	H24～H33	教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団体との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広め、友情を深め、国際化時代に対応しうる青少年の育成を図るため、青少年リーダーを海外に派遣する。	・海外短期派遣生徒数　12人	・海外短期派遣生徒数　12人	◎
1	⑤	八重瀬町IT学習環境強化事業	H24	IT社会へのニーズに対応すべく、早期教育でパソコン操作等の学習を強化するため、学校のIT学習環境を整える。	町内PC教室ハード、ソフトの導入率 （小学校１００％　中学校100％）	町内PC教室ハード、ソフトの導入率 （小学校１００％　中学校100％）	◎
2	①	八重瀬町イベント事業	H24～H33	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行うとともに国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図るため、地域特産物等のPR等を実施する。	・やえせ桜まつり来場者数　１，０００人	・やえせ桜まつり来場者数　３，０００人	◎
2	②	八重瀬町観光地美化作業事業	H24～H33	観光地としての魅力向上を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。	・観光地及び観光地アクセス道路等の美化 観光地：２１ 箇所 アクセス道路：５６ 路線	・観光地及び観光地アクセス道路等の美化 ２７箇所	未
2	③	八重瀬町景観計画策定事業	H24	本町の街並み、風景、歴史遺産等を観光資源として活用するため、八重瀬町景観計画を策定する。	・八重瀬町景観計画の策定	・八重瀬町景観計画の策定	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	④	災害に強い観光地づくり事業	H24	町防災計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食の購入を行う。	・非常食の備蓄　4,005食（445人×3食×3日分） ：4,005食	・非常食の備蓄　4,005食（445人×3食×3日分） ：4,005食	◎
2	⑤	港川フィッシャー整備事業	H24～H33	港川人発見場所の港川フィッシャーを新たな観光資源として活用するため、港川フィッシャーを整備する。	・港川フィッシャー遺跡模型の常設展示 ・港川フィッシャー整備の着手	－	繰
2	⑥	八重瀬町水産観光資源事業	H24	八重瀬町の港川漁業協同組合と協働で、水産業を活かした資源を観光につなげるため、追込み漁等の伝統漁業の体験や、浮漁礁での沖釣り体験などを行えるよう安全に漁船へ乗り込める梯子を設置する。	・漁業体験の受け入れ30人	・漁業体験の受け入れ20人	未
2	⑦	富盛石彫大獅子周辺整備事業	H24	本町にある沖縄県最古で最大である石彫の大獅子を観光資源として活用するために、駐車場等の周辺整備を行う。	・駐車場の整備の着手	－	繰
2	⑧	資料館観光活用事業	H24	化石人骨「港川人」を中心に展示が行われている本町立資料館を観光地として活用し充実を図るため、不足している展示ケースの購入を行い、貴重な資料等の展示公開を行う。	・展示資料の増加：63点	・展示資料の増加：63点	◎
2	⑨	ぐしちゃん朝市日除け設置事業	H24	地元で生産された農水産物・加工品の展示販売を行うことで、地産地消を推進し、農家や高齢者、女性等の活躍の場になり地域の活性化に繋げるとともに、当該展示販売を南部観光の主要通過道路である国道沿いで開催する事により、観光客への地元特産物PRにつなげるため、朝市開催場所に日除けを設置する。	・ぐしちゃん朝市来客数　毎月100人	・ぐしちゃん朝市来客数　毎月175人	◎
2	⑩	玻名城の郷整備事業	H24～H28	玻名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。	・基本計画の策定 ・アクセス道路の設計の実施	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑪	運動公園施設等整備事業	H24～H28	ハイレベルな練習環境等を整え、スポーツツーリズムの振興を図るため、プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境等を整える。	・芝等管理機械購入及び、機械倉庫建設 ・ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ施設（筋トレ施設）整備 ・町営ﾌﾟｰﾙ遮光ﾈｯﾄ施設（Ａ＝600㎡）の整備	－	繰
3	①	八重瀬観光資源構築に関する事業	H24～H25	八重瀬のブランドを構築するために、八重瀬ブランドのデザイン（ロゴ・パッケージ等）の製作及び効果的に情報発信するためPRキャラクターの創出を図る。 また、それらを活用して県内外へPRを行う。	イメージキャラクタ及びイメージロゴを使用した観光プロモーションの実施 県内プロモーション　1回 県外プロモーション　2回	イメージキャラクタ及びイメージロゴを使用した観光プロモーションの実施 県内プロモーション　1回 県外プロモーション　2回	◎
3	②	八重瀬観光資源ブランド開発に関する事業	H24～H33	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の掘り起こしを行い地域住民ワークショップの実施、観光先進地のリーダーの講演会の実施及び安全管理等を含めた人材育成を実施する。 最後にその集大成として地域住民と協働による八重瀬体験フェスティバルの実施を行い、体験の実証検証を行う。	・観光まちづくり委員会ワークショップ　延べ200人 ・救急蘇生法等人材育成数　20人 ・先進地リーダー招聘人数　3人 ・体験フェスティバル来場者数　1,500人	・観光まちづくり委員会ワークショップ　延べ247人 ・救急蘇生法等人材育成数　55人 ・先進地リーダー招聘人数　3人 ・体験フェスティバル来場者数　1,204人	◎
3	③	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	H24～H33	地域ブランドとして「八重瀬カラフルベジタブルプロジェクト」が定着しつつあり、今後、販路拡大を図り生産者の所得向上及び地域活性化を図るため、カラベジ製品の開発や物産展及び商談会への参加、イベントの開催によるPR等の実施、ブランド力向上のための実行計画の策定を行う。	・新規カラベジ製品開発　５品 ・販路開拓数　3件 ・カラベジスタンプラリーの参加者数　1,400人 ・ブランド力向上のための実行計画の策定	・新規カラベジ製品開発　５品 ・販路開拓数　3件 ・カラベジスタンプラリーの参加者数　1,400人 ・ブランド力向上のための実行計画の策定	◎
3	④	八重瀬観光資源ブランド情報発信に関する事業	H24	八重瀬の魅力ある観光資源の情報を観光客の視点から余すところ無く必要な情報を与えるため、八重瀬町観光資源マップ及びパンフレットを作成する。	・八重瀬町観光パンフレット設置箇所 20箇所	・八重瀬町観光パンフレット設置箇所 30箇所	◎
4	①	農業機械整備事業	H24	さとうきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械（バックフォー等）を整備する。	・パワーショベル2台導入	・パワーショベル2台導入	◎
4	②	八重瀬町循環型環境保全事業	H24～H26	生ゴミをゴミとして焼却するのでなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。	・生ゴミ回収量　38ﾄﾝ/年（堆肥化率100%）	・生ゴミ回収量　40ﾄﾝ/年 （堆肥化率100%）	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

八重瀬町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5		沖縄特殊戸籍システム電算化事業	H24	本町で保管している沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	沖縄関係戸籍の電算化率：100%	－	繰
6		慰霊顕彰碑管理事業	H24	毎年開催されている町主催の慰霊祭において戦没者の御霊を慰め小・中学生への平和学習の場として活用するため、具志頭城址に設置されている具志頭戦没者芳名板へ戦没者名を追加・修復する。	・戦没者名追加 ・芳名板修復	・戦没者名追加1名 ・芳名板修復	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

多良間村

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	多良間多目的拠点施設整備事業	H24	島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安瀬安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交拠点、離島の人材育成拠点として活用できる複合施設を整備する。	避難及び交流等のための多目的拠点施設の整備	－	繰
1	②	水納島津波避難施設整備事業	H24	海抜が非常に低い水納島に、住民や観光客の安全安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地としての本村のブランド力向上を図る。	水納島避難施設の整備	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	波照間観光関連施設整備	H24	ニシノ浜トイレシャワー施設（既設）の改修を実施することにより、隣接ビーチも含めた安全安心な観光スポットとしての利活用を促進する。 また、「日本最南端の碑」に駐車場が無くレンタカー等の駐車に支障をきたしているため駐車場を整備し当碑を含め高那崎の観光地としての利便性の向上を図る。	・ニシ浜トイレｼｬﾜｰ施設の整備着手 ・最南端の碑駐車場整備着手 ・収容台数：0→9台分	・ニシ浜トイレｼｬﾜｰ施設の整備着手 ・最南端の碑駐車場整備着手 ・収容台数：0→9台分	◎
1	②	旧太陽の村危険廃屋解体撤去及び公園等整備事業	H24～H25	西表島の優れた自然環境や風景の保存の観点から危険家屋を撤去し、地域住民等の望む公園整備等を含めた魅力ある観光地としての整備を行う。	旧太陽の村の危険廃屋撤去及び公園等整備設計の実施：8棟	旧太陽の村の危険廃屋撤去及び公園等整備設計の実施：8棟	◎
1	③	小浜島観光関連事業	H24～H25	カトレ海岸マングローブ林（干潟）へのアクセス道路が未舗装であることや駐車場がないことから、レンタカー・レンタサイクル等での往来に支障をきたしているため、進入路（460m）及び駐車場を整備し、小浜島の観光ｽﾎﾟｯﾄとしての利活用を図る。	カトレ海岸アクセス道路及び駐車場整備に係る設計及び用地取得の実施	カトレ海岸アクセス道路及び駐車場整備に係る設計及び用地取得の実施	◎
1	④	西表浦内観光関連事業	H24～H25	観光客の増加に伴う大型観光バス、レンタカーの増加により、既存の駐車場は手狭で浦内周辺の交通が混雑しているため駐車場の整備を行う。 南駐車場　1338㎡ 北駐車場　1631㎡	西表浦内の駐車場に係る用地取得、設計及び整備の実施	西表浦内の駐車場に係る用地取得、設計及び整備の実施	◎
1	⑤	仲御神島周辺海域資源有効活用調査等事業	H24	仲御神島の自然資源の有効活用と、今後の安定した観光産業に資するため、同島の自然保護と調査研究を推進する体制づくりを含めた新たな観光資源を発掘する。	・仲御神島及び周辺海域の自然保護に関する調査 ・仲御神島及び周辺海域の観光資源発掘調査	・仲御神島及び周辺海域の自然保護に関する調査 ・仲御神島及び周辺海域の観光資源発掘調査	◎
1	⑥	竹富町観光振興基本計画策定事業	H24	竹富町の観光振興基本計画を策定し、観光を中心とした各島の拠点形成を図る上で必要なルールの策定、関連施設の整備や開発計画の適正な誘導配置に取り組み、自然環境に配慮した通年型・滞在型観光を育成することを目的に観光振興の方針を定める。	観光振興基本計画の策定	観光振興基本計画の策定	◎
1	⑦	観光客誘致対策事業	H24	竹富町・石垣市・与那国町と連携し、八重山・竹富町への観光客誘致を目的に、県内外・国外で、街頭キャラバンや大商談会、マスコットキャラクターを活用したキャンペーン等、観光客誘致プロモーションを実施する。	観光客誘致活動来場動員数：10万人	観光客誘致活動来場動員数：32万人	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑧	由布島駐車場整備事業	H24	由布島を訪れる観光客は年間約20万人で、そのほとんどが観光バス及びレンタカーにより当駐車場を利用しているが、駐車場は未舗装のため車両通行による路面土砂の損傷や雨天時の海への流出等により凹凸が生じている。快適な利用と路面土砂の流出を防ぐため駐車場の舗装整備を行い県内、八重山郡内でも人気の高い観光地の快適、持続的な環境整備をおこない、本県・本町の観光振興を図る。	由布島駐車場の整備の実施	由布島駐車場の整備の実施	◎
1	⑨	竹富町観光振興動画ナビ整備事業	H24	本町が有する日本最南端の西表国立公園や多様性に富んだ優れた自然環境、地理的、歴史的、伝統文化等、島々の特性を生かした竹富町の魅力をPRするため、国内外の方へインパクトのある観光PR用の映像を制作し、持続的に利用可能な観光地づくりを推進するとともに知名度を向上させ観光誘客につなげる。	観光PR用ソフト（島々編・祭編）の作成	観光PR用ソフト（島々編・祭編）の作成	◎
1	⑩	種子取祭会場整備事業	H24	竹富島の最大行事である。種子取祭（国の重要無形民俗芸能文化財）の奉納芸能会場である世持御嶽神前舞台の鉄骨組みの老朽化に伴う撤去及び、移動式骨組み設置工事を行い、演者や見学者の安全を確保する。また、既設鉄骨が撤去されることにより、拝所、重要伝統的建造物群保存地区としての景観を保全し、世持御嶽周辺の文化財の利活用を図る。	仮設式奉納舞台テント設置	仮設式奉納舞台テント設置	◎
1	⑪	子午線ふれあい館再生プロジェクト事業	H24	西表島西部地区祖納集落内にある「子午線ふれあい館」を、再生可能エネルギーなどを取り入れた、地区の伝統文化や工芸品の発信拠点として、地域の住民と観光客との交流の場所となるように本事業により整備する。	子午線ふれあい館の再生整備 ・厨房施設の整備 ・駐車場整備：7台→12台 ・電気自動車充電器設置：1基 ・太陽光パネル設置（10kW）	－	繰
1	⑫	竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業	H24	地域における生活情報や観光情報を地元住民が参画して情報発信できるシステムの構築と、各島々の情報を地域住民が互いに共有するとともに、地域住民と観光事業者がホスト役として連携し、島々の魅力を発信できるサイトの構築を行う。	・情報アプリの調査・開発：1件 ・wi-fi等情報環境の調査：30箇所 ・情報発信システムの調査・開発	・情報アプリの調査・開発：1件 ・wi-fi等情報環境の調査：30箇所 ・情報発信システムの調査・開発	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	⑬	仲本海岸アプローチ整備事業	H24	黒島仲本海岸にアプローチを整備し、当海岸の安全・利便性を確保し、地域の観光資源としての利用促進や観光の振興を図る。	黒島仲本海岸アプローチ整備の実施	黒島仲本海岸アプローチ整備の実施	◎
1	⑭	登録有形文化財伊古桟橋整備事業	H24	島々に残された貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地の安全対策や美化保全を進め、地域住民の文科愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進める。	伊古桟橋の復原整備の実施	－	繰
2	①	風景づくり推進事業	H24	地域景観資源を保全・再生し、観光振興に活用するため、景観形成方策及び景観形成基準に関する検討を行い、竹富町の景観計画を策定する。	景観計画の策定	景観計画の策定	◎
2	②	観光景観地指定文化財美化保全事業	H24～H33	島々に残された貴重な文化遺産である指定文化財や景勝地の美化保全を進め、地域住民の文化財愛護意識を高めるとともに、観光資源としての活用を進める。	観光景観地・指定文化財美化保全箇所数 国指定文化財　：　４箇所 県指定文化財　：　１箇所 町指定文化財　：　８箇所	観光景観地・指定文化財美化保全箇所数 16箇所	◎
2	③	黒島地区主要路線ギ木化事業	H24～H33	黒島における主要な観光アクセス道路ガードレールをギ木化し、本町の畜産産業の中心地である島の景観と融合したまちなみ景観を形成し、安全性及び観光地としての質の向上を図る。	観光アクセス道路ギ木設置延長に係る設計の実施	観光アクセス道路ギ木設置延長に係る設計の実施	◎
2	④	観光道路美化推進事業	H24～H33	主要な観光ｽﾎﾟｯﾄを結ぶアクセス道路の美化保全を推進し、通行の安全確保や島々のまちなみと融合した景観の形成を図り観光地としての質を高める。	観光アクセス道路美化保全景観形成延長：12,900m	観光アクセス道路美化保全景観形成延長：12,900m	◎
2	⑤	竹富町デイゴヒメコバチ防除事業	H24	県花のデイゴを保護するため、害虫のデイゴヒメコバチの防除を実施し、島々の景観、まちなみを保全することで優れた観光地の形成を図る。	ヒメコバチ防除薬剤購入	ヒメコバチ防除薬剤購入	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
2	⑥	竹富町（西表島）ペット適正化飼養推進事業	H24～H33	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅の恐れがあるイリオモテヤマネコの保全を目的に西表島におけるペット適正飼養についての普及啓蒙活動等を実施する。	・ノラネコ捕獲数：９頭 ・講演会開催：３回	・ノラネコ捕獲数：14頭 ・講演会開催：6回	◎
3	①	竹富町和牛生産推進事業	H24～H33	離島港湾に靴底消毒マットを設置し水際防疫を確実にし、また、優良遺伝繁殖雌牛の導入購入費の一部を助成し、生産効率や品質の向上など、安定生産等に向けた課題解決を図り、生産者の経営安定化を目指す。	優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数：40頭	優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数：43頭	◎
3	②	含みつ糖製糖施設近代化事業	H24	製糖事業者の経営体質強化のための製糖事業者取り組む製造コストの低減、品質向上及び衛生管理の徹底等のため施設整備等を支援し、製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」の振興を図る。	波照間製糖施設の整備	－	繰
4	①	竹富町妊婦支援事業	H24	竹富町に住所を有し、母子健康手帳の交付を受けた者が、妊婦健康診査を受診する際に船舶及び航空機を利用した場合に、そらぞれの運賃を支給する。また、待機宿泊費については、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産のため滞在した宿泊費について1泊2千円を限度として支給する。	・妊婦運賃助成：200回 ・妊婦宿泊助成：200日間	・妊婦運賃助成：189回 ・妊婦宿泊助成：290日間	◎
4	②	子育て支援環境整備事業	H24	離島、へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポーター育成や相互援助活動支援等を実施する。	会員育成講座修了者数：５人	会員育成講座修了者数：8人	◎
5	①	読書支援事業	H24～H27	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書室を地域へ開放する取り組みとして学校図書室へ人員を配置し活発な読書支援を図る。	黒島・小浜島地域住民の図書貸出冊数：７５冊	黒島・小浜島地域住民の図書貸出冊数：63冊	○
5	②	竹富町内小学校社会３、４年生副読本製版	H24	平成18度～23年度の6年間、琉球大学教育学部と連携して作成・編集してきた、竹富町内の自然・文化・産業を網羅した小学校3，4年生の社会で使用される副読本を製本し、町内各小学校に配布し、社会科学習の充実を図る.	・副読本配布校数：13校 ・副読本配布冊数：150冊	・副読本配布校数：11校 ・副読本配布冊数：150冊	○

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

竹富町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	③	ライフジャケット設置事業	H24	海に囲まれた離島（学校）における災害対策を図るため、小中学校にライフジャケットを設置し、津波被害の軽減と安全で安心な教育環境を整備する。	小中学校におけるライフジャケット設置率：100%	小中学校におけるライフジャケット設置率：100%	◎
5	④	竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業	H24～H34	竹富町内の児童生徒が、町外へ選手や各種コンクール等の受賞者として派遣される場合の、船賃・航空運賃及び宿泊費を派遣費補助規定に基づき補助する。	児童生徒選手等派遣人数：280人	児童生徒選手等派遣人数：422人	◎
6		簡易水道施設遠方監視装置整備事業	H24	本町は9つの島々からなる島嶼町である為、島々に点在する公共施設を遠方監視できるシステム設備の設置及び体制を構築し、遠隔地における地理的条件の不利性の是正や島嶼における観光客の受け入れ体制を確立し、本町本県の観光振興を図る。	水道施設における遠方監視装置設置数：14箇所	水道施設における遠方監視装置設置数：14箇所	◎
7		福岡戸籍電子化整備事業	H24	安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄戸籍の電算化を実施する。	福岡戸籍の電子化実施率：100%	福岡戸籍の電子化実施率：100%	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
1	①	地域振興対策事業	H24～H28	既存の観光イベントへの参加促進と、他の体験型観光メニューとの連携を図り、かつ、各種広報媒体等による「情報発信」体制を構築し、観光客のニーズを十分に考慮した滞在型観光地であることの周知により観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進する。	①ｶｼﾞｷ釣り大会の参加者数 H23年度：82人→ H24年度：83人 ②一周ﾏﾗｿﾝ大会の参加者数 H23年度：357人→ H24年度：459人	①ｶｼﾞｷ釣り大会の参加者数 H23年度：82人→ H24年度：83人 ②一周ﾏﾗｿﾝ大会の参加者数 H23年度：357人→ H24年度：459人	◎
1	②	海水浴施設整備事業	H24	島内にある海水浴場に、観光地として相応しい景観に配慮した公衆トイレ及び水場等の新規公共施設等を整備することにより、利用者の利便性向上及び地域の衛生・景観の向上を図る。	ナンタ浜公衆用トイレ建設：１棟	ナンタ浜公衆用トイレ建設：１棟	◎
1	③	観光景観維持事業	H24	島内の雇用創出による人口流出の抑制を兼ね、観光資源として重要な景勝地において、通年での維持管理を行うことにより、年間を通して維持管理が行き届き、利便性と安全性が確保された景勝地を提供することで、より多くの観光客が安心して利用できる環境を整える。	西崎展望台、東崎展望台：安全柵美化 石積工　H=1.40m	－	―
1	④	与那国町観光振興計画事業	H24	与那国町全体の課題解決のスキームとなること、島内の観光資源のネットワーク化を図り活用を促進すること、与那国独自の自然資源や伝統文化を適切に守ることを基本方針とし、観光産業を主体として地域全体の活性化につながる「与那国町観光振興計画」を策定する。	与那国町観光振興計画の策定	与那国町観光振興計画の策定	◎
1	⑤	ｻﾝﾆﾇ台景勝地整備事業	H24	本事業では、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道の更新し、利便性と安全性が確保された景勝地を提供することで、より多くの観光客が安心して利用できる環境を整える。	サンニヌ台景勝地整実施設計の実施 不動産鑑定の実施	サンニヌ台景勝地整実施設計の実施 不動産鑑定の実施	◎
1	⑥	久部良ﾊﾞﾘ観光地駐車場整備事業	H24	本事業では、久部良バリへのアクセス路および駐車場の整備を実施し、利便性と安全性が確保された景勝地を提供することで、より多くの観光客が安心して利用できる環境を整える。	久部良バリ観光地駐車場整備着手	久部良バリ観光地駐車場整備着手	◎
2		農水産業活性化事業	H24～H28	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水を年間を通して確保するため池及びかんがい排水施設の整備、生産効率を向上させる近代生産施設の導入、輸送時の品質低下を防ぐ簡易農道（石粉道路）の表層舗装と町道・農道の雑木伐採を実施する。	農業用水さく井調査：4箇所	農業用水さく井調査：4箇所	◎

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
3	①	家庭学習支援モデル事業	H24～H28	U･Iターンを阻害する要因である中央との教育環境の格差を解消し、人口の増加と地域の活性化を担う人材の育成を図るため、小中学生を対象とした家庭学習支援としてWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行う「町営学習塾」を開設する。	学習塾受講率（中学生） H24年度　60% 学習塾受講率（小学生） H24年度　51%	学習塾受講率（中学生） H24年度　60% 学習塾受講率（小学生） H24年度　51%	◎
3	②	教育諸活動助成事業	H24～H28	町内の児童生徒の各種大会派遣費（航空運賃等）を助成することにより、子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供する。この住民負担の軽減により、貴重な経験を得ることができる機会をより多く提供し、本町の未来を拓く子供たちの能力向上を図る。	各種大会派遣人数：H24年度350人	各種大会派遣人数：H24年度376人	◎
3	③	地域国際交流事業	H24～H28	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のﾎｰﾑｽﾃｲを行い、少年少女に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材の育成、本町と花蓮市間の未来にわたる心の交流の継続と充実の推進を図る。	台湾「花蓮市」へﾎｰﾑｽﾃｲ生徒数：15人	台湾「花蓮市」へﾎｰﾑｽﾃｲ生徒数：15人	◎
3	④	与那国町ｼﾞｭﾆｱ海外語学研修派遣事業	H24～H28	町内の中学生を対象に、欧米への語学研修（短期ホームステイ）の支援を行い、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の喚起と、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供し、豊かな国際感覚を身につけた町の将来を担う人材の育成を図る。	海外派遣生徒数 H23年度：0人 → H24年度：2人	－	ー
4		地域文化の継承と生涯学習支援事業	H24～H28	与那国語を解する人材実態把握、与那国語講習会の開催、与那国語を用いた古謡・叙情歌の講習会開催、ｽﾝｶﾆ・ﾄﾞｩﾅﾝﾑﾆ発表会等イベントの開催、歴史・民俗・言語の専門家講演会により、本町の伝統・文化・芸能に深く関わり、消滅の危機にある与那国語の伝承を図る。	講習会受講者数の実施：50人 与那国語検定実施：10人	－	ー
5	①	子育て支援事業	H24	本事業は、働きながら子供を育てることができる環境の充実、及び幼保一体化教育を実践する。具体的には、老朽化した祖納、及び久部良の保育所を新たな幼保一体化教育施設として整備し、子育て支援の充実を図り、保護者が安心して働ける環境を作り出す。	祖納保育所の建設着手	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那国町

事業番号		事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
5	②	介護支援事業	H24	本町唯一の居宅介護支援事業所が平成24年3月末で閉鎖し、利用者に十分な介護サービスの提供が行えない状況にある。今後安定したサービスを提供するため居宅介護支援センターの整備を図る。	居宅介護支援センターの建設着手	－	繰
6	①	診療所運営支援事業	H24～H28	本町における唯一の医療施設である「与那国町診療所」の指定管理者（地域医療振興協会）に対して運営経費の補助を行うとともに、老朽化・旧式化した施設の更新・拡充し、本町の医療体制を維持・充実を図る。	X線断層撮影装置の導入	－	繰
6	②	少子高齢化対策事業	H24～H28	本町の医療機関には、産婦人科を含めた各専門医がいない。本事業では、妊娠から出産までに必要となる渡航費等及び、子どもや高齢者（保護者及び介護者を含む）が専門医による島外診療を受けるために必要な渡航費等の費用の補助を行う。	妊産婦一人当り受診回数： H23年度：4回／人→H24年度：8回／人	妊産婦一人当り受診回数： H23年度：4回／人→H24年度：8回／人	◎
7	①	公共交通路線支援事業	H24～H28	本町の公共交通は、集落間を結ぶ生活路線バスのみであり、人口規模の小さな本町では、運賃のみで路線を維持することは困難である。地方バス運営に必要な費用の支援により生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住条件整備と来島者の利便性向上を図る。	公共交通路線バス運行便数：2,556便／年	公共交通路線バス運行便数：2,556便／年	◎
7	②	風景づくり推進事業	H24	本町に残る豊かな自然と伝統を維持し、与那国らしさを残しつつ魅力的なまちづくりを行うための「与那国町景観計画」及び、各集落の古民家及び現在は使用されていない町有施設等を有効活用するための「与那国町 古民家再生事業計画」を策定する。	景観計画の策定 古民家再生計画の策定	景観計画の策定 古民家再生計画の策定	◎
7	③	ﾄﾞｳﾅﾝ・ﾌｧﾝﾄﾞ設置推進事業	H24～H28	島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を行う。	ﾄﾞｳﾅﾝ・ﾌｧﾝﾄﾞ構想の策定	ﾄﾞｳﾅﾝ・ﾌｧﾝﾄﾞ構想の策定	◎
8		防災安全基盤強化事業	H24	地理的な不安要因がある本町の災害発生時における安全・安心の確保を図るため、住民・観光客等の被災者の長期避難生活を想定した非常用食料・日用雑貨・備品・救助装備品及び、備蓄庫を整備する。	災害備蓄庫設置の建設着手	－	繰

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」・・・「◎」　「概ね達成」・・・「○」
「一部達成」・・・「△」「未達成」・・・「未」
「繰越」・・・「繰」
「廃止（中止）」・・・「－」

与那国町

事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H24成果目標（指標）	H24成果実績（指標）	総合評価
9	沖縄関係戸籍の電算化事業	H24	安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	沖縄戸籍の電算化率 対象戸籍電子化率：100%	沖縄戸籍の電算化率 対象戸籍電子化率：100%	◎